基本操作編

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

MC860dn
MC860dtn

○このマニュアルには、製品を安全に使用していただくための注意事項が書かれています。ご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みになり、正しく安全にご使用ください。
○本マニュアルは、いつでも見られるように大切にお手元に保管してください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	本機内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。

⚠警告

	電池は、間違ったタイプと交換した場合、爆発するおそれがあります。本装置の電池は交換する必要がありません。電池には手を触れないでください。
	装置を落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
	電源コード、ケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。
	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどを装置の上にのせないでください。感電、火災のおそれがあります。
	装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。

⚠警告

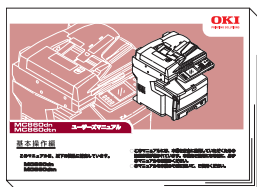
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。
	こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。 トナーを床などにこぼしてしまった場合、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた布などで丁寧にふき取ってください。
	UPS(無停電電源)やインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。 火災のおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。
	壊れた液晶ディスプレイにはさわらないでください。 液晶ディスプレイから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

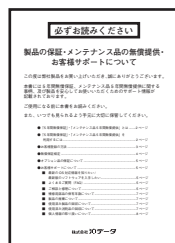
マニュアルの構成

本製品には、次の説明書と CD-ROM マニュアルが付属しています。

ユーザーズマニュアル（基本操作編）…本書

必ずお読みください。
本機の設置、基本的な操作方法、消耗品の交換方法、トラブルの対処方法などが記載されています。

ユーザーズマニュアル CD-ROM

いろいろな機能を使った応用的な使い方や、便利なユーティリティ、日常のお手入れなどを説明しています。詳しくはユーザーズマニュアル CD-ROM の内容（408 ページ）をご覧ください。

製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポート

製品の保証、メンテナンス品の無償提供、お客様サポートについて記載されています。必ずお読みください。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft® Windows Vista® 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Vista (64bit版) ※
- Microsoft® Windows Server 2008 64-bit Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008 (64bit版) ※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → WindowsXP(x64版) ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003 (x64版) ※
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista ※
- Microsoft® Windows Server 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008 ※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP ※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003 ※
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

マーク

本機を正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

本機を使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

参照ページです。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

諸注意

法律上の注意事項

・紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
・以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
・株券・手形・小切手などの有価証券
　公務員又は役所が作成した証明書などの文書
　契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
　役所または公務員の印影、署名、記号
　私人の印影または署名
・著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律　刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI - B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本機に搭載のソフトウェアについて

MC860 は、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE ™ソフトウェアを搭載しています。

MC860 は、IPv6 Ready Logo Phase 1 テストに合格しています。

この製品には、Heimdal Project によって開発されたソフトウェアが含まれます。

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE INSTITUTE AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE INSTITUTE OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

VOC（揮発性有機化合物）の放散について

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションに関する認定基準を満たしています。（トナーは沖データ純正トナーカートリッジ（ブラック）を使用し、白黒印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angle RAL UZ-122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。

⚠危険

本装置には CR2450 リチウム電池が使用されています。
通常使用において 10 年間の寿命を有します。
電池を廃棄する場合はテープなどで絶縁してください。
他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。
電池は地方自治体の条例、または規則に従って廃棄してください。
ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Macintosh、Mac OS、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Bonjour および TrueType は、米国 Apple Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Adobe、PostScript および Reader は、米国及びその他の国々で登録された Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。
Scalable Font は Agfa Monotype Corporation からライセンスされています。
CG Omega は Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG Times は The Monotype Corporation のライセンスをうけた Times New Roman を基にした Agfa Monotype Corporation の製品です。
Taffy は Adobe Tekton Regular に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
Candid は Adobe Carta に対応する Agfa Monotype Corporation の製品です。
CG、Candid、Taffy は Agfa Monotype Corporation の各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、Times は Linotype-Hell AG あるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf Dingbats は International Typeface Corporation の各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill Sans は The Monotype Corporation plc. の各国での登録商標または商標です。
Wingdings は Microsoft Corporation の各国での登録商標または商標です。
Agfa からライセンスされた Marigold は Arthur Baker の各国での登録商標または商標です。
平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては 3 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様が本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

本機のパッケージ内の製品をご使用になる前に､この本契約書を必ずお読み下さい。お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ(以下「沖データ」といいます)は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア(ただし、Adobe Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます｡)を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

1. 使用範囲
お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データ製品を所有する場合に限り、当該製品に直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして､本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
(1) 本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
(2) 第 1 条に定めた複製を除いて､本ソフトウェアの一部または全部の複製､貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
(3) お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
(4) お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
(5) お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
(1) お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
(2) お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
(3) お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
(1) 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
・第三者の権利を侵害していないこと。
・特定の目的に適合していること。
(2) 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為 (過失を含むがこれに限定されない) に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず､他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。 お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
    All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
    本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Reader の使用について
Adobe Reader は沖データがアドビシステムズ社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Adobe Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステムズ社から Adobe Reader の使用を許諾されることになります。

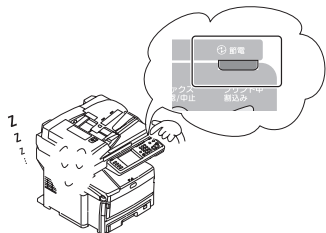
目　次

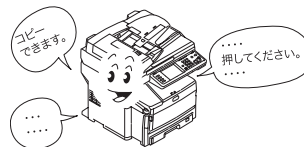
1 ご使用の前に

はじめに

MC860 の主な特徴

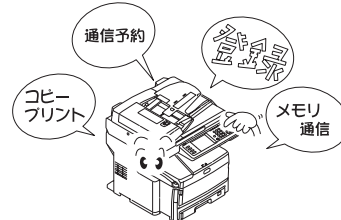
節電機能（パワーセーブ）（59 ページ）

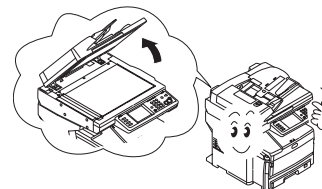
しばらく何もしない状態にするとパワーセーブモードになり、無駄な電力消費をおさえます。ファクス受信の際は、自動的にプリントアウトを開始します。

音声ガイダンス機能（109 ページ）

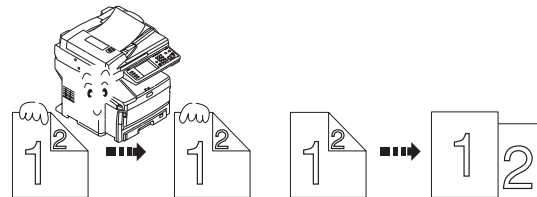
短縮ダイヤルの登録操作や用紙づまりの解除方法などを、パネル表示に合わせて音声で案内していきます。操作が苦手な方にもやさしく、簡単に操作できます。

音声案内

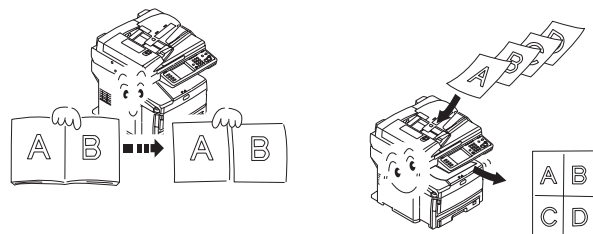
<音声案内>キーが点滅する画面のページには、このマークを記載しています。

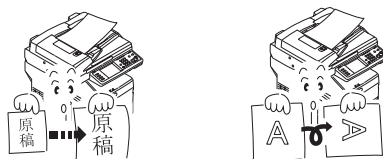
多重動作機能（114 ページ）

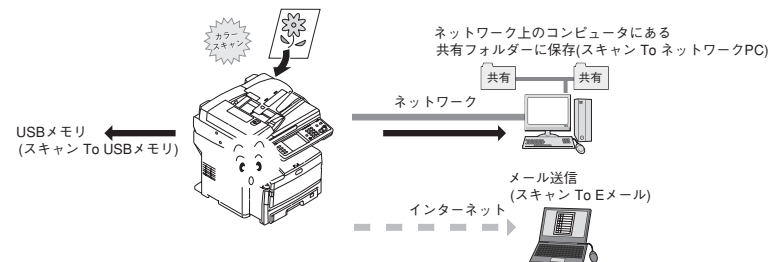
本体が作動中でも各種登録操作や次の送信予約が可能です。

原稿送り装置＆ガラス面混在スキャナ（171 ページ）

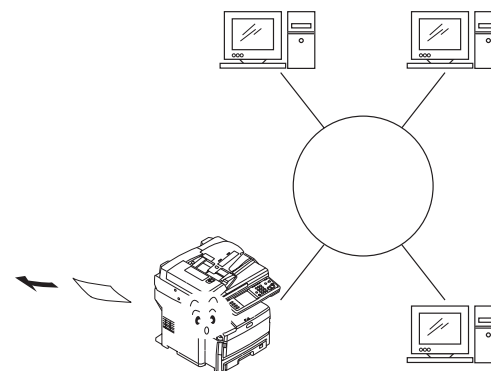
原稿送り装置からガラス面へ、ガラス面から原稿送り装置へ、どちらからでも続けて原稿を読み取ることができ、送信、コピーできます。

自動両面コピー（182 ページ）

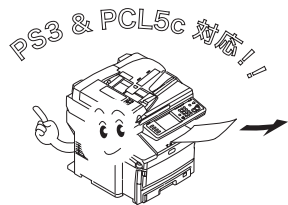
「両面→両面」、「両面→片面」などの多彩なコピーをとることができるので、用紙の無駄を無くします。

ページ分割コピー／集約(N in 1)コピー(応用編)

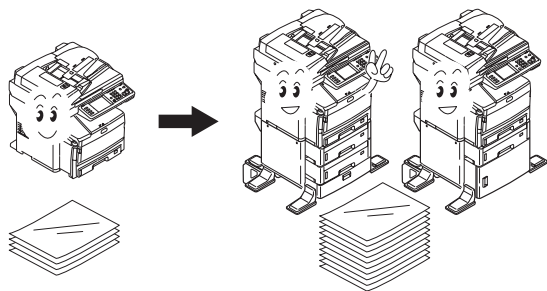
ページ分割コピーでは、本や雑誌などの見開き原稿ページごとにそれぞれ分割し 1 枚ずつコピーできます。
また、集約コピーでは、複数の原稿を読み込ませてそれぞれを縮小し、1 枚の用紙にまとめてプリントアウトできます。

回転送信・回転受信

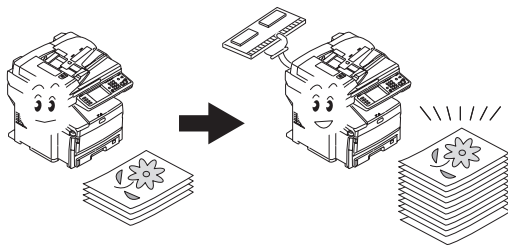
回転送信・回転受信により、相手先の用紙サイズや原稿の向きを気にせず送受信ができ、用紙の無駄を省きます。

フルカラースキャナ

最大 A3 サイズの原稿をフルカラーで高速スキャニング可能。スキャンした画像はコンピュータの共有フォルダに格納したり（スキャン To ネットワーク PC)、メールアドレスを指定して添付ファイルとして送信したり（スキャン To Eメール)、USB メモリに保存（スキャン To USB メモリ）することができます。

ネットワークプリンタ

Windows Vista/Windows Server 2008/Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 対応アプリケーションソフトから高画質 600dpi･毎分カラー 26 枚､モノクロ 34 枚（A4 ）のネットワークプリントが可能。プリンタを複数台導入する必要がないので、オフィスの省スペース化を実現します。

PostScript3、PCL5c 対応プリンタ

ページ記述言語（PDL）として、PostScript3 エミュレーションと PCL5c エミュレーションを搭載。幅広いアプリケーションからのプリントアウトが可能になります。

増設トレイユニット（37 ページ）

本機のセットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。

増設メモリ（48 ページ）

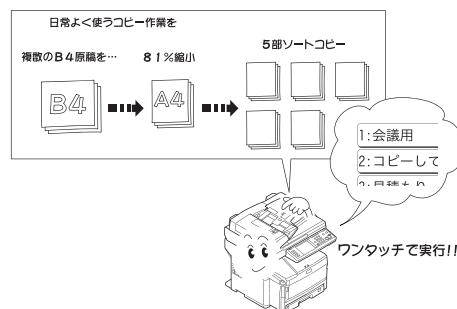
メモリサイズを増やしたいときに取り付けます。
複雑なデータを印刷しやすくします。

自動配信・通信データ保存機能（307 ページ）

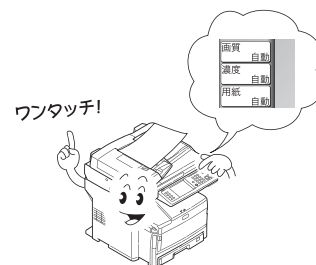
送受信した文章を、特定の宛先に配信したり、特定のフォルダに保存することができます。

ユーザ認証・アクセス制御（287 ページ）

管理者が許可したユーザだけが、装置を使用できます。管理者は、ユーザ毎に、利用できる機能を設定できます。

ジョブメモリ機能（応用編）

「複数の B4 原稿を A4 に 81%縮小してから、ソートコピーを 5 セットつくる」など、日常よく使用する作業に必要な一連のキー操作を、あらかじめ「ジョブメモリキー」に登録しておくと、ワンタッチで実行できます。何度もキー入力する手間を省き操作を簡略化できます。さらにコピー機能だけでなく、ファクスやスキャン機能も登録できます。

ご愛用スイッチキー（応用編）

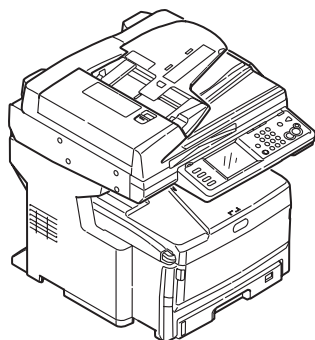
「集約コピー」など、よく使用する機能をあらかじめ「ご愛用スイッチキー」に割り当てておくと、簡単に機能の設定が可能です。面倒な手順を省き、操作を簡略化できます。

ご使用の前に

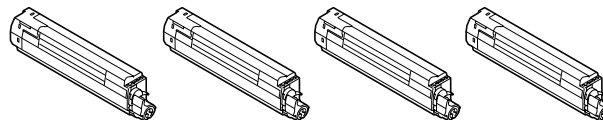
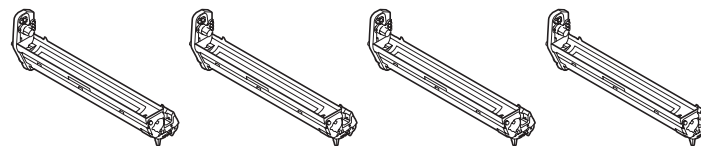
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

MC860 本体は重量が約 68Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。

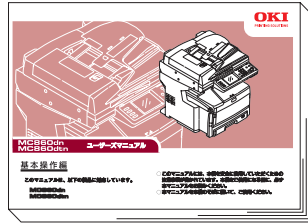
☐ MC860 本体

- MC860dtn の増設トレイについては、「増設トレイユニットを取り付ける」（37 ページ）をご覧ください。
- MC860dn には、オプションで増設トレイユニット［1 段トレイ（ロングキャビネット付）、［2 段トレイ（ショートキャビネット付）］を装着できます。

☐ スタータトナーカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

☐ イメージドラムカートリッジ
（シアン、マゼンタ、イエロー、ブラック各 1 個ずつ）

イメージドラムカートリッジは本体内部にセットされています。

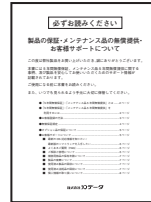
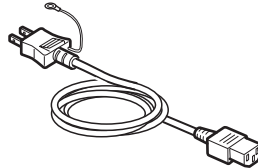
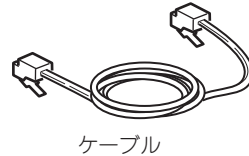
☐ ソフトウェア CD-ROM

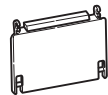
☐ アプリケーション CD-ROM
PaperportSEII が同梱されています。

☐ ユーザーズマニュアル CD-ROM

☐ ユーザーズマニュアル（基本操作編）（本書）

☐ 簡易設定ガイド

☐ コピーのコツ

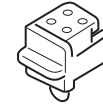
☐ 製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて

☐ 電源コード

☐ 電話線ケーブル

ケーブル

☐ カバープレート（大）２個

☐ カバープレート（小）２個

☐ キャップ（２個）

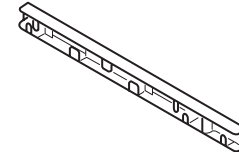
本機のロックを解除したあと、ロック部にはめ込みます。

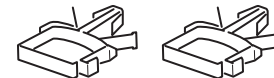
☐ カバー

「TEL コネクタ」を使用しないときに「TEL コネクタ」に差し込みます。

☐ ロック解除工具

本機のロックを解除するときに使います。

☐ コードガイド

本機に接続したコード類をまとめるときに使います。

☐ コードクランプ（２個）

本機に接続したコード類をまとめるときに使います。

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- 梱包箱、緩衝材は本機を輸送するときに使います。捨てずに保管してください。
- 電話線ケーブルは添付されているものをご使用ください。4 芯のケーブルを使用すると通信ができません。

設置条件

■ 動作環境

次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。

周囲温度　　　：　10 ～ 32℃
周囲湿度　　　：　20 ～ 80%RH（相対湿度）
最大湿球温度　：　25℃

結露しないように注意してください。
周囲湿度が 30% 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

■ 設置に関する注意

⚠警告

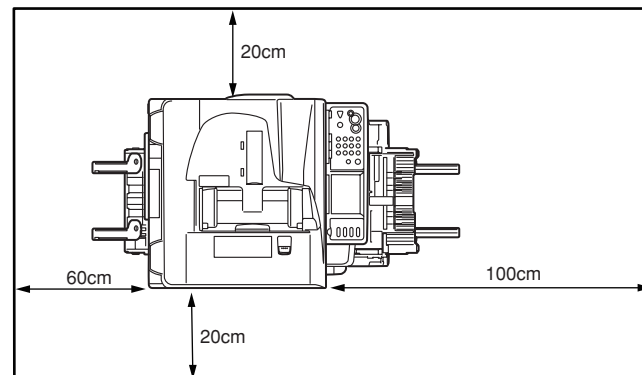
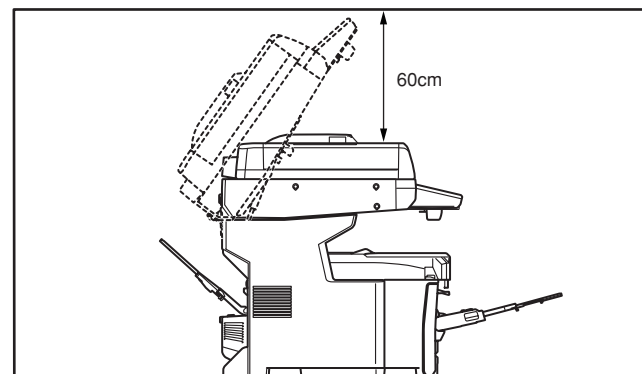
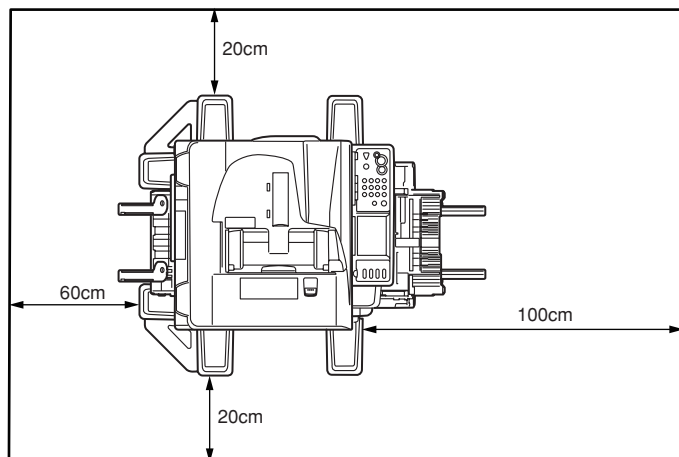
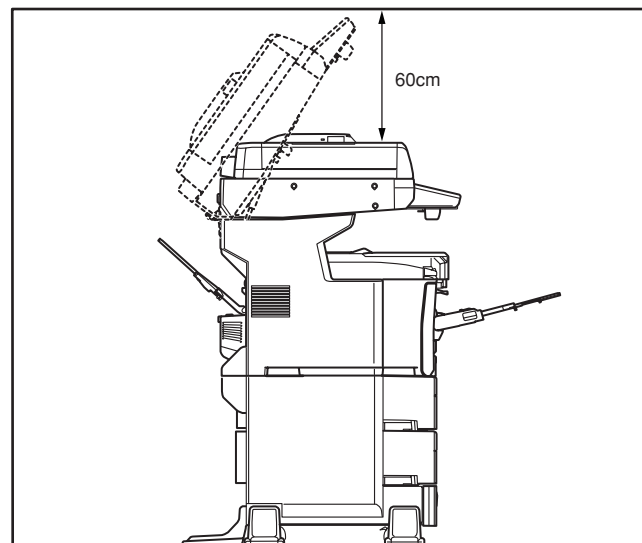
- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- 本機の通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

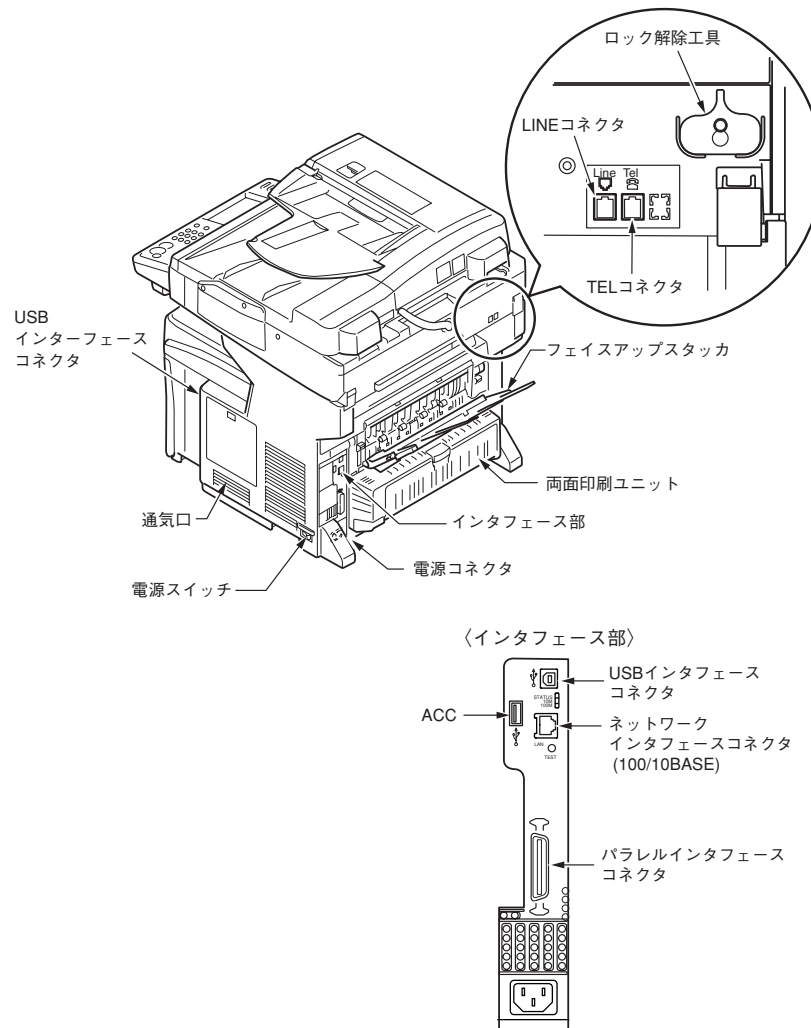
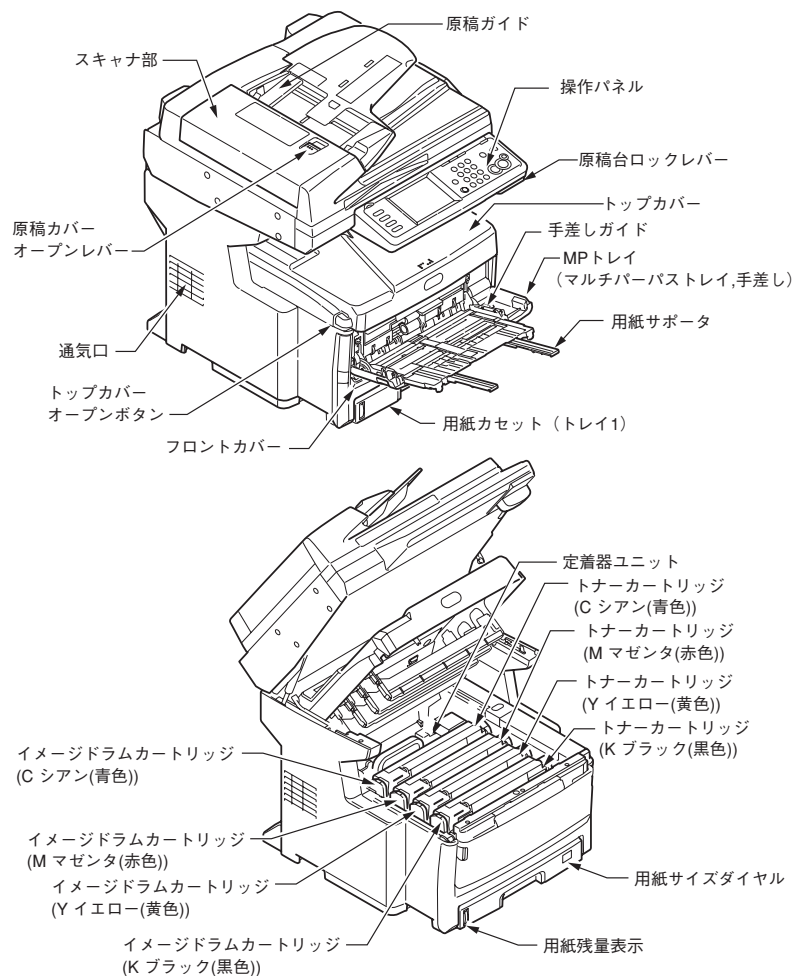
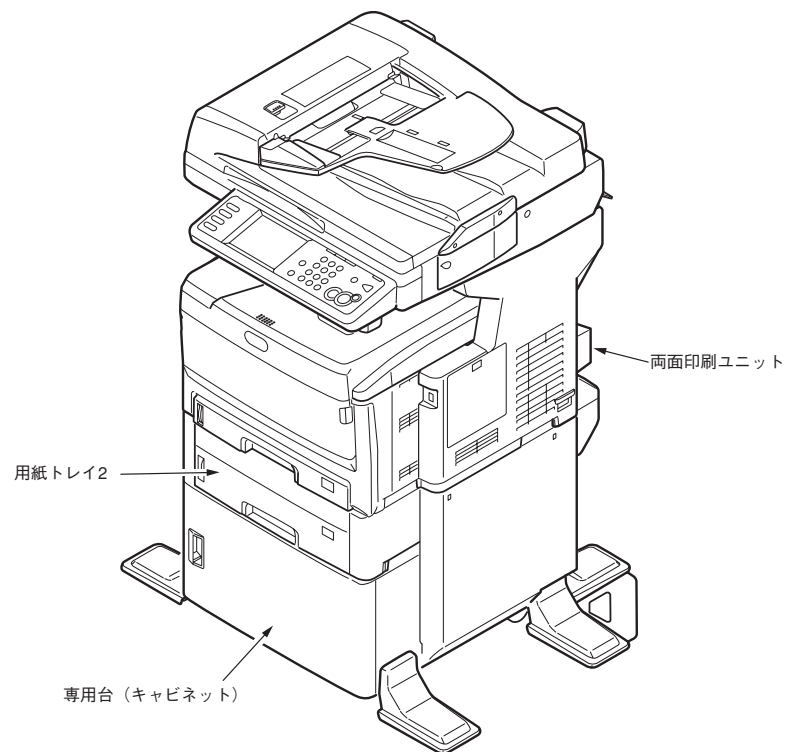
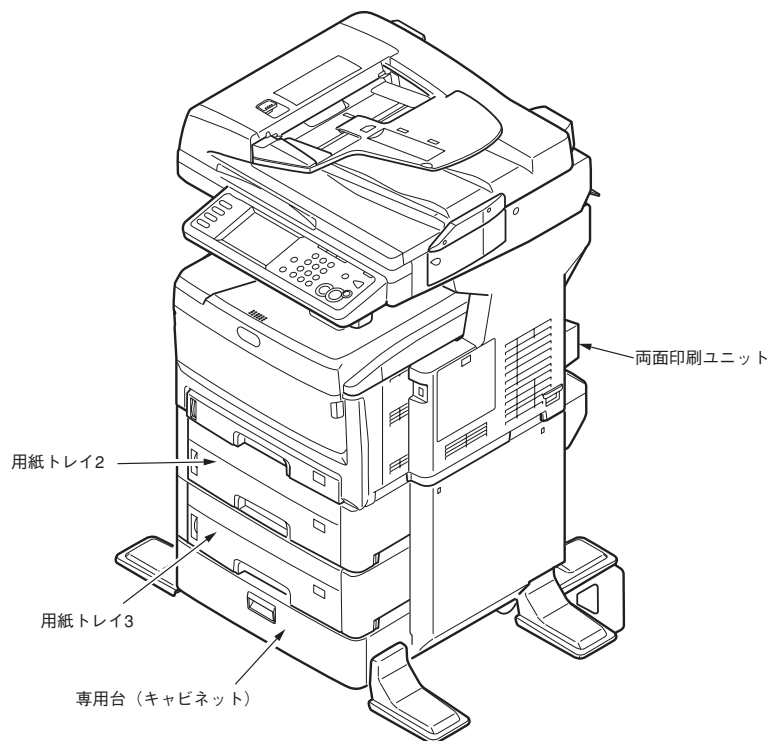
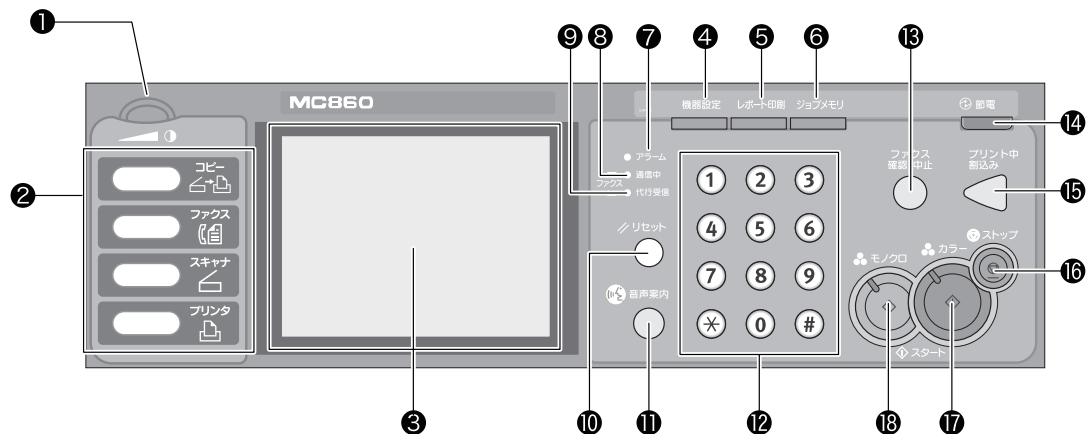
⚠注意

- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- 本機を移動するときは、本機の両側を持ってください。
- MC860 本体は重量が約 68kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。
- 大量に印刷したり、長時間連続してご使用になるときは、換気に心掛けてください。

■ 設置スペース

- 本機の足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- 本機の周りに十分なスペースを取ってください。

平面図（MC860dn）

側面図 (MC860dn)

平面図 (MC860dtn)

側面図 (MC860dtn)

各部の名称とはたらき

本体各部の名称とはたらき

構成部品およびオプション

操作パネルの名称とはたらき

番号	名　　称	はたらき	番号	名　　称	はたらき
1	液晶調整ボリューム	タッチパネルディスプレイの明るさを調整します。	10	＜リセット＞キー	操作を中止するときや、設定を取り消して初期値にするときに押します。
2	機能切り替えキー	コピー、ファクス、スキャン、プリンタと各種画面を切り替えるときに押します。選択されたキーが水色に点灯します。	11	＜音声案内＞キー	用紙がつまったときの解除方法や、機能の説明を音声で聞きたいときに押します。音声案内中や音声案内を聞くことができる場合はキーが黄緑色に点滅します。（109 ページ）
3	タッチパネルディスプレイ	画面に直接触れて操作することができます。	12	テンキー	ダイヤルするために番号を入力したり、コピー部数を指示したりする場合など、数字を入力するときに押します。
4	＜機器設定＞キー	機能を呼び出すときに押します。	13	＜ファクス確認／中止＞キー	通信を確認または中止することができます。
5	＜レポート印刷＞キー	各種レポートを出力するときに押します。	14	＜節電＞キー	待機時の消費電力を押さえるため、節電モードに入るときに押します。（59 ページ）
6	＜ジョブメモリ＞キー	ジョブメモリ機能（応用編）を登録するときに押します。	15	＜プリント中割込み＞キー	コンピュータからの印刷中に、他のコピーを優先させたいときに押します。プリント中割込みキーを押すと、キーが黄緑色に点灯します。
7	アラームランプ	エラーがおきると赤色に点灯します。	16	＜ストップ＞キー	機械の動作を中止するときに押します。
8	通信中ランプ	通信中に点灯します。	17	＜カラースタート＞キー	コピーやスキャンを開始する時に押します。
9	代行受信ランプ	用紙がなくなった場合など、メモリに受信データが入ると点灯します。	18	＜モノクロスタート＞キー	コピーやファクス、スキャンを開始する時に押します。

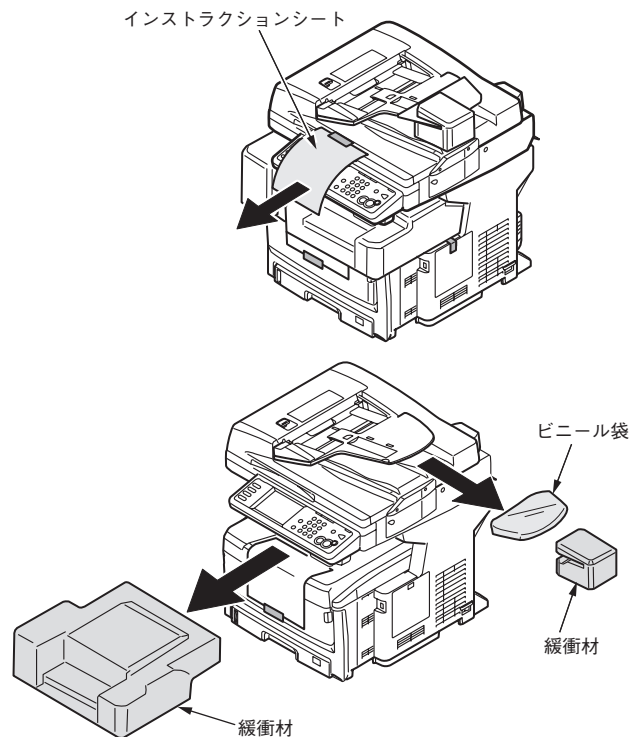
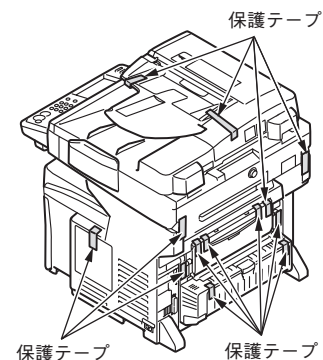
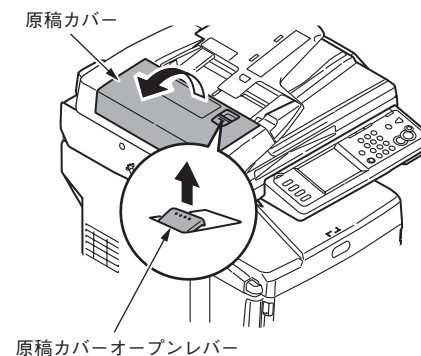
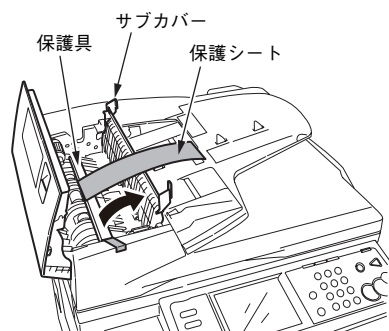
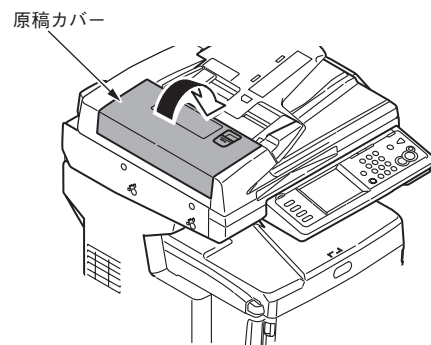
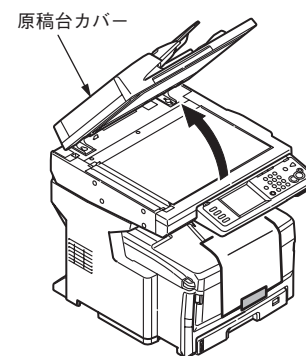
設置のしかた

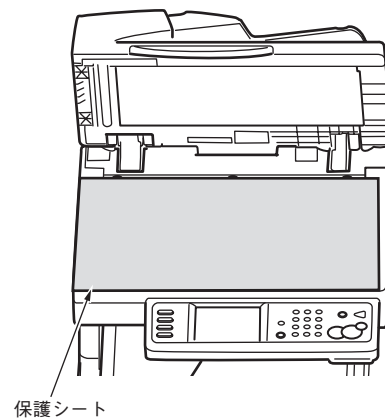
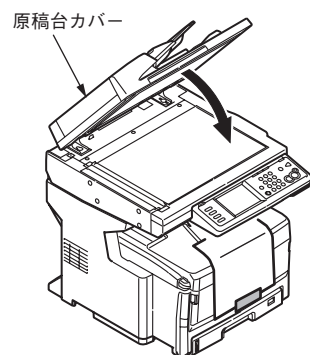
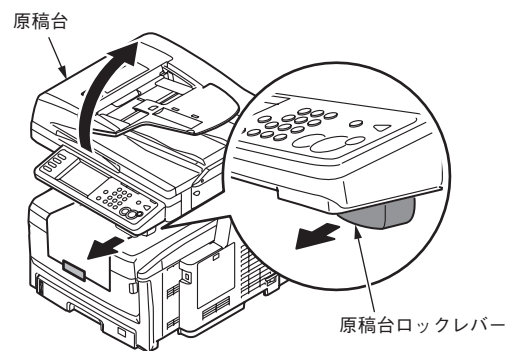
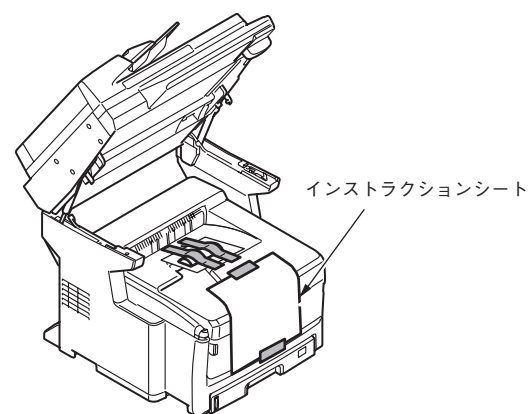
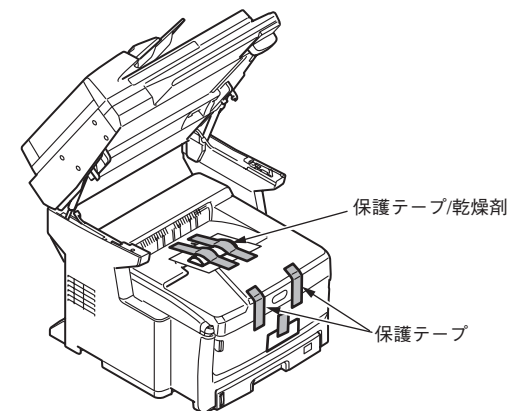
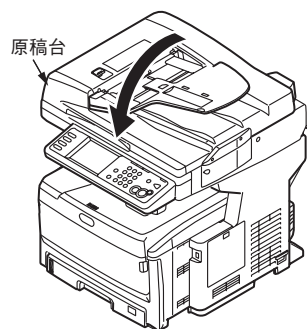
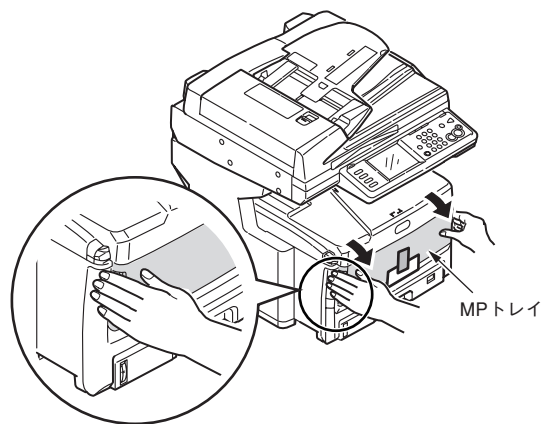
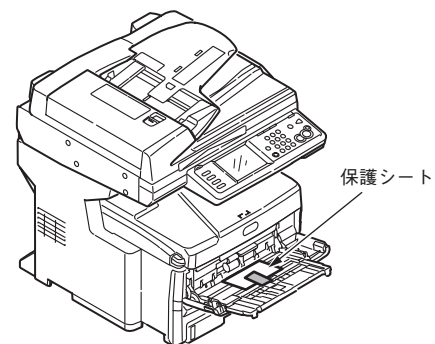
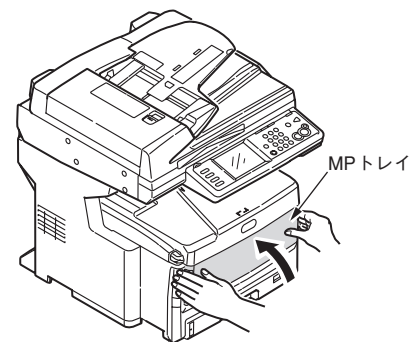
付属品を取り付ける

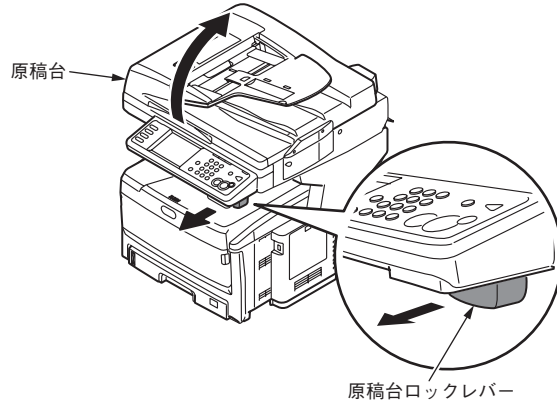
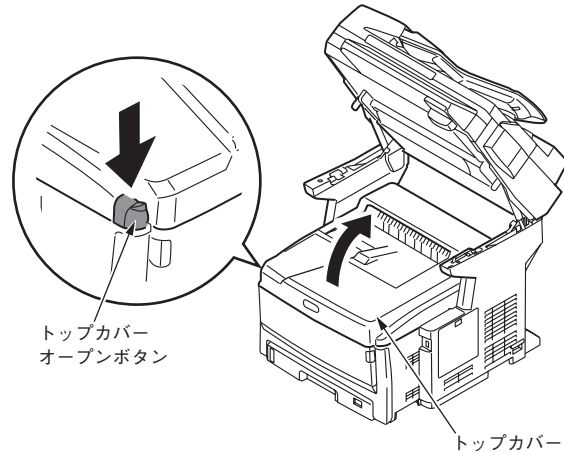
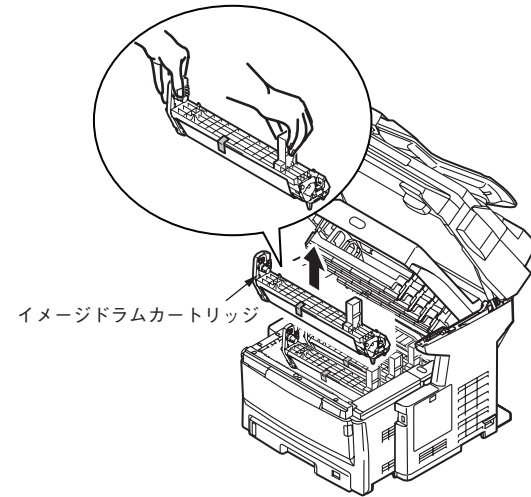
1 保護具を取り外します。

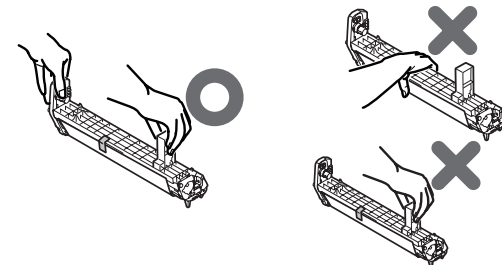
注 梱包箱や保護具は、装置を輸送するときに使いますので保管しておいてください。

❶ 梱包箱から装置を取り出し、インストラクションシートと緩衝材を取り除きます。

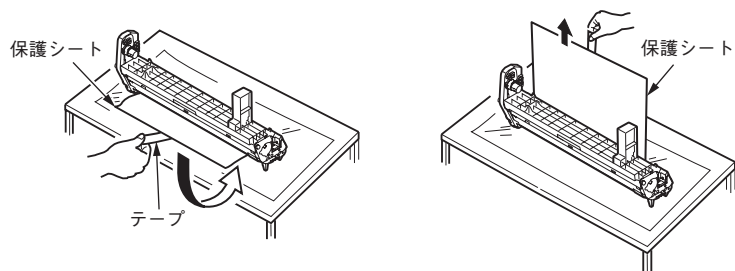
注 装置は必ず 3 人以上で持ってください。

❷ 背面、側面の保護テープをはがします。

❸ 原稿カバーオープンレバーを引き、原稿カバーを開けます。

❹サブカバーを開け、保護シートと保護具を取り外します。

❺原稿カバーを閉じます。

❻原稿台カバーを上げます。

❼保護シートを取り外します。

❽原稿台カバーを元の位置に戻します。

❾原稿台ロックレバーを手前に引き、原稿台を上げます。

❿インストラクションシートを取り除きます。

⓫保護テープ、乾燥剤を取り除きます。

⓬原稿台カバーを元の位置に戻します。

⓭MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

⓮保護シートを取り除きます。

⓯MPトレイを閉じます。

2 イメージドラムカートリッジを取り出します。

❶レバーを手前に引き、原稿台を持ち上げます。

❷トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

❸イメージドラムカートリッジ(4 個)を両手で静かに取り出します。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

〈イメージドラムカートリッジの持ち方〉

片手で持たないでください。

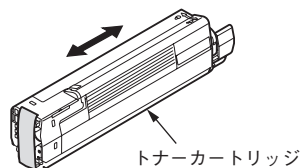
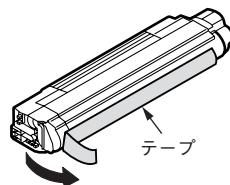
❹イメージドラムカートリッジを新聞紙等の上に置きます。

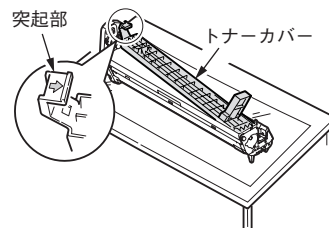
❺保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

3 トナーカートリッジをイメージドラムカートリッジにセットします。

必ず製品購入時に本製品に添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジをセットしてください。
交換用、もしくは他の製品で使用していたものを使用すると、本製品に添付されていたイメージドラムとトナーカートリッジは使用できなくなります。

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約2,300枚印刷可能です。
- トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズがA4、印字濃度が工場出荷設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。「ISO/IEC 19798」は、国際標準機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

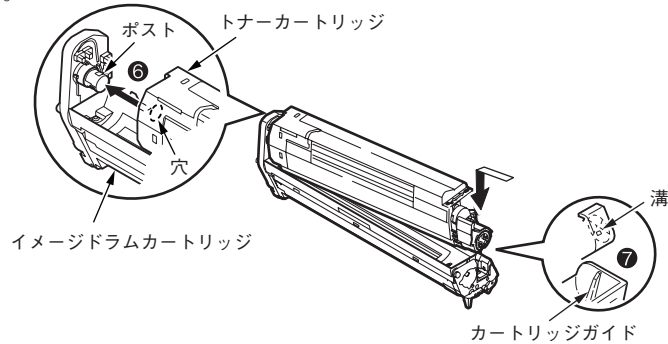
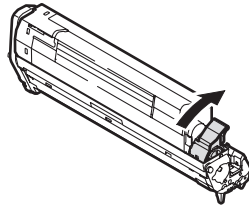
❶トナーカートリッジを包装袋から取り出します。

❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺イメージドラムカートリッジからトナーカバーを取り外します。

❻テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

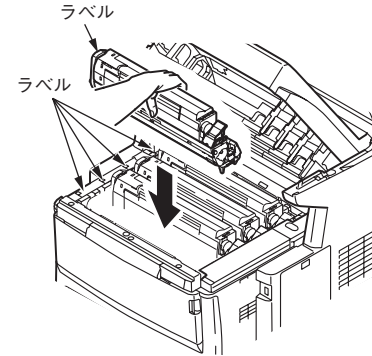
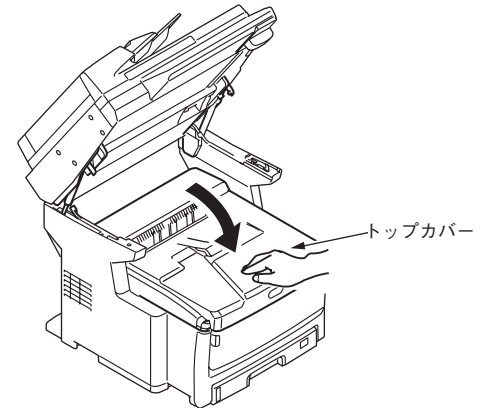
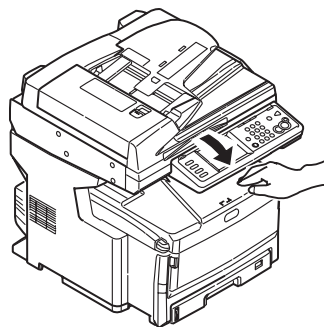
❼トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❽トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

注

- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジのレバーとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

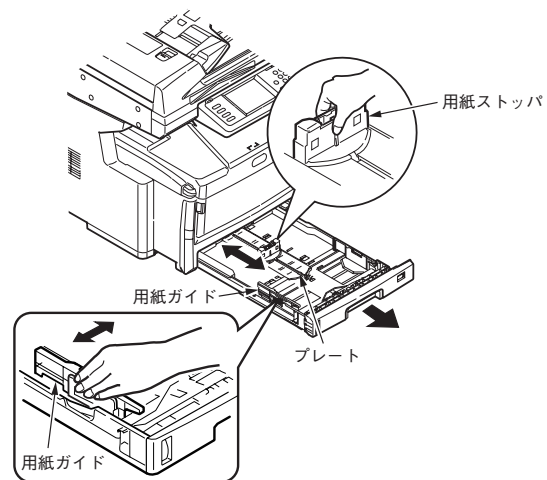
4 イメージドラムカートリッジを本体にセットします。

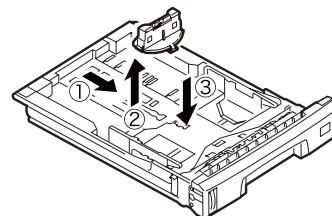
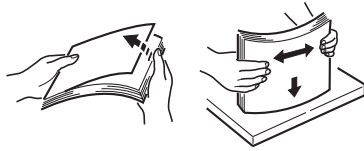
❶イメージドラムカートリッジのラベルの色と本機のラベルの色を合わせます。

❷イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに戻します。

❸トップカバーを閉じます。

❹原稿台を元の位置に戻します。

注 操作パネルの［トナーを交換してください］の表示がいつまでも消えないときは、トナーカートリッジのレバーが矢印の方向にいっぱいまで動かされているか確認してください。

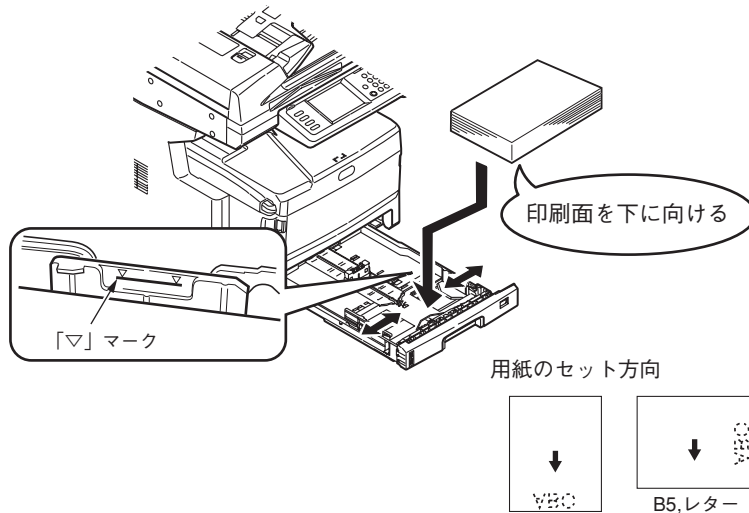
5 用紙カセットに用紙をセットします。

❶用紙カセットを引き出します。

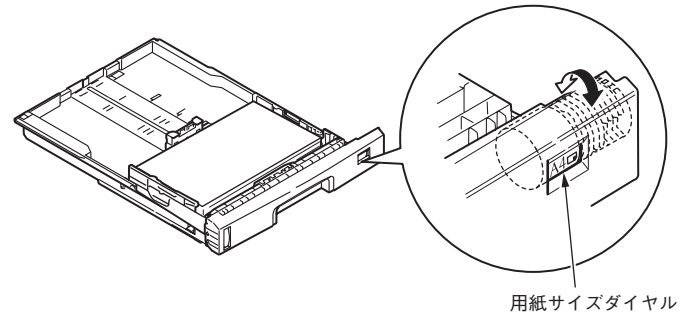
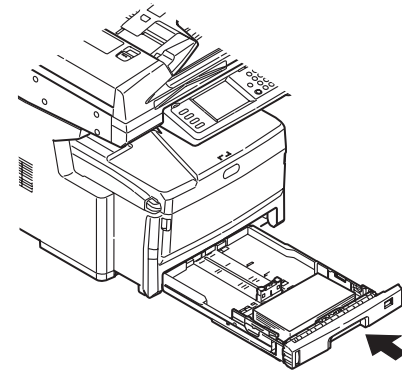
❷用紙ストッパと用紙ガイドを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

プレートについているコルクは、はがさないでください。

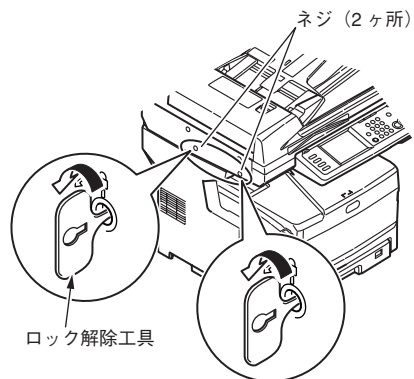
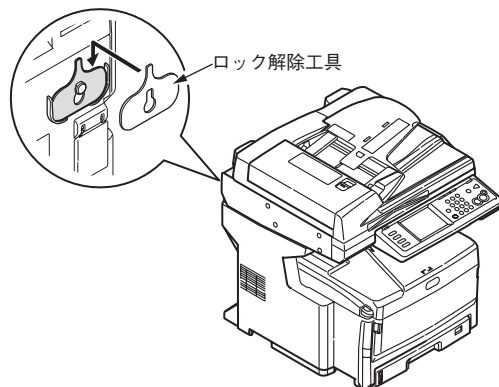
A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパを手前まで移動し、外してから図の位置に取り付け直します。

❸用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

注 適していない用紙を使用すると、装置が故障するおそれがあります。

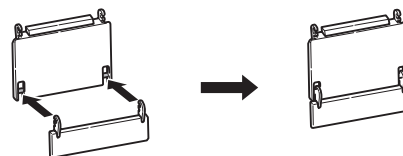
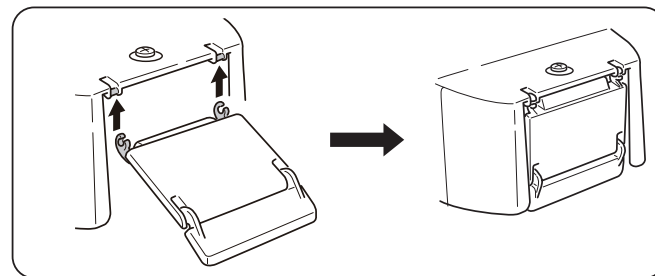
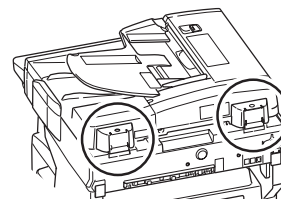
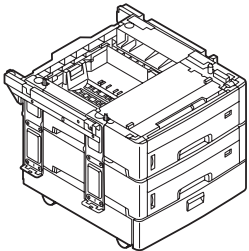
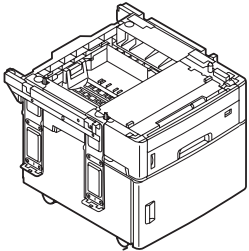
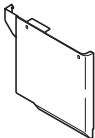
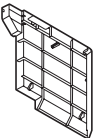
メモ 用紙については、「使用できる用紙」（61 ページ）を参考にしてください。

❹用紙カセットの手前側に、印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量 70kg（82g/m^2）紙で 300 枚）

❺用紙サイズダイヤルを、セットした用紙のサイズに合わせます。
セットした用紙の向きと、用紙サイズダイヤルの記号が合うようにしてください。

詳しくは、「用紙サイズダイヤルについて」（68 ページ）をご覧ください。

❻用紙カセットを装置本体に戻します。

6 ロックを解除します。

❶添付のロック解除工具で、側面のネジ（2ヶ所）を矢印の方向に回し、ロックを解除します。

❷ロック解除工具を、装置の背面に取り付けます。

7 カバープレートを取り付けます。

❶カバープレート（大）にカバープレート（小）を取り付けたものを、2組作ります。

❷カバープレートを、本体背面の図の位置（2ヵ所）に取り付けます。

増設トレイユニットを取り付ける

セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。最大２段のトレイを増設できます。１つのトレイに連量 70kg（82g/m^{2}）紙の場合 530 枚セットでき、標準の用紙トレイ、MPトレイと合わせて最大 1460 枚を連続して印刷できるようになります。MC860dn では、オプションとなります。

A6 用紙は使用できません。

メモ 増設したトレイを、トレイ 2、トレイ 3 と呼ぶことがあります。

増設トレイユニット	付属品
2段トレイ（ショートキャビネット付） 型名：TRY-C3D4	とめ具（4個） ネジ（24本） サイドカバー（左用） サイドカバー（右用） 転倒防止足カバー（6個） 転倒防止足うしろ用（2個） 転倒防止足まえ用（2個）
1 段トレイ（ロングキャビネット付） 型名：TRY-C3D5	

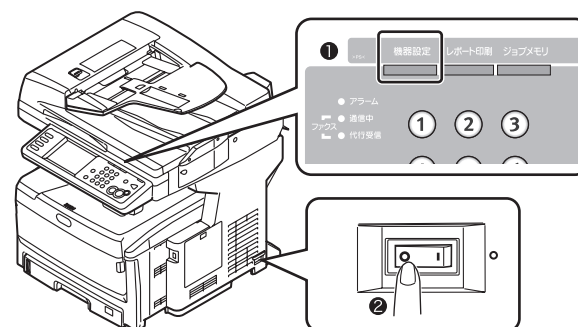
ここでは、2段トレイ（ショートキャビネット付）を取り付ける場合を例にしています。1段トレイ（ロングキャビネット付）も同様の手順で取り付けます。

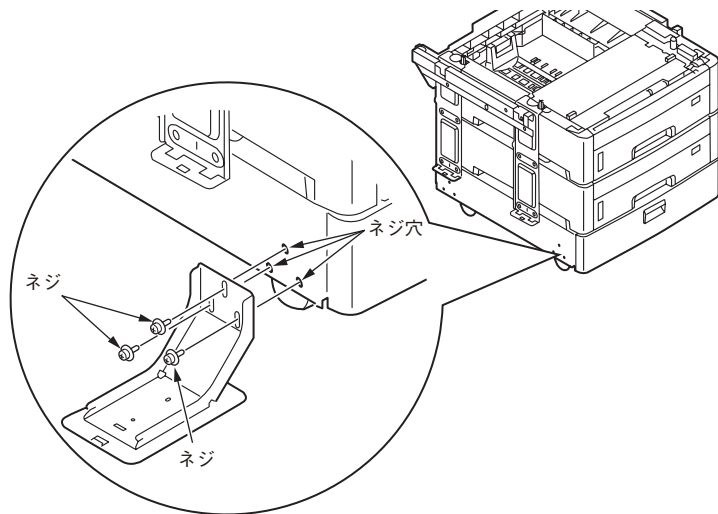
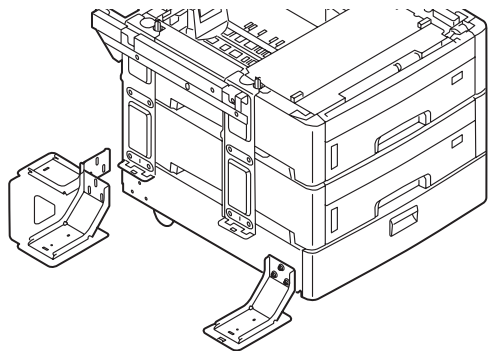
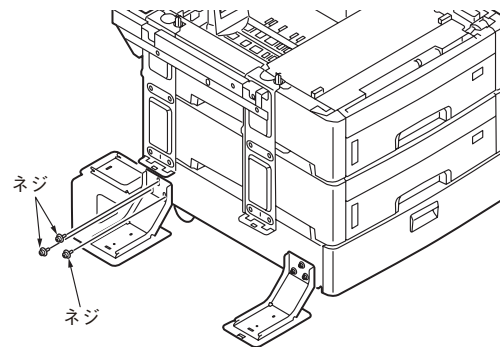
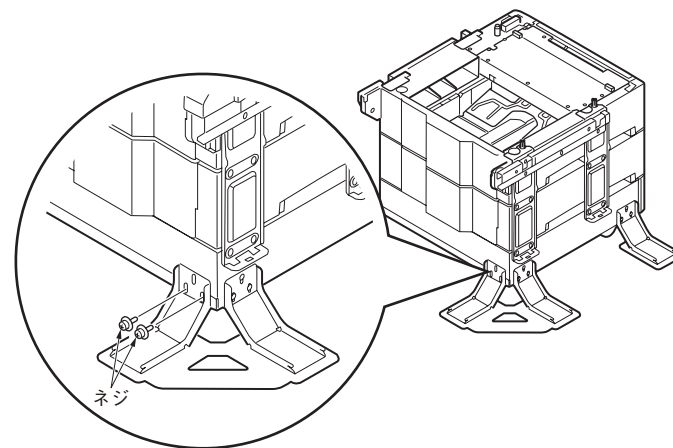
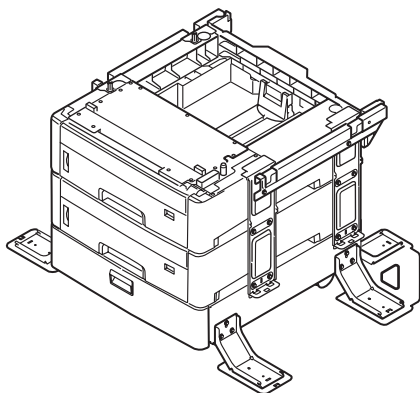
1 梱包箱から増設トレイユニットを取り出し、緩衝材、保護材を取り外します。

増設トレイユニットは、必ず 2 人以上で持ってください。

2 本機の電源を OFF にし、電源コード、ケーブル類を取り外します。

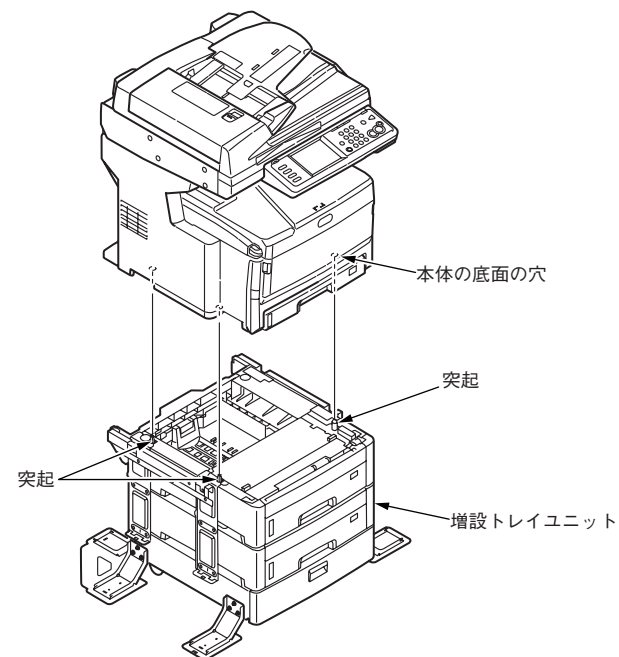
電源を ON のまま取り付けると、装置が故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源の切りかた」（60 ページ）をご覧ください。

3 転倒防止足を取り付けます。

❶転倒防止足（まえ用）を、増設トレイユニットの左側面に､3 本のネジでとめます。

❷転倒防止足（うしろ用）を、増設トレイユニットの左奥の角に合わせます。

❸左側面に、3 本のネジでとめます。

❹背面に、2 本のネジでとめます。

❺❶～❹と同じ手順で､右側面に､転倒防止足（まえ用）､（うしろ用）を取り付けます。

4 装置本体を増設トレイユニットに載せます。

MC860 本体は重量が約 68Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。

❶本体の底面の穴と増設トレイユニットの 3 ヶ所の突起の位置を合わせます。

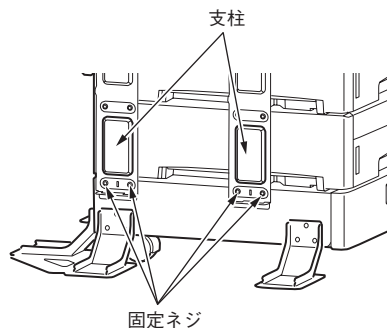
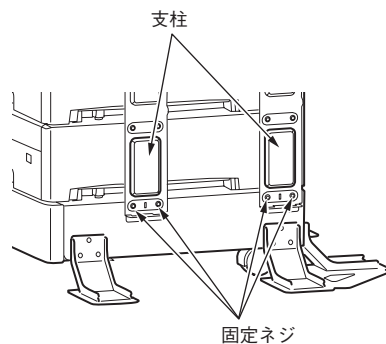
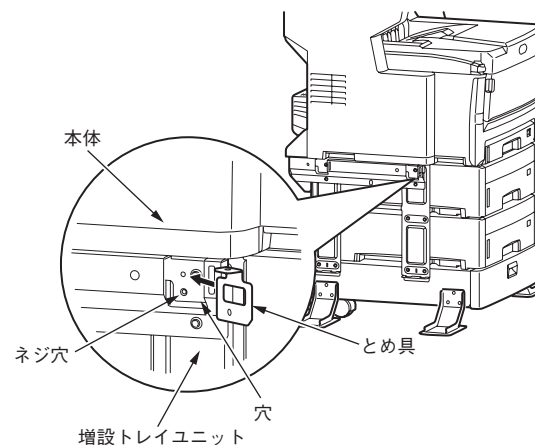
❷本体を増設トレイユニットの上に静かに載せます。

5 本体と増設トレイユニットを仮止めします。

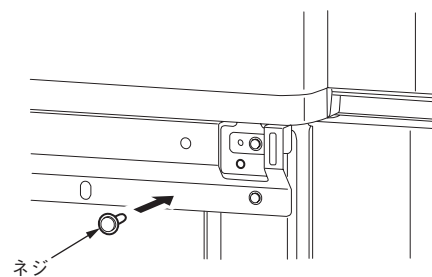
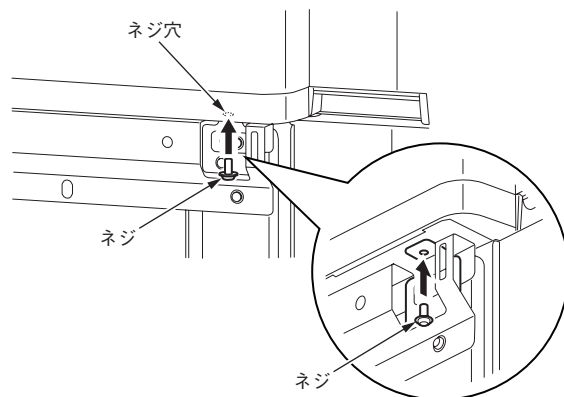
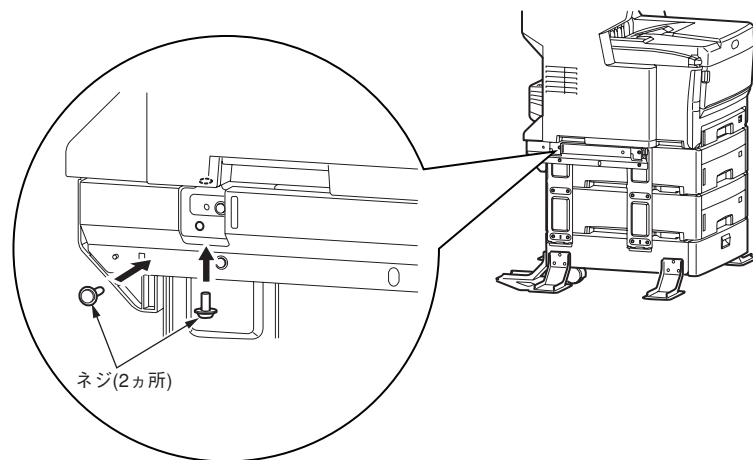
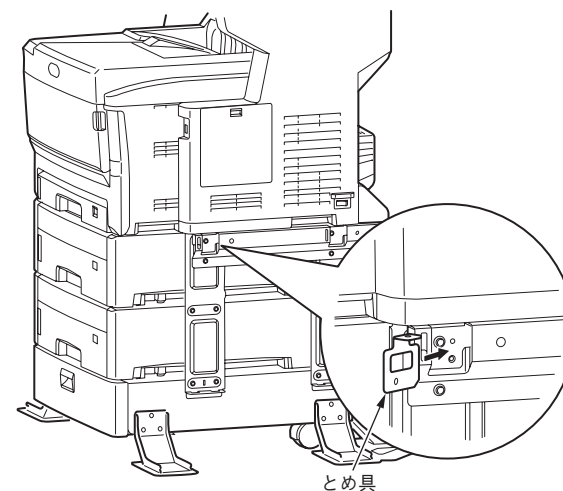
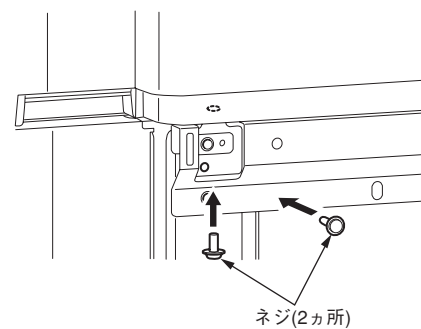
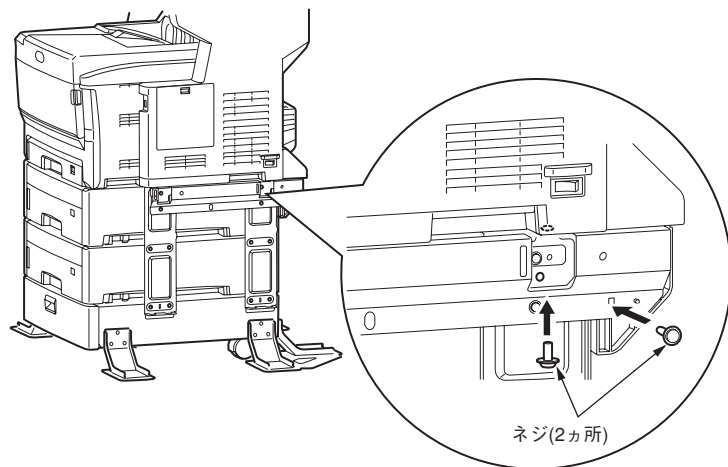
増設トレイユニットの支柱のネジ8ヶ所をゆるめてから、仮止めします。
仮止めする箇所は、左側面2か所、右側面2か所です。最初に左側面から行います。

ここではネジはきつくしめないでください。

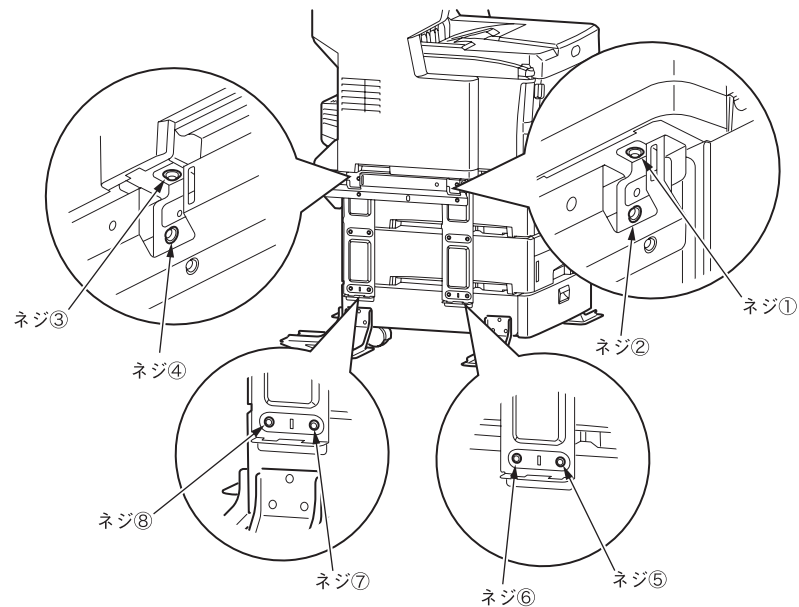
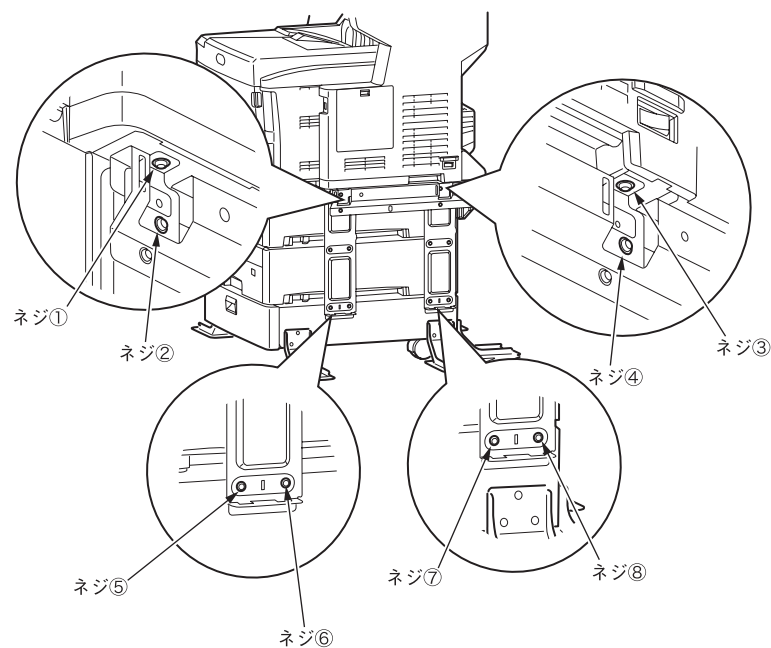
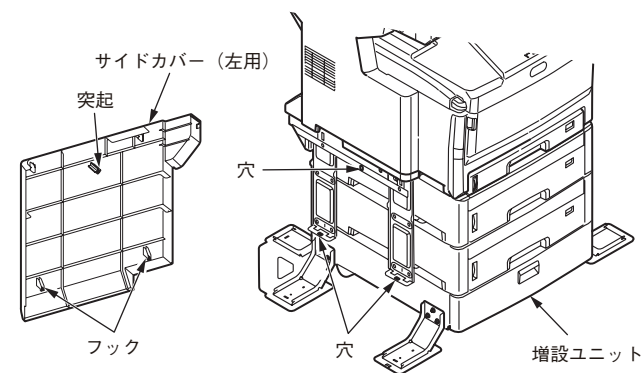
❶増設トレイの支柱の固定ネジ、左側面 4 ヶ所、右側面 4 ヶ所をゆるめます。

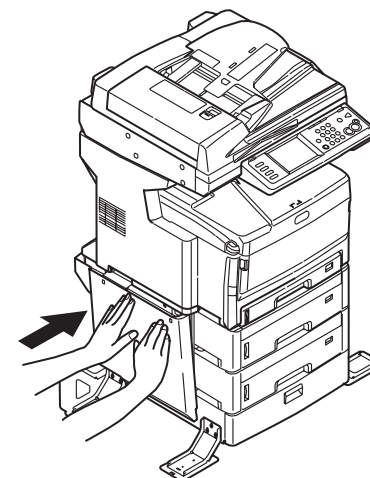
左側面

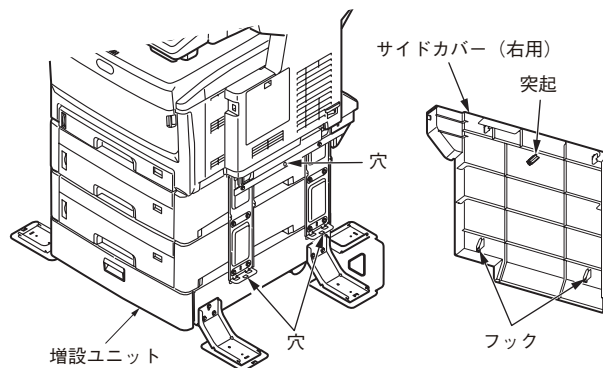
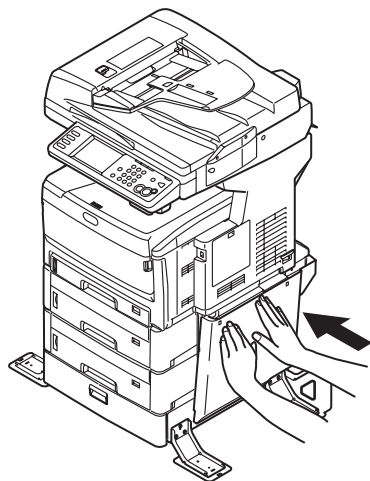
右側面

❷とめ具を、装置の左側面の手前側から取り付け位置に差し込みます。

❸とめ具の下の穴と、増設トレイユニットのネジ穴の位置を合わせ、ネジを差し込み、軽くしめます。

きつくしめないでください。

❹とめ具の上の穴と、本体のネジ穴の位置を合わせ、ネジを下から差し込み、 軽くしめます。

❺❷～❹の手順で、左側面の奥側を２か所、仮止めします。

❻とめ具を、装置の右側面の手前側から、取り付け位置に差し込みます。

❼❸～❹の手順で、右側面の手前側を仮止めします。

❽❻～❼の手順で、右側面の奥側を仮止めします。

6 本体と増設トレイユニットを固定します。

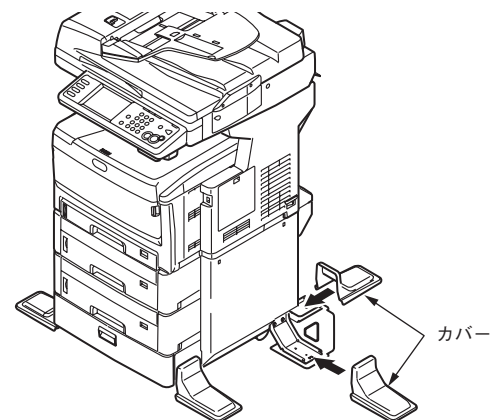
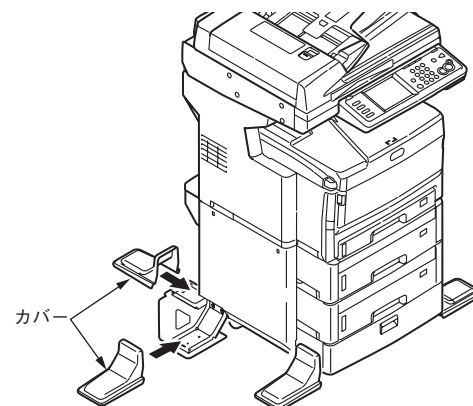
手順5でゆるめたネジ8ヶ所と仮止めしたネジ 8ヶ所、合計16ヶ所をしっかりしめます。

左側面

右側面

7 サイドカバーを取り付けます。

❶サイドカバー（左用）を準備します。

❷サイドカバー（左用）のフックを、増設トレイユニットの下側の穴にかけ、増設トレイユニット側に押し、取り付けます。

❸サイドカバーが確実に取り付けられていることを確認します。

❹サイドカバー（右用）を準備します。

❺❷〜❸と同様の手順で、右側面にサイドカバー（右用）を取り付けます。

❻左右のサイドカバーが確実に取り付けられていることを確認します。

8 転倒防止足カバーを取り付けます。

❶転倒防止足に、カバー（6ヶ所）をスライドさせて取り付けます。

❷転倒防止足カバーが確実に取り付けられていることを確認します。

9 本機を設置位置に移動し、前のキャスター（2 ヶ所）をロックします。

10 電源コード、ケーブル類を取り付け、電源を入れます。

11 操作パネルに増設トレイ付きの装置が表示されていることを確認します。

12 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

プリンタドライバで増設トレイユニットを認識させるための設定が必要です。

プリンタドライバをセットアップしていない場合は、「2 プリンタとして使うとき」(115ページ)を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

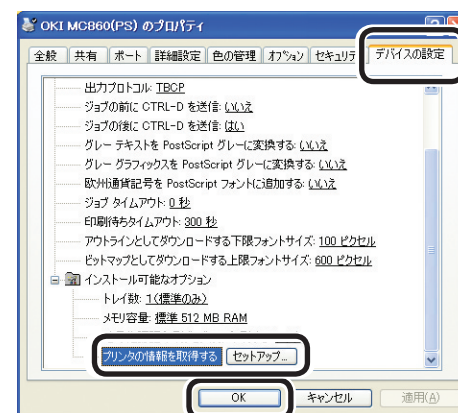
注 コンピュータの管理者の権限が必要です。

Windows PS プリンタドライバの場合

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MC860(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］で［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］または［プリンタの情報を取得する］をクリックします。USB 接続の場合は手動で［トレイ数］に適当な値を選択します。

❹［OK］をクリックします。

Windows PCL/PCL XPS プリンタドライバの場合

❶ Windows Vista/Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では、［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では、［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷［OKI MC860(PCL)］または［OKI MC860(PCL XPS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸［デバイスオプション］タブで［プリンタの情報を取得する］を選択します。
USB 接続の場合は手動で［利用可能な装置］に現在のトレイ総数を入力します。

❹［OK］をクリックします。

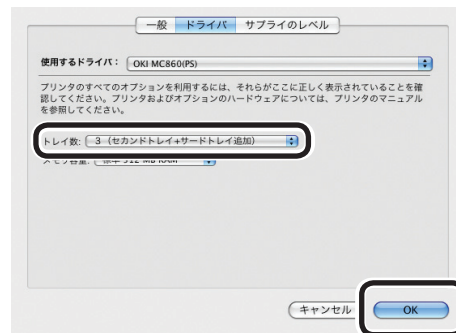
Mac OS X の場合

Mac OS X ではプリンタドライバをインストールする前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、「IP プリント」や「Bonjour(Rendezvous)」で接続した場合は自動的にデバイス情報が取得されません。「Apple Talk」で接続した場合にもプリンタドライバのインストール後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下の手順にてオプションを設定してください。

Mac OS X 10.5 をお使いの方

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。プリンタ名を選択し、［オプションとサプライ］をクリックし［ドライバ］タブを選択します。

❸［トレイ数］で該当する値を選択し［OK］をクリックします。

Mac OS X 10.5 以外をお使いの方

❶ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］-［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

❷［MC860］を選択し、［情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

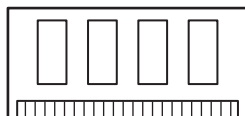
❸［インストール可能なオプション］を選択します。

❹［トレイ数］で適当な値を選択し、［変更を適用］をクリックします。

❺［プリンタ情報］を閉じます。

増設メモリ(オプション)を取り付ける

本機のメモリ容量を増やしたいときに取り付けます。[メモリオーバーしました] と表示されるときなどに追加します。
標準で 256MB のメモリが装着されています。さらに増設する場合は、256MB のメモリを外してください。

増設メモリ

型名：MEM512C

型　名	メモリ量（総メモリ量）
MEM512C	512MB（768MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 標準で取り付けてあるメモリを外し、増設メモリと入れ替えます。
- 長尺印刷を行う場合は、増設メモリの追加を推奨します。

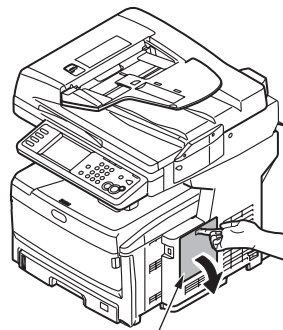
1 電源を OFF にし、電源コード、ケーブル類を取り外します。

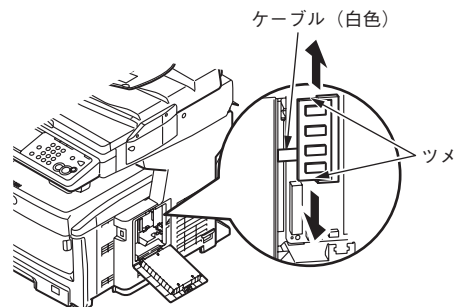
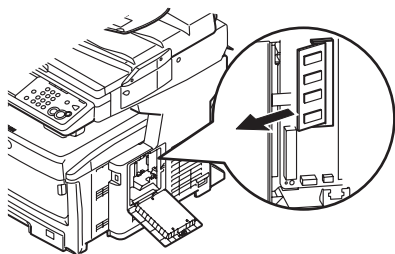
- 電源を ON のまま取り付けると、装置または増設メモリが故障するおそれがあります。
- 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。
- メモリの向きにご注意ください。メモリの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクタと勘合するようになっています。

メモ　電源の切り方は「電源の切りかた」(60 ページ) をご覧ください。

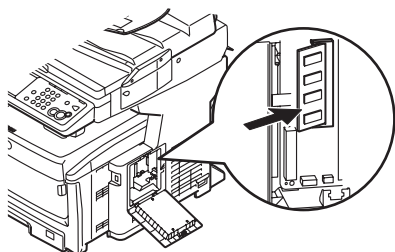
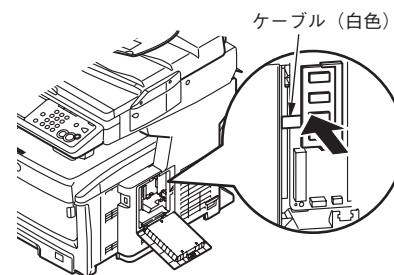
2 メモリを外します。

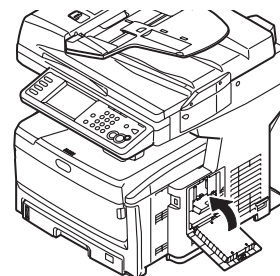
❶メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷サブカバーのくぼみに指を入れ、手前に引き、開きます。

❸取り付けてあるメモリの両端のツメを広げます。

メモリの左脇のケーブル（白色）には触らないでください。

❹メモリを取り外します。

3 増設メモリを取り付けます。

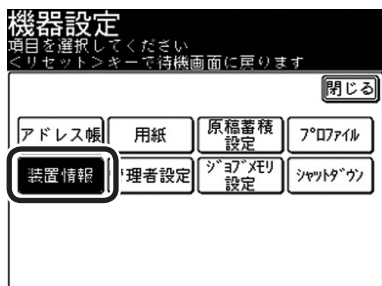
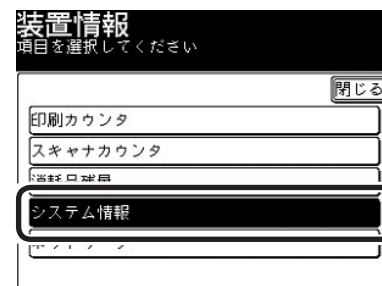
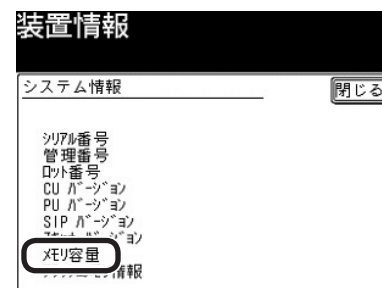
❶メモリをスロットに斜めに押し込みます。

注　メモリの左脇のケーブル（白色）には触らないでください。

❷メモリを装置側に押し、固定します。

❸メモリの左脇のケーブル（白色）がコネクタから抜けていないことを確認します。

❹サブカバーの扉を閉じます。

4 電源コード、ケーブル類を取り付け、電源を ON にします。

5 増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

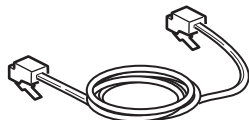
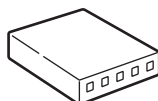
❶<機器設定>キーを押します。

❷［装置情報］を押します。

❸［システム情報］を押します。

❹メモリ容量を確認します。

メモリ容量が正しく表示されない場合は、メモリを取り付け直してください。

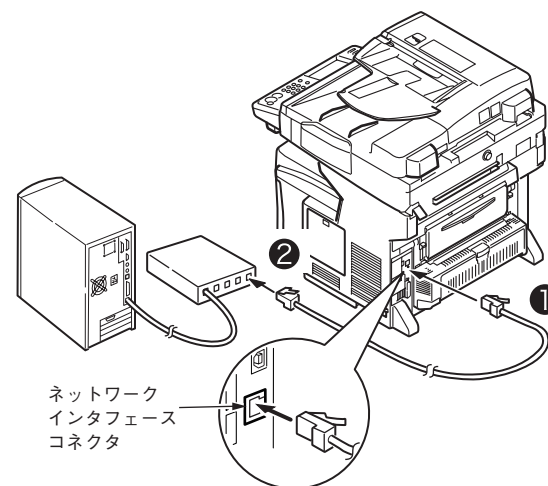
インターフェースケーブルを接続する

ネットワークケーブルを接続する

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

イーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉 〈ハブ〉

2 本機をネットワークに接続します。

❶イーサネットケーブルを本機のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❷イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

USB ケーブルを接続する

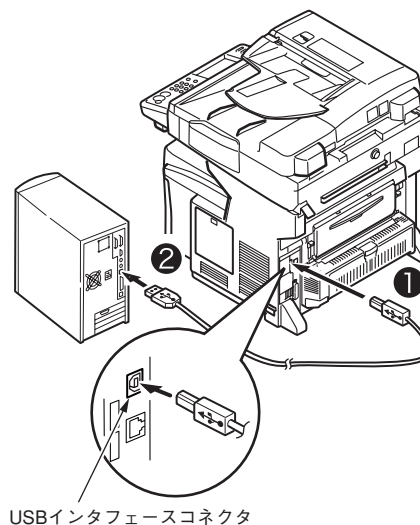
1 USB ケーブルを準備します。

- USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 USB ケーブルを接続します。

❶USB ケーブルを本機の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

電話線ケーブルを接続する

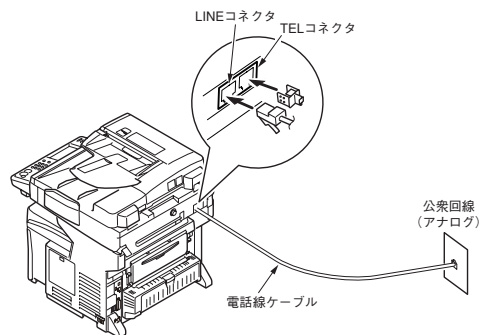
お使いの環境によって、電話線ケーブルの接続のしかたが異なります。次の図を参考に、ご自身の環境に合うように接続してください。

- ISDN 回線には接続できません。ISDN 回線に接続するには、ターミナルアダプタが必要になります。
- 必ず添付の電話線ケーブルを使用してください。添付以外の電話線ケーブルを使用すると誤作動することがあります。

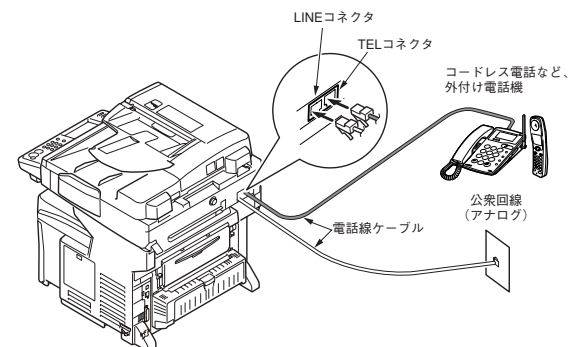
1 お使いの環境に合った接続を行います。

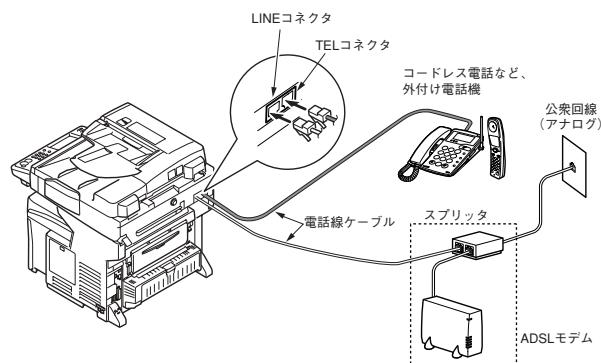
■公衆回線に接続する場合
（ファクス専用（本機に電話機を接続しない場合）として使う場合）

電話線ケーブルを本機の「LINEコネクタ」に差し込みます。

本機の添付品のカバーを「TELコネクタ」に差し込みます。

■公衆回線に接続する場合
（本機に電話機を接続する場合）

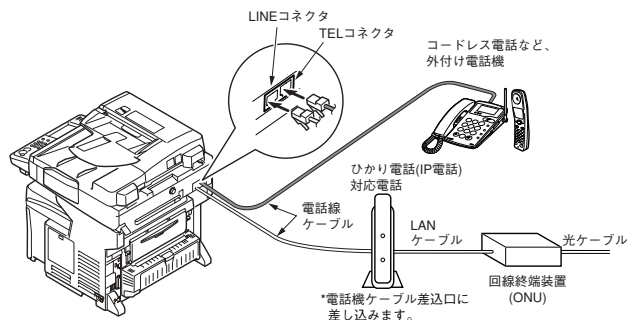
公衆回線（アナログ）に繋いだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。

外付け電話機の電話線ケーブルを「TELコネクタ」に差し込みます。

■ADSL 環境に接続する場合

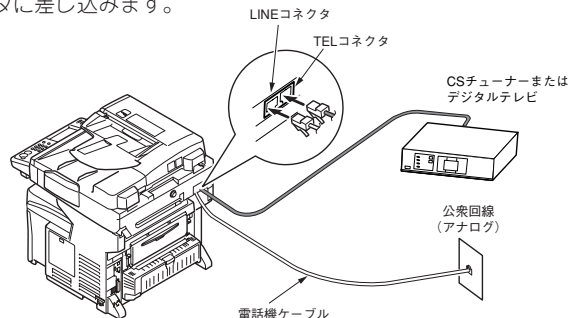
ADSLモデムに繋いだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。
外付け電話機の電話線ケーブルを「TELコネクタ」に差し込みます。

■ひかり電話(IP電話)に接続する場合

ひかり電話(IP電話)対応電話につないだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。

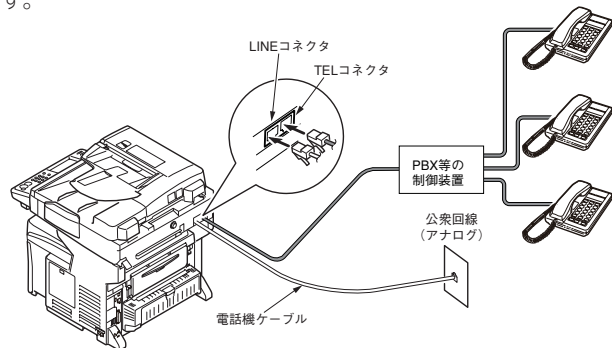
外付け電話機の電話線ケーブルを「TELコネクタ」に差し込みます。

スーパー G3 で通信する場合、プロバイダーの通信品質が保証されていることをご確認ください。

■CS チューナーやデジタルテレビを接続する場合

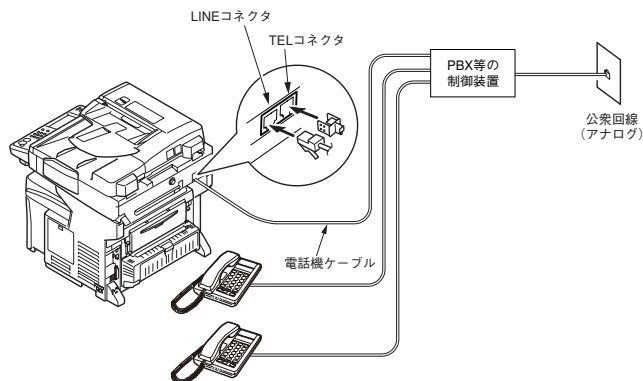
公衆回線(アナログ)に繋いだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。

CSチューナーまたはデジタルテレビに繋いだ電話ケーブルを「TELコネクタに差し込みます。

■構内交換機(PBX)、ホームテレホン、ビジネスホンを接続する場合

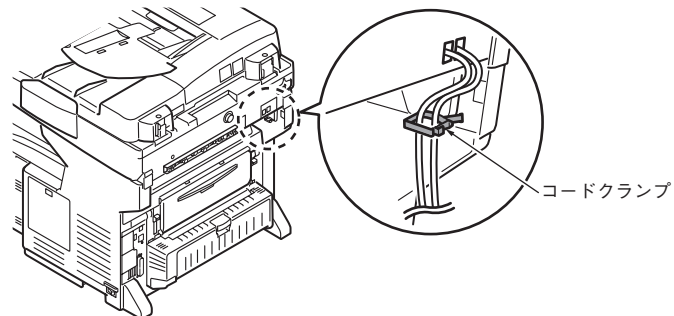
公衆回線(アナログ)に繋いだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。

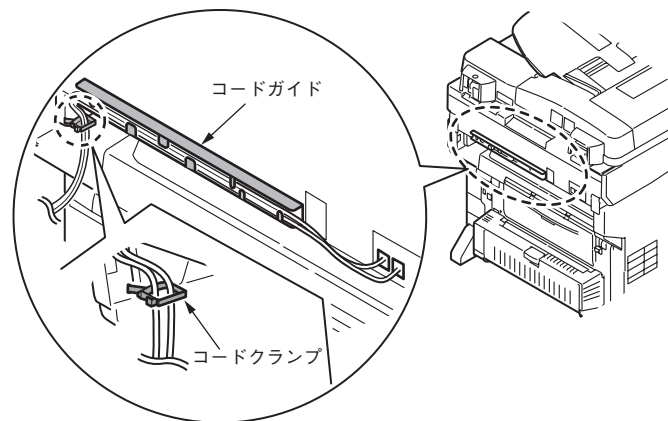
PBX等の制御装置に繋いだ電話線ケーブルを「TELコネクタ」に差し込みます。

■内線電話として接続する場合

PBX等の制御装置に繋いだ電話線ケーブルを「LINEコネクタ」に差し込みます。

本機の添付品のカバーを「TELコネクタ」に差し込みます。

2 ケーブル類をまとめます。

■ 右側にケーブル類をまとめるとき

右側のコードクランプに、ケーブル類をまとめます。

■ 左側にケーブル類をまとめるとき

ケーブル類をコードガイドに通し、左側のコードクランプにまとめます。

電源を入れる

電源の条件

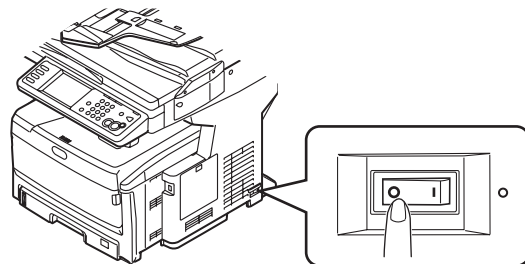
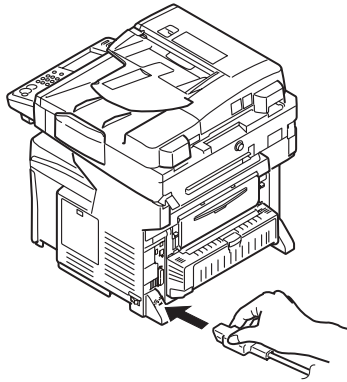
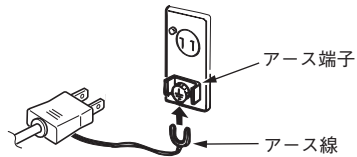
⚠警告　火災や感電のおそれがあります。

- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチを OFF にしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- 水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源を繋ぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本機と他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによって本機が誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。他の製品用の電源コードを本機に使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、正常に動作しない場合があります。
- 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- 添付の電源コードを他の製品に使用しないでください。

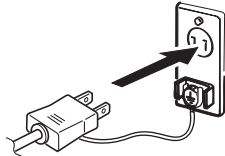
- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　:　100V ± 10%
  電源周波数　:　50Hz または 60Hz ± 2%
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本装置の最大消費電力 1300W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS（無停電電源）やインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。

電源スイッチについて

1 電源コードを接続します。

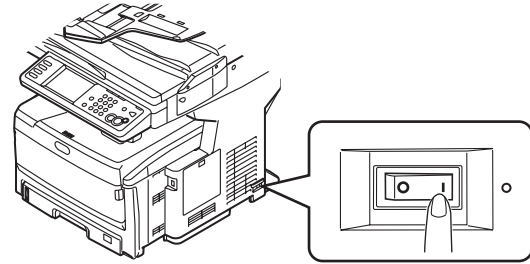
❶電源スイッチが OFF（O）になっていることを確認します。

❷電源コードを本機に差し込みます。

❸アース線をコンセントのアース端子に接続します。

警告	感電のおそれがあります。	

必ずアース線を接続してください。

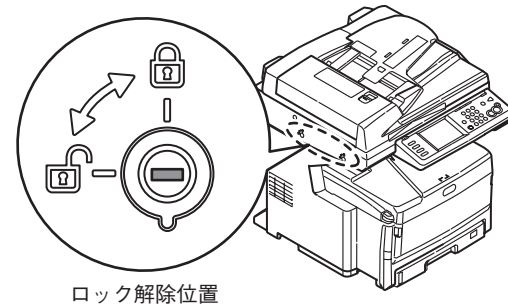
❹電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチを入れます。

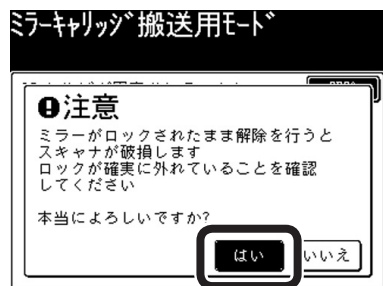
❶原稿台に原稿がないことを確認します。

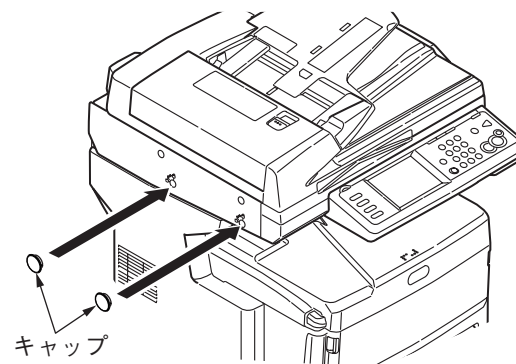
❷自動原稿送り装置の原稿トレイに原稿がないことを確認します。

❸電源スイッチ電源スイッチの ON（I）を押します。

3 キャリッジ搬送モードを解除します。

❶本機の側面のロック(2ヶ所)が解除されていることを確認します。
ネジが下のイラストの位置にあるときは、ロックが解除されています。

ロック解除位置

❷操作パネルに下の画面が表示されたら、[解除]を押します。

❸[はい]を押します。

❹待機画面が表示され、使用できるようになります。

❺ロック部の穴(2ヶ所)にキャップをします。

<節電>キーと節電モード

しばらく本機を使用しないと、機器の消費電力を押さえる節電モードに入ります。
節電モードを解除したり、節電モードに入ったりするには<節電>キーを使用します。

▪ 節電モード（パワーセーブモード）

- <節電>キーを押すと、節電モードになります。
- 5 分間機械を使わないと、自動的に節電モードに入ります。

節電モードに入るまでの時間を変更したいときは、<機器設定>キー押し、[管理者設定] - [機器管理] - [節電モード] - [パワーセーブ移行時間] で設定します。詳しくは応用編「操作パネルを使うとき」をご覧ください。

- 節電モード中でも、原稿読み取り済みのメモリ送信や受信原稿の印刷は可能です。
- 節電モードのとき、着信ベル回数は設定した値より長くなります。
- 節電モード中は<節電>キーが赤色に点灯します。
- 節電モード中に<節電>キーを押すと、通常の待機状態に戻ります。

エラーが発生している場合（例えば、「トナーがなくなりました」と表示しているときなど）は、<節電>キーは無効です。

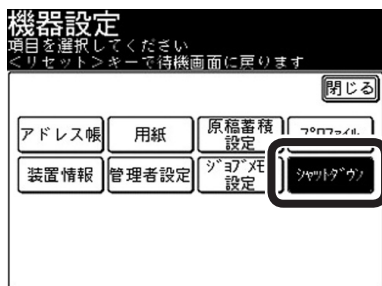
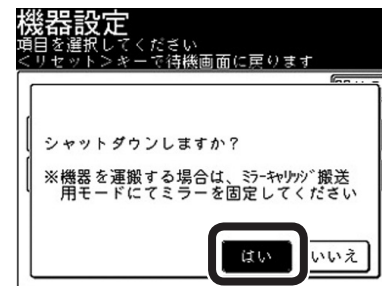
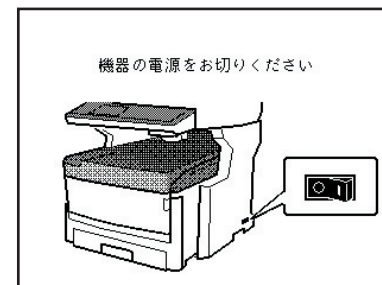
節電モードを解除するときに、ガラス面に原稿をセットしたままになっていると、原稿サイズが正しく認識できませんので、原稿台カバーの開閉を行ってください。

電源の切りかた

電源を切るときは、必ず以下の手順で行ないます。

いきなり電源スイッチを OFF にしないでください。装置が故障する恐れがあります。

1 操作パネルの＜機器設定＞キーを押します。

2 ［シャットダウン］を押します。

3 ［はい］を押します。

4 下の画面が表示されたら、電源スイッチを OFF にします。

メモ 手順 1 で、＜機器設定＞キーを押さずに、＜節電＞キーを 5 秒以上押すと、手順 3 の画面を表示します。

用紙・原稿のセットのしかた

用紙について

使用できる用紙

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満足する用紙を使用する必要があります。弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

■ 用紙の種類、サイズ、厚さについて

注 用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法や排出方法に制限があります。

種類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚さ
普通紙	A3	297 × 420	連量 55 ～ 172 ㎏(64～200g/㎡) 両面印刷の場合は、連量 55 ～ 90 ㎏(64 ～ 105g/㎡)。使用できる用紙サイズは、「A3、A4、A5、B4、B5、レター、リーガル(13 インチ)、リーガル(13.5 インチ)、リーガル(14 インチ)、エグゼクティブ」です。
	A4	210 × 297	
	A5	148 × 210	
	A6	105 × 148	
	B4	257 × 364	
	B5	182 × 257	
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
	リーガル(13 インチ)	215.9 × 330.2 (8.5 × 13)	
	リーガル(13.5インチ)	215.9 × 342.9 (8.5 × 13.5)	
	リーガル(14 インチ)	215.9 × 355.6 (8.5 × 14)	
	エグゼクティブ	184.2 × 266.7 (7.25 × 10.5)	
	カスタム	幅 64 ～ 297 長さ 105 ～ 1200	連量 55 ～ 172 ㎏(64～200g/㎡)
はがき	はがき	100 × 148	郵便はがき
	往復はがき	148 × 200	

種類	サイズ　単位：mm（インチ）		厚さ
封筒	封筒(長形 3 号)	120 × 235	85g/㎡の紙を使用したもの
	封筒(洋形 0 号)	120 × 235	
	封筒(洋形 4 号)	105 × 235	
	封筒(角形 2 号)	240 × 332	
	封筒(角形 3 号)	216 × 277	
	Com-10	104.8 × 241.3 (4.125 × 9.5)	24lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	DL	110 × 220 (4.33 × 8.66)	
	C5	162 × 229 (6.4 × 9)	
	C4	229 × 324 (9 × 12.8)	
ラベル紙	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.2 ㎜
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 172 ㎏(64～200g/㎡)
カラー用紙	普通紙に準じます。		連量 55 ～ 172 ㎏(64～200g/㎡)
OHPフィルム	A4	210 × 297	0.1 ～ 0.125mm
	レター	215.9 × 279.4 (8.5 × 11)	

■ 普通紙

次の条件に合った用紙を使用してください。

- 推奨紙： OKI カラーページプリンタ用紙　エクセレントホワイト A4（型名：PPR-CA4NA），A3（型名：PPR-CA3NA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[普通紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[普通紙]
  用紙厚　：[普通紙]
  両面印刷の場合は、エクセレントホワイト A4（厚口）（型名：PPR-CA4DA），A3（厚口）（型名：PPR-CA3DA）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類：[普通紙]
  用紙厚　：[厚い紙]
- 弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。
- 用紙の厚さが連量 55 ～ 172kg（64 ～ 200g/m^2）の用紙
- 電子写真プリンタ用紙（トナーを用いるプリンタで使用する用紙です）
- 電子写真コピー用紙（トナーを用いる一般の複写機などで使用する用紙です）
  カラー電子写真プリンタ用紙、カラー電子写真コピー紙を推奨します。
- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙です）
  （グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています。）
  再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

再生紙では、用紙全体に薄くトナーが付着したり、印刷が薄いことがあります。再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

・厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
・MPトレイで印刷するとシワが出ることがあります。このような場合は用紙カセットから給紙してください。
・熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
・用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
・用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。

■ はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

・印刷後は反りが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。

■ 封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンタ用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85g/m^2 の紙を使用した封筒

・印刷後は反りやシワが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり約 5mm は印刷品位が低下することがあります。
・封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
・角形 2 号封筒は手差しで印刷します。

■ ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙： LBP-F7xxx（コクヨ製）（総厚：0.1 ～ 0.2mm）
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[ラベル紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類　：[ラベル紙]
  用紙厚　：[より厚い紙]
- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンタの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ～ 0.2mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

■ 部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満足している用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの

・印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2mm、用紙の斜行：± 1mm/100mm、画像伸縮：± 1mm/100mm（連量 70kg（82g/m^2）の場合）
・インクの上に印刷することはできません。

■ カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230℃に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンタ用の用紙

■ OHP フィルム

次の条件に合った OHP フィルムを使用してください。

- 推奨紙： ML カラー OHP シート MLOHP01
  プリンタドライバの用紙厚の設定：[OHP シート]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類　：[OHP]
  用紙厚　：設定不要
- 用紙サイズは A4、レターのみ使用できます。
- 電子写真プリンタ用または乾式 PPC 用に作られた OHP フィルム
- プリンタの熱定着工程で、融けたり、変質したり、反りが起きない OHP フィルム
- 用紙の厚さが 0.1 ～ 0.125mm の OHP フィルム

・OHP フィルムは透明なプラスチックでできているため、印刷品質が低下することがあります。
・印刷後はうねりが発生することがあります。
・用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・トナーの定着が低下することがあります。
・表面に滑りやすいコーティングをした OHP フィルムは滑って吸入できないことがあります。
・推奨紙以外の OHP フィルムを使用すると、種類によっては定着器ユニットのローラに巻きついたりし、装置が故障するおそれがあります。
・OHP 装置は透過型を使用してください。反射型では良好な投影が得られないことがあります。

■ 長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- 推奨紙：エクセレントホワイト
  A4 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，
  110kg, 型名：PPR-CT4DA）
  A3 長尺（OKI カラーページプリンタ用紙，
  110kg, 型名：PPR-CT5DA）

  プリンタドライバの用紙厚の設定：[より厚い紙]
  操作パネルで設定する場合は、用紙種類　：[普通紙]
  用紙厚　：[より厚い紙]

- 用紙サイズは幅 210 ～ 297mm、長さ 356 ～ 1200mm　連量 110kg（128g/m²）

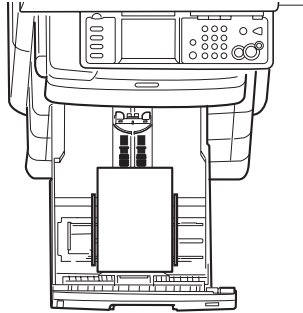
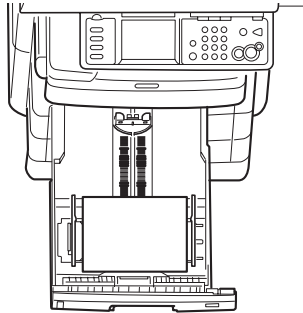
・長尺用紙にコピーすることはできません。
・厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
・用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
・熱転写プリンタ、インクジェットプリンタ等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
・用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
・用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
・連量 110kg 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
・必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

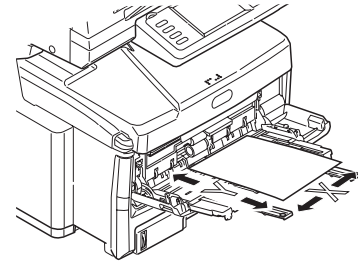
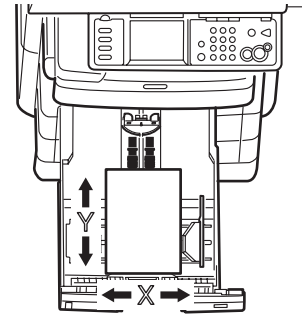
使用できない用紙

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、繊維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 高温多湿により波打ちが発生した紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・スターチ・薬品などで特殊加工、耐熱性（230 度）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンタ用紙、インクジェット用の用紙、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- インクジェット用はがき
- 2mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に絹目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒

、記号について

記号は、用紙を装置正面から見て縦に置くことを表します。

記号は、用紙を装置正面から見て横に置くことを表します。

用紙の幅と長さ

用紙の大きさを表す場合、X 辺を幅、Y 辺を長さと呼びます。

用紙の保管方法

用紙の保管が悪いと、湿気を吸収したり、変色、反りが発生します。このような用紙で印刷すると印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えますので注意が必要です。また実際にお使いになるまで包装紙は開けないでください。

次のような場所に保管してください

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度 20℃、湿度 50% RH の環境

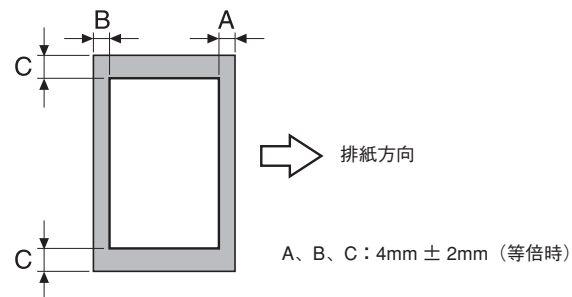
次のような場所はさけてください

- 床の上に直接置く
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

長期間放置した用紙を使用した場合、正常に印刷できないことがあります。

印刷領域

以下に示す領域の画像は印刷されませんので注意してください。

用紙の先端より 4mm ± 2mm（等倍時）のエリア（A）
用紙の後端より 4mm ± 2mm（等倍時）のエリア（B）
用紙の端より 4mm ± 2mm（等倍時）のエリア（C）

用紙のセットのしかた

用紙の給紙と排出について

◎：片面、両面印刷とも使用できます
○：片面印刷のみ使用できます
⟁：一部のサイズで使用できます（片面印刷、両面印刷とも）
△：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
×：使用できません

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙トレイ *1		MP トレイ手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2 トレイ 3			
普通紙	連量 55 ～ 70kg (64 ～ 82g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム *3	⟁ *4	⟁ *5	⟁	⟁	⟁ *4
	連量 71 ～ 90kg (83 ～ 105g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム *3	⟁ *4	⟁ *5	⟁	⟁	⟁ *4
	連量 91 ～ 103kg (106 ～ 120g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム *3	△ *4	△ *5	○	○	△ *4

種類	厚さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙トレイ *1		MP トレイ手差し	フェイスアップ（表排出）	フェイスダウン（裏排出）
			トレイ 1	トレイ 2*2 トレイ 3			
普通紙	連量 104 ～151kg (121 ～ 176g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	△ *5	○	○	△ *4
	連量 152 ～172kg (177 ～ 200g/m²)	A3, A4, A5 B4, B5, レター リーガル (13 インチ) リーガル (13.5 インチ) リーガル (14 インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム *3	×	×	○	○	×
はがき *6	—	はがき、往復はがき	×	×	○	○	×
封筒 *6	—	封筒（長形 3 号） 封筒（洋形 0 号） 封筒（洋形 4 号） 封筒（角形 2 号） 封筒（角形 3 号） Com-10, DL C5, C4	×	×	○	○	×
ラベル紙 *6	—	A4	×	×	○	○	×
OHP フィルム	—	A4, レター	×	×	○	○	×

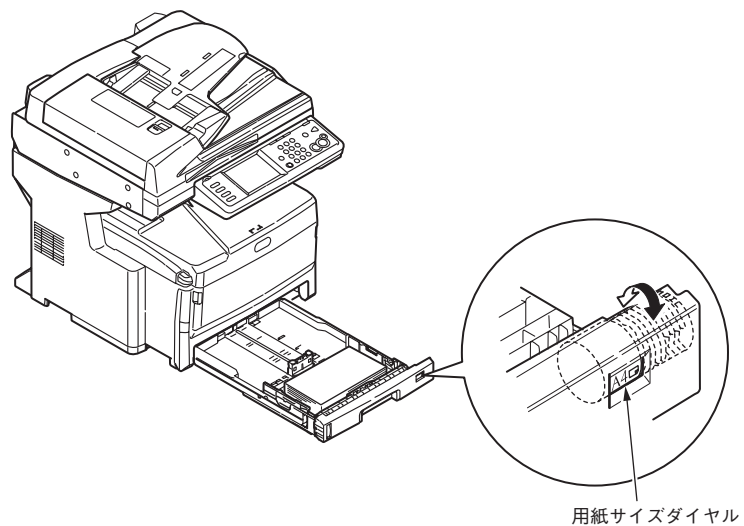
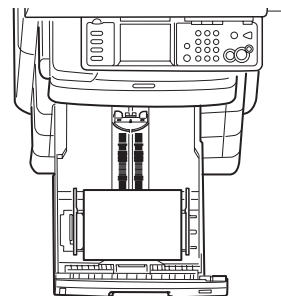
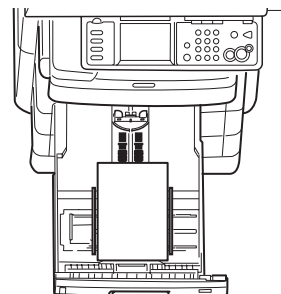
*1：上から順にトレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 となります。
*2：MC860dn ではトレイ 2、トレイ 3 はオプションです。
*3：カスタムは幅 64 ～ 297mm、長さ 105 ～ 1200mm です。両面印刷可能なサイズは幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。
*4：幅 105 ～ 297mm、長さ 148mm、182 ～ 431mm です。
*5：幅 148 ～ 297mm、長さ 182 ～ 431mm です。
*6：はがき、封筒、ラベル紙を設定すると印刷速度が遅くなります。

- 用紙をトレイに縦( )にセットした場合、横( )にセットしたときより印刷速度が遅くなります。
- 用紙サイズを A6、A5 サイズおよび用紙幅が 148mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。
- 操作パネルで用紙サイズを［カスタム］に設定したときは、用紙トレイの［用紙サイズダイヤル］の設定は無効になります。

用紙サイズダイヤルについて

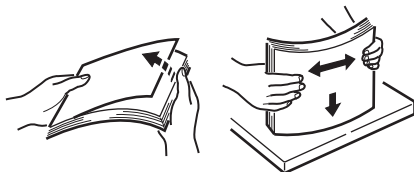
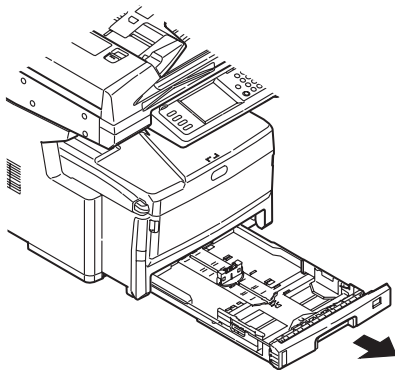
トレイ 1、トレイ 2/3（MC860dn ではオプション）に用紙をセットしたら、用紙の向きと一致するように記号を合わせます。

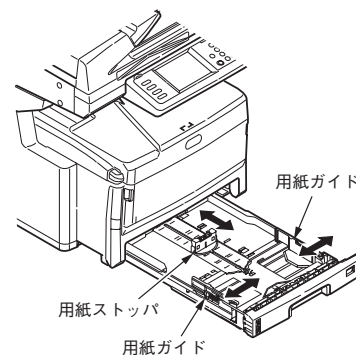
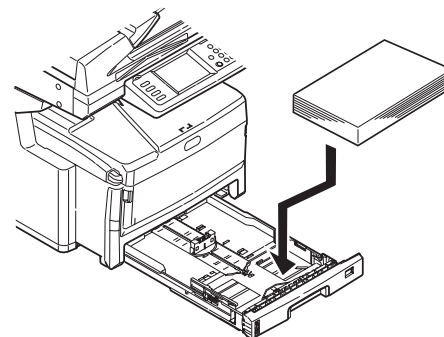
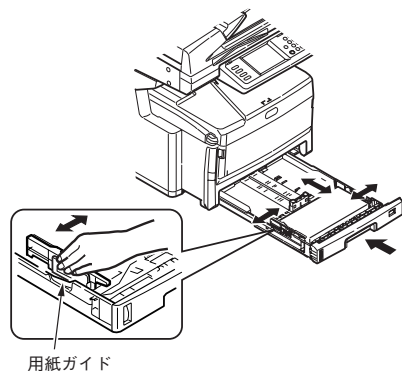
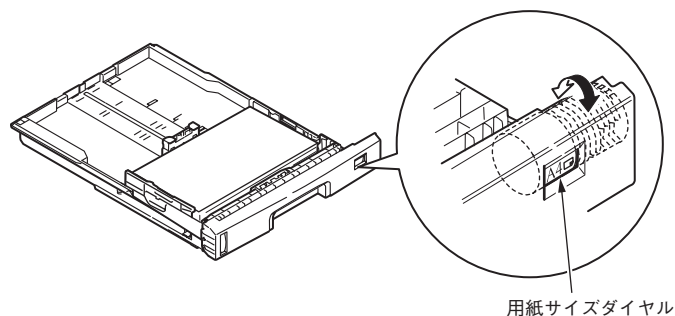
□ は、用紙を機械正面から見て横に置くことを表します。

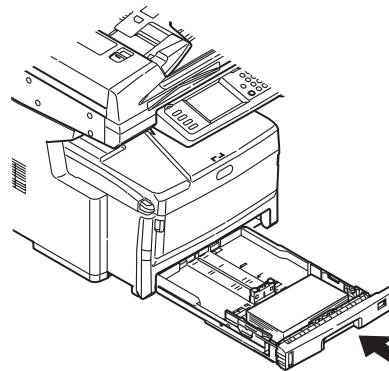
□ は、用紙を機械正面から見て縦に置くことを表します。

- □ を選択するとき

- □ を選択するとき

用紙トレイへの用紙のセット

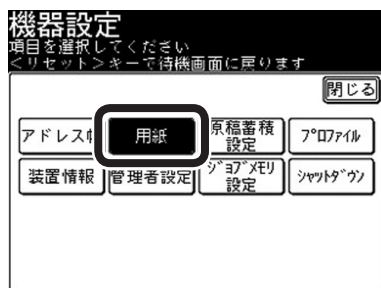
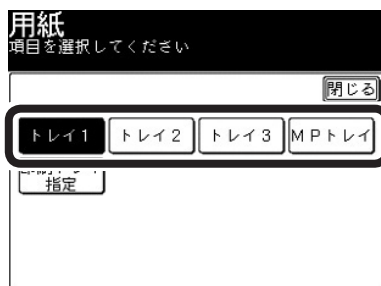
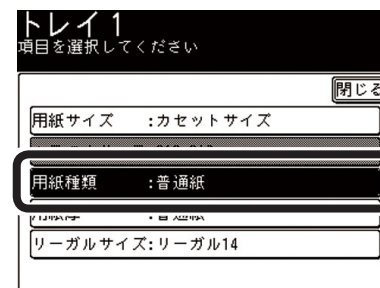
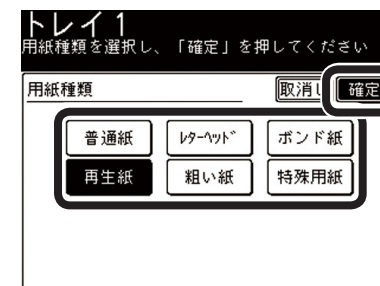
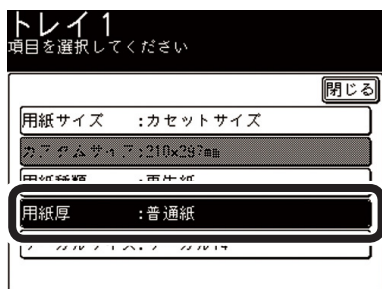
用紙トレイにセットできる用紙は普通紙のみです。
用紙トレイへの用紙のセットは、以下の手順で行います。用紙をセットした後、操作パネルで用紙の種類、厚さを設定します。

普通紙以外の用紙については、MP トレイ（マルチパーパストレイ）への用紙のセット（72 ページ）をご覧ください。

1 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

2 用紙トレイを引き出します。

注 プレートについているコルクははがさないでください。

3 用紙ガイド、用紙ストッパをセットする用紙に合わせ、確実に固定します。

4 用紙の印刷したい面を下向きにして用紙をセットします。

5 用紙ガイドを確認し、用紙を固定します。

6 セットした用紙と同じサイズを表示するように、用紙サイズダイヤルを合わせます。

注 セットした用紙の向きと合わせてください。

7 用紙トレイを元の位置に戻します。

8 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

9 [用紙] を押します。

10 用紙をセットしたトレイを押します。

11 [用紙種類] を押します。

12 該当する用紙種類を押し、[確定] を押します。

13 ［用紙厚］を押します。

14 該当する用紙厚を押し、［確定］を押します。

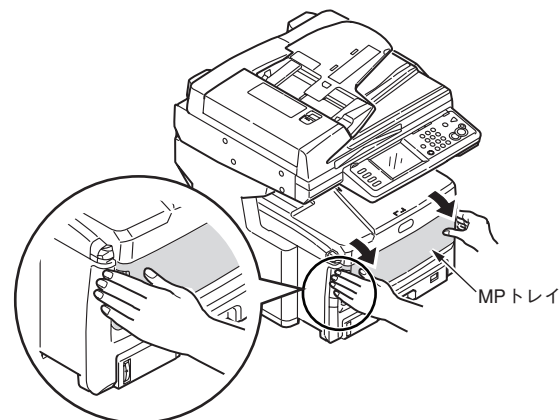
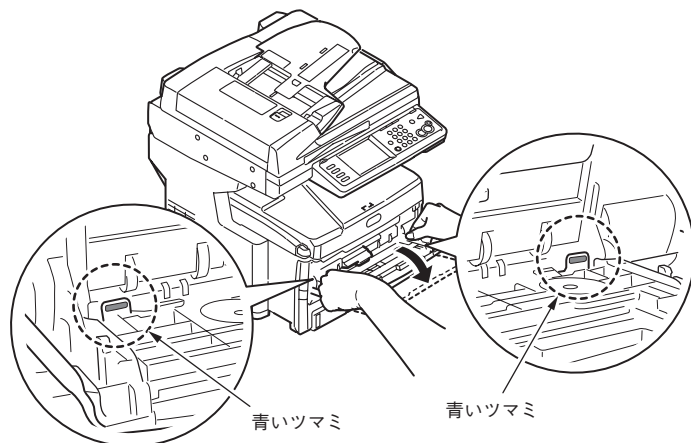
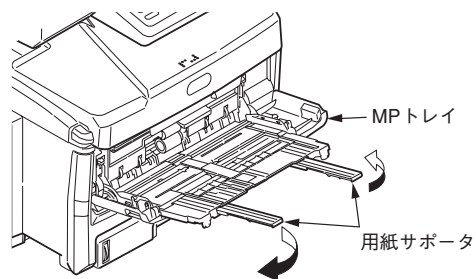
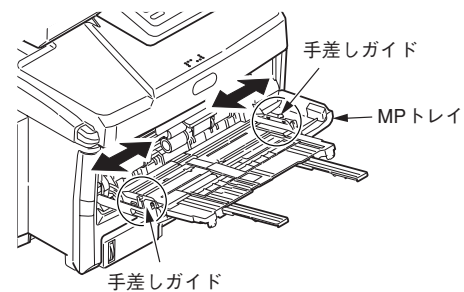
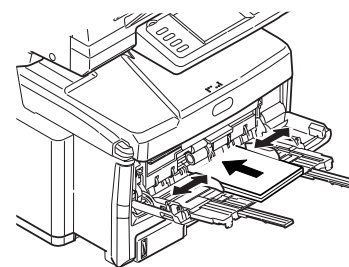
15 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

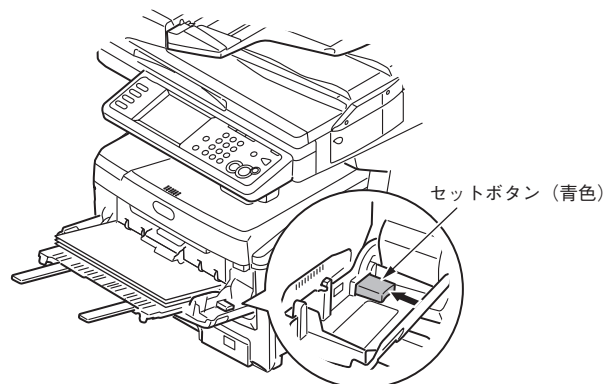
メモ　<リセット>キーを押しても、待機画面に戻ります。

MP トレイ（マルチパーパストレイ）への用紙のセット

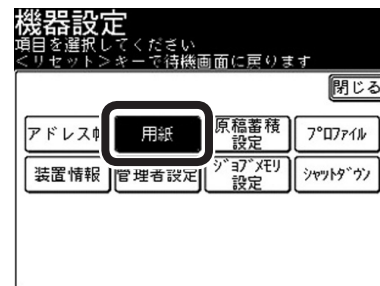
普通紙、はがき、封筒、OHP フィルム、ラベル用紙に印刷したいときは MP トレイを使用します。セットした用紙の上面に印字されます。用紙をセットした後、操作パネルで用紙サイズ、種類、厚さを設定します。

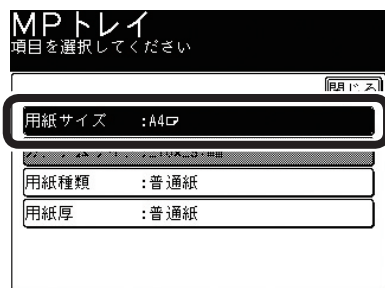
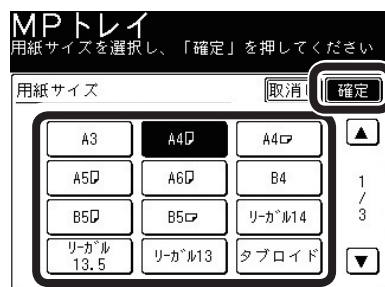
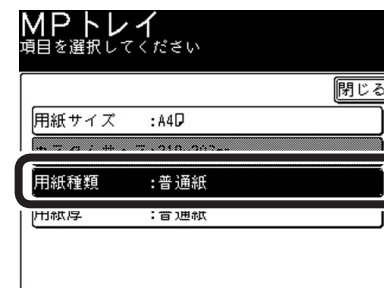
カスタムサイズの用紙をセットする場合は、サイズの登録が必要です。（77 ページ）

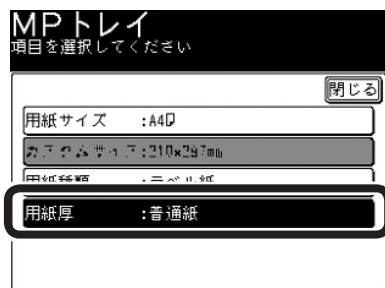
1 MP トレイの両側を持ち、手前に開きます。

2 青いツマミを持ち、手前に広げます。

3 用紙サポータを広げます。

4 手差しガイドを用紙の幅に合わせます。

5 印字する面を上にして用紙の先端を奥まで差し込みます。

注 用紙は▼マークをこえないようにセットしてください。（連量 70kg（82g/m^2）紙で 100 枚までセットできます。）

6 セットボタン（青色）を押します。

- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- MPトレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

7 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

8 [用紙] を押します。

9 [MP トレイ] を押します。

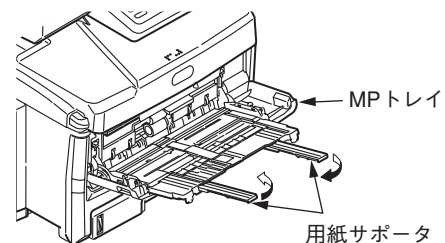
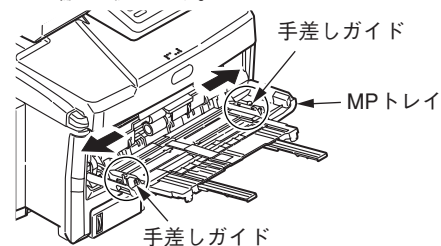
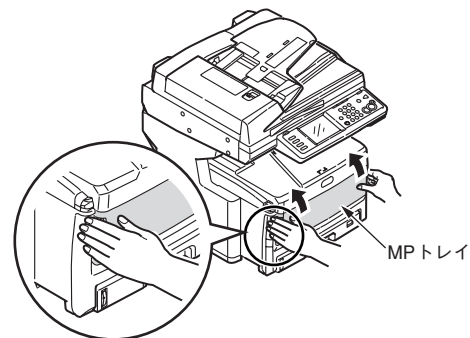
10 [用紙サイズ] を押します。

11 該当する用紙サイズを押し、[確定] を押します。

12 [用紙種類] を押します。

13 該当する用紙種類を押し、[確定] を押します。

14 ［用紙厚］を押します。

15 該当する用紙厚を押し、［確定］を押します。

16 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

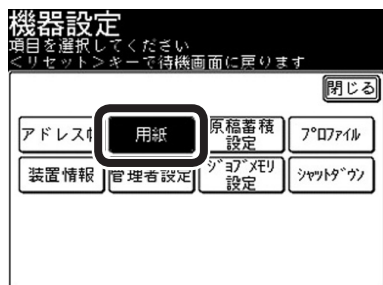
メモ　<リセット>キーを押しても、待機画面に戻ります。

メモ　MP トレイの閉じ方

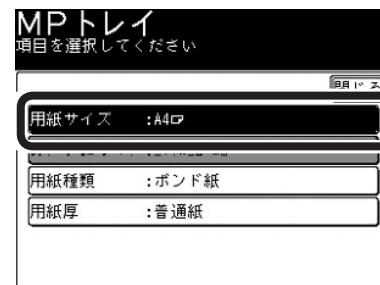
① 用紙サポータを格納します。

② 手差しガイドを端まで広げます。

③ MP トレイを畳み、本体に戻します。

カスタムサイズ（不定形用紙）の登録

カスタムサイズを使用する場合は、ここで用紙の幅と長さを設定します。

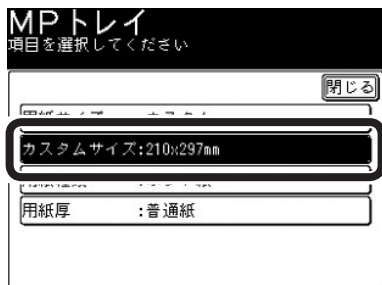
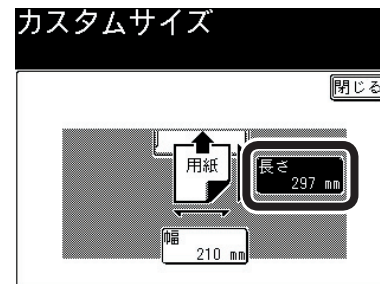
1 操作パネルの<機器設定>キーを押します。

2 ［用紙］を押します。

3 ［MPトレイ］を押します。

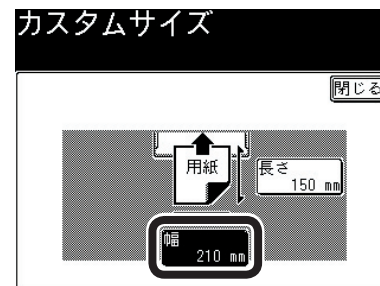
ここでは MPトレイの場合を例にしています。

4 ［用紙サイズ］を押します。

5 ①［▼］を押し、MP トレイ 2/3 画面を表示します。

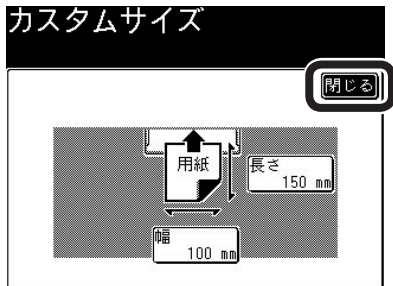
②［カスタム］を選択し、［確定］を押します。

6［カスタムサイズ］を押します。

7 ①［長さ］を押します。

② テンキーまたはカーソルキーで長さを入力します。

③ 長さを入力後、［確定］を押します。

④［幅］を押します。

⑤ テンキーまたはカーソルキーで幅を入力します。

⑥ 幅を入力後、［確定］を押します。

8 ［閉じる］を押します。他のカスタムサイズも同様に入力します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

自動給紙切り換え機能

印刷中に、現在選択中の給紙トレイの用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙で同じ種類の用紙が他のカセットにセットされていれば、自動的にカセットを切り替えて印刷を続けます。
増設トレイユニットを装着すれば、最大で 1460 枚の連続印刷や連続コピーを行うことができます。（A4 用紙の場合）

■ 給紙切り替えの順序

自動給紙切り替え機能が動作する場合、以下の優先順位で用紙トレイが選択されます。

MP トレイを自動給紙切り替えで使用する場合は、「印刷トレイ指定」の設定が必要です。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

MP トレイに OHP フィルムやラベル用紙などの特殊紙をセットしている場合、自動給紙切り替えがはたらき、誤って給紙される恐れがあります。このような場合、用紙の設定で、用紙の種類を普通紙以外、または再生紙以外に設定をしておくことをおすすめします。（71 ページ）

コピー、受信ファクスを印刷しているとき

トレイ 1 ⇒トレイ 2 ⇒トレイ 3 ⇒ MP トレイ

コンピュータから印刷しているとき

現在使用しているトレイを起点とし、［トレイ選択順序］の設定に従います。

［トレイ選択順序］については、応用編「操作パネルの設定項目一覧」をご覧ください。

用紙の種類、厚さの設定

セットした用紙に合わせて、下の表を参考に、操作パネルで用紙種類、用紙厚を設定します。
設定は、<機器設定>キーを押し、[用紙] - [用紙をセットしたトレイ] - [用紙種類] または [用紙厚] で行います。

種類	厚さ	操作パネルの設定値		プリンタドライバの [用紙厚] の設定 *2
		用紙厚	用紙の種類 *1	
普通紙 *3	55 ～ 70kg (64 ～ 82g/m^2)	普通紙	普通紙	普通紙
	71 ～ 90kg (83 ～ 105g/m^2)	厚い紙		厚い紙
	91 ～ 110kg (106 ～ 128g/m^2)	より厚い紙		より厚い紙
	111 ～ 172kg (129 ～ 200g/m^2)	ごく厚い紙		ごく厚い紙
はがき *4	—	—	—	—
封筒 *4	—	—	—	—
ラベル紙	0.1 ～ 0.17mm 未満	より厚い紙	ラベル紙	ラベル紙 1
	0.17 ～ 0.2mm	ごく厚い紙		ラベル紙 2
OHP フィルム	—	—	OHP	OHP シート

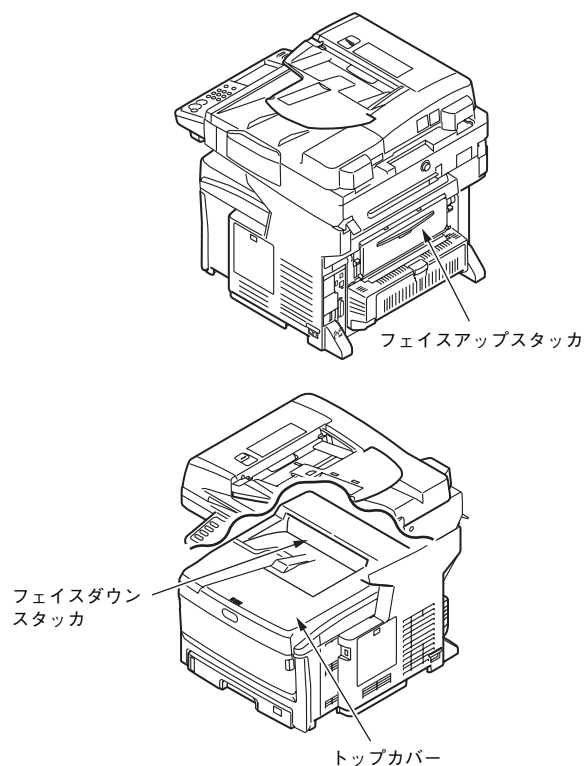
*1：用紙種類の工場出荷時の設定は [普通紙] です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの[給紙方法]で[自動選択]が選択されている場合、または[用紙厚]で[プリンタ設定]が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 55 ～ 90kg(64 ～ 105g/m^2)です。
*4：はがき、封筒は、設定の必要はありません。

メモ 用紙厚の [より厚い紙]、[ごく厚い紙]、用紙種類の [ラベル紙] を設定すると、印刷速度が遅くなります。

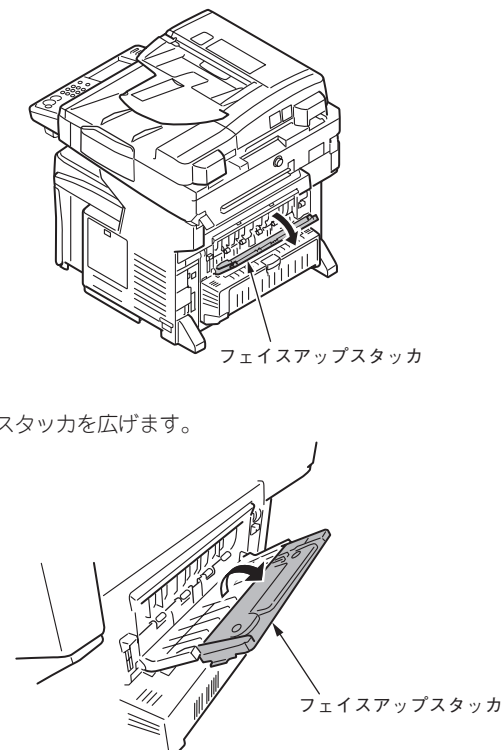
印刷済み用紙の排出のしかた

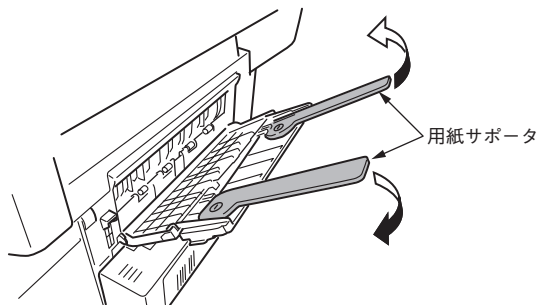
フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70Kg（82g/m²）紙で約 250 枚をためることができます。

❶本機の背面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。
印刷済みの用紙は、フェイスダウンスタッカに排出されます。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）

A6 サイズの用紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルムはフェイスアップスタッカに排出します。
用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70Kg（82g/m²）紙で約 100 枚をためることができます。

❶本機の背面のフェイスアップスタッカを手前に開きます。

❷フェイスアップスタッカを広げます。

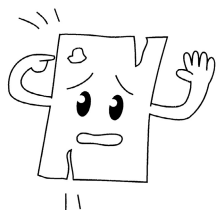
❸用紙サポータを広げます。
印刷済みの用紙は、フェイスアップスタッカに排出されます。

注 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

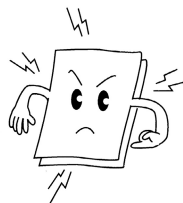
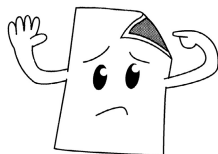
原稿セットのしかた

原稿についてのご注意

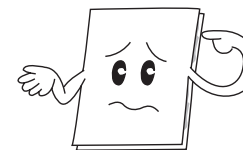
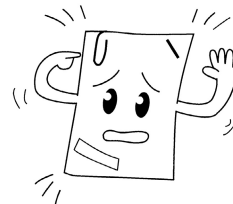
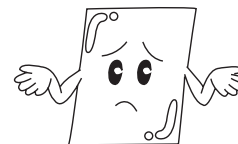
自動原稿送り装置には次のような原稿はセットできません。ガラス面をご利用ください。

- 破れている原稿、穴のあいている原稿

- しわやカールの激しい原稿

- 湿った原稿

- 静電気で密着した原稿

- 裏がカーボンになっている原稿

- 布地、金属シート、OHP フィルム

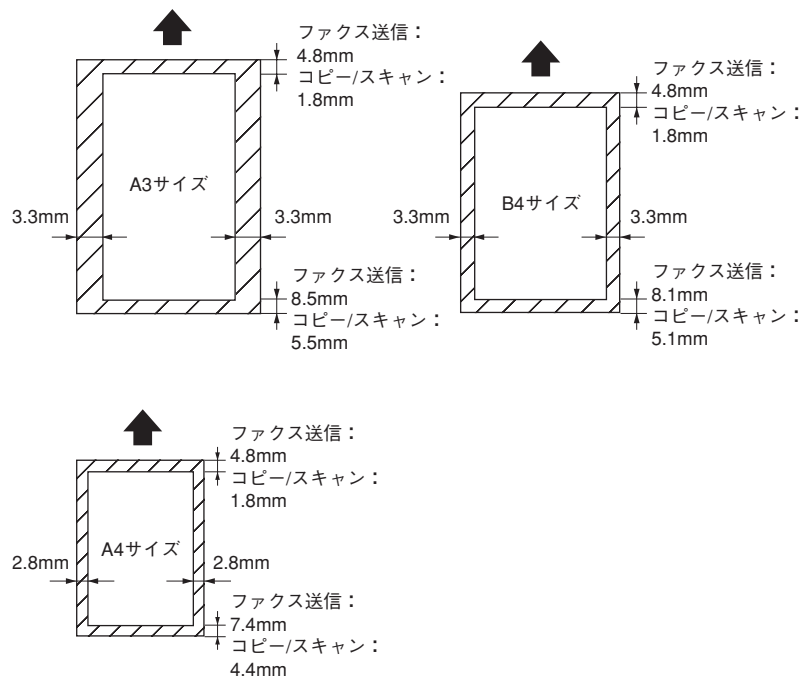
- ホチキス、クリップ、セロハンテープなどがついた原稿

- 張り合わせた原稿、のりがついた原稿

- 光沢のある原稿、特殊コーティングされた原稿

ガラス面に以下のような原稿をセットするときは、ガラスが傷ついたり割れたりする恐れがあります。

- 厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。
- 堅い物を原稿にするときは、ガラス面に静かにおいてください。
- 鋭利な突起があるものは、ガラスを傷つける恐れがあります。

原稿の読み取り範囲について

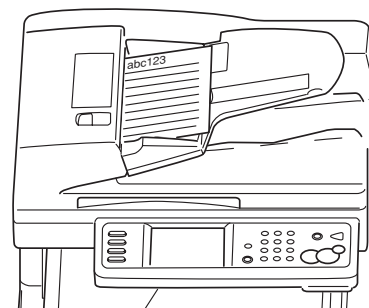
斜線部分に文字などを書いても、読み取れない場合があります。

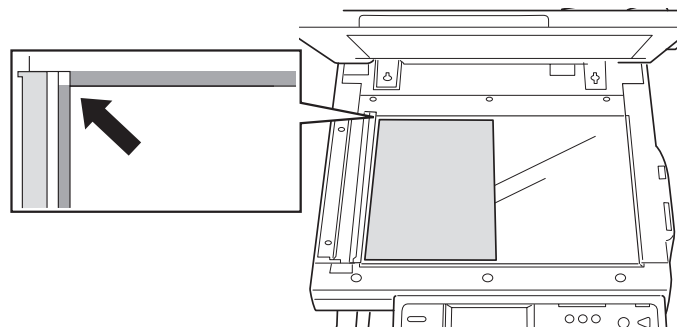
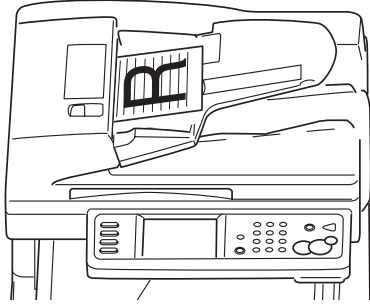
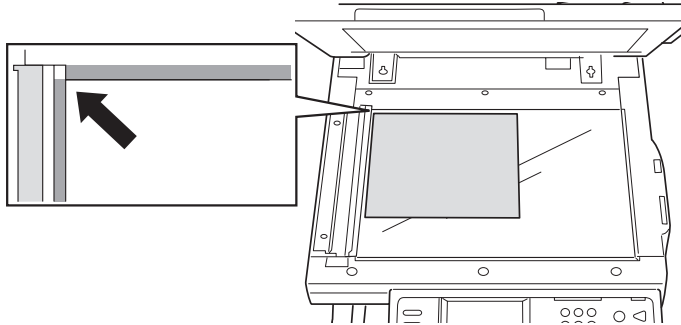
メモ 「⬆」は、自動原稿送り装置での送り方向、またはガラス面での読み取り開始側を示します。

、記号について

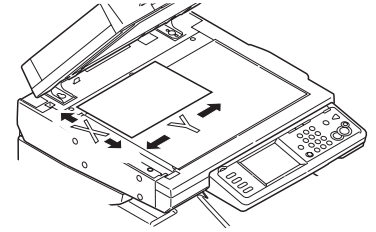
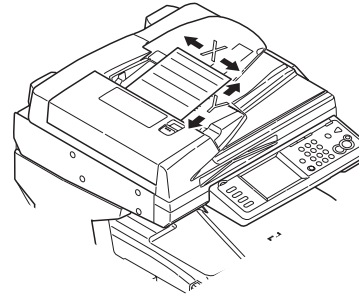
記号は、原稿を本機正面から見て縦に置くことを表します。自動原稿送り装置の場合、原稿の長辺側から挿入します。

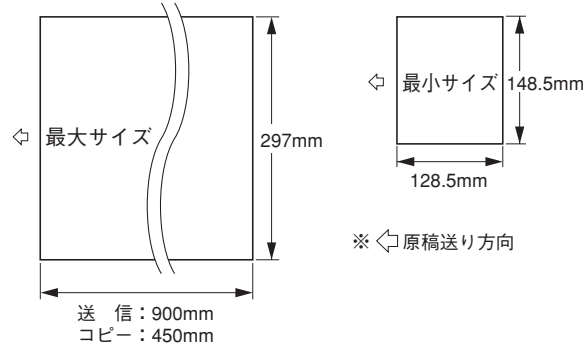
記号は、原稿を本機正面から見て横に置くことを表します。自動原稿送り装置の場合、原稿の短辺側から挿入します。

例：A4

■ **自動原稿送り装置に原稿をセットするとき**

■ **ガラス面に原稿をセットするとき**

例：A4

■ 自動原稿送り装置に原稿をセットするとき

■ ガラス面に原稿をセットするとき

用紙の幅と長さ

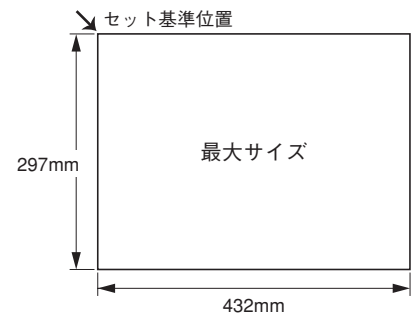
用紙の大きさを表す場合、X 辺を幅、Y 辺を長さと呼びます。

セットできる原稿サイズ

■ 自動原稿送り装置の原稿サイズ

コピーされるのは 432mm までです。（残り 18mm はコピーされません。）

	1 枚だけ読み取る場合	自動連続読取の場合
最大	幅 297mm ×長さ 900mm（コピーのとき：長さ 450mm）	幅 297mm ×長さ 432mm
最小	幅 148.5mm ×長さ 128.5mm	幅 148.5mm ×長さ 128.5mm
一度のセット枚数 *1	―	A4、B5、A5、レター（80g/㎡）：50 枚 A3（◢）、B4（◢）、リーガル（◢）（80g/ ㎡）：25 枚
原稿の紙厚	42 ～ 128g/ ㎡（0.05 ～ 0.15mm）	52 ～ 105g/ ㎡（0.07 ～ 0.12mm）
原稿の紙質	上質紙相当	

*1 原稿の内容によっては上記のセット枚数以下でもメモリオーバーになることがあります。

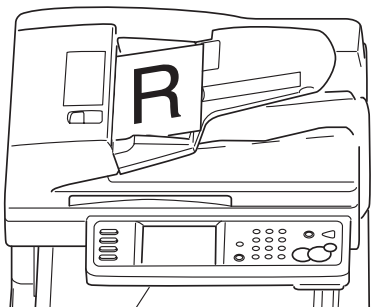
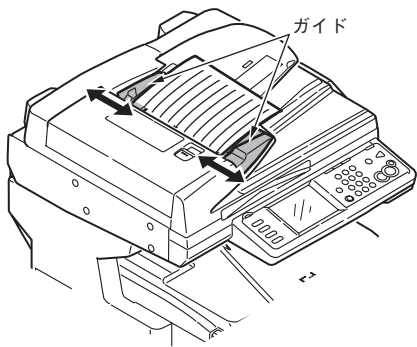
新聞紙の紙厚が 0.05 ～ 0.06mm、郵便はがきが 0.23mm です。

■ ガラス面の原稿サイズ

最大	幅 297mm ×長さ 432mm
最小	制限無し

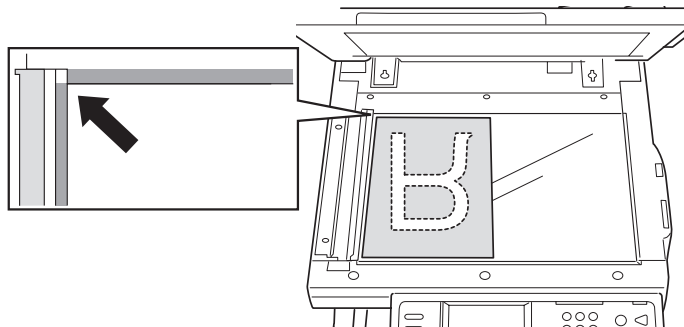
原稿セットのしかた

修正液、インク、スタンプなどは完全に乾かしてからセットしてください。

■ 自動原稿送り装置に原稿をセットするとき

1 コピーまたは送信する面を上に向け、機械の中央にセットします。（セットした原稿の上からコピーまたは送信されます）

2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

3 原稿の先があたるまで、軽く差し込みます。

■ ガラス面に原稿をセットするとき

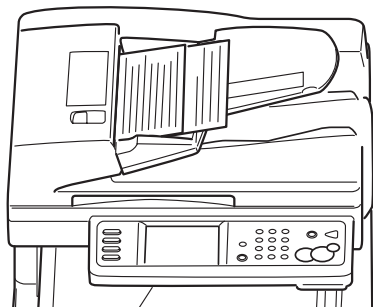
1 原稿押さえカバーを開け、コピーまたは送信する面を下にし、左手奥側のセット基準に原稿を合わせます。

2 原稿押さえカバーを静かに閉め、原稿をガラス面に密着させます。

サイズが異なる原稿のセット（ミックス原稿）

ミックス原稿コピーで、同じ幅で長さの違う原稿を一緒にセットする場合は、以下のようにセットしてください。

一緒にセットできる原稿サイズは、次の 3 通りです。

- A3 と A4（ ）
- B4 と B5（ ）
- A4（ ）と A5（ ）

1 原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

参照　ミックス原稿コピーの詳しい手順は、応用編「長さの違う原稿を一緒にコピーする（ミックス原稿）」をご覧ください。

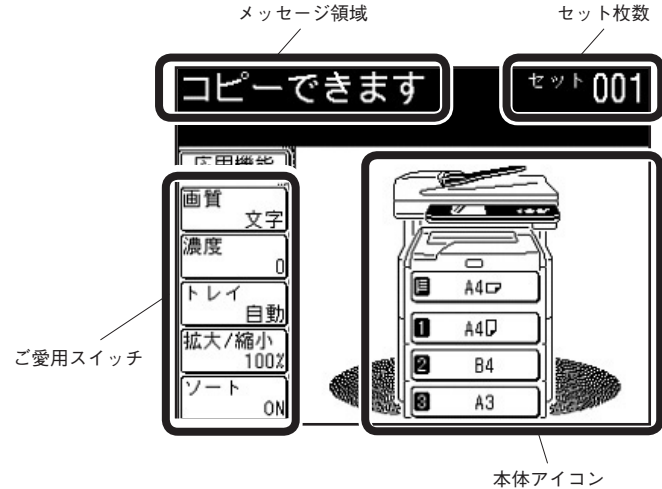
操作パネルについて

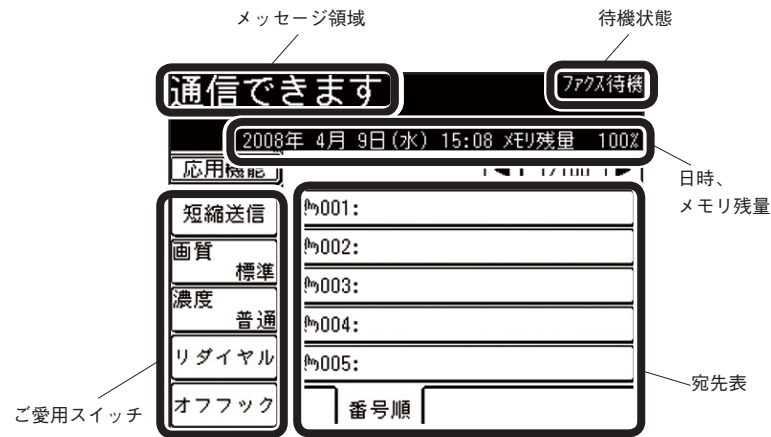
操作パネルの説明

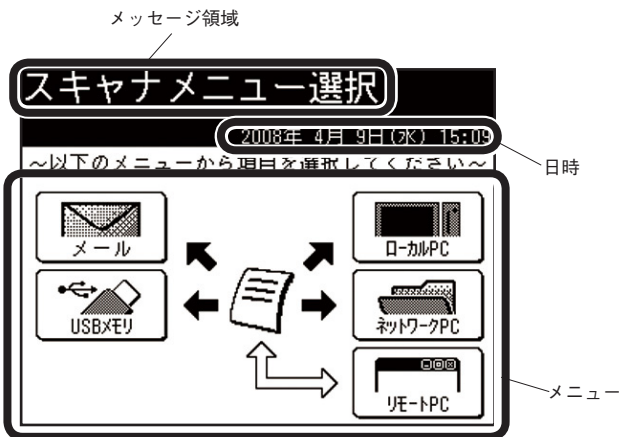
画面切り換えのしかた

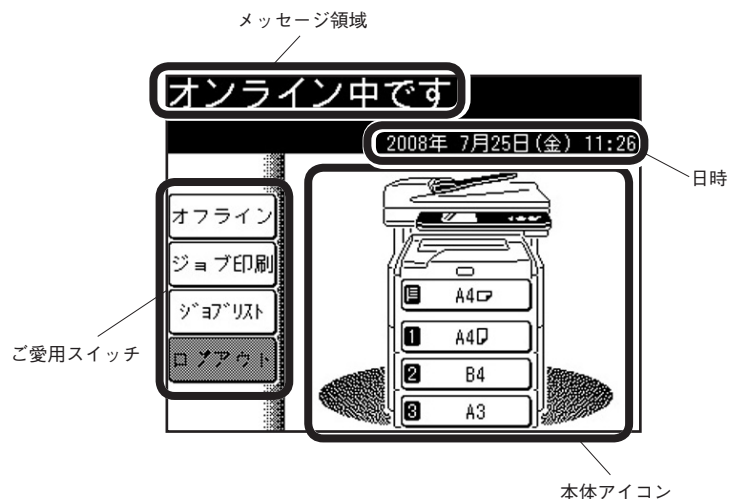
機能切り替えキーを押すと、コピー待機画面やファクス待機画面に切り替わります。

各部の名称とはたらき

■ コピー待機画面

名　称	機　　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
セット枚数	コピー部数を表示します。
本体アイコン	本機の状態を表示します。コピーを行うカセットの選択もできます。 メモ　装着したカセットによって、画面の表示が変わります。
ご愛用スイッチ	様々な機能をここから設定することができます。また、選択された機能の状態も表示します。よく使う機能に変更することができます。（応用編）

■ ファクス待機画面

名　称	機　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
待機状態	ファクスの待機状態を表示します。
日時、メモリ残量	現在の日付と時刻、ファクスのメモリ残量を表示します。
宛先表	登録した短縮ダイヤルやグループを表示します。また、相手先を直接登録することもできます。
ご愛用スイッチ	様々な機能をここから設定することができます。また、選択された機能の状態も表示します。よく使う機能に変更することができます。(応用編)

■ スキャナ待機画面

名　称	機　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
日時	現在の日付と時刻、を表示します。
メニュー	スキャンの機能を選択します。

■ プリンタ待機画面

名　称	機　能
メッセージ領域	現在の状態や操作の指示、エラーメッセージなどが表示されます。
日時	現在の日付と時刻、を表示します。
本体アイコン	本機の状態を表示します。 メモ　装着したカセットによって、画面の表示が変わります。
ご愛用スイッチ	オンライン / オフラインを切り替えたり、ジョブ印刷を行うときに使用します。

キー表示とはたらき

■ 設定キー

機能を設定するときに押して、設定画面を開きます。機能の設定後、設定値を表示するキーもあります。設定が必要だったり、他の機能と組み合わせができなかったりする場合は、灰色の表示になり選択できないようになります。
また、各機能の設定キーは選択するとキーが反転表示されます。

メモ　待機画面に表示される設定キー（ご愛用スイッチ）の内容を変更することができます。（応用編）

画質　写真　⇐　設定値

<選択できない場合>

集約　OFF

<選択前>　<選択後>

写真

写真

■ カーソルキー

数値を入力したり、機能を選択したりするときに使用します。また、画面を切り替えるときにも使用します。

■［取消し］キー、［確定］キー

［取消し］は、画面で設定した機能や数値を取り消して、その画面を閉じます。
［確定］は、画面で指定した機能や数値を設定して、その画面を閉じます。

文字入力のしかた

発信元や短縮ダイヤルの相手先など、文字を入力するときに参照してください。
入力できる文字は、漢字（全角）、ひらがな（全角）、カタカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）、記号（全角／半角）です。
漢字は JIS 第一水準、JIS 第二水準が入力できます。

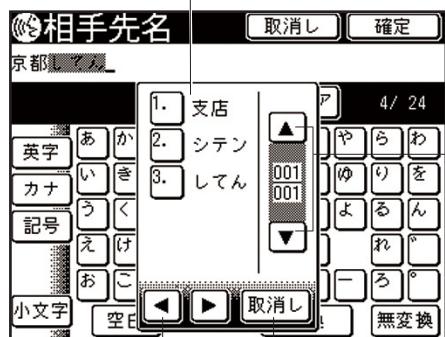
※漢字変換プログラム：日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。

文字入力画面について

■ 文字入力画面について

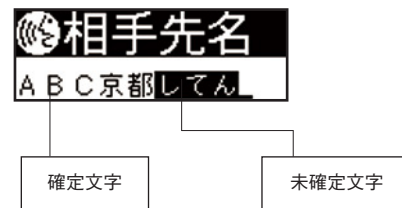
参照 全角と半角（94 ページ）

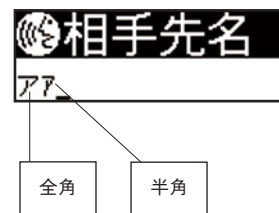
■ 変換候補選択画面

かな入力モードで入力中に［変換］を押すと、漢字変換の候補が表示されます。

変換ウィンドウに表示される文字

■ 確定と未確定

文字が反転表示になっているときは変換できる状態です。これを「未確定」と言います。［無変換］を押して､文字が変換できない状態に（入力を決定）することを「確定」と言います。未確定の文字は 15 文字まで入力できます。

かな入力モードで入力した文字は全て未確定になります。それ以外の入力モードでは確定状態で入力されます。

■ 全角と半角

文字を入力するとき、全角文字と半角文字があります。全角は半角の 2 倍の大きさです。半角文字で 24 文字入力できる場合、全角文字では 12 文字になります。

■ 文節表示

変換途中の文字は、文節と呼ばれる単位で区切られて表示されます。複数の文節がある場合は、一番初めの文節だけが変換対象になります。変換対象になっている文節は網掛けになって表示されます。
文節の長さを変えるには、文節カーソルキーを使用します。(98 ページ)

漢字・ひらがなを入力する

1 ［かな］を押し、文字パネルにひらがなを表示させせます。

メモ 全角文字が入力できる場合、入力モードは初めから「かな」になっています。

2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

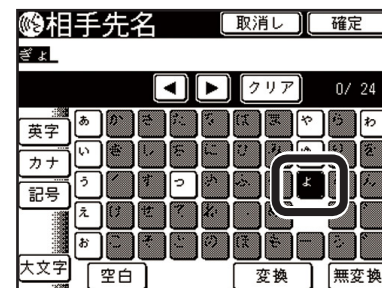
■ ゛（濁点）や ゜（半濁点）の入力

3 ゛（濁点）や ゜（半濁点）は、[゛] [゜] を押します。

メモ 濁点や半濁点を付けたい文字を入力した直後に押してください。

■ 小文字の入力

4 ①「ょ」や「っ」などの小文字を入力する場合は、[小文字] を押します。

② 小文字を入力します。

メモ 再度、大文字を入力するには［大文字］を押します。

■ ひらがなにする

5 ①［無変換］を押します。

② ひらがなに確定されます。

■ 漢字にする

6 ①［変換］を押します。

 一度確定した文字を変換することはできません。

② 漢字候補が表示されます。

③ 入力したい候補の語句を選択します。

④ 漢字が確定されます。

変換する文節の長さを変える

文節の長さは自動的に判断されますが、長い文字列を適切に入力するときなど、文節の長さを変更してより適切な文字を候補ウィンドウに表示させせることができます。

1 文節カーソルキーを押します。

メモ ◀を押すと文節を縮めます。▶を押すと文節をのばします。

2 文節の長さが変わり、それに応じて変換候補が変わります。

メモ ［取消し］を押すと変換ウィンドウを閉じ、未確定状態に戻ります。もう一度、［変換］を押すと自動的に文節を判断して候補ウィンドウを表示します。

3 文字を確定していきます。

英字を入力する

1 ［英字］を押し、文字パネルにアルファベットを表示させます。

2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

メモ 英字入力に切り替えた直後では半角文字の大文字で入力されます。

■ 小文字の入力

3 ①［小文字］を押します。

② 小文字を入力します。

メモ 大文字の入力に戻るには［大文字］を押します。

■ 全角の英字の入力

4 ①［全角］を押します。

② 全角の英字を入力します。

メモ 半角の入力に戻るには［半角］を押します。

カタカナを入力する

1 ［カナ］を押し、文字パネルにカタカナを表示させせます。

メモ ボタンを押した直後は、全角文字の大文字で入力されます。

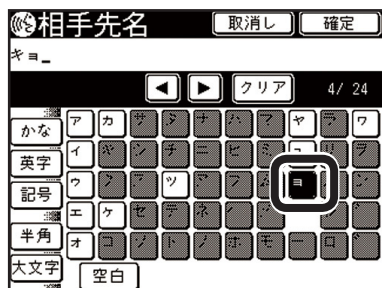
2 文字パネル上から入力する文字を選択します。

■「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）の入力

3 「゛」（濁点）や「゜」（半濁点）は、［゛］［゜］を押します。

メモ 濁点や半濁点を付けたい文字を入力した直後に押してください。

■ 小文字の入力

4 ①「ョ」や「ッ」などの小文字を入力する場合は、［小文字］を押します。

② 小文字を入力します。

メモ　再度、大文字を入力するには［大文字］を押します。

■ 半角のカタカナの入力

5 ①［半角］を押します。

② 半角のカタカナを入力します。

メモ　全角の入力に戻るには［全角］を押します。

記号を入力する

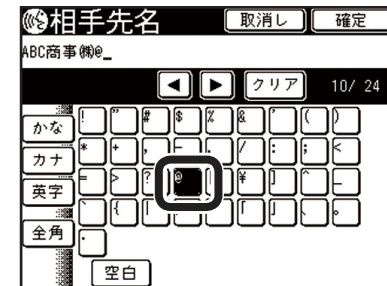
1 ［記号］を押し、文字パネルに記号を表示させせます。

メモ ボタンを押した直後は、全角の記号が表示されます。

2 記号を入力します。記号を切り替えるには、文字パネル内のカーソルキーを押します。

■ 半角の記号の入力

3 ① ［半角］を押します。

② 半角の記号を入力します。

メモ 全角の入力に戻るには［全角］を押します。

数字の入力／空白（スペース）の入力

■ 数字の入力

数字はテンキーまたは英字入力画面で入力します。

入力モードによって入力した数字が変化します。例えば、半角の英字入力中は半角の数字が入力されます。かな入力時は全角の数字が入力されます。

かな入力にて文字が未確定になっている場合は、数字も未確定で入力されます。

かな入力時　　半角英字入力中

■ 空白（スペース）の入力

入力中に[空白]を押します。入力モードによって入力した空白が変化します。例えば、半角の英字入力中は半角の空白が入力されます。かな入力時は全角の空白が入力されます。

メモ　かな入力にて文字が未確定になっている場合は、空白も未確定で入力されます。

かな入力時　　半角英字入力中

メモ　文字が確定し、カーソルが右端にあるとき、入力位置移動カーソルキーの右ボタンを押すと、空白が入力されます。

文字の削除／挿入

文字を削除するには、入力位置移動カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動し、［クリア］を押します。
挿入する場合も、入力位置移動カーソルキーで挿入したい位置までカーソルを移動し、文字を入力します。
ただし、未確定の文字がある場合、カーソルは未確定の文字列内でしか移動できません。

■ 削除する場合

1 入力位置移動カーソルキーで削除したい文字までカーソルを移動します。

2 ［クリア］を押します。

メモ　直前に入力した文字は、［クリア］を押すだけで削除できます。

■ 挿入する場合

3 入力位置移動カーソルキーで挿入したい位置までカーソルを移動します。

4 文字を入力します。カーソルの前に入力した文字が挿入されます。

本文の編集

メール本文を編集するとき、改行したい場合は［改行］ボタンを、内容を表示したい場合は［内容表示］ボタンを押します。

■ 改行する場合

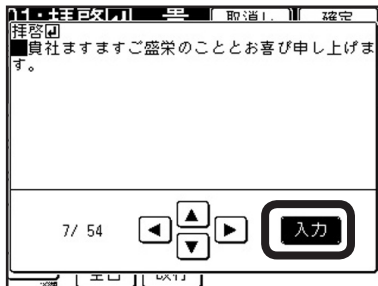
1 入力位置移動カーソルキーで改行を入れたい箇所までカーソルを移動します。

2 ①［改行］を押します。

② カーソルの前に改行（↵）が入力されます。

■ 本文の内容を表示する場合

3 [内容表示] を押します。

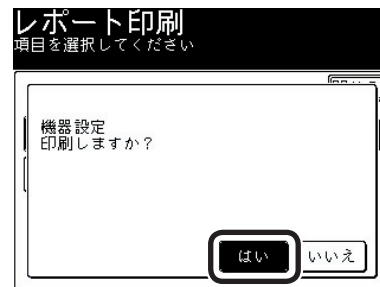
4 [入力] を押すと、入力画面に戻ります。

メモ ◀▶▲▼キーを使い、カーソルを編集したい場所に移動してから [入力] を押すと、その場所から編集できます。

機器設定印刷のしかた

本機に関する情報を印刷します。
IP アドレスや MAC アドレス、その他の設定されている値や消耗品の残量を知りたいとき、本機の印刷部が正常に動作しているかを確認したいときなどに印刷します。

❶<レポート印刷>キーを押します。

❷［機器設定］を押します。

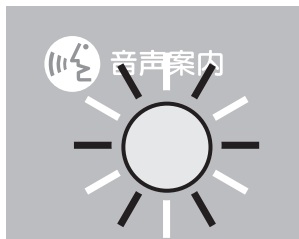
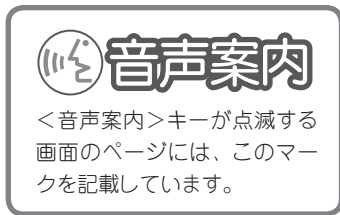
❸確認の画面が表示されるので、［はい］を押します。

音声案内について

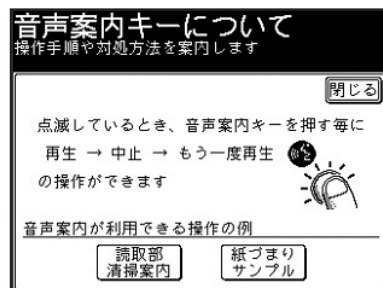
機能の説明や操作の方法を「ことば」によって案内します。

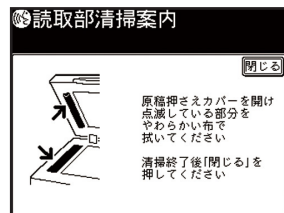
<音声案内>キー

音声案内できる場合または音声案内中は、<音声案内>キーが点滅します。音声案内中に、もう一度<音声案内>キーを押すと、音声案内を中止します。

<点滅>

<音声案内>キーが点滅する画面のページには、このマークを記載しています。

■ 音声案内サンプル表示

<音声案内>キーが消灯している場合に押すと、音声案内の例を表示します。

- [読取部清掃案内] を押すと、読取部の清掃のしかたを表示します。

参照 応用編「こんなときは」にも清掃の手順が載っています。

- [紙づまりサンプル] を押すと、用紙づまりが発生した場合の音声案内のサンプルを表示します。

音声案内する項目

■ 操作案内

機能の説明や登録・設定方法、用紙づまりの解除方法などを案内します。

メモ　音声案内するのは一部の機能・用紙づまりのみです。

■ エラー解除案内

用紙づまりなど、本機に問題がある場合に音声で解除方法を案内します。

■ お知らせガイダンス

原稿を挿入したときの「コピーできます」など、本機の状態を音声で案内します。

「エラー解除案内」と「お知らせガイダンス」は、＜音声案内＞キーの状態とは関係なく、本機の状態によって案内を自動的に始めます。

■ 動作完了音

コピーやファクスの送受信、受信原稿の印字が完了したことを案内します。

音設定の動作完了音にて、それぞれの完了音に「音声」を設定できます。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

操作案内モードについて

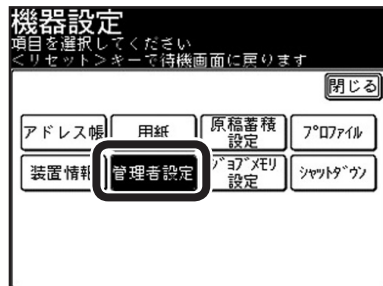
操作案内には２種類のモードがあります。初期設定は「手動」になっています。

操作案内モード	動　　作
自動	音声案内できる場合は自動的に音声案内を始めます。
手動	音声案内できる場合に、点滅している＜音声案内＞キーを押すと音声案内を始めます。

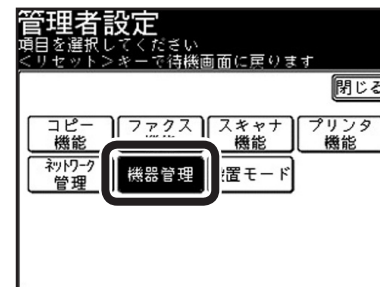
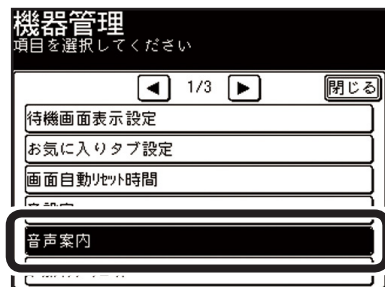
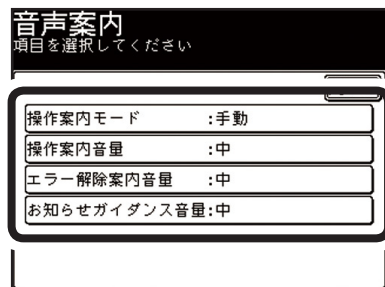
音声案内の設定

音量や操作案内のモードなどを設定できます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは「aaaaaa」となっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［音声案内］を押します。

6 設定したい機能を選択します。

参照 それぞれの機能の詳細については、応用編「操作パネルの設定項目」をご覧ください。

音声案内する場面

音声案内する場面については、下の表をご覧ください。

音声案内の項目	音声案内する場面	音量設定・出力設定
操作案内	短縮ダイヤルの登録方法	機器管理→音声案内→操作案内音量（応用編）
	E メールアドレスの登録方法	
	プロファイルの登録方法	
	用紙づまりの解除手順	
	ファクス中止方法	
	コピー応用機能で各機能を選択したときの機能説明	
	ファクス応用機能の一部	
	スキャン To 機能	
	スキャン応用機能の一部	
	読取部の清掃方法	
エラー解除案内	用紙づまりが発生した	機器管理→音声案内→エラー解除案内音量（応用編）
	ファクス中止する場合に<ストップ>キーを押した	
	用紙が無くなった	
お知らせガイダンス	自動原稿送り装置に原稿を差し込んだ	機器管理→音声案内→お知らせガイダンス音量（応用編）
	ファクス送信、メール送信時の宛先確認のとき	
	ダイヤル 2 度押し画面が表示されたとき	

音声案内の項目	音声案内する場面	音量設定・出力設定
完了音（応用編）	コピーが完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→コピー完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス送信が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス送信完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス受信が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス受信完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ファクス受信印字が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ファクス受信印字完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	メール送信完了	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→メール送信完了 音量調節：機器管理→音設定→動作完了音量
	レポート印刷が完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→レポート印刷完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	印刷完了	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→印刷完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量
	ガラス面での原稿読み取りが完了した	出力設定：機器管理→音設定→動作完了音→ガラス面読取完了 音量調整：機器管理→音設定→動作完了音量

多重動作について

本機では、いくつかの動作を同時に行うことができます。詳しくは、下の表をご覧ください。

- 原稿の読み取り中は、操作パネルを使用できません。
- 多重動作中は、個々の動作の性能が低下することがあります。
- メモリの空き容量が少ない場合など、ご使用の状況によっては多重動作ができないことがあります。

○：動作します　×：動作しません　△：<プリント中割込み>キーを押すとコピーできます

次の動作 / 最初の動作	コピー	ファクス送信	ファクス受信	スキャン To E メール / ネットワーク PC/ USB メモリ	スキャン To リモート PC	コンピュータから印刷
コピー	×	○	○ *3	○	○	○ *3
ファクス送信	○	○ *2	×	○	○	○
ファクス受信	× *1	○ *2	×	○	○	○ *3
スキャン To E メール / ネットワーク PC/ USB メモリ	○	○	○	○	○	○
スキャン To リモート PC	×	×	○	×	×	○
コンピュータから印刷	△	○	○ *3	○	○	○ *3

*1　受信したファクスの印刷を開始していない場合は、コピーできます。
*2　最初の動作の通信中は、次の動作は通信予約となり、通信が完了すると予約した通信を開始します。
*3　最初の動作の印刷が完了した後に、次の動作の印刷を開始します。

2 プリンタとして使うとき

動作環境

Windows の動作環境

●Windows Vista/Windows Vista (64bit版)
Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

●Windows Server 2008/Windows Server 2008(64bit版)
Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

●Windows XP/Windows XP (x64版)
Windows XP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX(PC-9821 を除く)で、Ethernet 対応のネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

●Windows Server 2003/Windows Server 2003 (x64版)
Windows Server 2003 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機で、Ethernet 対応のネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

●Windows 2000
Windows 2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

- Windows 3.1/NT3.51/NT4.0/Me/98/95 では動作しません。
- プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。
- PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 ではご利用いただけません。

Macintosh の動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- MacOS X 10.3 ~ 10.5 日本語版が動作する Macintosh でネットワークインタフェース、または USB インターフェースを搭載している機種

セットアップする

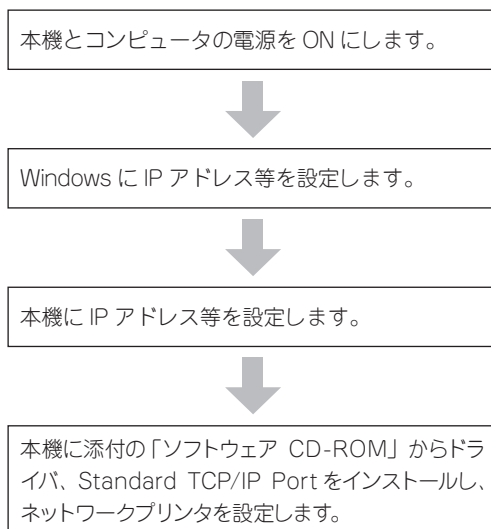
ネットワーク接続で Windows にセットアップする

セットアップの流れ

本機とコンピュータの電源を ON にします。

Windows に IP アドレス等を設定します。

本機に IP アドレス等を設定します。

本機に添付の「ソフトウェア CD-ROM」からドライバ、Standard TCP/IP Port をインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

セットアップする

ネットワーク上に DHCP サーバや BOOTP サーバがない場合、手動でコンピュータや本機に IP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータや本機に IP アドレスを設定する必要があります。
本機に設定されている IP アドレスは、機器設定印刷を行なうか、操作パネルの＜機器設定＞キーを押し、[装置情報] - [[ネットワーク] で確認します。

参照　機器設定印刷（108 ページ）

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりインターネットに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダに、本機に設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、インターネット接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップには管理者の権限が必要です。
- 「Windows にセットアップします」の記述は、特に表記がない限り、Windows Vista での操作手順を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

- 本機はネットワーク Plug&Play に対応しています。接続しているコンピュータがすべて Windows Vista/Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的に IP アドレスを設定します。コンピュータと本機に IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順 4　プリンタドライバをインストールします」（123 ページ）からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台と本機 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

本機（MC860）

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
IP アドレス設定	: 手動
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows Vista Home Premium Edition
装置	: MC860
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（MC860）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 本機とコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「本機に IP アドレス等を設定します」（120 ページ）へ進みます。

❶Windows を起動します。

❷［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークの状態とタスクの表示］をクリックします。

Windows Server 2008 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークと共有センター］を選択します。

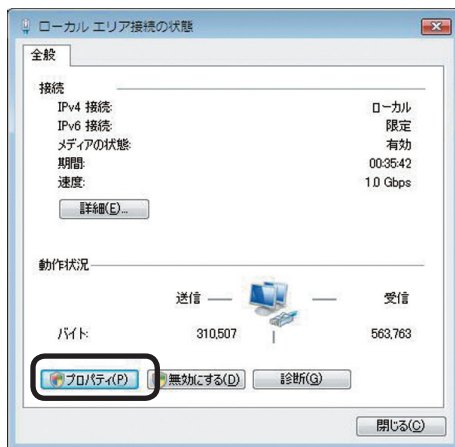
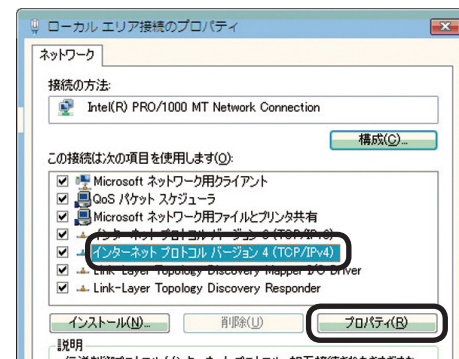
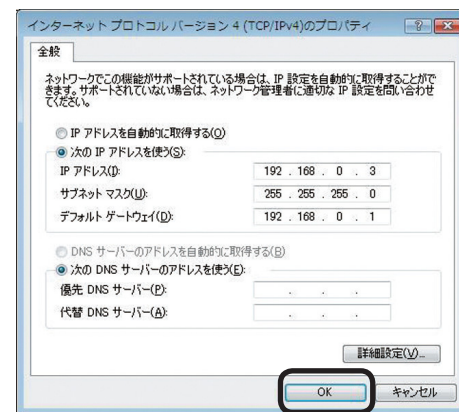
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワークとインターネット接続］-［ネットワーク接続］を選択します。

Windows Server 2003 では［スタート］-［コントロールパネル］-［ネットワーク接続］を選択します。

Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

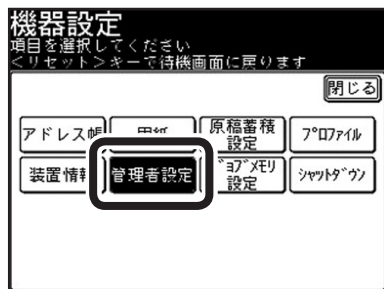
❸［ネットワーク接続の管理］をクリックします。

注 Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 ではこの手順を行なう必要はありません。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、「ローカルエリア接続の状態」画面の「プロパティ」をクリックします。「ユーザアカウント制御」画面が表示されたら［続行］をクリックします。

❺［インターネット　プロトコル　バージョン 4（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
・DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
・デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 本機に IP アドレス等を設定します。

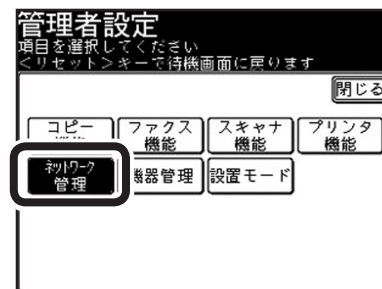
すでに本機に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「プリンタドライバをインストールします」（123 ページ）へ進みます。

❶本機の電源を ON にします。

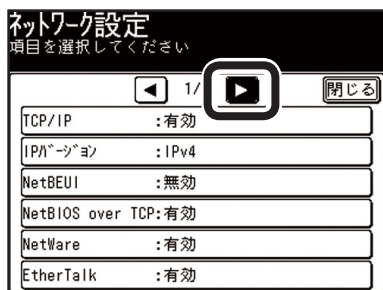
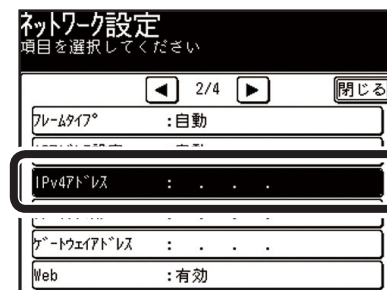
❷<機器設定>を押します。

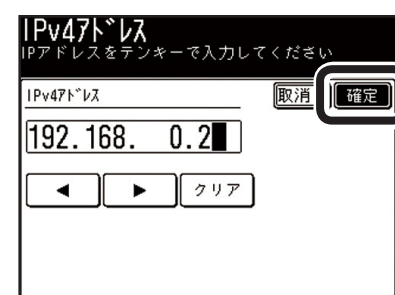
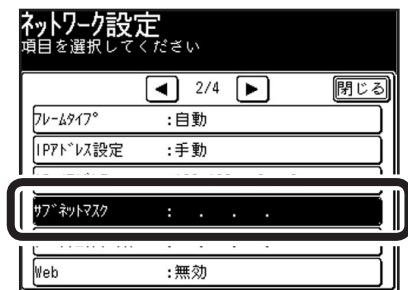
❸[管理者設定]を押します。

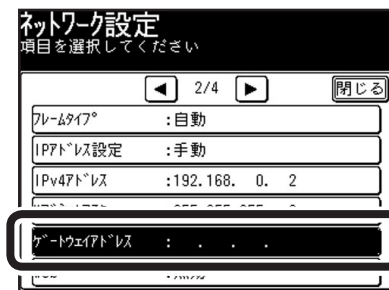
❹管理者パスワードを入力し、[確定］を押します。

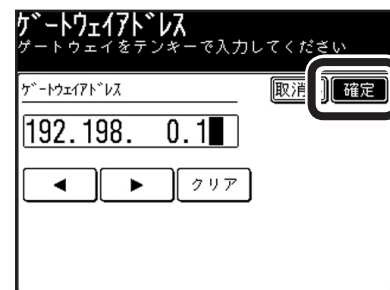
メモ
工場出荷時の設定では、管理者パスワードは「aaaaaa」となっています。

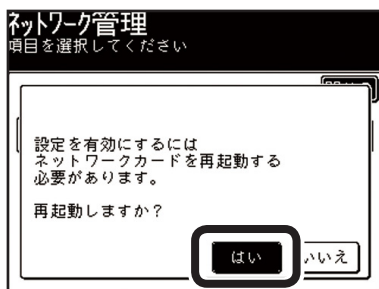
❺[ネットワーク管理］を押します。

❻「ネットワーク設定」を押します。

❼［▶］を 1 回押し、［ネットワーク設定］の［2/4］画面を表示します。

❽［IPv4 アドレス］を押します。

❾テンキーから、IP アドレスを入力し、［確定］を押します。

2 プリンタとして使うとき

❿［サブネットマスク］を押します。

⓫テンキーからサブネットマスクを入力し、［確定］を押します。

⓬［ゲートウェイアドレス］を押します。

⓭テンキーからゲートウェイアドレスを入力し、［確定］を押します。

⑭［閉じる］を 2 回押します。

⑮［再起動しますか？］と表示するので、［はい］を押します。

4 プリンタドライバをインストールします。

❶本機の電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、本機に添付の「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

❹「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

メモ　画面を閉じる場合は、右上の×または［終了］をクリックします。

❺［ドライバのインストール］をクリックします。

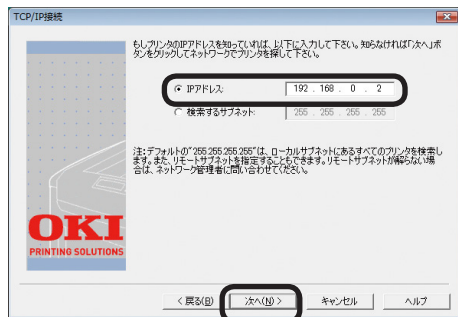
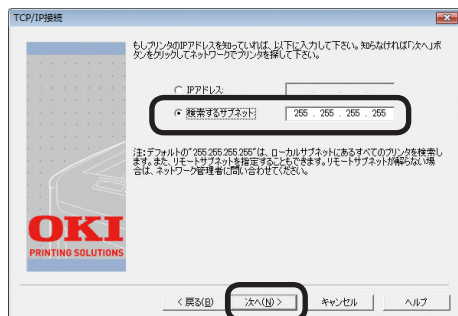
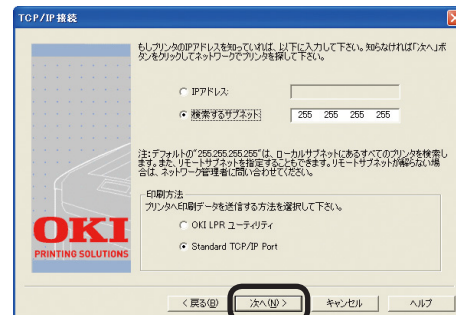
メモ　PCL XPS プリンタドライバをインストールする場合は、［XPS ドライバのインストール］をクリックします。PCL XPS プリンタドライバは、XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。

注　PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 ではご利用いただけません。

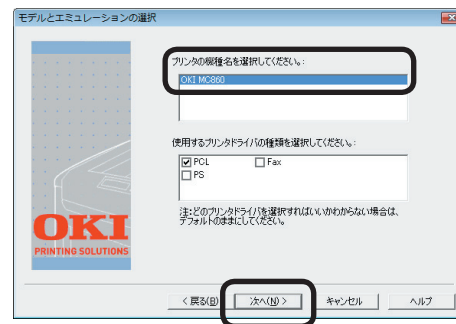
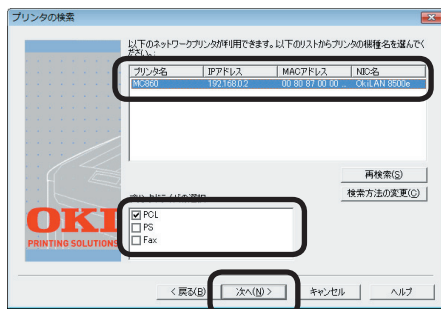
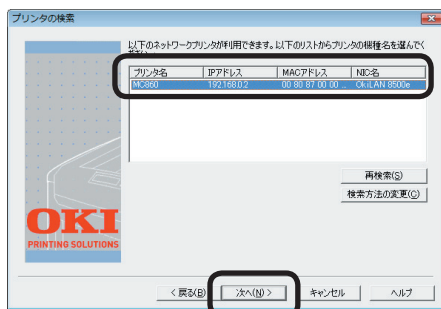
❻［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ　USB で接続する場合は、「USB 接続で Windows にセットアップする」（127 ページ）をご覧ください。

❼［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽手順 3（120 ページ）で設定した本機の IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

本機の IP アドレスが自動取得の場合や、IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 の場合

- IP アドレスを自動取得した場合には、［印刷方法］で OKI LPR ユーティリティを選択してください。
- ドライバインストール後、OKI LPR ユーティリティを起動し、［オプション］-［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］をチェックしてください。（詳細はユーザーズマニュアル（応用編）を参照してください。）

❾手順❽で本機の IP アドレスを入力した場合、機種名とドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

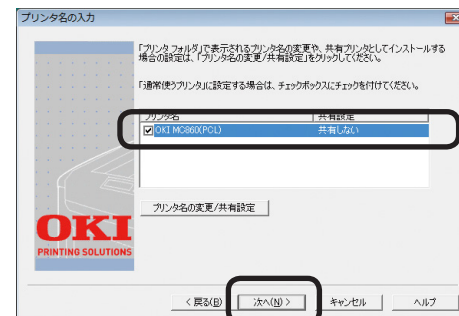
メモ　PCL XPS プリンタドライバをインストールする場合は、手順 ❿に進みます。

手順❽で[検索するサブネット]を選択した場合、検索された装置リスト画面が表示されるので、機種名とドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

PCL XPS プリンタドライバをインストールする場合

メモ
- 以下を参考に、お使いの環境に合ったプリンタドライバを選択します。

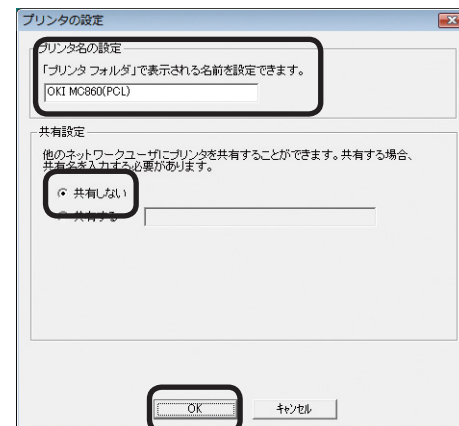
PS　：PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。
PCL　：ビジネス文書の印刷に適しています。
Fax　：コンピュータから、文章を印刷できるアプリケーションを使用し、ファクス送信するときにインストールします。詳しい手順は、応用編「コンピュータからファクス送信する」をご覧ください。

- 複数のドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。

注 PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2003 ではご利用いただけません。

⓾一覧中のチェックボックスにチェックを付け、[次へ]をクリックします。プリンタ名の変更や、共有設定を行う場合は、[プリンタ名の変更 / 共有設定]をクリックします。

PCL XPS プリンタドライバは、プリンタの共有に対応していません。

⑪プリンタ名を入力し、[共有しない]を選択し、[OK]をクリックします。

2 プリンタとして使うとき

⓬ドライバと Standard TCP/IP と Network Extension と色見本印刷ユーティリティがインストールされます。
[Windows セキュリティ]画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003 の場合に、「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行]をクリックします。

⓭「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、[再起動する]を選択し、[完了]をクリックします。Windows が再起動します。

⓮「インストール完了」の画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

⓯[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。
Windows XP では[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタとその他のハードウェア]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では[スタート]-[プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では[スタート]-[設定]-[プリンタ]を選択します。

[プリンタ]または[プリンタと FAX]フォルダにアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ 複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のアイコンが追加されます。

USB 接続で Windows にセットアップする

PS または PCL プリンタドライバをインストールする

メモ PCL XPS プリンタドライバをインストールする場合は、「PCL XPS プリンタドライバをインストールする」(129 ページ)をご覧ください。

注

- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- 特に表記がない限り、Windows Vista での操作手順を記載しています。OS によって画面や操作手順が異なる場合があります。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

本機の電源が ON になっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、本機の電源を OFF にしてから次に進んでください。

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「ソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷［自動再生］が表示されたら、［Setup.exe の実行］をクリックします。

❸［ユーザアカウント制御］が表示されたら、［続行］をクリックします。

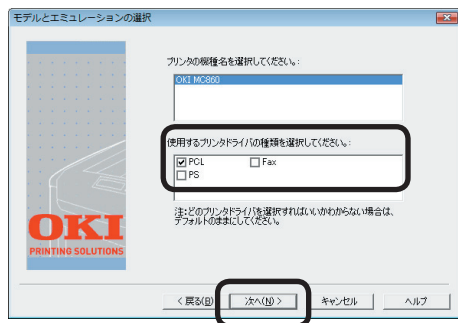
3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❷［ドライバのインストール］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

メモ ネットワークで接続する場合は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップする」（117 ページ）をご覧ください。

❹「ポートの選択」画面で［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺機種名とドライバの種類を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ

- 以下を参考に、お使いの環境に合ったプリンタドライバを選択します。

  PS　：PostScript フォントや EPS データを含んだ文書の印刷に適しています。

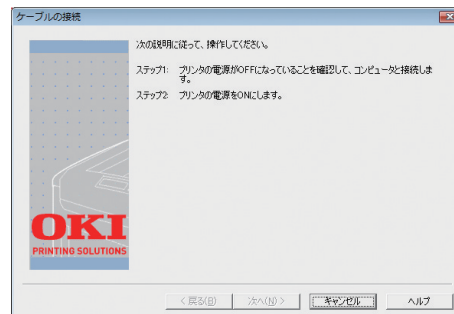
  PCL　：ビジネス文書の印刷に適しています。

  Fax　：コンピュータから、文章を印刷できるアプリケーションを使用し、ファクス送信するときにインストールします。詳しい手順は、応用編「コンピュータからファクス送信する」をご覧ください。

- 複数のドライバの種類を選択し、同時にインストールすることができます。
- スキャナドライバもインストールされます。

ファイルのコピーが行われます。
[Windows セキュリティ] 画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。Windows XP/Windows Server 2003 の場合に、「ソフトウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

4 USB ドライバをインストールします。

❶「ケーブル接続」の画面が表示されたら、[次へ] をクリックし、画面の指示に従って進みます。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❹に進みます。

❷「インストール完了」の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

❸［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタ］を選択します。
Windows XP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows Server 2003 では［スタート］-［プリンタと FAX］を選択します。
Windows 2000 では［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

［プリンタ］または［プリンタと FAX］フォルダにアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

メモ 複数のドライバをインストールした場合は、インストールした数分のアイコンが追加されます。

☞ ❶からの続き

❹［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

❺Windows が完全に起動したら、❶に戻ります。

PCL XPS プリンタドライバをインストールする

- PCL XPS プリンタドライバは、Windows XP/Windows Server 2003/Windows 2000 ではご利用いただけません。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。

PCL XPS プリンタドライバは、XPS 対応アプリケーションからの印刷に適しています。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

Windows の CD-ROM ドライブを確認します。

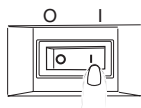
❶［スタート］-［コンピュータ］を選択します。

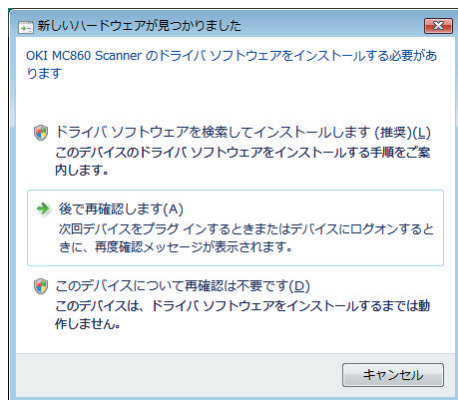
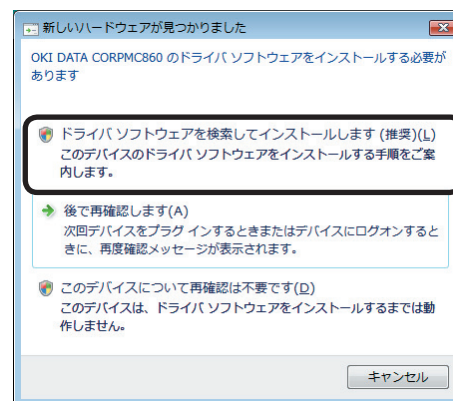
❷［リムーバブル記憶域があるデバイス］-［CD ドライブ（E:）］のカッコ内に表示されている英文字を確認します。

この場合は、［E］が CD-ROM のドライブです。

2
プリンタとして使うとき

2 プリンタドライバをインストールします。

❶本機の電源を ON にします。

プラグアンドプレイでセットアップします

❶「新しいハードウェアが見つかりました」画面を表示するので、
スキャナドライバをインストールする場合は、ユーザーズマニュアル（応用編）「4 いろいろなスキャンのしかた」の「スキャナドライバ（TWAIN ドライバ、WIA ドライバ）をインストールする」をご覧になり、インストールします。
スキャナドライバをインストールしない場合は、［キャンセル］をクリックします。

❷次の画面が表示されたら、［ドライバ ソフトウェアを検索してインストールします（推奨）］をクリックします。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されない場合」（135 ページ）へ進みます。

既に本機の PS または PCL 他のプリンタドライバをセットアップしている場合は、「プリンタのインストールでセットアップします」（133 ページ）へ進みます。

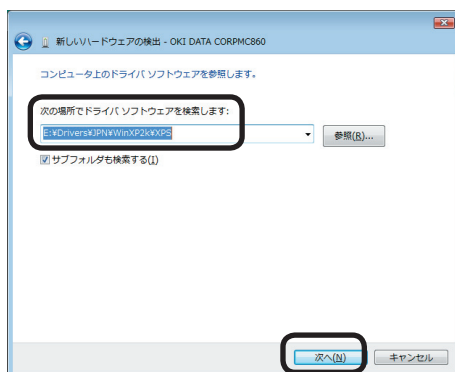
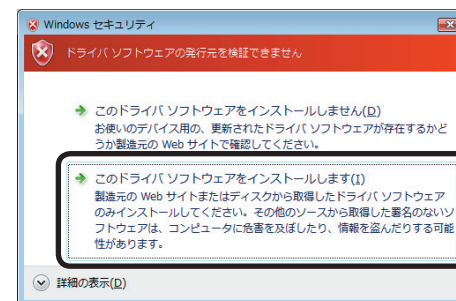
❸「新しいハードウェアの検出」画面が表示されたら、［オンラインで検索しません］をクリックします。

❹［ディスクはありません。他の方法を試します］をクリックします。

❺［コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します（上級）］をクリックします。

❻「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❼[次の場所でドライバソフトウェアを検索します:]に、次のように入力し、[次へ]をクリックします。

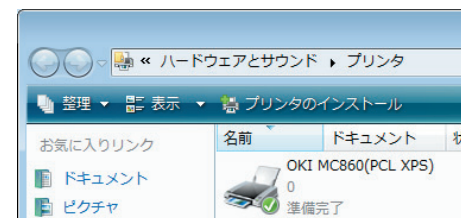
ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。 Windows Vista/Windows Server 2008 の場合 E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥XPS Windows Vista(x64版)/Windows Server2008(x64版)の場合 E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥XPS

❽「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら?

☞ ⓫へ進みます。

❾「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」が表示されたことを確認し、[閉じる]をクリックします。

❿[スタート]-[コントロールパネル]-[プリンタ]を選択します。

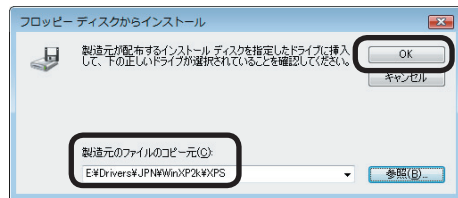
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❽からの続き

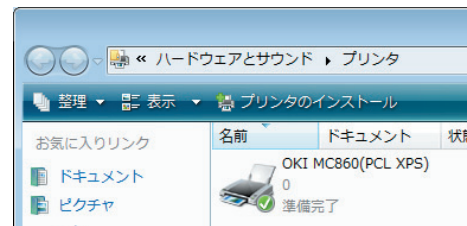
⓫「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「ソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

⓬［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合
E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥XPS

Windows Vista（x64版）/Windows Server2008（x64版）の場合
E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥XPS

ファイルのコピーが開始されます。

⓭［完了］をクリックします。

⓮［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。
プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタ］をクリックします。

❷［プリンタのインストール］をクリックします。

❸「プリンタの追加」画面で、［次へ］をクリックします。

❹［ローカルプリンタを追加します］をクリックします。

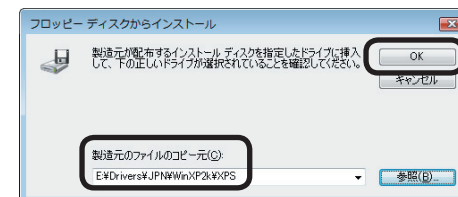
❺「プリンタ ポートの選択」画面の［既存のポートを使用］で［USBxxx］（xxx はポートの番号）を選択し、［次へ］をクリックします。

❻［ディスク使用］をクリックします。

❼「ソフトウェア CD-ROM」をセットします。

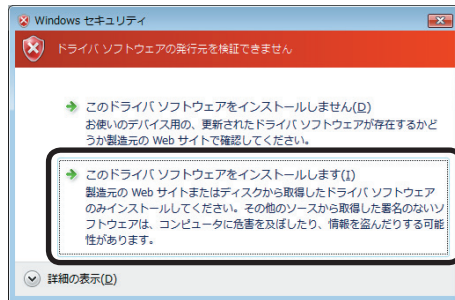
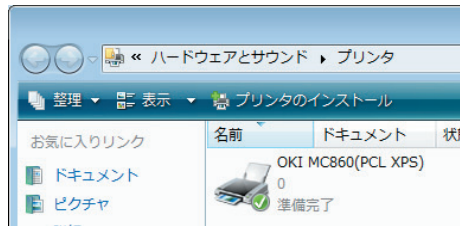
❽［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

ここでは CD-ROM ドライブが E: の場合を例にしています。
Windows Vista/Windows Server 2008 の場合
E:¥Drivers¥JPN¥WINXP2K¥XPS

Windows Vista（x64版）/Windows Server2008（x64版）の場合
E:¥Drivers¥JPN¥WinXP64¥XPS

❾プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

❿プリンタ名を確認し、通常使用するプリンタに設定するにチェックをつけ、［次へ］をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、［このプリンタを共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫「Windows セキュリティ」画面が表示されたら、[このドライバソフトウェアをインストールします]をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓬[完了]をクリックします。

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

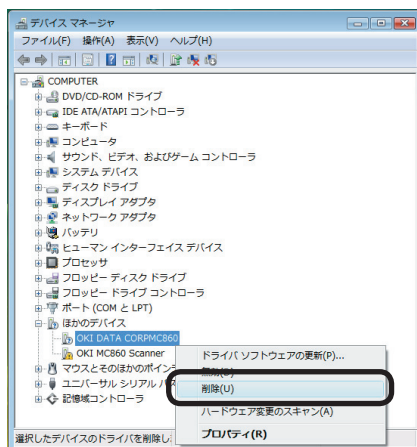
セットアップは完了です。

「新しいハードウェアが見つかりました」が表示されない場合

プリンタドライバのインストールに失敗しています。下記の手順で途中までインストールしたプリンタドライバを削除してからセットアップし直してください。

❶［スタート］-［コンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷タスクの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸［ほかのデバイス］の「OKI DATA CORPMC860」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［ほかのデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPMC860」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹「デバイスのアンインストールの確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺「システムのプロパティ」画面を閉じます。

❻Windows を再起動し、「新しいハードウェアが見つかりました」画面から再セットアップします。

☞「PCL XPS プリンタドライバをインストールします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（130 ページ）へ戻ります。

2 プリンタとして使うとき

ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップする

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

印刷する方法を決める

Mac OS X から印刷するためには、EtherTalk を使用する方法、Bonjour（ボンジュール）/Rendezvous（ランデブー）を使用する方法の 2 種類があります。
まず、どちらを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
EtherTalk	Mac OS X が標準で持っている機能を使用します。
Bonjour（ボンジュール）Rendezvous（ランデブー）	Mac OS X 10.4 ～（Mac OS X 10.3 では Rendezvous）が標準で持っている機能を使用します。EtherTalk が使用できないネットワークでは、こちらを使用します。

セットアップの流れ

印刷する方法によって、セットアップの手順が異なります。

EtherTalk

Macintosh に Ether Talk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「EtherTalk プロトコルを利用する」（137 ページ）へ進みます。

Mac OS X 10.5 をお使いの方は、「EtherTalk プロトコルを利用して装置の設定をする」（143 ページ）へ進みます。

Bonjour Rendezvous

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「Bonjour（Rendezvous）を利用する」（140 ページ）へ進みます。

Mac OS X 10.5 をお使いの方は、「Bonjour を利用して装置の設定をする」（144 ページ）へ進みます

Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方

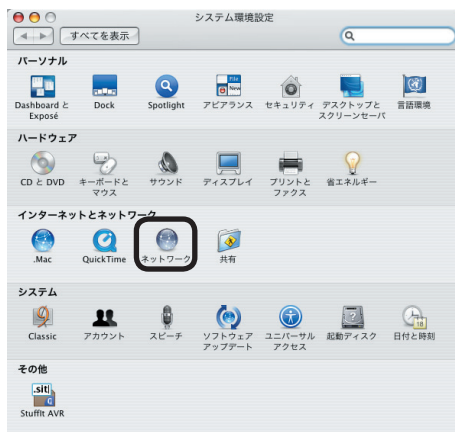
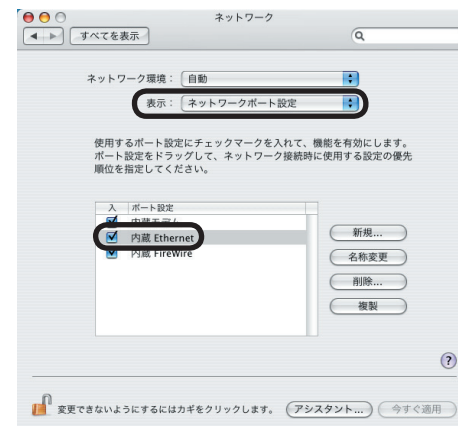
■ EtherTalk プロトコルを利用する

以下の説明は、Mac OS X 10.4.11 を例にしています。

1 本機の電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk 使用］にチェックがついていることを確認します。

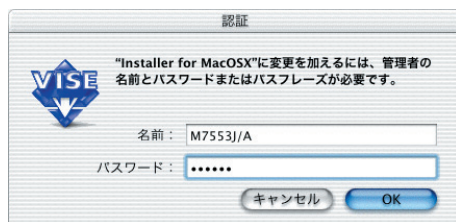
3 プリンタドライバをインストールします。

ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷追加するプリンタドライバの［Driver］フォルダを開きます。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

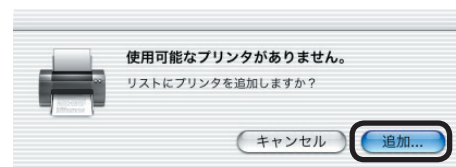
4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

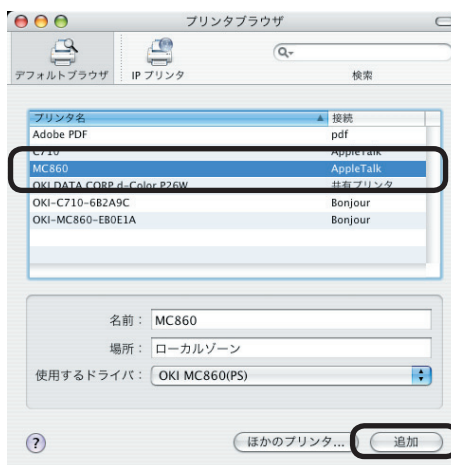
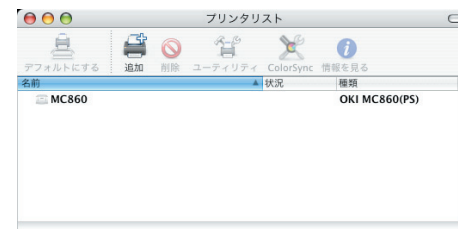
プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ハードディスクの[アプリケーション]-[ユーティリティ]フォルダ内の[プリンタ設定ユーティリティ]をダブルクリックします。

プリンタ設定ユーティリティ

❷［追加］をクリックします。

メモ　新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸［AppleTalk］を選択します。

❹装置名を選択し、［追加］をクリックします。

❺［プリンタリスト］に追加した装置名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加した装置名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行に装置名が正しく表示されていることを確認します。

■ Bonjour（Rendezvous）を利用する

Mac OS X 10.3 ～ 10.3.8 では使用できません。

1 本機の電源を ON にします。

2 Macintosh を設定します。

❶Macintosh を起動します。

❷［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸［表示］-［ネットワークポート設定］を選択し、［内蔵 Ethernet］にチェックがついていることを確認します。（137 ページ参照）

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

4 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

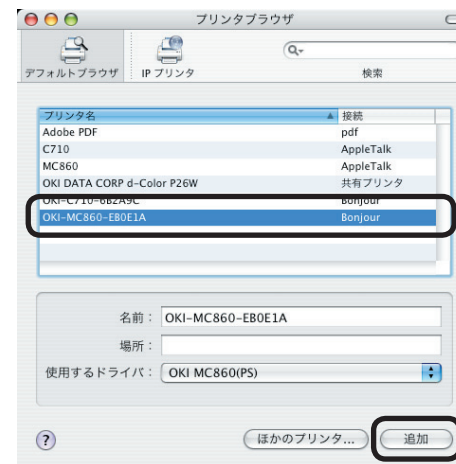
プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

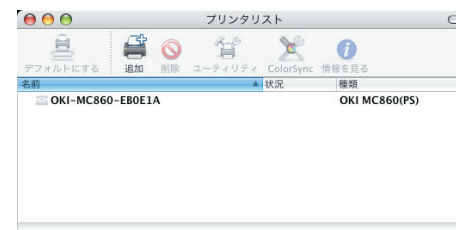
❷［追加］をクリックします。

メモ　新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸Mac OS X 10.3.9 では［Rendezvous］を選択します。

❹装置名を選択し（Mac OS X 10.3.9 では、［プリンタの種類］で［Oki］を選択し、機種名のリストから OKI-MC860 を選択します）、［追加］をクリックします。

メモ
・プリンタ名は「OKI-MC860」+「MAC アドレスの英数字下 6 桁」です。
・MAC アドレスは、操作パネルの［機器設定］キーを押し、［装置情報］－［ネットワーク］を押すと、表示されます。

❺［プリンタリスト］に追加した装置名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

2 プリンタとして使うとき

5 設定を確認します。

❶テキストエディットなどのアプリケーションを起動します。

❷［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸［対象プリンタ］で追加した装置名を選択します。

❹［対象プリンタ］メニューの下の行に装置名が正しく表示されていることを確認します。

Mac OS X 10.5 をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタドライバをインストールします。

Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（137 ページ）をご覧ください。

ウィルス防御ソフトウエアは OFF にしてください。

❶「ソフトウエア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

❹管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

■ EtherTalk プロトコルを利用して装置の設定をする

メモ　Bonjour をご利用の方は、「Bonjour を利用して装置の設定をする」（144 ページ）をご覧ください。

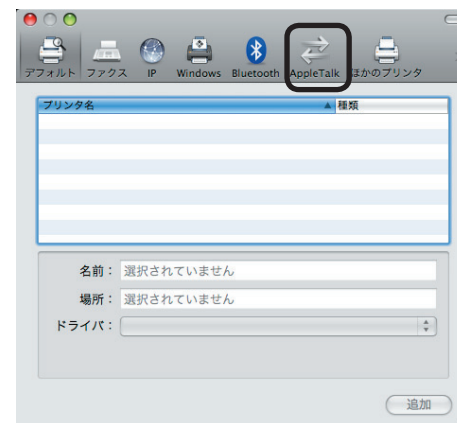
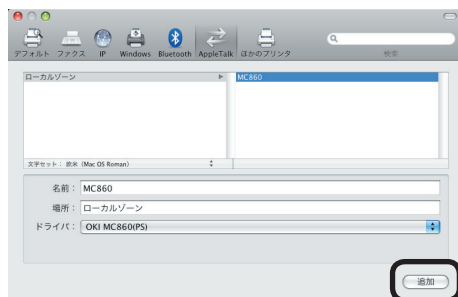
［プリンタとファクス］が既に開いている場合は、×をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸［+］をクリックします。

❹［AppleTalk］をクリックします。最初に設定する場合、装置名が表示されるまでにしばらく時間がかかります。

2 プリンタとして使うとき

❺装置名を選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

❻プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し、[プリントとファクス] を閉じます。

❼[種類] に、追加した装置名が正しく表示されていることを確認します。

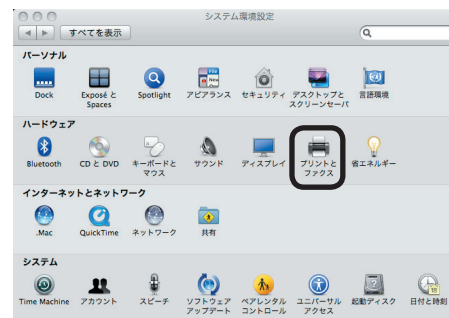
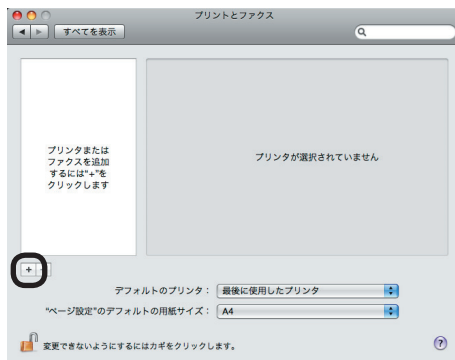
プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないと装置名が正しく表示されません。この場合は、一旦削除し、再度、登録してください。

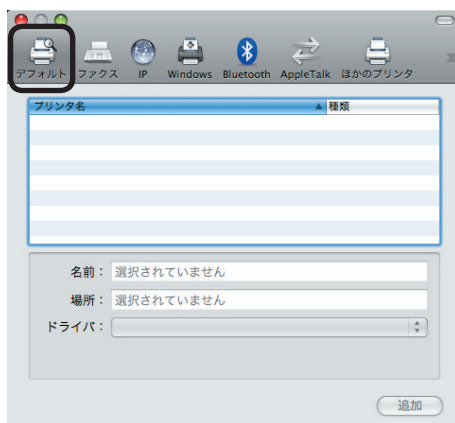
▪ Bonjour を利用して装置の設定をする

EtherTalk プロトコル接続の方は、「EtherTalk プロトコルを利用して装置の設定をする」（143 ページ）をご覧ください。

[プリントとファクス] が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

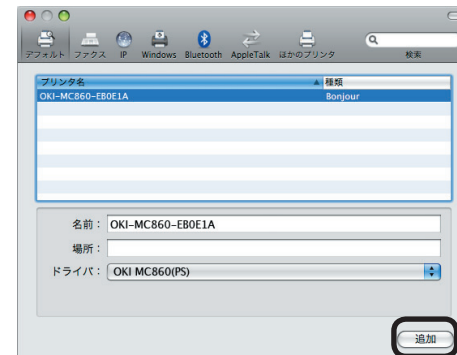
❶[アップルメニュー] - [システム環境設定] を選択します。

❷[プリントとファクス] をクリックします。

❸ [+] をクリックします。

❹ [デフォルト] をクリックします。

❺ 装置名が表示されたら、[種類] に接続したいポート名が表示されていることを確認します。

❻ 装置名を選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら、[追加] をクリックします。

メモ

- Bonjour 接続の場合、プリンタ名は [OKI-MC860] + [MAC アドレスの英数字下 6 桁] です。
- MAC アドレスは、操作パネルの [機器設定] キーを押し、[装置情報] - [ネットワーク] を押すと、表示されます。

❼ プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し、[プリンタとファクス] を閉じます。

❽［種類］に、追加した装置名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないと装置名が正しく表示されません。この場合は、一旦削除し、再度、登録してください。

USB 接続で Mac OS X にセットアップする

Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「ソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷追加するプリンタドライバの［Driver］フォルダを開きます。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❹管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

画面に従い、インストールを行ないます。

3 プリンタ設定ユーティリティで設定をします。

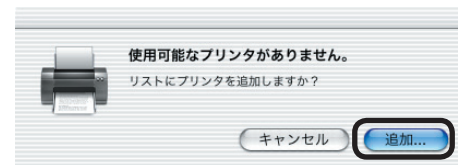
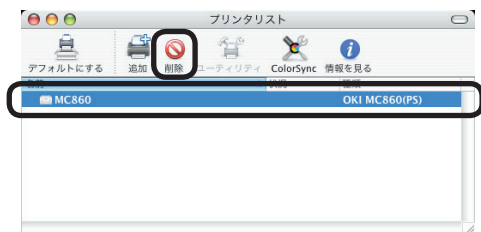
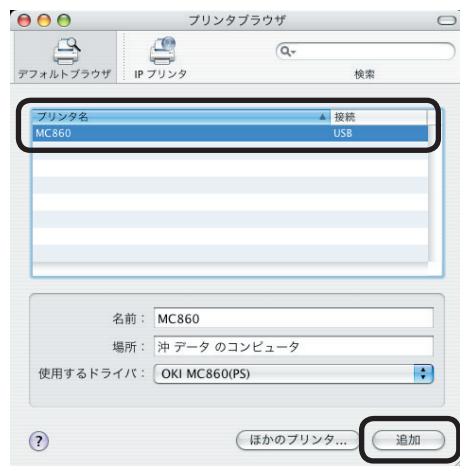
注 プリンタ設定ユーティリティが起動している場合は、メニューから終了を選択して終了させてください。

❶ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］をダブルクリックします。

プリンタ設定ユーティリティ

❷［追加］をクリックします。

メモ 新規に追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

2 プリンタとして使うとき

注 インストールしようとしている装置の名前がすでに表示されている場合は、装置名を選択して［削除］をクリックします。

❸［接続］に［USB］と表示されている装置名を選択し、［使用するドライバ］メニューに正しい機種名が表示されたら、［追加］をクリックします。

❹［プリンタリスト］に追加した装置名が表示されたことを確認し、［プリンタ設定ユーティリティ］を閉じます。

Mac OS X 10.5 をお使いの方

1 本機の電源を ON にします。

2 プリンタドライバをインストールします。

メモ Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方は、「セットアップします（Mac OS X 10.3 ～ 10.4.11 をお使いの方）」（147 ページ）をご覧ください。

注 ウィルス防御ソフトウエアは OFF にしてください。

❶「ソフトウエア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［OKI］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for MacOSX］をダブルクリックします。

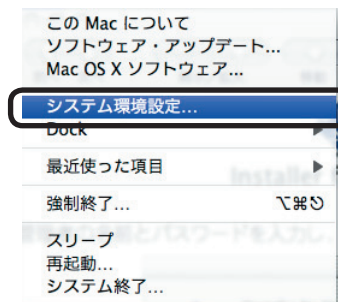
Installer for MacOSX

❹管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

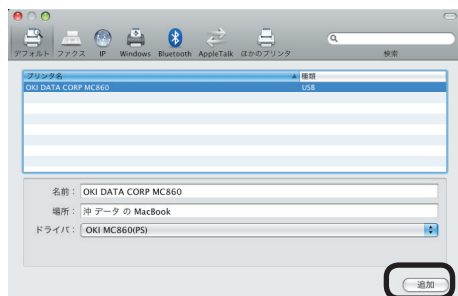
画面に従い、インストールを行ないます。

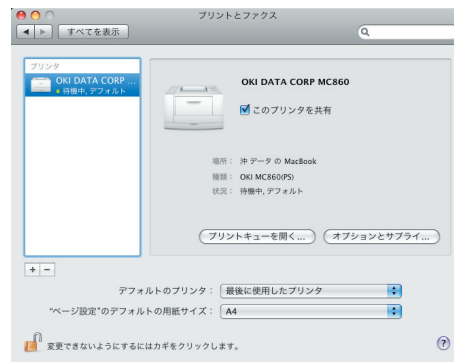
3 USB 接続でプリンタの設定をします

注 ［プリントとファクス］が開いている場合は、X をクリックして閉じてください。

❶［アップルメニュー］-［システム環境設定］を選択します。

❷［プリントとファクス］をクリックします。

❸[+] をクリックします。

❹[種類] に [USB] と表示されている装置名を選択し、[ドライバ] メニューに正しい機種名が表示されたら [追加] をクリックします。

❺インストール可能なオプションの取得画面で、[構成 ...] をクリックしてプリンタオプションを選択します。

❻プリンタリストに追加した装置名が表示されたことを確認し、[プリンタとファクス] を閉じます。

❼コンピュータを再起動します。

コンピュータから印刷する

印刷する

通常の印刷

1 印刷したいファイルを開きます。

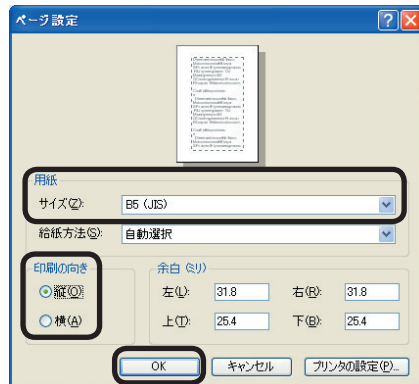
2 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］、［用紙厚］を選択し、印刷します。

メモ ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、応用編「いろいろな印刷について」の「トレイを自動的に選択したい」をご覧ください。

■ **Windows PS プリンタドライバをお使いの方**

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

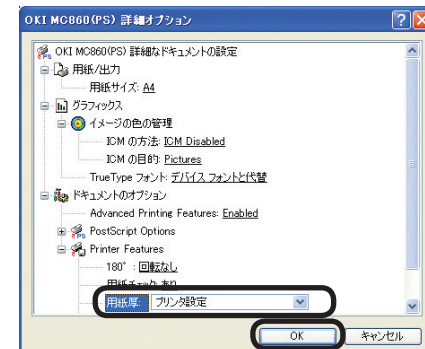
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［用紙サイズ］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙／品質］タブの［給紙方法］で使用するトレイを選択します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で適当な値を選択し、［OK］をクリックします。

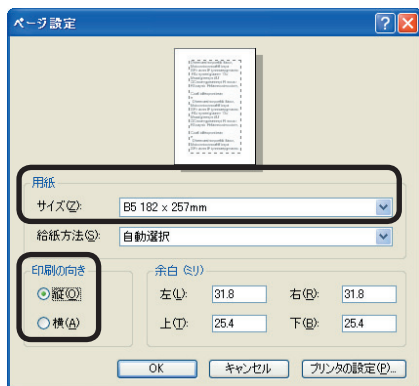
メモ 通常は［プリンタ設定］を選択します。［プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❼[OK]をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

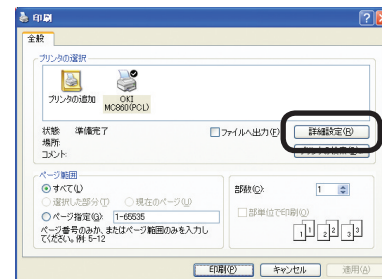
❽「印刷」画面で[印刷]をクリックし、印刷します。

■ **Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方**

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［用紙サイズ]、[印刷の向き]で[縦]または[横]を選択し、[OK］をクリックします。

❸[ファイル]メニューの[印刷]を選択します。

❹[詳細設定]をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❺[設定]タブの［給紙方法]で[用紙トレイ］を選択します。

❻[用紙厚]で適当な値を選択します。

メモ 通常は[プリンタ設定]を選択します。[プリンタ設定]を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❼[OK］をクリックします。
(Windows 2000 では、この操作は必要ありません。)

❽「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶[ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷[用紙サイズ]で［用紙サイズ］、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの［プリント］を選択します。

❹[給紙]パネルで[用紙トレイ]を選択します。

❺[プリンタの機能]パネルの[給紙オプション]機能セットの[用紙厚]で適当な値を選択します。

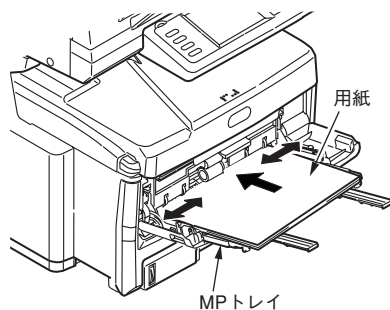
メモ 通常は[プリンタ設定]を選択します。[プリンタ設定]を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❻[プリント]をクリックし、印刷します。

メモ Mac OS X 10.5 で、[プリント］ダイアログに［プリンタオプション］が表示されない場合は、[プリンタ］ポップアップメニューの横にある▲▼三角ボタンをクリックしてください。

手差し印刷

MPトレイにセットした用紙に、1枚ずつ印刷します。
1枚印刷するごとに、操作パネルに「MP トレイに用紙をセットしてください」と表示するので、[印刷再開] を押し、印刷を開始します。

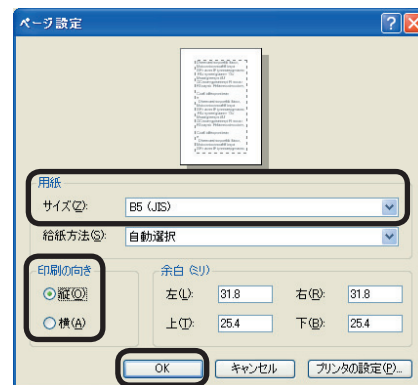
1 MP トレイに用紙をセットします。

2 印刷したいファイルを開きます。

3 プリンタドライバで［手差し］を指定し、印刷します。

■ **Windows PS プリンタドライバをお使いの方**

ここでは［ワードパッド］を例にしています。

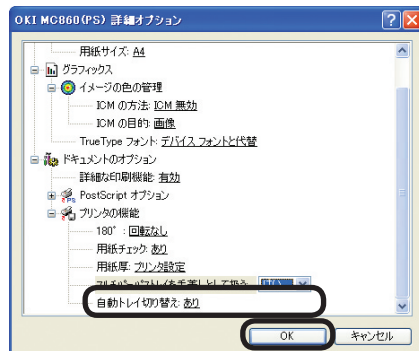
❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［用紙サイズ］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［適当な値］を選択し、［OK］をクリックします。

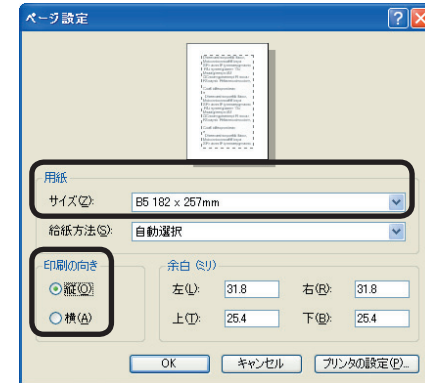
メモ　通常は［プリンタ設定］を選択します。［プリンタ設定］を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❼［OK］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

■ Windows PCL / PCL XPS プリンタドライバをお使いの方

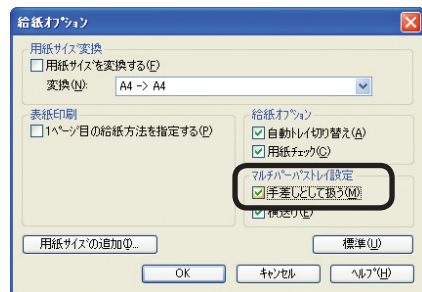
ここでは［ワードパッド］を例にしています。

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［用紙サイズ］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［詳細設定］をクリックします。
（Windows 2000 では、この操作は必要ありません。）

❺[設定]タブの［給紙方法]で[マルチパーパストレイ］を選択します。

❻[オプション］をクリックし、[マルチパーパストレイを手差しとして扱う］にチェックを付けます。

❼[用紙厚]で適当な値を選択します。

メモ　通常は[プリンタ設定]を選択します。[プリンタ設定]を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❽[OK］をクリックします。
（Windows 2000では、この操作は必要ありません。）

❾「印刷」画面で[OK]または[印刷]をクリックし、印刷します。

■ Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

❶[ファイル] メニューの [ページ設定] を選択します。

❷[用紙サイズ]で [用紙サイズ]、[方向]で適切な方向を選択し、[OK]をクリックします。

❸[ファイル]メニューの [プリント] を選択します。

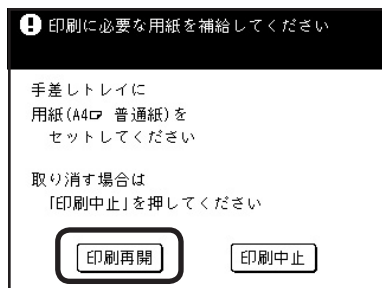
❹[給紙]パネルで[用紙トレイ]を選択します。

❺[プリンタの機能]パネルの[給紙オプション]機能セットの[用紙厚]で適当な値を選択します。

メモ 通常は[プリンタ設定]を選択します。[プリンタ設定]を選択すると、本機の操作パネルで設定した値になります。

❻[プリント]をクリックし、印刷します。

メモ Mac OS X 10.5 で、[プリント] ダイアログに [プリンタオプション] が表示されない場合は、[プリンタ] ポップアップメニューの横にある▲▼三角ボタンをクリックしてください。

4 操作パネルに下のメッセージが表示されたら、[印刷再開]を押し、印刷を開始します。

メモ 複数ページのデータのときは、1 ページ印刷する毎に上のメッセージを表示します。

3 コピー機として使うとき

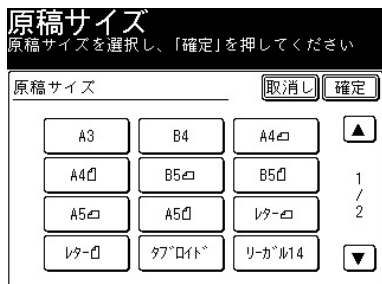
コピーの基本操作

コピーの前に

原稿サイズの自動検知について

自動原稿送り装置、ガラス面とも A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5サイズ原稿を自動検知できます。

■ 原稿サイズが自動検知できないとき

原稿サイズ検知センサーが正しく動作しないときは、以下のメッセージが表示されます。

- 原稿サイズを押し、［確定］を押します。＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

  メモ　用紙によっては画像が欠けたり余白が出たりします。

- ［取消し］を押すと、操作を中断し待機表示に戻ります。

  メモ　コピーする用紙を選択したり、読み取りサイズを指定したりするなど、再度操作し直してください。

■ 自動検知されたが、適切な用紙がないとき

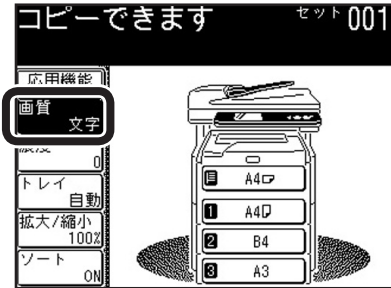
原稿にあった適切にコピーできる用紙がないときは、以下のメッセージが数秒間表示されます。

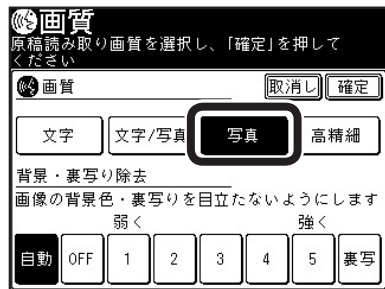
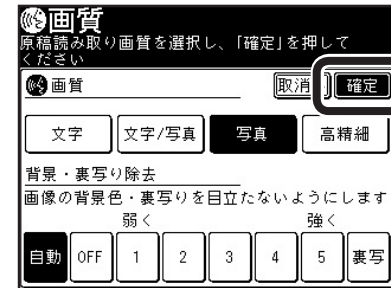
メモ　最適な用紙をトレイにセットするか、またはトレイを選択してください。詳しくは、「ディスプレイに表示されるメッセージ」の「コピー関連」（337 ページ）をご覧ください。

コピー画質・濃度の設定

原稿や文字に合わせて、画質・濃度を選択します。

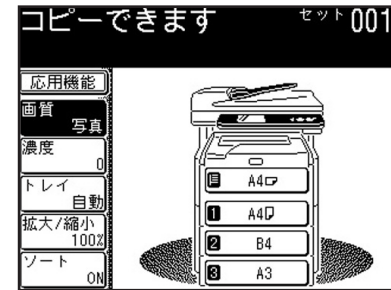
■ 画質

1 ［画質］を押します。

2 ①希望の画質を押します。

文字..............文字の原稿に適した設定で読み取ります。
文字／写真..写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定で読み取ります。（初期値）
写真..............写真や絵の原稿に適した設定で読み取ります。
高精細..........写真や絵と文字が混ざった原稿に適した設定です。高解像度で読み取ります。
背景除去......画像の背景（下地）色を目立たないようにします。
裏写り除去..裏写りを目立たないようにします。

②［確定］を押します。

背景除去と裏写り除去を同時に設定することはできません。

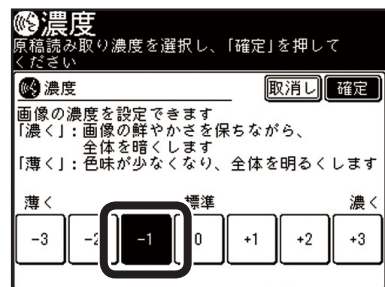
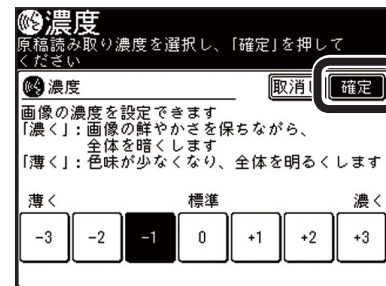
参照 画質の初期値を変更できます。変更方法は応用編「コピー機能設定」を参照してください。

3 選択した画質に変更されます。

3 コピー機として使うとき

■ 濃度

1 ［濃度］を押します。

2 ①希望の濃度を押します。

原稿に合わせて、7 段階に濃度を選びます。
濃く（+1 ～ +3）........ 画像の鮮やかさを保ちながら、全体を暗くします。
標準.............................. 普通の原稿のとき（初期値）
薄く（-1 ～ -3）......... 色味が少なくなり、全体を明るくします。

②［確定］を押します。

参照　濃度の初期値を変更できます。変更方法は応用編「コピー機能設定」を参照してください。

3 選択した濃度に変更されます。

設定のリセット

■ 自動リセット

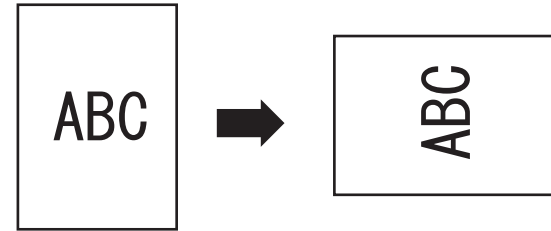
コピー操作後、一定時間何も操作をしないと初期状態に戻ります。
工場出荷時設定では 3 分後に画面がリセットされます。リセットされる時間を設定できます。

参照 応用編 「操作パネルの設定項目一覧」

■ <リセット>キーによる設定のリセット

<リセット>キーを押すと、初期値に戻ります。コピー終了後は、次に使用する人のため<リセット>キーを押して設定をリセットしてください。

回転コピー

- 原稿と同じ向きの用紙がセットされていなくても、自動的にコピー画像を回転させてコピーします。

- 回転方向は左回転になります。
- 拡大／縮小コピーでも、原稿が用紙におさまるときは回転されます。
- 不定形サイズの原稿や、原稿サイズを自動検知できないときは回転しません。
- 100%コピー時は、A4、B5 、A5 以外の用紙へは回転コピーしません。
- 使用するトレイを指定し、任意の倍率で拡大 / 縮小コピー（ズーム）を設定したときは、回転コピーしません。
- A3、A4、A5、B4、B5 サイズの原稿は、A3、A4、A5、B4、B5 以外の用紙へは回転コピーしません。また、レター、タブロイド、リーガルサイズの原稿は、レター、タブロイド、リーガル用紙へは回転コピーしません
  例えば、A3 サイズの原稿を縮小し、A4（ ）用紙へ回転コピーすることはできますが、レター（ ）用紙へは回転コピーしません。

コピー中にメモリオーバーしたとき

原稿読み取り中にメモリオーバーしたときは以下のように対処してください。

■ 原稿の読み取り中にメモリオーバーしたとき

コピーを中断し、メモリの中のデータを削除します。自動原稿送り装置に原稿が残っている場合は、自動的に排出します。

［閉じる］を押すと待機画面に戻ります。

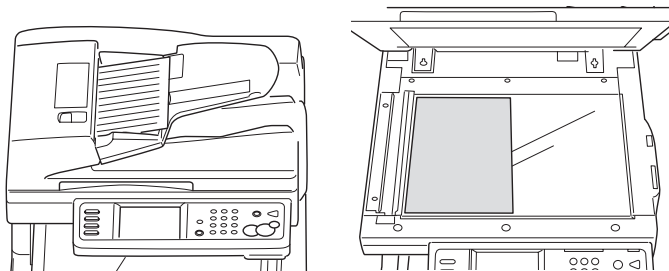
画質を変えるか、メモリが空くまで待ってから再度コピーしてください。

基本的なコピーのしかた

基本的なコピーのしかた

■ 操作の前に・・・・

- <コピー>キーを押して、コピー画面に切り替えておきます。
- 工場出荷時の設定では、拡大／縮小 100%、トレイ：自動、画質：文字 / 写真、濃度：0 でコピーされます。
- 「トレイ：自動」の場合は、原稿サイズに合わせて用紙を選択します。選択される用紙サイズは、A3、B4、A4 、A4 、B5 、B5 、A5 です。それ以外の用紙は自動選択されません。その場合、タッチパネルを押して、コピーしたい用紙がセットされているトレイまたは MP トレイを選択してください。
- リアルタイム送信を予約（応用編「送信時刻を指定する（時刻指定送信）」）しているときは、コピーすることはできません。

1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）

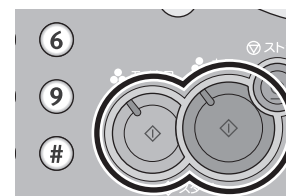
2 必要に応じて画質や濃度を設定します。

参照 コピー画質・濃度の設定（161 ページ）

3 各コピー機能の設定を行います。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ
- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、上書きで入力し直してください。
- 部数を設定しないときは 1 部コピーされます。

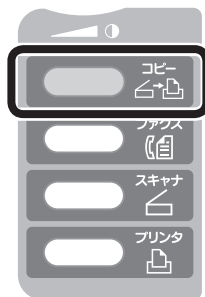
5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

コピーが始まります。

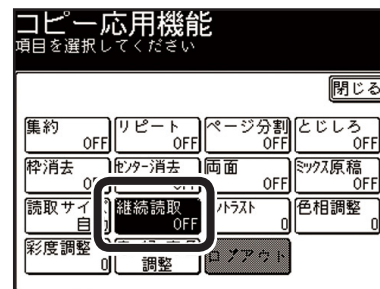
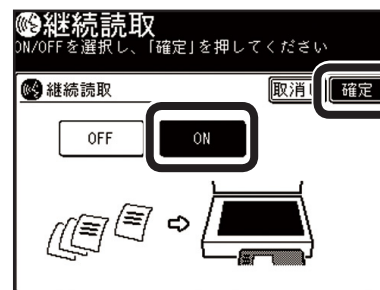
継続読取

継続読取の設定を行うことにより、別の原稿を読み取ることができます。
ソートコピー・集約コピー・両面コピーをするときに設定すると便利です。

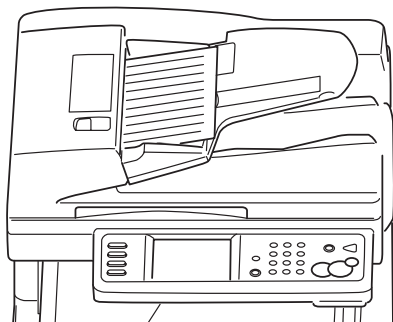
■ 操作の前に・・・・

継続読取を［ON］にするには、以下の操作を行ないます。

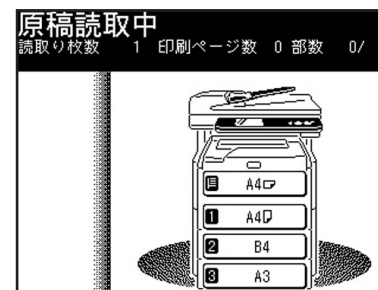
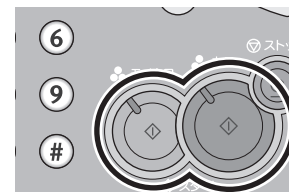
1 <コピー>キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［継続読取］を押します。

4 ［ON］を選択し［確定］を押します。

5 ［閉じる］を押してコピー待機画面に戻ります。

■ 自動原稿送り装置のとき

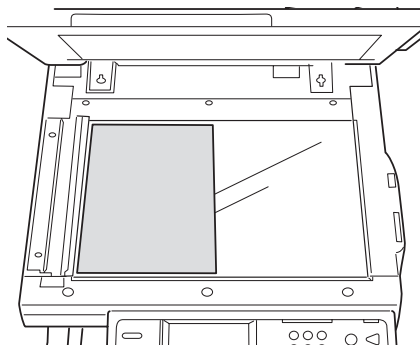
1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）

2 コピーの種類を設定します。

3 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿をセットします。

5 ［次のページを読む］を押します。次の原稿の読み取りを開始します。

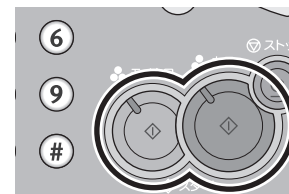
6 全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。全てのコピーを開始します。

■ガラス面のとき

1 原稿をセットします。

2 コピーの種類を設定します。

集約コピーと両面コピーの場合は、継続読取設定が OFF のときでも、原稿を読み取り後、「次の原稿をセットください」と表示されます。

3 ＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

メモ　読み取り終了後、1 部目のコピーを開始します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿（本などの場合は次のページ）をセットします。

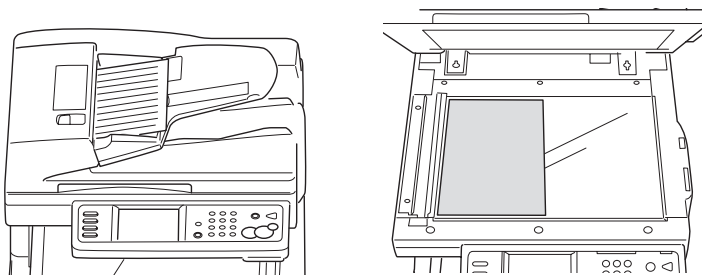
5 ［次のページを読む］を押します。次の原稿の読み取りを開始します。

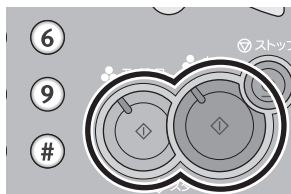
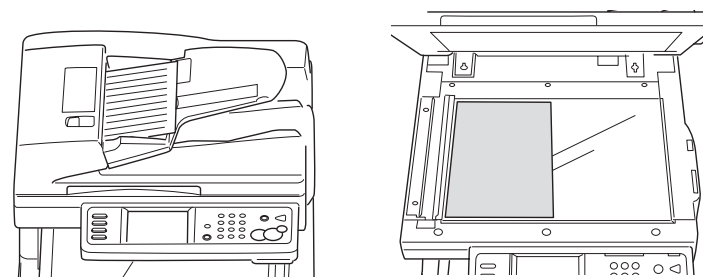
6 全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。全てのコピーを開始します。

7 2 部目以降のコピーが開始されます。

自動原稿送り装置とガラス面の混在コピー

継続読取機能を応用すると、自動原稿送り装置で原稿を読み取ったあと、ガラス面で原稿を読み取る、または、ガラス面で読み取ったあとに自動原稿送り装置で読みとってコピーすることができます。

1 自動原稿送り装置、またはガラス面に原稿をセットします。

2 コピーの種類を設定します。

3 ＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

4 「次の原稿をセットください」と表示されたら、次の原稿をセットします。

メモ　原稿を自動原稿送り装置にセットするときは、ガラス面の原稿を取り除いてください。

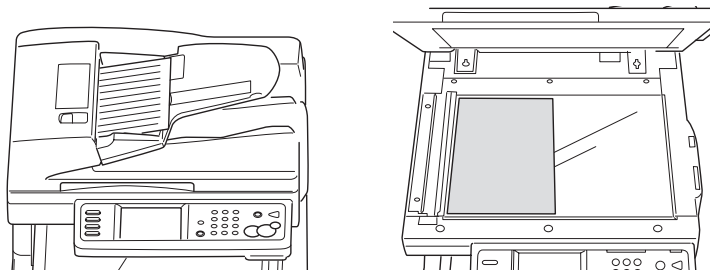
5 ［次のページを読む］を押します。

次の原稿を読み取ります。

全ての原稿の読み取りが終了したら［読取り終了］を押します。

用紙を選んでコピーする

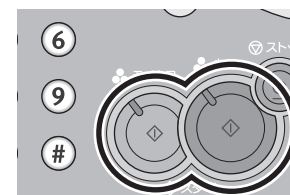
用紙を選んでコピーする

1 原稿をセットします。

参照
- 原稿セットのしかた（83 ページ）
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。（161 ページ）

2 タッチパネルから、コピーしたい用紙がセットされているトレイを選択します。

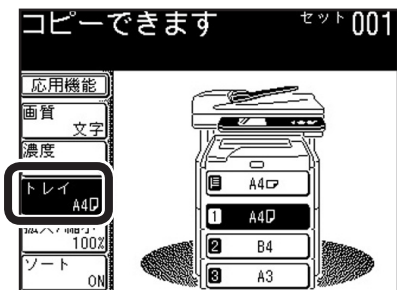
参照 MPトレイを使ってコピーする場合は、「MP トレイコピー（174 ページ）」を参照してください。

メモ ［トレイ］を押してカセットを選択することもできます。

3 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

コピーが始まります。

■ こんなときには？

用紙選択を自動にしたい ...。

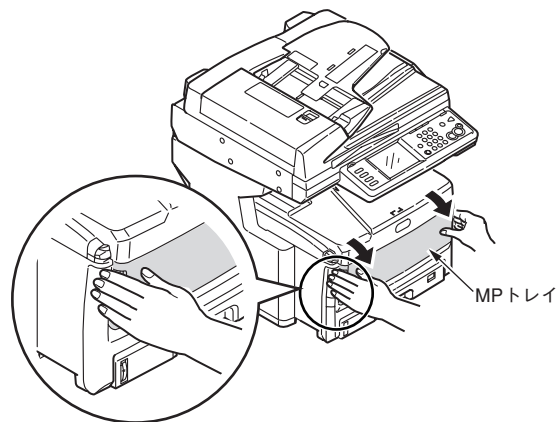
1. ［トレイ］を押します。

2. ①［自動］を押します。
   ②［確定］を押します。

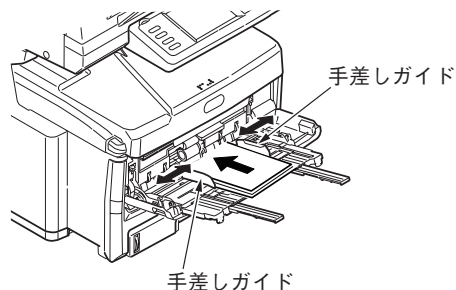
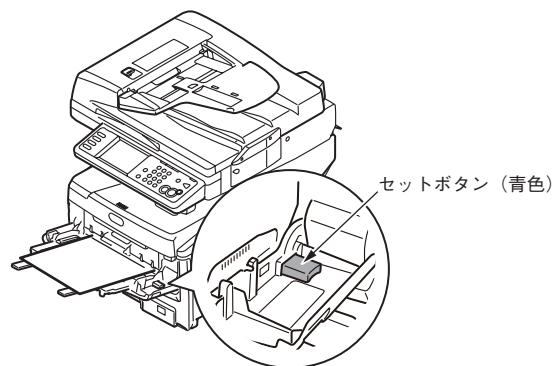
MP トレイコピー

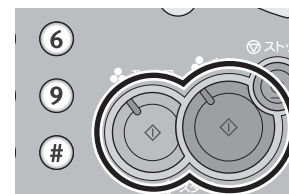
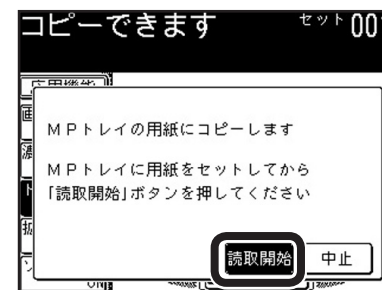
MPトレイを使用すると、MPトレイにセットされている用紙にコピーをすることができます。

1 原稿をセットします。

原稿セットのしかた（83ページ）

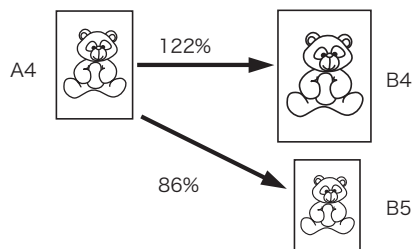
2 MP トレイの両端を持ち、手前に開きます。

3 手差しガイドを用紙サイズに合わせて調整します。印刷する面を上にして、コピーする用紙を止まる位置まで差し込みます。

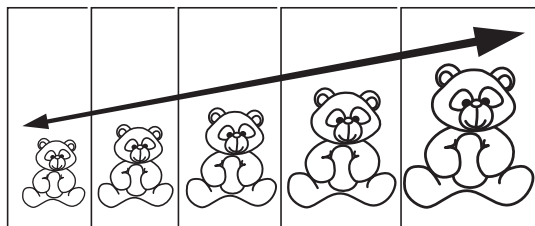
参照 MPトレイへの用紙のセット方法は、72 ページを参照してください。

4 MPトレイのセットボタン（青色）を押します。

5 画面の MPトレイを押します。

6 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

7 下の画面を表示するので、[読取開始] を押します。

拡大／縮小コピーする

拡大 / 縮小コピーする

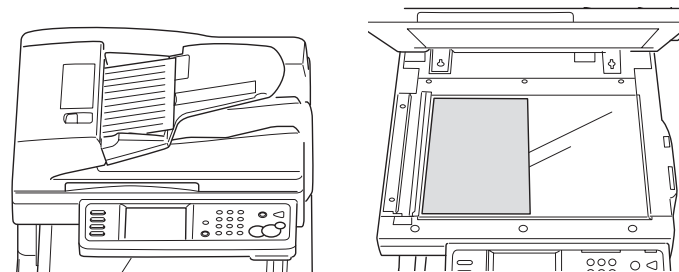
拡大／縮小コピーには、用紙サイズに合わせて自動的に拡大／縮小する方法（自動倍率）と、倍率を設定して拡大／縮小する方法があります。倍率の設定方法には、あらかじめ設定されている固定倍率から指定する方法と､用紙指定任意倍率（ズーム）から設定する方法があります。

■ 固定倍率

■ 用紙指定任意倍率（ズーム）

1%刻みに倍率を設定し、拡大／縮小コピーします。

用紙サイズに合わせて拡大／縮小する（自動倍率）

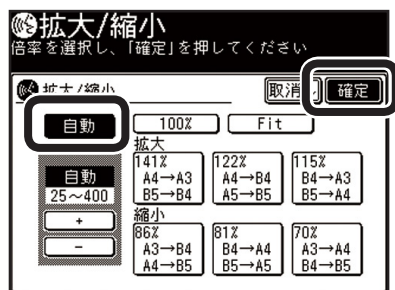
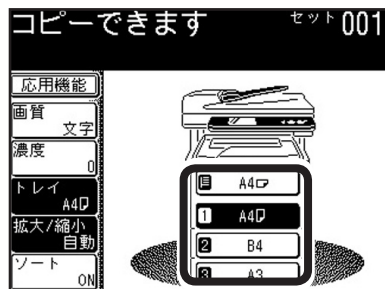
指定した用紙サイズに合わせて、自動的に倍率を選択し、拡大／縮小コピーします。

注 A3、B4、A4、B5、A5 サイズ以外の用紙に、自動倍率でコピーすることはできません。

1 原稿をセットします。

参照
- 原稿セットのしかた（83 ページ）
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。（161 ページ）

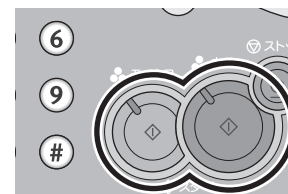
2 ①［拡大／縮小］を押します。

② ［自動］を押します。

③ ［確定］を押します。

3 コピーしたい用紙を押します。

メモ　用紙設定を自動にすると、倍率が 100％に設定されます。その場合、手順 2 からやり直してください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

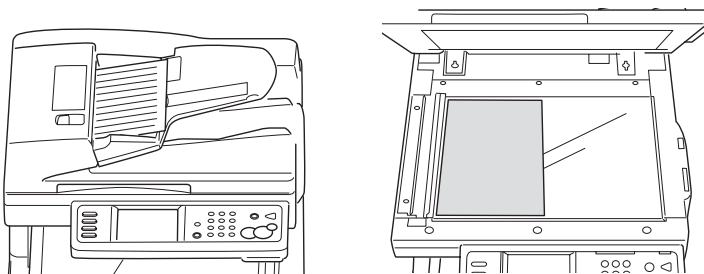
メモ
- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

倍率を指定して拡大／縮小する（固定倍率）

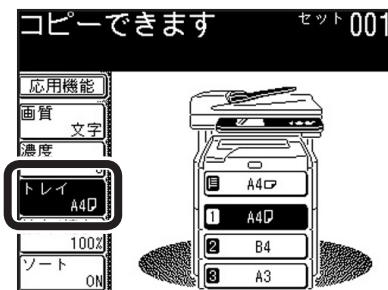
あらかじめ設定されている倍率から選択して拡大／縮小コピーします。

■ 操作の前に・・・・

- 選択した倍率によっては画像が欠けたり余白が出たりします。
- 倍率設定に応じて用紙は自動的に選択されます。用紙を選択したいときは、タッチパネルを押して用紙を選択してください。
- A3、B4、A4、B5、A5 以外の用紙がセットされているトレイは、用紙選択を自動に設定しても選択されません。タッチパネルからコピーしたい用紙がセットされているトレイを選択してください。

1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）

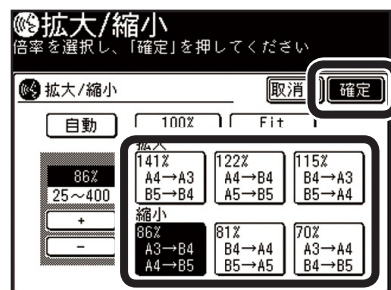
2 用紙設定が「自動」になっていない場合は、以下の手順で「自動」に設定します。

① ［トレイ］を押します。

② ［自動］を押します。

③ ［確定］を押します。

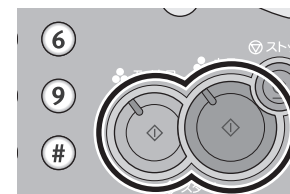
3 ［拡大／縮小］を押します。

4 ① 倍率を選択します。

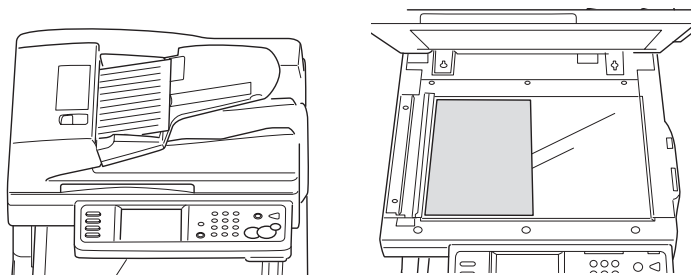
② ［確定］を押します。

メモ ［Fit］を設定すると、原稿サイズと用紙サイズが同じときに、原稿を縮小して印刷します。

5 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ
- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

6 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

任意の倍率で拡大 / 縮小する（ズーム）

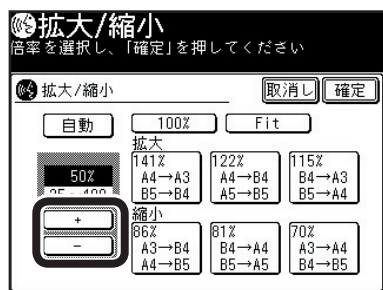
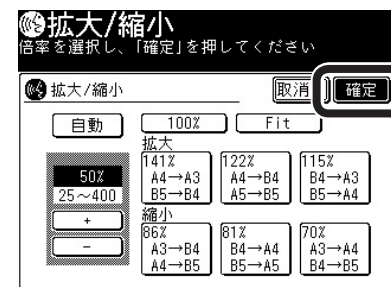
倍率を 25% ～ 400% の範囲で 1% きざみで指定でき、細かく拡大／縮小コピーすることができます。
<倍率>キーで指定したい倍率に近い倍率を選択してからズームで倍率を調整することもできます。

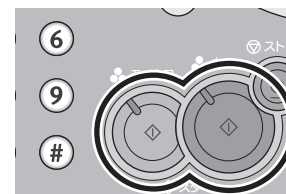
1 原稿をセットします。

参照
- 原稿セットのしかた（83 ページ）
- 必要に応じて画質や濃度を設定します。（161 ページ）

2 テンキーでコピー部数を入力します。

メモ
- 1 ～ 999 部まで設定できます。
- 間違えて入力したときは、入力し直してください。
- 部数を設定しないときは、1 部コピーになります。

3 ① ［拡大／縮小］ を押します。

4 ① タッチパネルの［＋］［－］、またはテンキーにて倍率を入力します。

② ［確定］を押します。

メモ
- 入力を間違えたときは、上書きで入力します。
- 倍率は 25 ～ 400%までです。
- <リセット>キーを押すと、各種設定が解除されます。

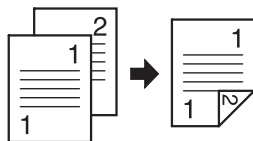
5 <カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

両面コピーする

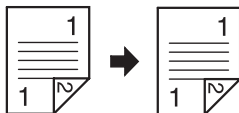
■ 操作の前に・・・・

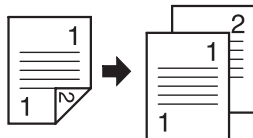
両面コピーは定形サイズの普通紙にコピーしてください。不定形サイズの用紙や普通紙以外の用紙（OHP フィルムやはがきなど）を使用した場合、両面印刷ユニットにて用紙がつまる恐れがあります。

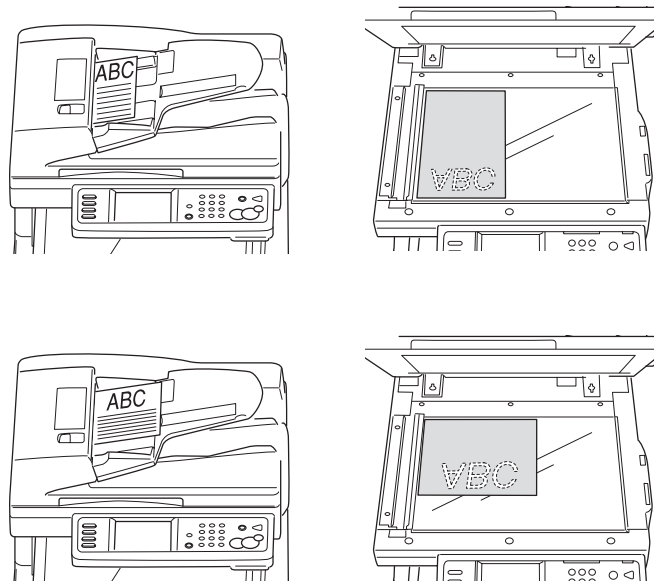
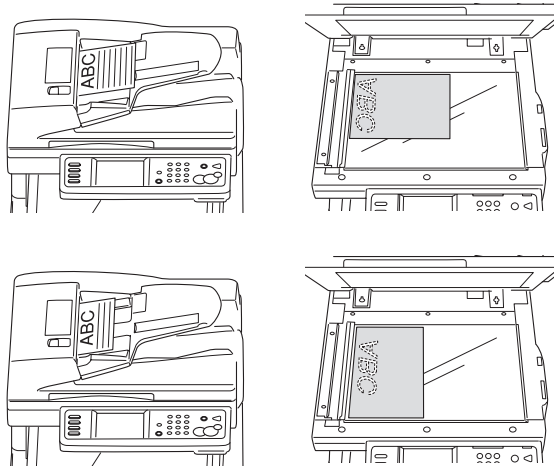
「使用できる用紙」（61 ページ）

両面コピーの種類について

■ 片面原稿を両面コピーする

■ 両面原稿を両面コピーする

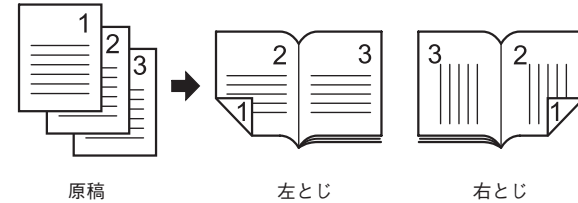
自動原稿送り装置を使って両面原稿を自動給紙し、両面コピーします。

■ 両面原稿を片面コピーする

自動原稿送り装置を使って両面原稿を自動給紙し、片面コピーします。

両面コピー時の原稿セットのしかた

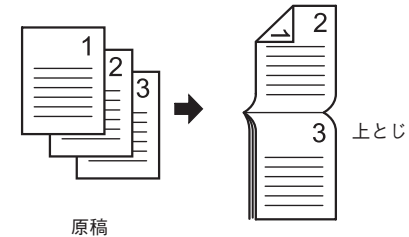
両面コピーを行うときは、下のイラストを参考に、原稿を正面に向けてセットします。

メモ 両面コピーと集約コピーを組み合わせるときの原稿セットのしかたは、下記イラストを参考に、原稿を先頭から読み込むようにセットします。

コピーのとじかたについて

コピーを左側でとじる場合を左とじ、右側でとじる場合を右とじ、上側でとじる場合を上とじと呼びます。

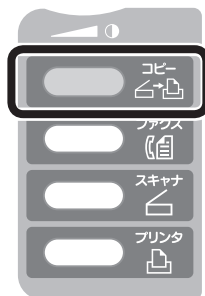
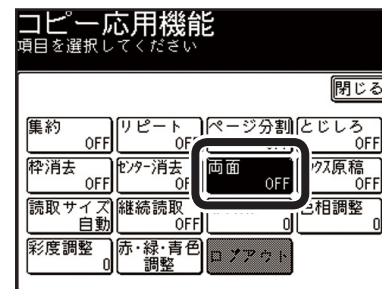
▪ 左または右とじ

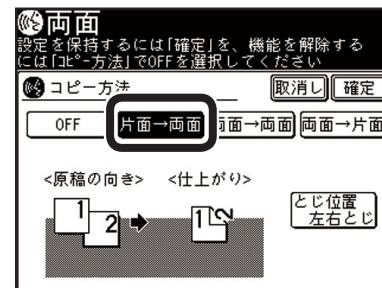
原稿　　左とじ　　右とじ

- コピーを左右どちらかでとめるときに選択します。
- 縦書きの原稿は右側、横書きの原稿は左側でとじると冊子になります。
- とじしろを設定すると､とめる個所に余白を設けることができます。（応用編「とじしろを付ける（とじしろ）」）

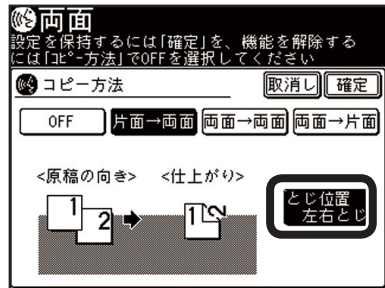
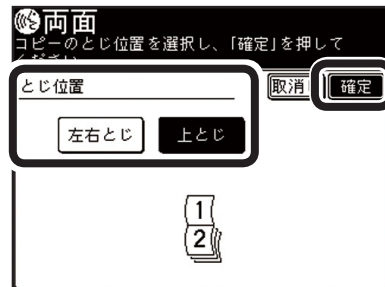
▪ 上とじ

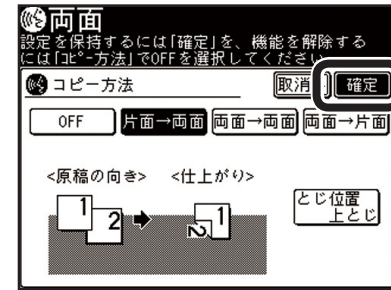
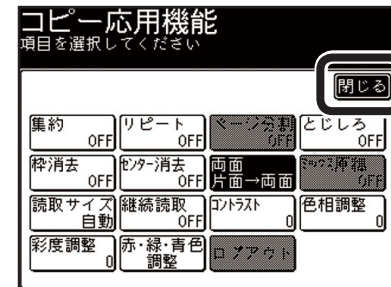
原稿

- コピーを上側でとめるときに選択します。
- コピーの裏面は表面と 180 度回転してコピーされます。
- とじしろを設定すると､とめる個所に余白を設けることができます。（応用編「とじしろを付ける（とじしろ）」）

片面原稿を両面コピーする

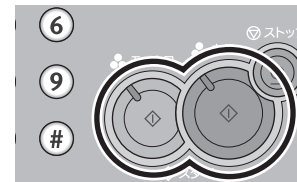
1 ＜コピー＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［両面］を押します。

4 ［片面→両面］を押します。

5 ① とじ位置を設定する場合は、［とじ位置］を押します。

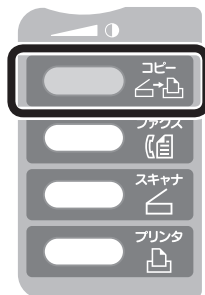
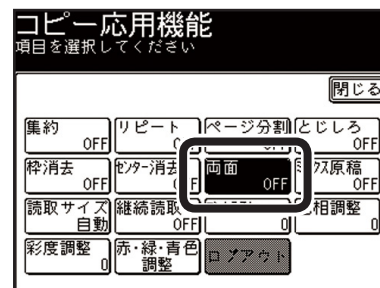
設定しない場合は、6 へ進みます。

② ［左右とじ］または［上とじ］を押します。

③ ［確定］を押します。

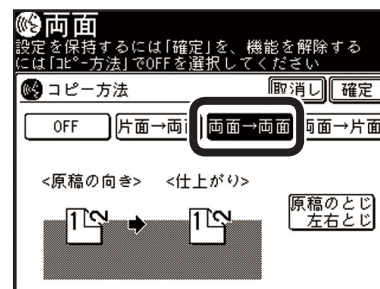
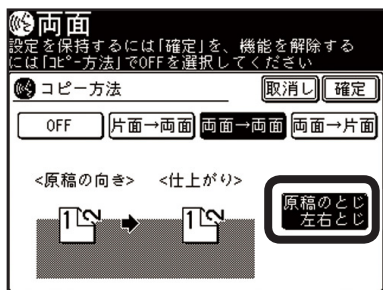
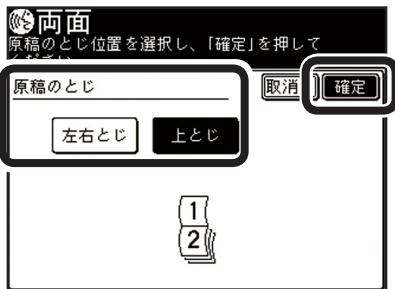
6 ［確定］を押します。

7 ［閉じる］を押し、待機画面に戻します。

メモ　＜リセット＞キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

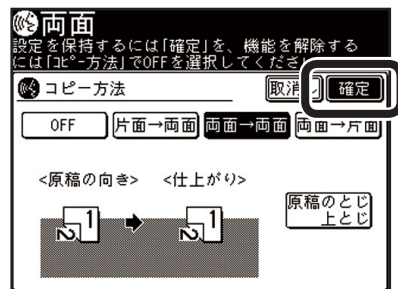
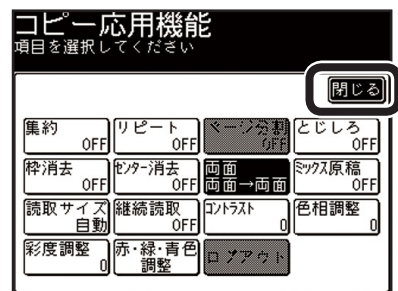
8 原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

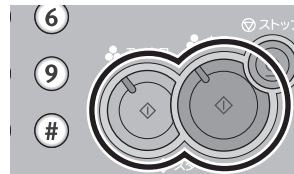
3　コピー機として使うとき

両面原稿を両面コピーする

原稿の表裏を読み取り、用紙の両面へコピーします。

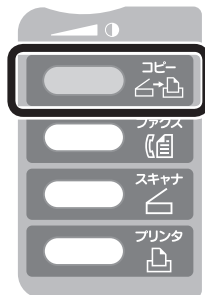
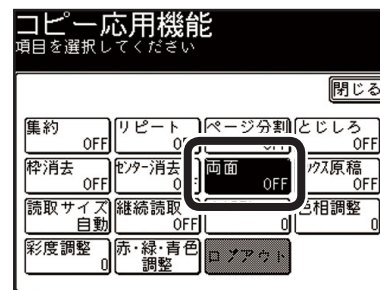
1 <コピー>キーを押します。

2 [応用機能] を押します。

3 [両面] を押します。

4 [両面→両面] を押します。

5 ① 原稿のとじを設定する場合は、[原稿のとじ] を押します。設定しない場合は、6 へ進みます。

② [左右とじ] または [上とじ] を押します。
③ [確定] を押します。

メモ　とじしろを設定していない場合には、[左右とじ] と [上とじ] のどちらを設定しても、同じコピー印刷結果になります。

6 [確定] を押します。

7 [閉じる] を押し、待機画面に戻します。

メモ　<リセット>キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

8 自動原稿送り装置に両面原稿をセットし、<カラースタート>キーまたは<モノクロスタート>キーを押します。

両面原稿を片面コピーする

原稿の表裏を読み取り、用紙に片面ずつコピーします。

1 ＜コピー＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［両面］を押します。

4 ［両面→片面］を押します。

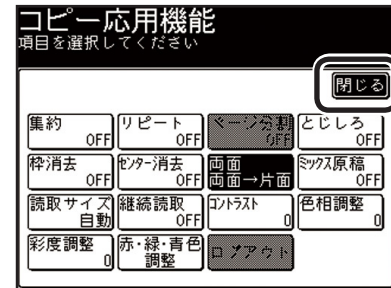
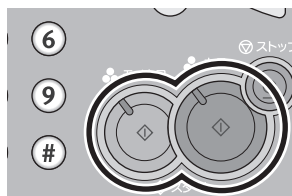
5 ① 原稿のとじを設定する場合は、[原稿のとじ] を押します。設定しない場合は、6 へ進みます。

② [左右とじ] または [上とじ] を押します。

③ [確定] を押します。

6 [確定] を押します。

7 [閉じる] を押し、待機画面に戻します。

メモ　<リセット>キーを押すと、両面コピー設定が解除されます。

自動原稿送り装置に両面原稿をセットし、＜カラースタート＞キーまたは＜モノクロスタート＞キーを押します。

4 ファクスとして使うとき

ファクスの基本設定

基本設定（設置モード）

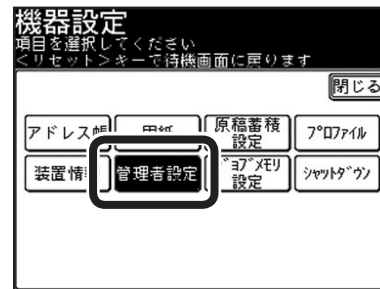
設定する項目について

設置モードで登録する項目は以下の通りです。

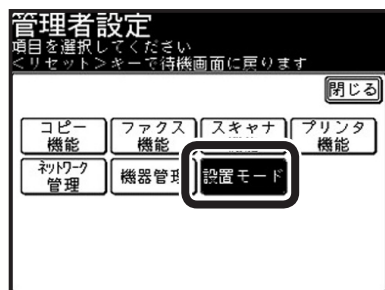
- タイムゾーン（194 ページ）
  タイムゾーンの設定を行います。
- 時刻設定（195 ページ）
  ディスプレイの時刻を正しく設定します。時刻指定送信や通信管理などファクスすべての基準になります。
  西暦、月日、時分を入力します。時刻は 24 時間制で入力します。
- ダイヤル種別（195 ページ）
  接続する回線の種類に合わせて設定します。設定が合っていない場合は、電話やファクスが使用できません。
- ファクス受信モード（196 ページ）
  ファクス待機、電話／ファクス待機、ファクス／電話待機、留守／ファクス待機、電話待機から、ご使用に合わせた受信モードを選びます。
- ダイヤルトーン検出（197 ページ）
  ダイヤルトーン検出の設定を行います。
- 発信元名（198 ページ）
  相手先に発信元名を表示させたり、相手先の受信原稿にプリントしたりして、受信側でどこから送信された原稿なのかを確認しやすくできます。発信元名の設定には、3 種類登録できます。
  発信元名は半角文字では 22 文字、全角文字では 11 文字まで登録できます。
- 標準発信元名（199 ページ）
  登録した 3 種類の発信元名のうち、常に使う発信元名を標準発信元名として登録できます。
- 自機電話番号（199 ページ）
  相手先に本機のファクス番号を通知したり、相手先の受信原稿にプリントしたりできます。20 桁まで登録できます。

設置モードへの入りかた

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］になっています。

4 ［設置モード］を押します。

5 設置モードの一覧が表示されます。

メモ　画面を切り替えるには、カーソルキー◀▶を押します。

6 各項目を登録していきます。（194 ～ 199 ページ）

7 すべての項目を登録後、＜リセット＞キーを押し、待機画面に戻します。

4　ファクスとして使うとき

＜レポート印刷＞キーを押し、機器設定を印刷し、登録内容が正しいか確認します。

機器設定印刷の詳しい手順は､｢機器設定印刷のしかた｣(108 ページ)をご覧ください。

タイムゾーンの設定

タイムゾーンを設定します。

1 ［タイムゾーン］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ①テンキーを使って、タイムゾーンを入力します。

②入力後、［確定］を押します。

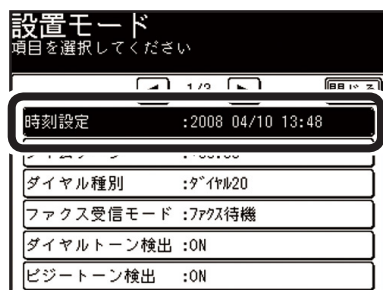
メモ 日本国内で使用する場合は、[+09：00] に設定します。

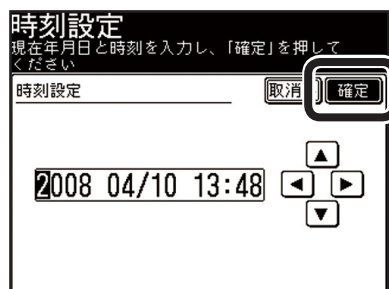
現在時刻の登録

現在の時刻を、年（西暦 4 桁）、月（2 桁）、日（2 桁）、時（24 時間制 2 桁）、分（2 桁）の順に入力します。

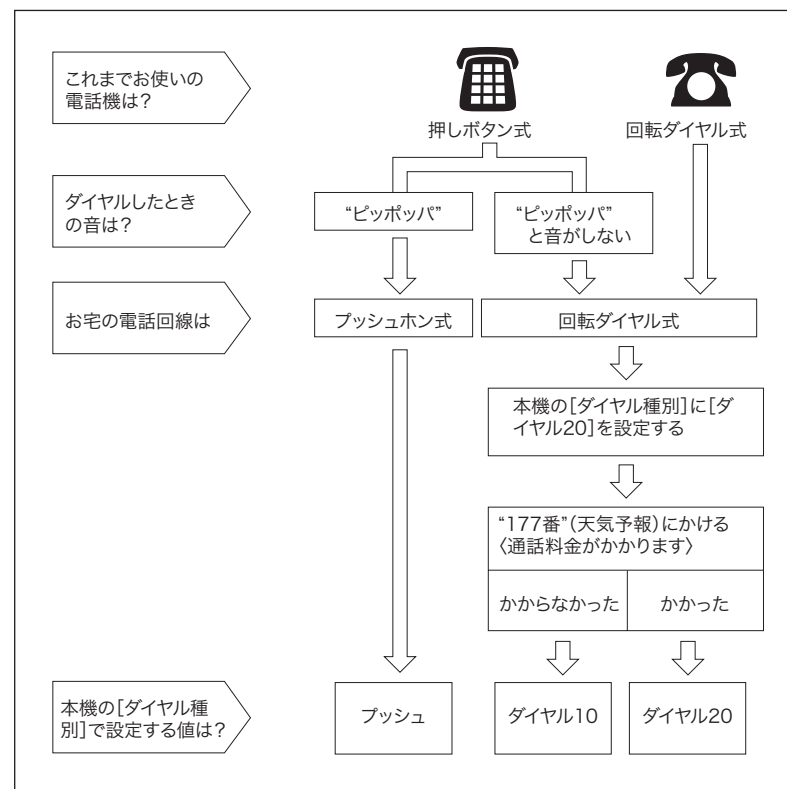
タイムゾーンを設定してから、現在の時刻を入力してください。

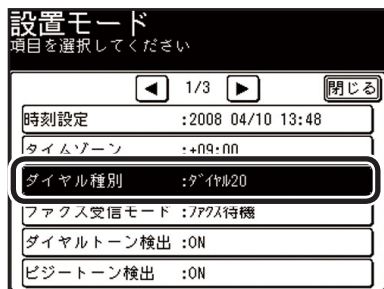
1 ［時刻設定］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ①テンキーまたはカーソルキーを使って、現在時刻を入力します。

②入力後、［確定］を押します。

ダイヤル種別の設定

接続する回線の種類に合わせて設定します。

通信回線の見分けかた

1 ［ダイヤル種別］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ① ダイヤル種別を選択します。

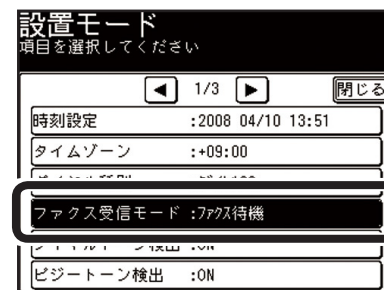
② 選択後、［確定］を押します。

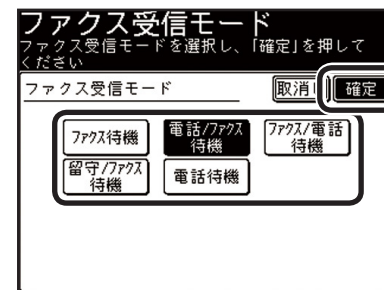
ファクス受信モードの設定

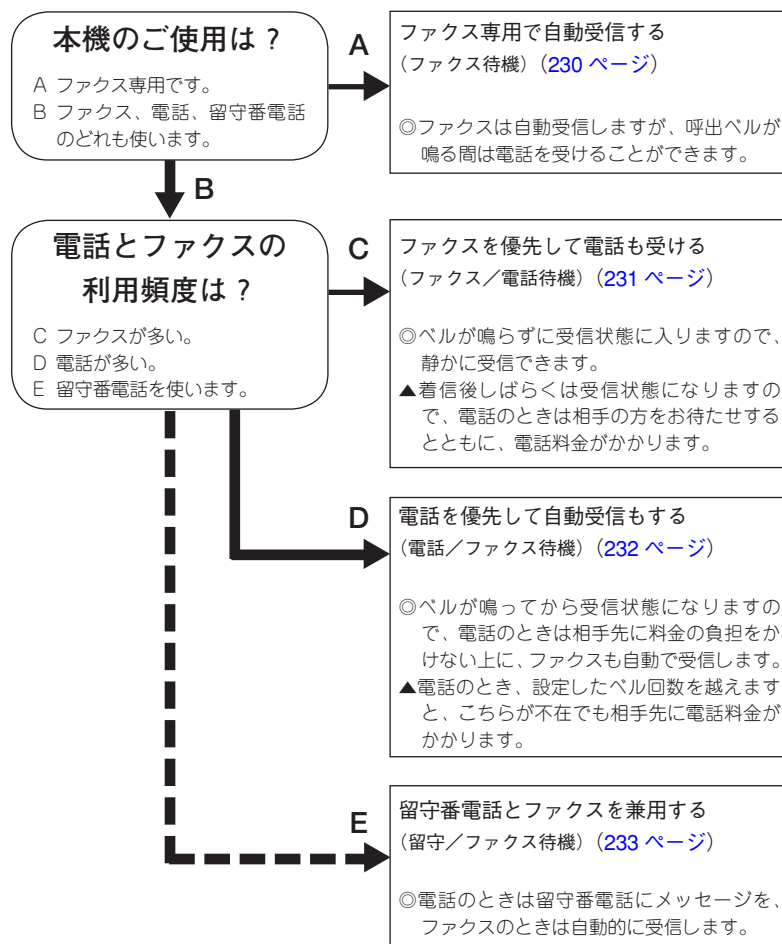
ご利用のしかたに合わせ、受信モードを選択します。

参照 受信モードの選びかたについては次ページをご覧ください。

1 ［ファクス受信モード］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ① 受信モードを選択します。

② 選択後、［確定］を押します。

ファクス受信モードの選びかた

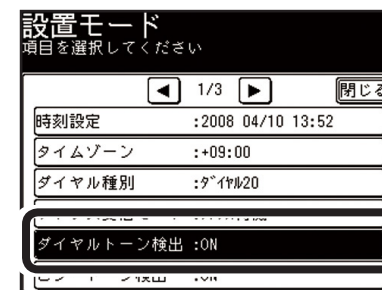
ご使用に合わせてファクス受信モードをお選びください。以下の質問にお答えいただくと、どのファクス受信モードが最良か選択できるようになっています。

ダイヤルトーン検出の設定

ONに設定すると、必ずダイヤルトーンの検出を行います。

メモ 工場出荷時の設定では、［ON］になっています。

1 ［ダイヤルトーン検出］を押します。

メモ ダイヤルトーンとは受話器を上げたときに聞こえる「ツー」という音です。

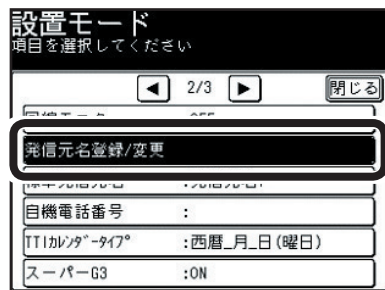
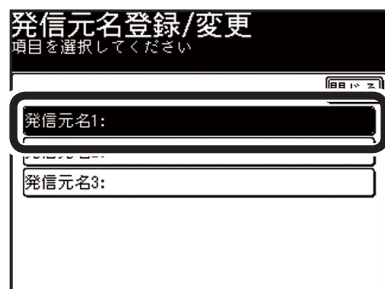
参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ① ダイヤルトーンの検出を行う場合は、［ON］を押します。

② ［確定］を押します。

発信元名の登録

3 種類登録できます。

1 ［▶］を押して［設置モード］の［2/3］を表示して［発信元名登録／変更］を押します。

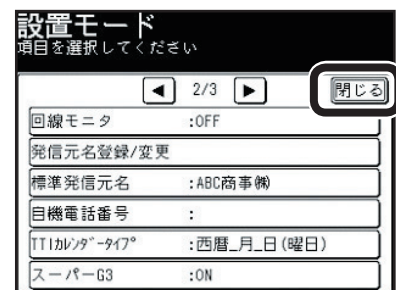
参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ①［発信元名 1］を押します。

② 発信元名を入力します。

③ 入力後、［確定］を押します。

参照 文字入力については「文字入力のしかた」(93 ページ)を参照してください。

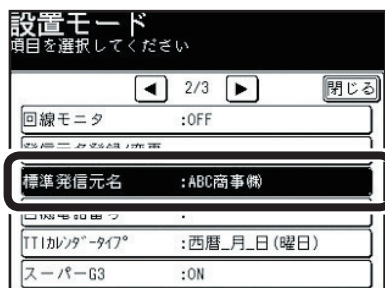
メモ 半角文字では 22 文字まで、全角文字では 11 文字まで登録できます。

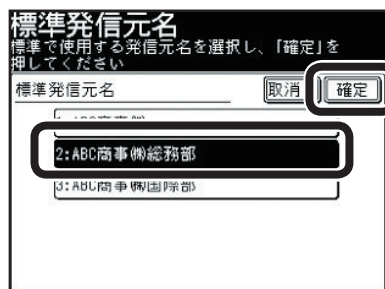
3 ① 2 と同様の手順で、［発信元名 2］、［発信元名 3］を入力します。

②［閉じる］を押します。

標準発信元名の設定

登録してある発信元名から、通常使用する発信元名を選びます。

1［標準発信元名］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 ① 標準で使用する発信元名を選択します。

② ［確定］を押します。

自機電話番号の登録

1［自機電話番号］を押します。

参照 設置モードへの入りかたは、192 ページをご覧ください。

2 テンキーで自機電話番号を入力します。

3 ［確定］を押します。

メモ

- 自機電話番号番号は 20 桁まで登録できます。
- 「＋」は国別番号を表わす記号です。
- 番号を間違えた場合は、［クリア］を押して正しい番号を入力し直してください。

ファクスの基本操作

送信の前に

原稿サイズの自動検知について

- 自動原稿送り装置、ガラス面とも A3、B4、A4 ▱、A4 ▯、B5 ▱、B5 ▯、A5 ▱、A5 ▯サイズ原稿を自動検知できます。
- B5、A5 サイズの原稿は、A4 原稿として送信されます。（余白ができます）
- 回転送信を設定しているときは、A4 ▯は A4 ▱として送信することができます。（応用編「操作パネルの設定項目」）

原稿サイズの自動検知ができないとき

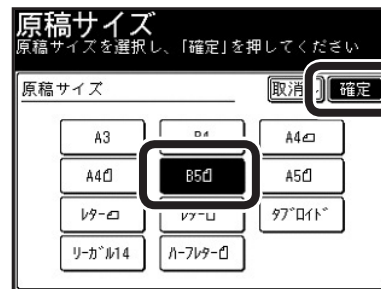
ガラス面にて原稿サイズが自動検知できないとき（不定形の原稿や、正しい位置に原稿が置かれていないときなど）は、原稿の読み取りサイズを指定して送信します。

1 原稿サイズが自動検知できないとき、以下の画面になります。

2 ① 原稿サイズを選択します。

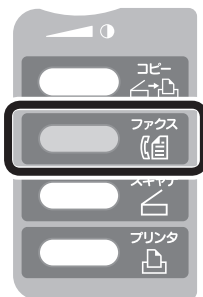
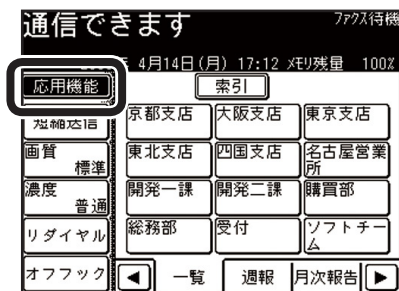
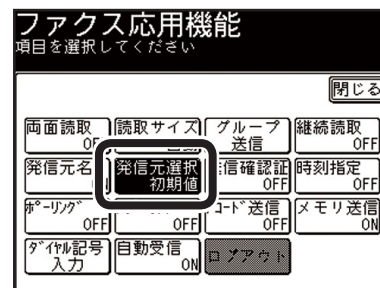
② ［確定］ を押すと原稿の読み取りが始まります。

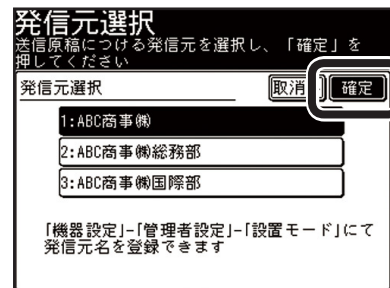
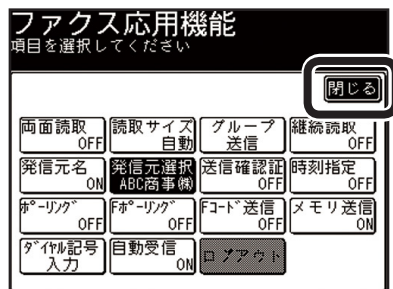
4

ファクスとして使うとき

発信元名の設定

設置モードの発信元名の設定で登録した３種類の発信元名を、通信ごとに選択して送信することができます。

参照 発信元名の登録は 198 ページをご覧ください。

1 ＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［発信元選択］を押します。

4 ① 発信元名を選択します。

② ［確定］を押します。

5 手順 3 の画面に戻ります。［閉じる］を押します。

6 送信操作を行います。

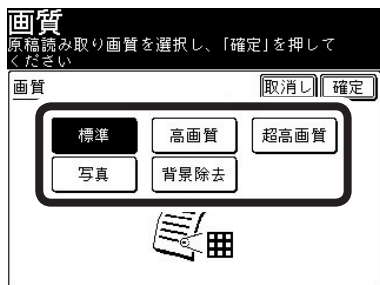
送信画質・濃度の設定

原稿や文字に合わせて、送信画質・濃度を選択します。

■ 送信画質

1 ［画質］を押します。

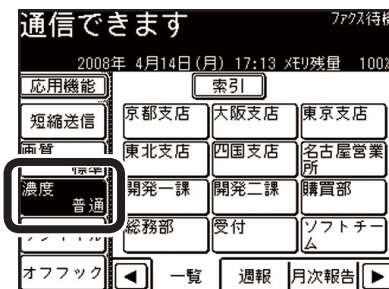
① 希望する画質を押します。

- 標　準 ....普通の文字の原稿を送信するとき
- 高画質 ....小さな文字の原稿を送信するとき（新聞など）
- 超高画質 ...精密なイラストや辞書のような細かい文字を送信するとき
- 写　真 ....写真を送信するとき
- 背景除去 ...車検証などの地模様や地色のある原稿の背景を読み取りません。

②［確定］を押します。

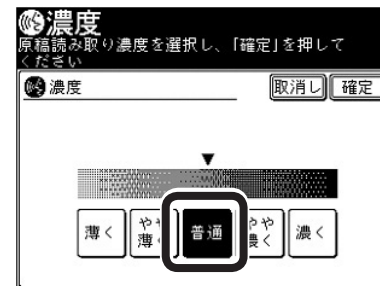
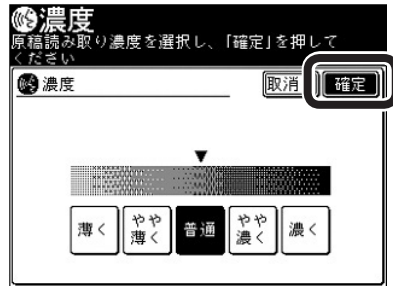
- 「超高画質」は相手機により使用できない場合があります。
- 標準モードから写真モードになるほど、通信時間が長くなります。

参照 画質の初期値を変更できます。変更方法は応用編「送信初期値設定」を参照してください。

■ 濃度

1 ［濃度］を押します。

2 ① 希望する濃度を押します。

原稿に合わせて、5 段階に濃度を選びます。

- 濃く............濃く読み取りたいとき
- やや濃く ...濃くと普通の中間
- 普通............普通の原稿のとき
- やや薄く ...薄くと普通の中間
- 薄く............薄く読み取りたいとき

②［確定］を押します。

参照　濃度の初期値を変更できます。変更方法は応用編「送信初期値設定」を参照してください。

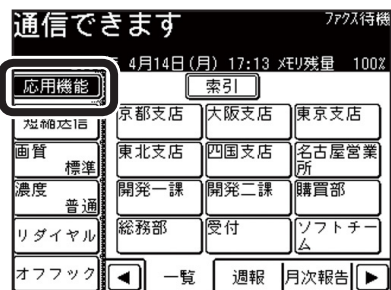
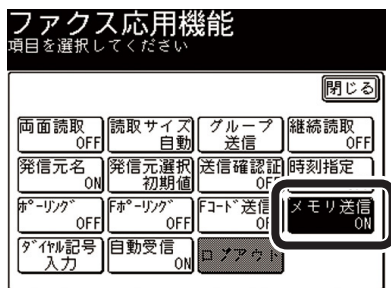
送信方法の設定（メモリ送信／リアルタイム送信）

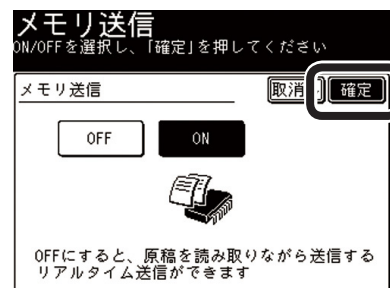
自動送信には、原稿を読み込んだ後に送信を開始するメモリ送信と、原稿を読み取りながら送信するリアルタイム送信とがあります。工場出荷時はメモリ送信が設定されていますが、メモリ送信を OFF に設定すると、1 通信のみリアルタイム送信を指定することができます。

- リアルタイム送信
  リアルタイム送信とは、原稿をメモリに読み込まずに相手へ直接送信する方法です。送信操作後、すぐに送信を開始するので、相手に送られていることを確認できます。
  ガラス面からのリアルタイム送信はできません。
  両面読取でのリアルタイム送信はできません。

- メモリ送信
  メモリ送信とは、原稿をメモリに読み込んでから送信する方法です。送信終了を待たずに原稿を持ち帰ることができ、時間のロスが少なくなります。メモリ送信の場合は、回線の不良等で画像が乱れると自動的にそのページを送り直します。

1　＜ファクス＞キーを押します。

2 ［応用機能］を押します。

3 ［メモリ送信］を押します。

4 ①［ON］または［OFF］を押します。

②［確定］を押します。

メモ　ON　　メモリ送信
　　　OFF　リアルタイム送信

5 ①［閉じる］を押し、待機画面に戻します。
②原稿をセットし、送信操作を行います。

■ こんなときには？

ガラス面から送信すると、メモリオーバーになる ...。

ガラス面からのリアルタイム送信はできません。リアルタイム送信に設定していても自動的にメモリ送信に切り替ります。原稿によっては、メモリオーバーになる場合があります。その場合は、自動原稿送り装置でリアルタイム送信してください。

ダイヤル記号について

相手先の番号を入力するときにダイヤル記号を挿入し、様々な機能を追加することができます。ダイヤル記号は、短縮ダイヤルの登録時にも使用できます。

キー名称	液晶表示	機能および用途
ポーズ	／P	ダイヤルに間隔を空けたいときに使います。また、ファクシミリ通信網を利用するときにも使います。（応用編「ファクシミリ通信網サービス」） （例）075-111-2222/P123 #
トーン	／T	ダイヤル回線に接続している場合で、トーンを送出したいときに使います。 （例）075-111-2222/T123 #
プレフィクス	／N	プレフィクス番号を入力することができます。（応用編「ダイヤルするときに番号を付加する (プレフィクス)」） （例）/N075-111-2222
第 1 発信	／D	内線からの 0 発信（第 1 発信音）のときに使います。 （例）0/D075-111-2222
第 2 発信	／S	ファクシミリ通信網や海外通信（準 ISD）のときに使います。一部､地域によっては第２発信音が出ない場合もありますので､その場合はポーズ（/P）を入力されることをおすすめします。 （例）161/S075-111-2222

送信のしかた

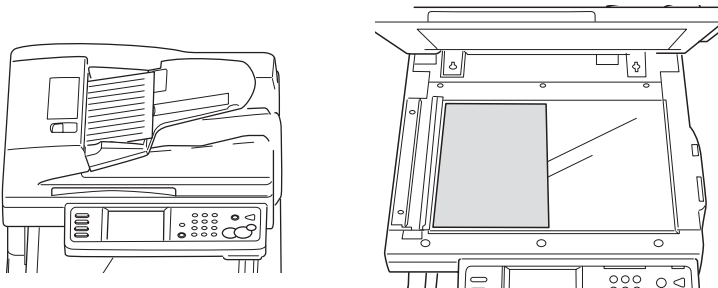
基本的な送信のしかた

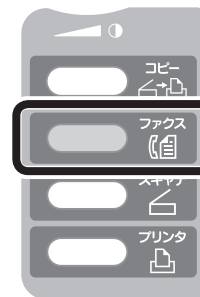
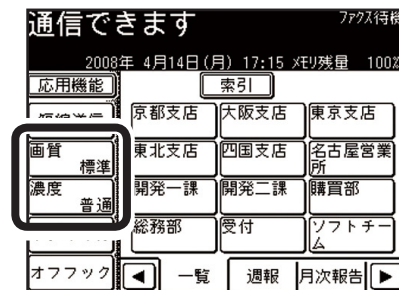
■ 操作の前に・・・・

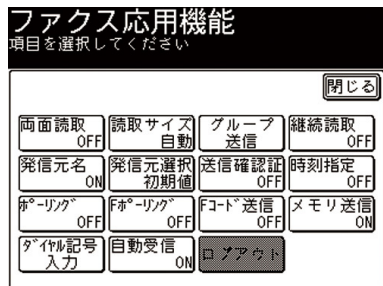
- 短縮ダイヤルを使用するときは、あらかじめ登録しておきます。

参照 短縮ダイヤルの登録 / 変更 （238 ページ）

- ガラス面で送信する場合は、自動原稿送り装置に原稿がないことを確認してください。

1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）

2 <ファクス>キーを押します。

3 送信画質・濃度の設定を行います。

参照 送信画質・濃度の設定（203 ページ）

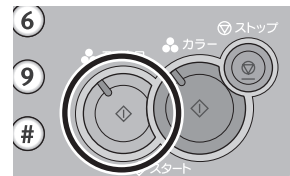
4 必要に応じて、[応用機能] を押し、各種機能の設定を行います。

参照 詳しくは、応用編「いろいろなファクスのしかた」をご覧ください。

5 相手先を指定します。

参照 相手先の指定方法は以下の方法があります。
- テンキーで指定する（210 ページ）
- 短縮ダイヤルで指定する（210 ページ）
- 宛先表を使用する（211 ページ）

参照 複数の相手先を指定するには、応用編「多数の相手に一度に送信する」をご覧ください。

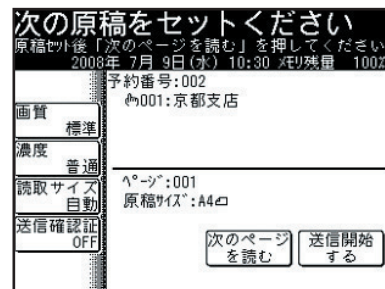
6 <モノクロスタート>キーを押します。

原稿が読み取られ、送信が開始されます。

メモ 通信中に送信の予約をすることができます。現在の通信が終了すると、予約した送信を開始します。最大 100 通信まで送信予約できます。

- 原稿サイズが検知できないときは、サイズを指定してください。（201 ページ）
- 送信の中止は 219 ページを参照してください。

■ こんなときには ?

ガラス面を使って複数枚の原稿を送るには ....。

あらかじめ、[継続読取] を ON に設定しておきます。
1 枚目読み取り後、[次のページを読む] を押します。
全ての原稿の読み取りが終わったら、[送信開始する] を押します。

テンキーで指定する

テンキーを押して、相手先の番号を入力します。

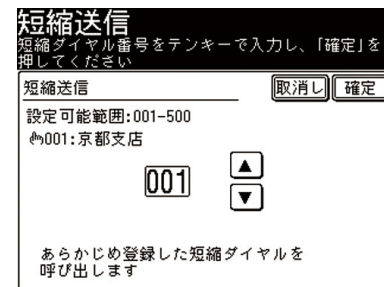
1 テンキーで相手先のファクス番号を入力します。

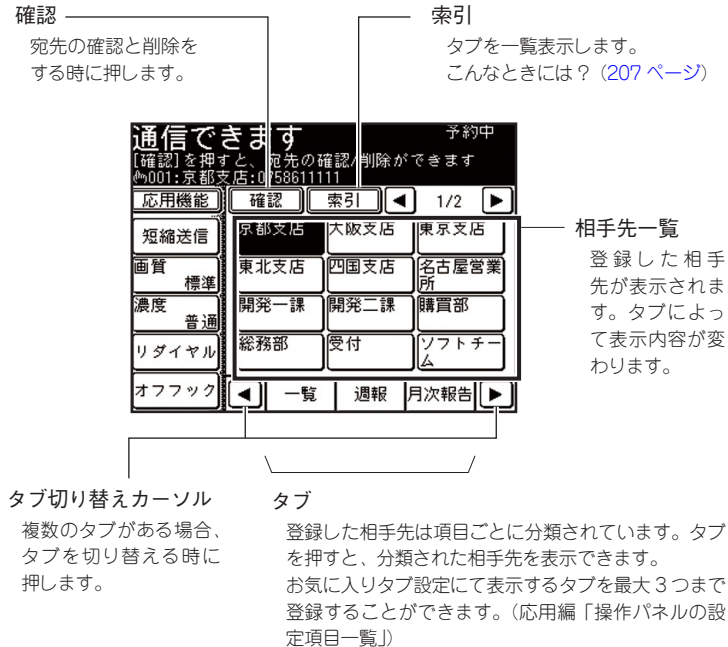
メモ　番号は 40 桁まで入力できます。

参照
- ダイヤル記号を入力して、様々な機能を指定できます。(207 ページ)
- 入力した番号を、短縮ダイヤルに登録することができます。(244 ページ)

短縮ダイヤルで指定する

1 [短縮送信] を押します。

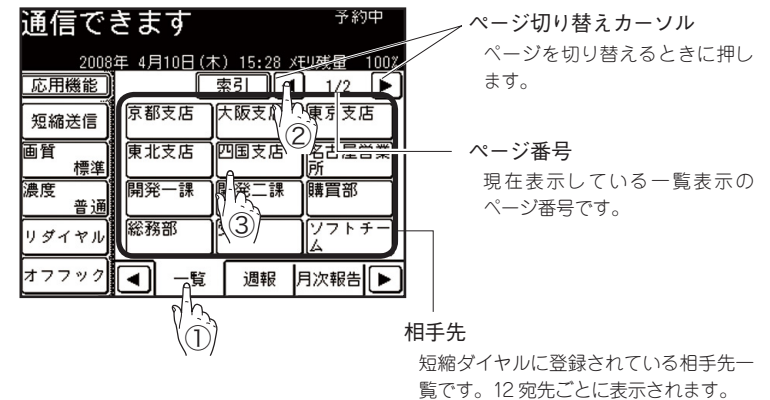
2 テンキーまたはタッチパネルの [▲] [▼] で短縮番号（001 ～ 500）を入力します。

宛先表を使用する

宛先表では、登録されたダイヤルの一覧から相手先を選択したり、読み仮名別に相手先を選択したりすることができます。

■ 一覧

登録されている全ての短縮ダイヤルを表示します。

メモ　短縮ダイヤルは合計 500 件登録できます。

1　①［一覧］タブを押します。

②ページ切り替えカーソルを押して、指定したい相手先を表示します。

③指定したい相手先を押します。

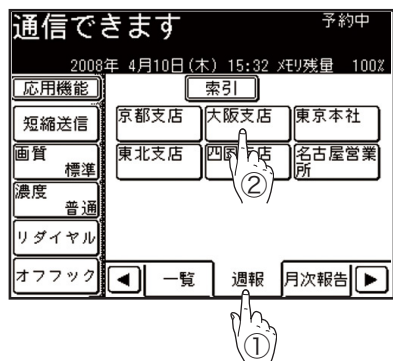
メモ
- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）

■ グループ

短縮ダイヤルの登録時にグループ No. を設定すると、グループ No. ごとに宛先表に表示されます。
グループ内に登録された相手先から、宛先を指定することができます。

グループに名前を付けることができます。（251 ページ）

1 ① 指定したい相手先が登録されているグループのタブを押します。

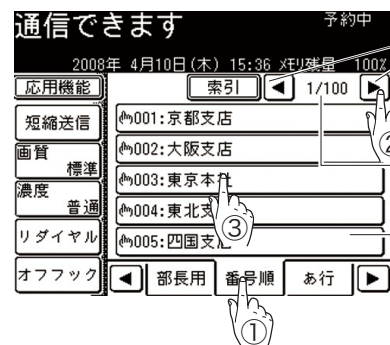
② 指定したい相手先を押します。

- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）
- タブを切り替えるには、タブの横のカーソルキーを押します。

■ 番号順

登録された短縮ダイヤルを、短縮ダイヤルの番号順に表示します。相手先をタッチパネル上から直接指定できます。番号順の表示は 100 ページあり、5 宛先ごとに表示されます。

短縮ダイヤルは合計 500 件登録できます。

1 ①［番号順］タブを押します。

②ページ切り替えカーソルを押して、指定したい相手先を表示します。

③指定したい相手先を押します。

メモ

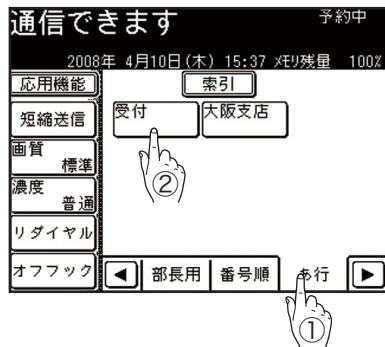
- ［番号順］タブが表示されていない場合は、タブで切り替えカーソルを押して表示させます。
- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。（同報送信）

■ 読み仮名

短縮ダイヤルの登録時に相手先名を登録すると、相手先名は五十音、アルファベット、記号に分類されて表示されます。

相手先名を登録しない場合は、分類されません。また、短縮ダイヤルの登録時に読み仮名を登録することにより、意図した読み仮名タブに表示させることができます。

1 ①短縮ダイヤルの登録時に登録した相手先名が含まれるタブを押します。

②指定したい相手先を押します。

メモ

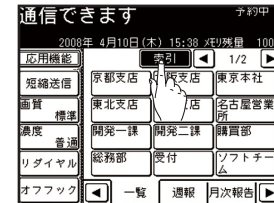
- 相手先を押すと反転表示して選択されます。もう一度押すと元の表示に戻り、選択が解除されます。
- 複数の相手先を連続して指定することができます。(同報送信)
- タブを切り替えるには、タブの横のカーソルキーを押します。

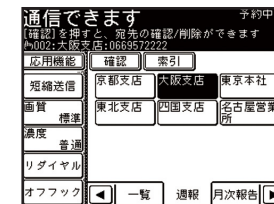
■ こんなときには？

タブが多くて切り替えが面倒 ...。

● 索引

多数の相手先を登録すると非常に多くのタブが表示されるため、指定したい相手先を見つけにくくなります。[索引] を使うとタブが一覧表示されるため、すばやく目的の相手先名を表示できます。

❶ [索引] を押します。

❷ 表示したいタブを押します。

❸ 選択したタブが表示されます。指定したい相手先を押します。

●お気に入りタブ設定

待機画面の最初の画面に表示する宛先のタブを最大３つまで登録することができます。(応用編「操作パネルの設定項目一覧」)
ただし、待機画面にタブが３つ以下の場合は、登録しても表示されません。

リダイヤル

送信した相手先に再度ダイヤルすることをリダイヤルと呼びます。リダイヤルには本機を操作して行う「手動リダイヤル」と、相手先が話し中などで送信できない場合、本機が自動的に判断してリダイヤルする「自動リダイヤル」の2種類があります。

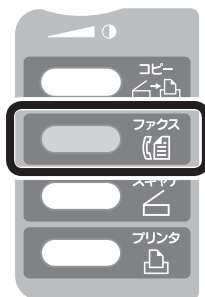
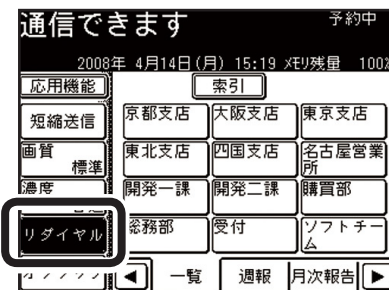
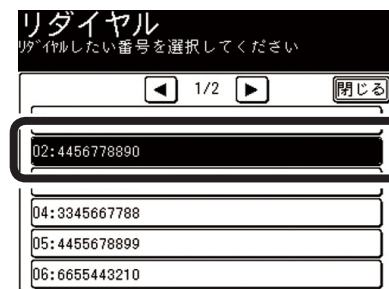
■ 手動リダイヤルのしかた

ファクスを送った相手、電話をかけた相手を 10 件まで記憶しています。

メモ　電話番号は 1 件につき 40 桁まで記憶しています。

1 原稿をセットします。

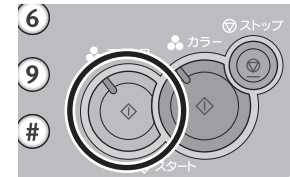
参照　原稿セットのしかた（83 ページ）

2 <ファクス>キーを押します。

3 ［リダイヤル］を押します。

4 リダイヤルする相手先番号を選択します。

メモ　リダイヤルは相手先の番号だけ表示します。短縮ダイヤルに登録した相手先名は表示しません。

5 ［確定］を押します。

メモ　番号を変更する場合は、［クリア］を押して入力し直してください。

6 複数の相手先を選択する場合は、手順 3 から操作を繰り返してすべての相手先を選択します。

7 <モノクロスタート>キーを押します。

■ 自動リダイヤルについて

自動送信の場合、相手が通信中などで送信できない場合は、「リダイヤル待ち」と表示され、自動的にかけ直します。

自動リダイヤルの回数と間隔は、0 回～ 15 回および 0 分～ 5 分の間で変更することができます。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

- リダイヤル待ちの中止は 219 ページを参照してください。
- リアルタイム送信を行ったときは、原稿を取り除くとリダイヤルを解除します。
- リダイヤル初期値は回数 3 回、間隔 1 分に設定されています。

設定した回数のリダイヤルを行っても送信されなかった場合、メモリに蓄積した原稿を消去し、エラーメッセージをプリントします。

エラーメッセージの内容は 329 ページを参照してください。

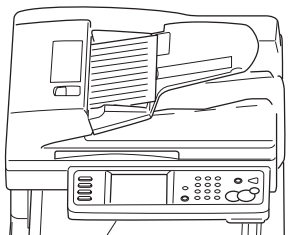
原稿蓄積中にメモリオーバーしたとき

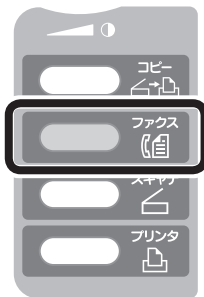
原稿の蓄積中にメモリ容量をオーバーしたときは、次のようなメッセージを表示し、メモリに蓄積した原稿を消去します。

手動送信のしかた

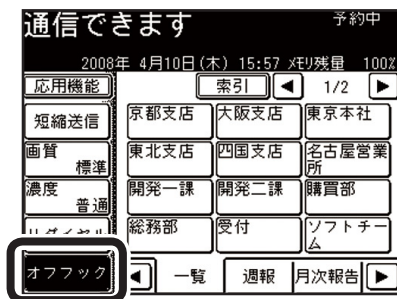
相手が手動受信の場合や、会話の後で送信する方法です。

注 ガラス面からの手動送信はできません。

1 自動原稿送り装置に原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）

2 ＜ファクス＞キーを押します。

3 ① 必要に応じて送信画質・濃度の設定を行います。

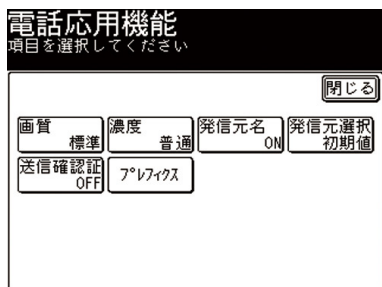
参照 送信画質・濃度の設定（203 ページ）

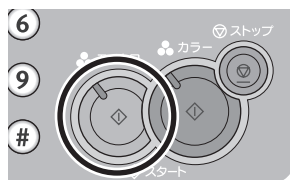
② ［オフフック］を押します。または受話器を上げます。

メモ ツーという発信音を確認します。

4 相手先を指定します。

参照 相手先の指定方法は以下の方法があります。
- テンキーで指定する（210 ページ）
- 短縮ダイヤルで指定する（210 ページ）
- 宛先表を使用する（211 ページ）

■［応用機能］を押したとき

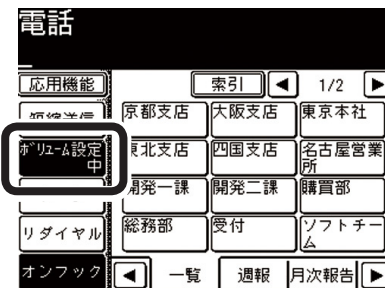
手動送信の場合、応用機能は限られた機能だけになります。

5 「ピープルプル」という音が聞こえたら、＜モノクロスタート＞キーを押します。

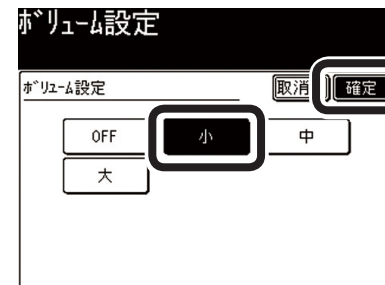
＜モノクロスタート＞キーを押すと、送信が始まります。受話器を上げて発信したときは、元に戻します。

注 手動送信の場合、以下の機能は働きません。

同報送信、時刻指定送信、回転送信、F コード通信、ポーリング通信、ID チェック送信、ダイヤル 2 度押し、同報宛先確認

■こんなときには？

［オフフック］を押したときのスピーカーの音量を調整したい ...。

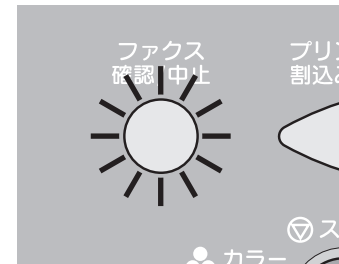
❶［ボリューム設定］を押します。

❷設定したい音量を選択します。

❸［確定］を押します。

送信文書を確認 / 中止する

＜ストップ＞キー

ファクス送信を中止したいときは、＜ストップ＞キーを押します。

＜ファクス確認／中止＞キー

通信予約文書がある場合は、＜ファクス確認／中止＞キーが点灯します。

＜点灯＞

メモ 通信予約されている文書がない場合は、＜ファクス確認／中止＞キーは消灯しています。

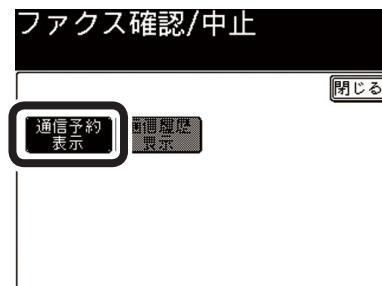
通信文書の確認／中止 音声案内

現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

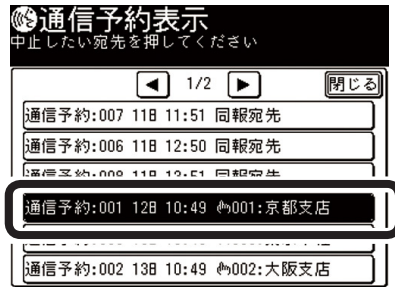
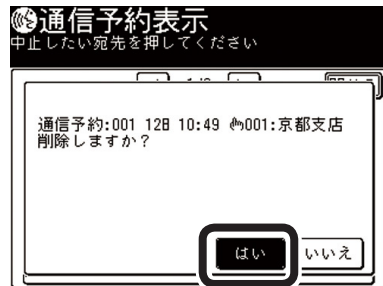
1 ＜ファクス確認／中止＞キーを押します。

通信中の文書がある場合は、手順５に進みます。

■ 通信中の文書がない場合

2 ［通信予約表示］を押します。

3 通信予約されている文書が表示されます。

メモ
- 現在通信中の文書は一番初めに表示します。（「通信中」と表示されています。）
- 通信予約文書は時刻順に表示します。画面を切り替えるには◀▶キーを押します。
- グループ送信、同報送信は「同報宛先」と表示されます。

4 通信を中止したい場合は、中止したい通信文書を選択します。

5 ［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。

- 選択した通信文書が現在通信中だった場合は、通信が中止されます。
- <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。

注 「同報送信」「グループ送信」の文書を削除した場合は、全ての同報宛先が削除されます。同報送信は、宛先を個別に削除することができます。

同報送信の宛先別の確認／中止 音声案内

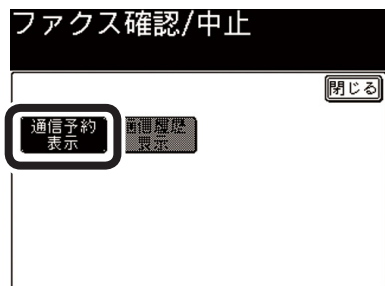
同報送信のときは、同報宛先を確認したり、宛先を個別に消去したりすることができます。

現在通信中の文書がある場合と通信中の文書がない場合と操作が異なります。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

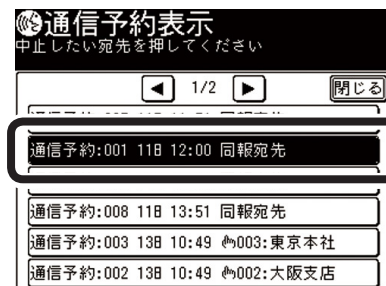
通信中の文書がある場合は、手順５に進みます。

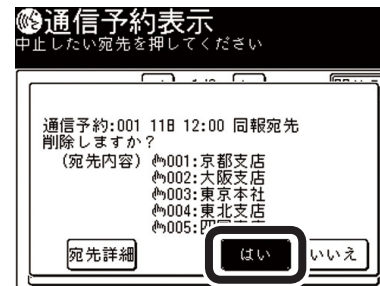
■ 通信中の文書がない場合

2 ［通信予約表示］を押します。

3 通信予約されている文書が表示されます。

メモ 画面を切り替えるには ◀ ▶ キーを押します。

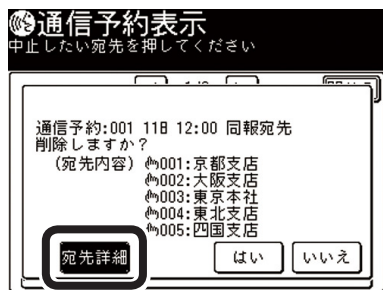
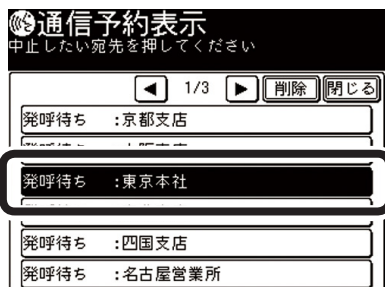
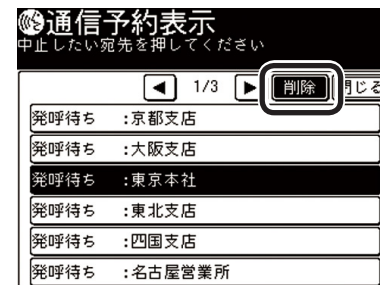
4 通信を中止したい場合は、中止したい同報送信を選択します。

「同報宛先」と表示されています。

■ 送信を中止するとき

5 ［はい］を押します。選択した通信文書が削除されます。

注 全ての同報宛先が削除されます。

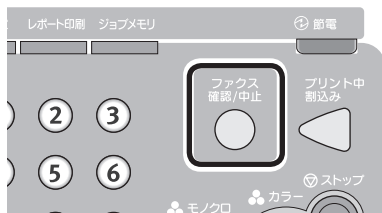
■ 宛先を個別に消去するとき

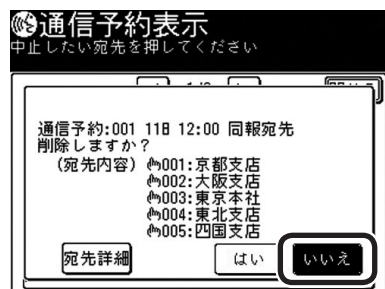
❶［宛先詳細］を押します。
同報で指定されている各宛先が表示されます。

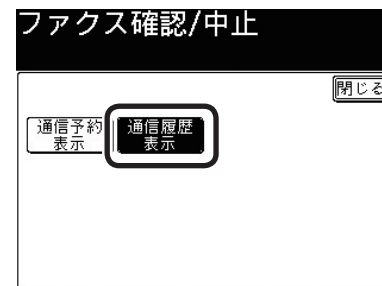
- 「発呼待ち」......................まだ発呼していない宛先です。
- 「通信中」..........................現在通信中の宛先です。
- 「通信終了」......................通信が終了した宛先です。
- 「削除中」..........................宛先を消去した後、実際に削除が完了するまで表示されます。
- 「リダイヤル待ち」..........リダイヤル待ちの宛先です。

❷通信を中止したい場合、中止したい宛先を選択します。

❸［削除］を押します。選択した通信文書が削除されます。

6 通信予約文書の一覧に戻るときは、［閉じる］を押します。

通信履歴と通信結果の表示

過去に通信した通信履歴（75 通信分）を､送信と受信に分けて表示できます。また､1 通信ごとの通信結果を表示することもできます。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

2 ① 現在通信中の文書がある場合は通信中の宛先内容が表示されます。

② ［いいえ］を押します。

③［閉じる］を押します。

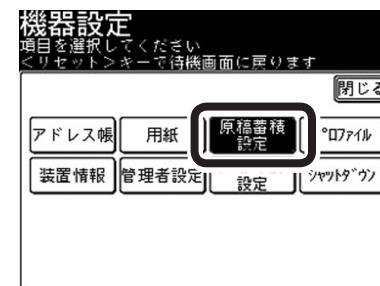
3 ［通信履歴表示］を押します。

4 ［送信履歴］を押します。

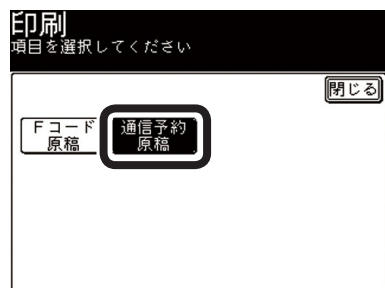
5 送信履歴を表示します。詳細情報を見たいときは、それぞれを押します。

通信予約原稿の印刷

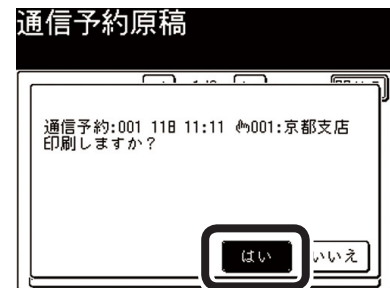
時刻指定送信など、通信予約している原稿を印刷して確認することができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

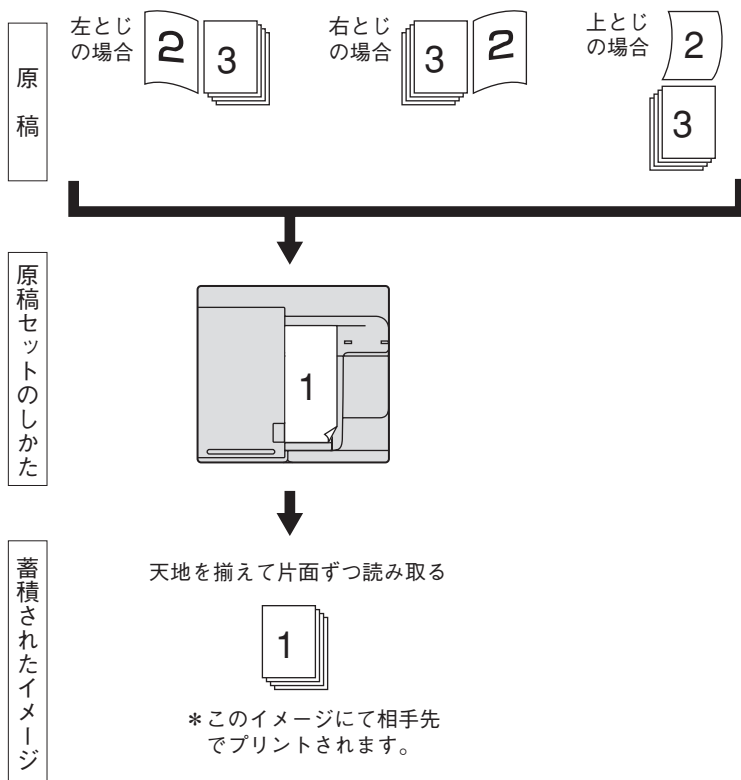
2 ［原稿蓄積設定］を押します。

3 ［印刷］を押します。

4 ［通信予約原稿］を押します。

5 印刷したい通信予約原稿を選択します。

6 ［はい］を押します。

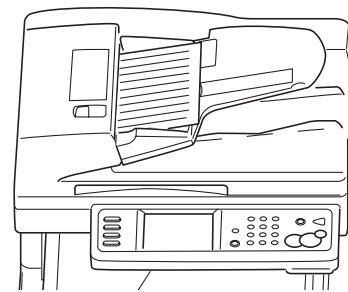
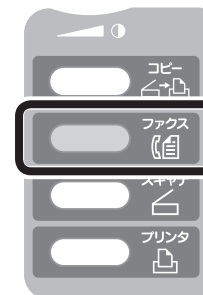
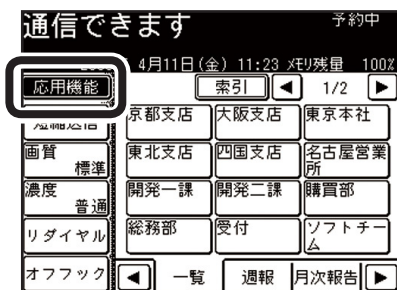
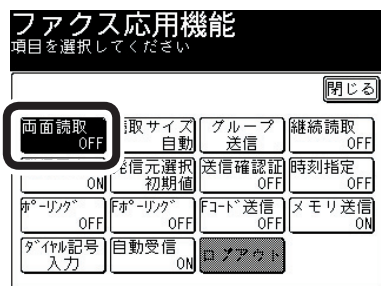
選択した通信予約原稿を印刷します。

メモ　選択した通信予約文書がリアルタイム送信、またはポーリング受信の場合は、印刷できません。

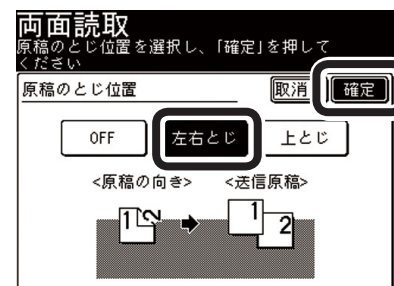
両面画面を読み取って送信する

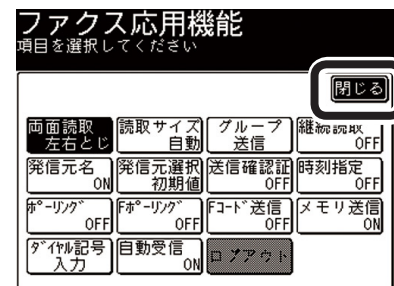
原稿のセットと相手先でのプリントのされかた

メモ　原稿の向きと原稿に記載されている文字の向きによっては、受信した画がイメージ通りに印刷されないことがあります。この場合は、[応用機能] - [両面読取]で以下のように設定してください。

・セットした原稿の文字が上を向いている場合は、[左右とじ]を選んでください。
・セットした原稿の文字が横を向いている場合は、[上とじ]を選んでください。

両面原稿を送信する

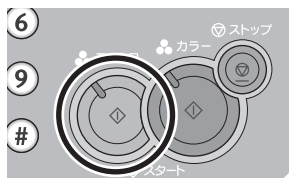
1 自動原稿送り装置に原稿をセットします。

2 ① <ファクス>キーを押します。

② ［応用機能］を押します。

3 ［両面読取］を押します。

4 ① 送信する原稿のとじ位置を選択します。

② ［確定］を押します。

5 両面読み取りが設定されます。

［閉じる］を押します。

6 相手先を指定します。

参照 相手先の指定方法は以下の方法があります。
- テンキーで指定する（210 ページ）
- 短縮ダイヤルで指定する（210 ページ）
- 宛先表を使用する（211 ページ）

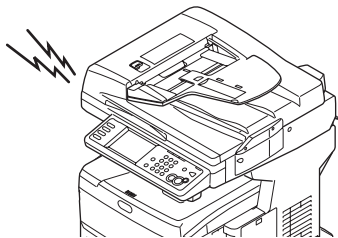
必要に応じて、画質や濃度を調整します。（203 ページ）
送信の中止は 219 ページを参照してください。

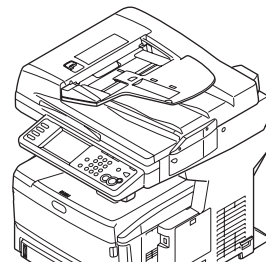
7 ＜モノクロスタート＞キーを押します。両面原稿が読み取られ、送信を開始します。

受信のしかた

ファクス専用で自動受信する（ファクス待機）

■ 操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で､ファクス待機を設定してください｡(196 ページ)
- 呼出音が鳴るように設定できます（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

1 ベルが鳴ります。

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）
- ベル回数は 0 〜 10 回の間で変更できます。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

2 受信を開始します。

■ こんなときには？

呼出ベルの回数を変えるには ....。

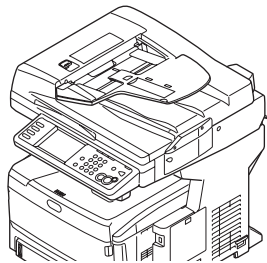
呼出ベルは、0 〜 10 回の間で回数を設定することができます。呼出ベルの回数を増やし、着信するまでの時間を長くすることにより、電話に出やすくすることができます。設定方法は応用編「操作パネルの設定項目一覧」を参照ください。

ファクスを優先して電話も受ける（ファクス／電話待機）

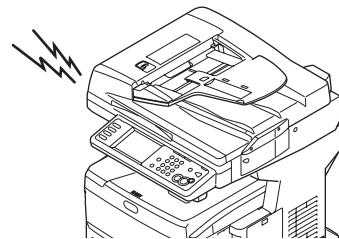
■ 操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で、「ファクス／電話待機」を設定してください。（196 ページ）
- 着信後しばらくは受信状態になりますので、電話のときは相手の方をお待たせするとともに、電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、増設電話の接続が必要です。

■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴らずにすぐに受信を開始します。

メモ
- 相手先がファクスでも相手機によりベル音が鳴ることがあります。
- 受信が完了すると待機画面に戻ります。

■ 相手先が電話してきた場合

1 着信後、しばらくしてからベルが鳴ります。

メモ
- 電話のベルが鳴り続けるときは､相手先が電話をかけておられます。
- よく電話をかけてこられる相手先には、前もって少々お待ちいただくようにお伝えください。
- 相手の方はベルが鳴るまでにしばらく待たれていますので、すぐに出てください。
- 増設電話のベルも鳴ります。

2 相手先と会話します。

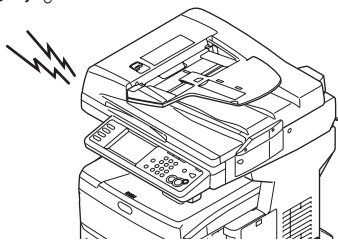
メモ
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。
- 増設電話のダイヤルキーで<５><５>とダイヤルするか、本機の<モノクロスタート>キーを押すと受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

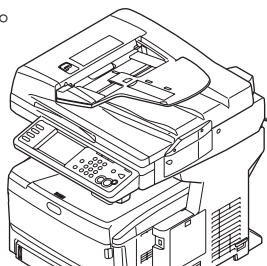
電話を優先して自動受信もする（電話／ファクス待機）

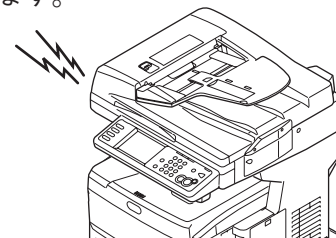
■ 操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で、「電話／ファクス待機」を設定してください。（196 ページ）
- 電話のとき、ベルが 2 回を越えますと、ファクスは受信状態になりますのでこちらが不在でも相手先に電話料金がかかります。
- 電話を受けるには、増設電話の接続が必要です。

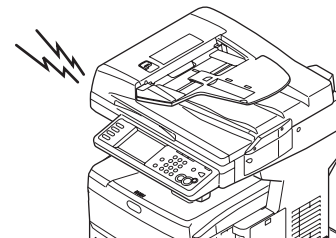
■ 相手先がファクス送信してきた場合

1 ベルが鳴ります。

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）
- ベル回数は 0 ～ 10 回の間で変更できます。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

2 受信を開始します。

■ 相手先が電話してきた場合

1 ベルが鳴ります。

メモ
- ベルが鳴っている間に受話器を上げると会話できます。
- 増設電話のベルも鳴ります。

- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と「呼出ブザー音」の設定が必要です。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）
- ベル回数は 0 ～ 10 回の間で変更できます。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

2 再度ベルが鳴ります。（約 30 秒）

メモ ベルが鳴り続けるときは、相手先が電話をかけておられます。

3 相手先と会話します。

メモ
- 相手が手動送信の場合、受話器を上げても無音の場合がありますので、相手が電話でないことを口頭で確認の上、<モノクロスタート>キーを押してください。
- 相手先から「ポーポー」と音が聞こえたときは相手はファクスです。
- 増設電話のダイヤルキーで<５><５>とダイヤルするか、本機の<モノクロスタート>キーを押すと受信を始めます。（受信後は受話器を戻してください）

留守番電話とファクスを兼用する（留守／ファクス待機）

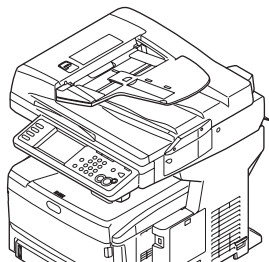
操作の前に・・・・

- 設置モードの受信モード設定で、「留守／ファクス待機」を設定してください。（196 ページ）
- 留守番電話の接続コードをファクスの「増設電話」に接続してください。
- 本体のベルを鳴らすには、［ブザー音量］と［呼出ブザー音］の設定が必要です。（応用編「操作パネルの設定項目一覧」）

相手先がファクス送信してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

3 受信を開始します。

- 留守番電話の種類により、留守番電話とファクスの自動切り替えが働かない場合があります。
- 相手機により自動的に受信できない場合があります。
- 留守番電話機の用件録音が満杯の状態などで、留守番電話機が応答しない場合は、ファクスも受信できません。
- リモート受信はできません。

■ 相手先が電話してきた場合

1 留守番電話で設定された回数のベルが鳴ります。

2 応答メッセージが流れます。

メモ 相手が手動送信の場合は留守番電話が起動し、応答メッセージを送出してからファクスに切り替わりますので、留守番電話機の応答メッセージに「ファクスの方は送信してください」という旨の録音をしてください。

3 用件録音を開始します。

増設電話でファクスを受ける（リモート受信）

増設電話を離れた場所でご利用になる場合、増設電話からの操作でファクスを受信状態にすることができます。

1 増設電話で電話を受けます。

メモ
・増設電話のベルが鳴ったら、増設電話の受話器を上げて通話します。
・相手がファクスの場合は「ポーポー」などの音が聞こえるか、または無音です。

2 ファクスを受信する場合は、増設電話のダイヤルキーで＜５＞＜５＞と押します。

注
通話中に増設電話のダイヤルキーで＜５＞＜５＞を押すと、ファクスに切り替わってしまい、通話できなくなります。

3 無音になったことを確認し、受話器を戻します。受信を開始します。

メモ
＜５＞＜５＞と押して受信状態にすると、受話器からは何も聞こえなくなります。

■ こんなときには？

リモート受信できないことがあります ...。

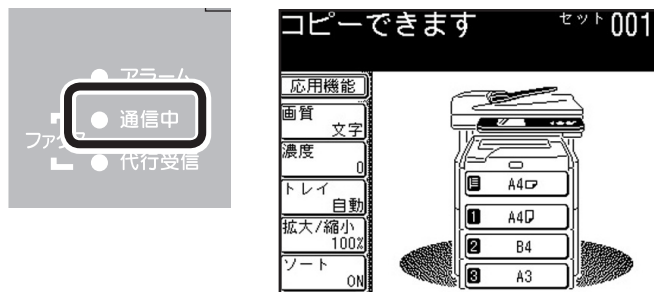
本機能は増設電話の種類や地域などの諸条件により使用できないことがあります。また、以下の場合にもリモート受信できません。

- こちらから電話をかけたとき
- 本機の受信モードが「留守／ファクス待機」のとき
- 増設電話の回線種別設定と本機の回線種別設定が一致していないとき
- 本機のメモリ残量がないとき

受信中の動作について

受信中の表示について

ディスプレイには相手先が表示され、受信が完了後印刷されます。通信が終了するまで通信中ランプが点灯します。

<コピー待機画面で受信した場合>

- 印刷中は用紙カセットを引き出さないでください。用紙づまりの原因になります。
- フェイスダウンスタッカに収容できる枚数は 250 枚、フェイスアップスタッカに収容できる枚数は 100 枚です。用紙はためすぎないようにしてください。ためすぎると排出不良となり、用紙づまりの原因となります。

- 相手先は次の優先で表示されます。1. 相手先に登録されている発信元名　2. 相手先に登録されている発信元番号
- 受信中にメモリオーバーしたときは受信が中止されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。

代行受信について

代行受信とは、用紙切れ、用紙づまりなどで印刷できないときに、受信文書をいったんメモリに蓄積する機能です。用紙切れなどの処置が終わると、蓄積されている文書が自動的にプリントされます。メモリに代行受信文書が蓄積されているときは、代行受信ランプが点灯し続けます。

用紙やトナーの交替は、電源を ON のまま行ってください。

- メモリには最大 250 通信、A4 サイズの当社標準原稿で約 1024 枚受信できますが、メモリの使用量によって異なります。
- 代行受信中にメモリオーバーしたときは、受信が中止されエラーメッセージが表示されます。受信文書は、用紙切れなどの処置が終わると、蓄積できたところまでが印刷されます。相手側に連絡し、もう一度送信するよう依頼してください。
- 代行受信時に電源が切れた場合、約 72 時間（連続して 48 時間通電時）記憶しています。
- <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。
  代行受信の印刷待ちは、印刷ができる状態になると、自動的に印刷されます。

■ 通信履歴を確認する

代行受信文書の印刷待ち状況を確認できます。

1 <ファクス確認／中止>キーを押します。

2 ［通信履歴表示］を押します。

3 ［受信履歴］を押します。

4 受信履歴が表示されます。詳細情報を見たいときは、それぞれを押します。

メモ <リセット>キーを押すと待機画面に戻ります。
代行受信の印刷待ちは、印刷ができる状態になると、自動的に印刷されます。

アドレス帳について

短縮ダイヤルの登録／変更

短縮ダイヤルの登録／変更

よく通信する相手先を、アドレス帳に 500 カ所まで登録することができます。

短縮ダイヤルには、相手先のファクス番号や相手先名のほかに、読み仮名やグループ番号も登録しておくことができます。

■ 操作の前に・・・・

短縮ダイヤルには以下の内容を登録できます。あらかじめ登録内容を準備してください。

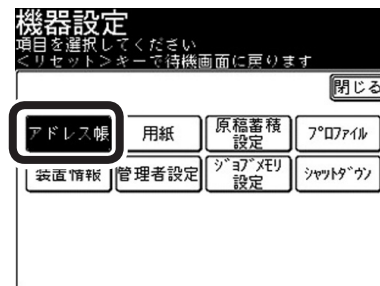
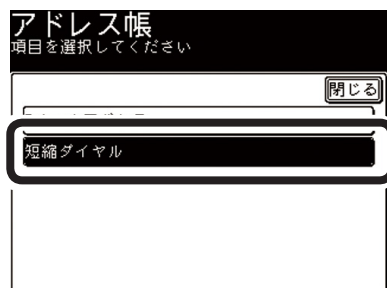
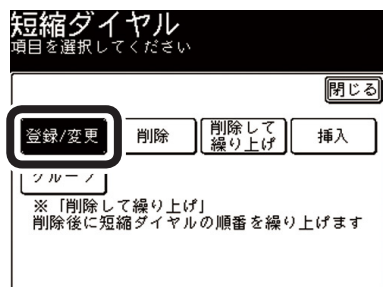
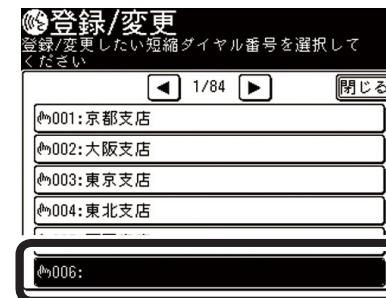
- 相手先番号　：40 桁まで登録できます。
- 相手先名　：半角 24（全角 12）文字まで登録できます。
- 読み仮名　：宛先表で索引を使用するとき、キーワードとなる文字です。カタカナ、英数にて半角 8 文字を登録できます。
- グループ番号　：短縮ダイヤルをグループに分ける場合に登録します。グループ単位で送信したり、グループ単位で検索したりすることができます。

参照 グループに名称を付けることができます。（251 ページ）

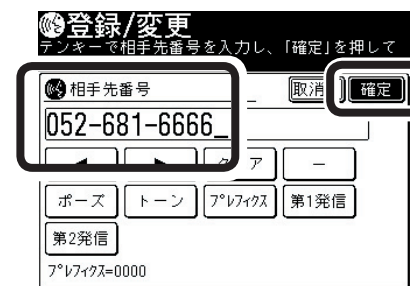
登録／変更する 音声案内

短縮ダイヤルにダイヤル No. や相手先名を登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［登録 / 変更］を押します。

5 登録したい短縮番号を押します。

注 通信予約、自動配信で使用されている短縮番号は選択できません。

メモ 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 ① テンキーで相手先番号を入力します。（40 桁まで）
② ［確定］を押します。

メモ 初めて登録する場合は、相手先番号の入力画面が開きます。相手先番号を変更する場合は、［相手先番号］を押し、入力画面を開いて入力し直します。

参照
- ポーズなどのダイヤル記号も登録できます。（207 ページ）
- プレフィクス番号を登録することができます。（応用編「ダイヤルするときに番号を追加する（プレフィクス）」）

4 ファクスとして使うとき

7 相手先名を登録します。

① ［相手先名］を押します。

② 相手先名を入力します。

③ ［確定］を押します。

メモ　半角文字では 24 文字、全角文字では 12 文字まで登録できます。

参照　文字入力については 93 ページを参照してください。

8 読み仮名を登録します。

① ［読み仮名］を押します。

メモ　相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順 9 に進みます。

② 読み仮名を入力します。

③ ［確定］を押します。

メモ　読み仮名に使用できる文字は、半角のカタカナ・英数字です。8 文字まで登録できます。

文字入力については 93 ページを参照してください。

9 グループを利用する場合は、グループ番号を入力します。

①［グループ番号］を押します。

② グループ番号を選択します。

③［確定］を押します。

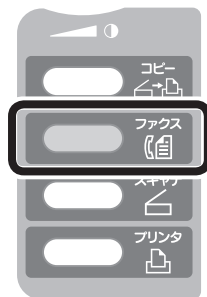
メモ　複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。

10 続けて他の短縮ダイヤルを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

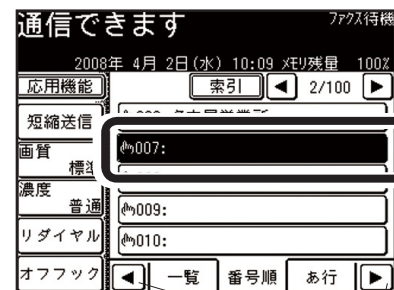
- <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。
- ［確定］を押す前に<リセット>キーを押すと、登録内容が破棄されます。

便利な登録方法１
未登録の短縮ダイヤル番号に直接登録する 音声案内

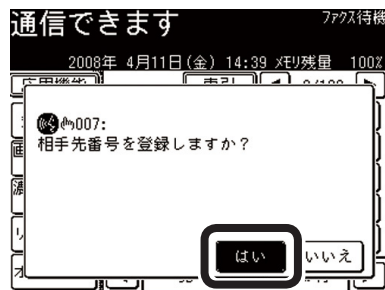
未登録の短縮ダイヤルを押すと、自動的に登録操作になります。

1 ＜ファクス＞キーを押し、ファクス待機画面にします。

■ 宛先表から選択する場合

2 ①［番号順］タブを押します。

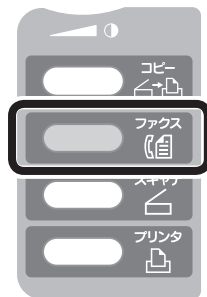
②未登録の短縮ダイヤル番号を押します。

タブ切り替えカーソル

メモ　［番号順］タブが表示されていない場合は、タブで切り替えカーソルを押して表示させます。

3 登録する場合は［はい］を押します。

4 選択した短縮ダイヤル番号の登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルの登録 / 変更」（238 ページ）手順 6 〜 10 と同じです。

便利な登録方法 2 テンキーで入力した番号を登録する 音声案内

テンキーで入力した番号の登録のしかたについて説明します。

1 <ファクス>キーを押し、ファクス待機画面にします。

2 テンキーで相手先番号を入力します。

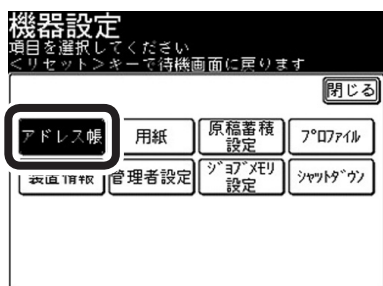
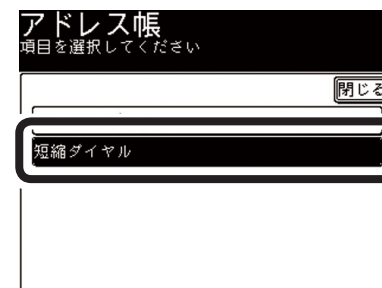
3 ［短縮登録］を押します。

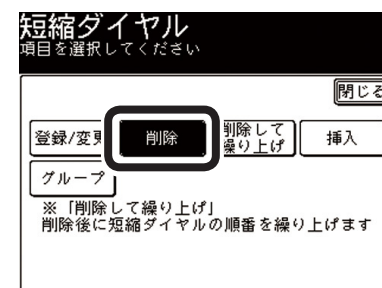
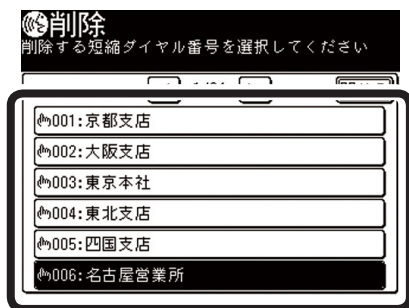
4 登録する場合は［はい］を押します。

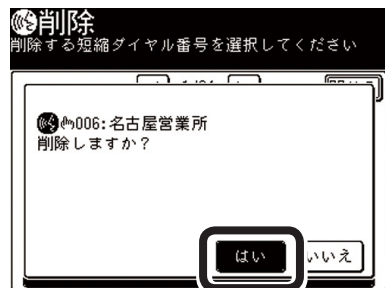
5 短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルの登録 / 変更」(238 ページ)手順 6 〜 10 と同じです。

短縮ダイヤルを削除する 音声案内

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［削除］を押します。

5 削除したい短縮ダイヤルを選択します。

・送信中または送信予約中の文書宛先に含まれている短縮ダイヤルで使用中の短縮ダイヤルは選択できません。
・自動配信設定で使用されている場合は選択できません。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順 5 に戻ります。

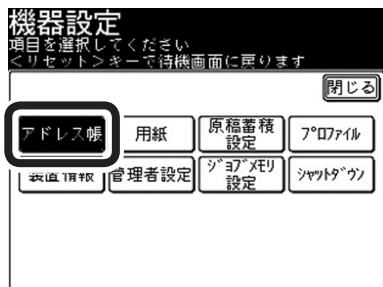
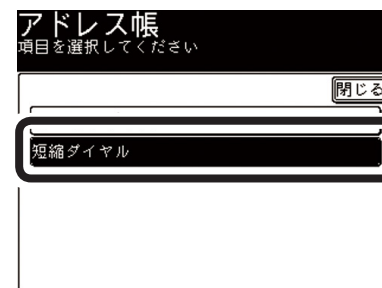
7 続けて削除を行うときは、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

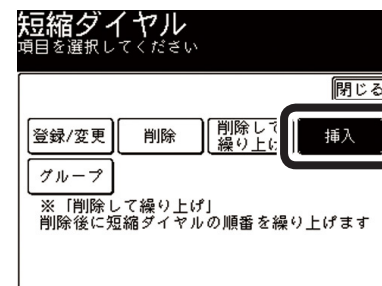
 <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

短縮ダイヤルの途中に挿入して登録する 音声案内

新しい登録先を短縮ダイヤルの途中に割り込ませることができます。ただし、短縮ダイヤルの 500 が登録されている場合、この操作はできません。

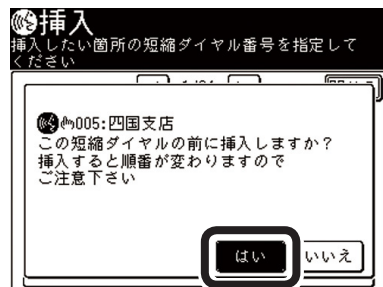
1 ＜機器設定＞キーを押します。

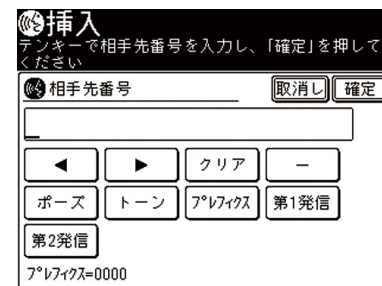
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［挿入］を押します。

4
ファクスとして使うとき

5 短縮ダイヤルを挿入する位置の短縮ダイヤルを選択します。

注 ・短縮ダイヤル 500 は選択できません。

6 挿入する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は挿入されず、手順 5 に戻ります。

7 選択した短縮ダイヤルの登録手順になります。以降の操作は「短縮ダイヤルの登録 / 変更」（238 ページ）手順 6 ～ 10 と同じです。

メモ 選択した短縮ダイヤル以降の番号が 1 つ後ろにずれます。

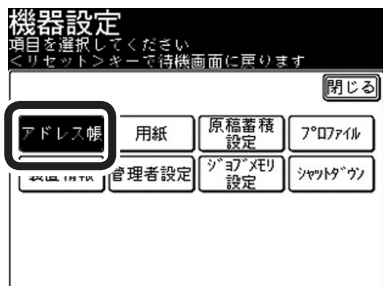
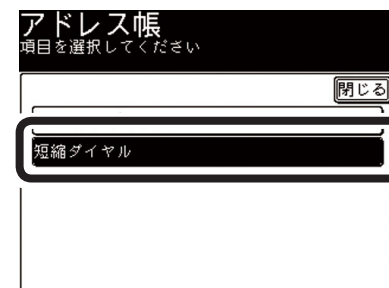
8 続けて挿入を行うときは、手順 5 ～ 7 を繰り返します。

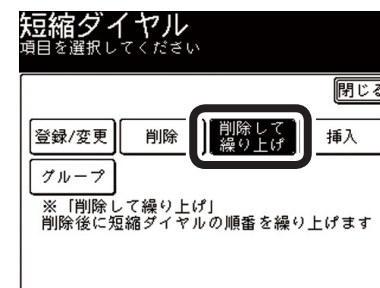
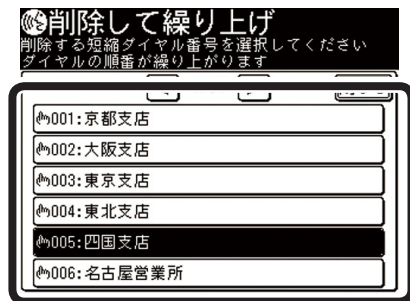
メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

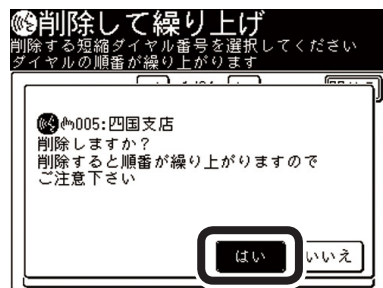
短縮ダイヤルを削除して番号をつめる

登録されている短縮ダイヤルを削除して、それ以降に登録されている短縮ダイヤルを１つずつ前につめることができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［削除して繰り上げ］を押します。

5 削除したい短縮ダイヤルを選択します。

注
- 送信予約中の文書宛先に含まれている場合は、その番号以前は選択できません。
- 自動配信設定されている短縮ダイヤルは選択できません。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順 5 に戻ります。

7 選択した短縮ダイヤルが削除され、それ以降に登録されている短縮ダイヤルの番号が 1 つ前につまります。

注 短縮ダイヤル 500 を選択した場合は削除のみ行います。

8 続けて削除を行うときは、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

メモ ＜リセット＞キーを押すと、待機画面に戻ります。

グループダイヤルの登録

グループダイヤルの登録

多数の相手に送信するとき、短縮ダイヤルに登録されている相手先へグループ単位で送信することができます。

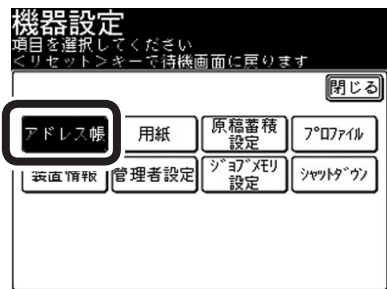
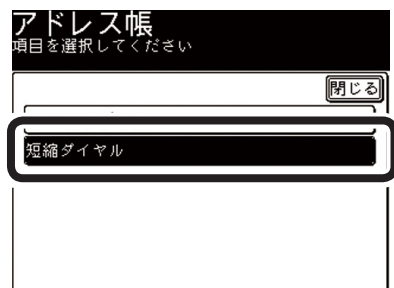
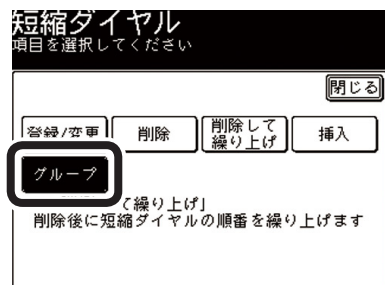
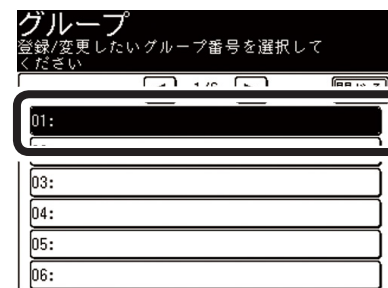
■ 操作の前に・・・・

グループ番号：01 ～ 32 まで登録できます。

グループダイヤルの登録／変更

グループダイヤルを登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［短縮ダイヤル］を押します。

4 ［グループ］を押します。

5 登録したいグループ No. を押します。

メモ　画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 ① 相手先を指定します。

② ［確定］を押します。

メモ　テンキーでの入力はできません。

参照　相手先の指定方法は 209 ページを参照してください。

7 グループ名を登録します。

❶［名称］を押します。

メモ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照 文字入力については 93 ページを参照してください。

❷グループ名を入力します。

❸［確定］を押します。

8 登録内容の一覧が表示されます。

9 続けて他のグループダイヤルを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

5 スキャナとして使うとき

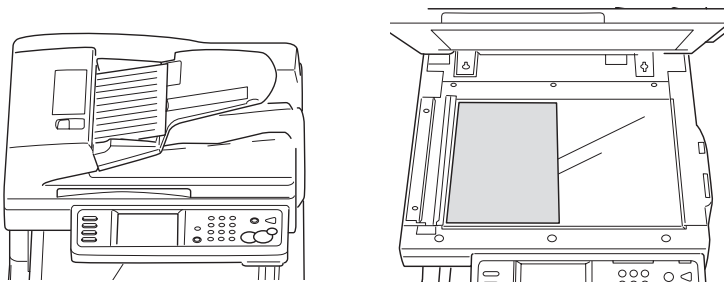
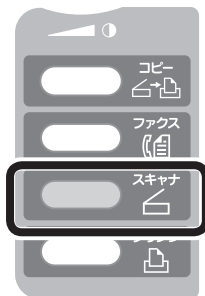
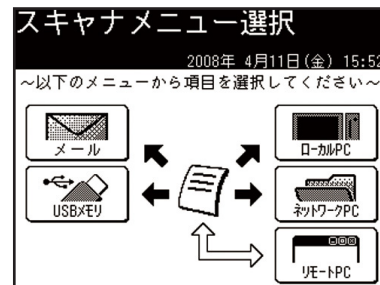
スキャンの基本操作

基本操作

基本操作

1 原稿をセットします。

参照 詳しい手順は、原稿セットのしかた（83 ページ）をご覧ください。

2 <スキャナ>キーを押します。

3 スキャン方法を選択します。

［メール］を選択したときは、257 ページをご覧ください。
［USB メモリ］を選択したときは、263 ページをご覧ください。
［ローカル PC］を選択したときは、265 ページをご覧ください。
［ネットワーク PC］を選択したときは、267 ページをご覧ください。
［リモート PC］を選択したときは、269 ページをご覧ください。

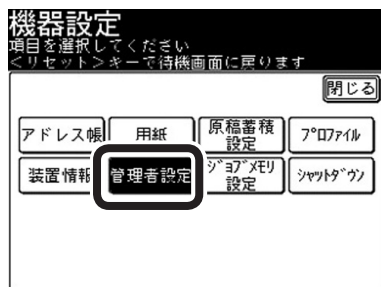
スキャン To メール

メールサーバの設定

■ 操作の前に・・・・

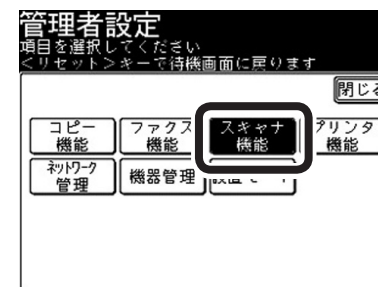
初めてスキャン To メール機能を使うときは、必ず以下の初期設定を行なってください。2 回目以降は設定する必要はありません。

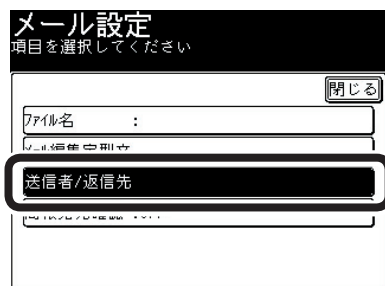
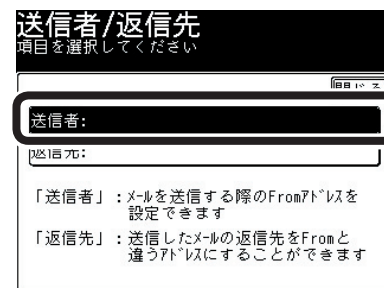
参照 Web ブラウザを使って、メールサーバの設定を行うこともできます。詳しくは、応用編「Windows/Macintosh 用ユーティリティ」「Web ブラウザ」をご覧ください。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは「aaaaaa」となっています。

4 ［スキャナ機能］を押します。

5 ［メール設定］を押します。

6 ［送信者 / 返信先］を押します。

7 ［送信者］を押します。

8 メールアドレスを入力し、［確定］を押します。アドレス帳からメールアドレスを選択することもできます。

9 ［閉じる］を押します。

10 ［閉じる］を 2 回押し、［管理者設定］画面を表示します。

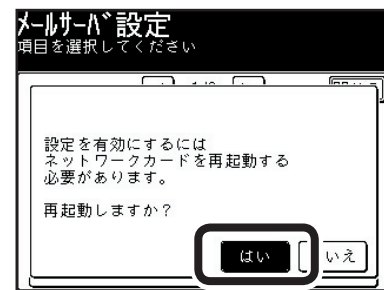
11 ［ネットワーク管理］を押します。

12 ［メールサーバ設定］を押します。

13 ［SMTP サーバ］を押します。

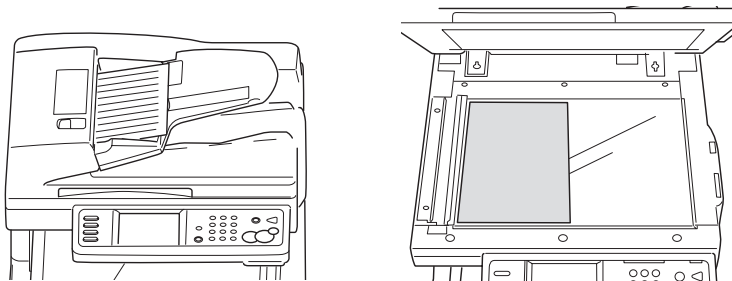
14 SMTP サーバ名を入力し、［確定］を押します。

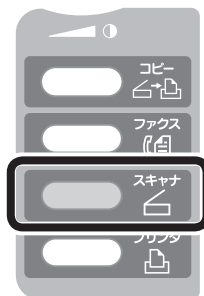
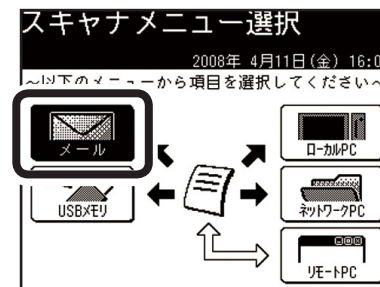
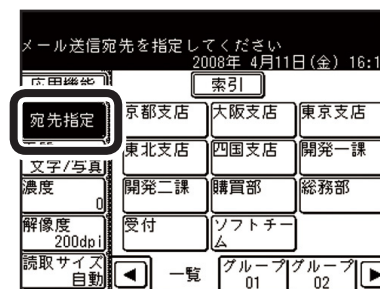
15 ＜リセット＞ボタンを押します。

16 下の画面を表示するので、［はい］を押します。

スキャン To メール

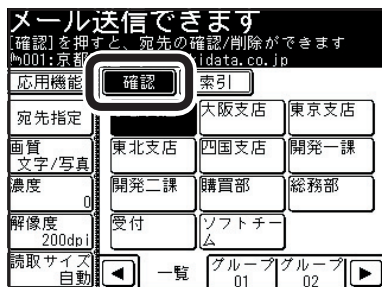
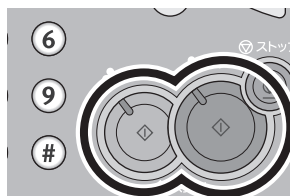
■ 操作の前に・・・・

本機をネットワークに接続しておきます。詳しい手順は、「ネットワーク接続で Windows にセットアップする」の「セットアップする」（117 ページ）手順 1 〜 3 をご覧ください。

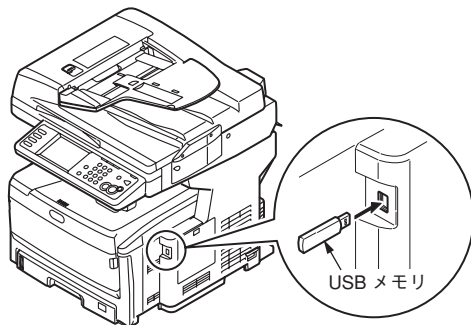
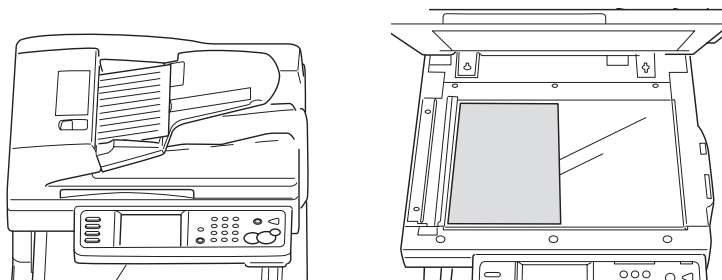
1 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）。

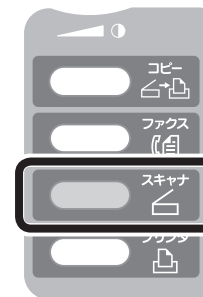
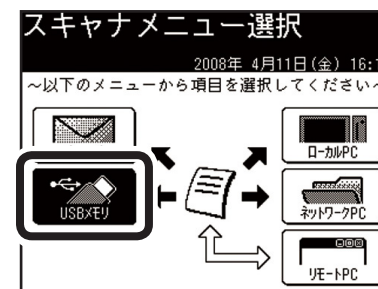
2 <スキャナ>キーを押します。

3 ［メール］を押します。

4 ［宛先指定］を押し、相手先を指定します。

メモ 相手先の指定方法は以下の通りです。

- アドレス帳　：E メールアドレス帳
- 直接入力　：相手先のメールアドレスを直接入力します
- グループ送信　：E メールアドレス帳からグループを選択し、グループに登録されている複数の E メールアドレス宛に送信します。
- メール送信履歴：過去にメールを送信した E メールアドレスの履歴（10 件まで）から選択します。
- LDAP　：ネットワーク上の LDAP サーバに登録されている E メールアドレスから選択します。

5 スキャンする前に宛先を確認したいときは、［確認］を押します。

6 <カラースタート>キーまたは、<モノクロスタート>キーを押します。

スキャン To USB メモリ

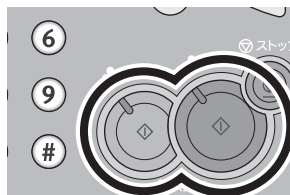
スキャナで読み込んだデータを USB メモリに保存します。

1 USB メモリを本機に取り付けます。

2 原稿をセットします。

参照 原稿セットのしかた（83 ページ）。

3 <スキャナ>キーを押します。

4 ［USB メモリ］を押します。

5 操作パネルに［スキャンできます］と表示していることを確認します。

6 画質や、濃度などを変更したいときは、ご愛用スイッチを押し、変更します。

- 工場出荷時の設定では、スキャンしたデータのファイル名は『Image』となっています。
- 応用機能を使ってスキャンする方法は応用編をご覧ください。

7 <カラースタート>キーまたは、<モノクロスタート>キーを押します。

8 操作パネルに「保存完了　USB メモリは取り外し可能です」と表示したら、USB メモリを外します。

スキャン To ローカル PC

スキャンしたデータを、USB ケーブルで接続したコンピュータに保存します。

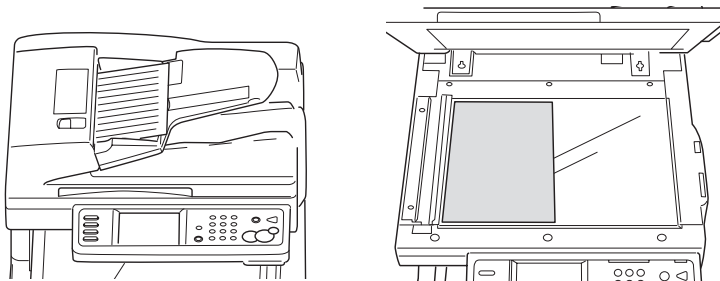
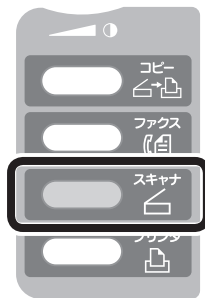
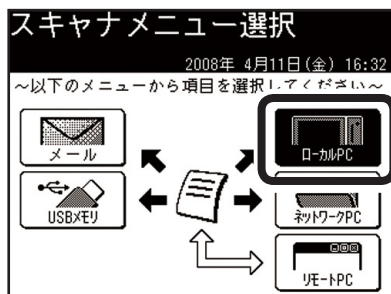
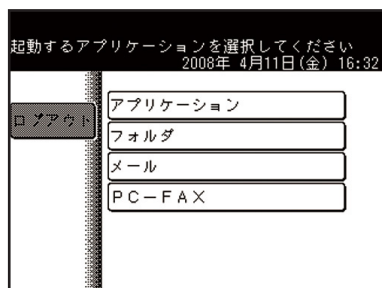
■ 操作の前に・・・・

・本機とコンピュータを USB ケーブルで接続しておきます。
・コンピュータに「ActKey」とスキャナドライバをインストールしておきます。

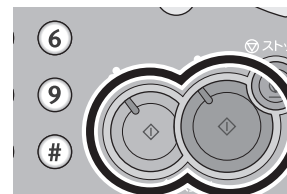
・スキャナドライバは、プリンタドライバと同時に自動的にインストールされます。詳しい手順は、「USB 接続で Windows にセットアップする」（127 ページ）をご覧ください。
・「ActKey」は「ソフトウェア　CD-ROM」の「その他のソフトウェア」からインストールします。詳しい手順は、応用編「いろいろなスキャンのしかた」の「ActKey アプリケーションを使う」をご覧ください。

Windows Server 2008 の場合、コンピュータにインストールしたスキャナのプロパティにあるイベントに対する動作として、必ず［指定したプログラムを起動する］で［ActKey］を選択してください。詳しい手順は、応用編「いろいろなスキャンのしかた」の「スキャン To ローカル PC で ActKey が起動するように設定する」をご覧ください。

1 原稿をセットします。

原稿セットの詳しい手順は、「原稿セットのしかた」（83 ページ）をご覧ください。

2 ＜スキャナ＞キーを押します。

3 ［ローカル PC］を押します。

4 該当する出力先を押します。

メモ

アプリケーション	：画像編集アプリケーションを起動して、装置で読み取った画像を編集します。
フォルダ	：装置で読み取った画像を、ユーザのコンピュータ上に保存します。
メール	：メールクライアントを起動して、装置で読み取った画像を添付します。
PC-FAX	：Windows の FAX サービスを使用して、装置で読み取った画像をコンピュータのモデムから送信します。

5 <カラースタート>キーまたは、<モノクロスタート>キーを押します。

6 ActKey が起動し、手順 4 で指定した処理が実行されます。

メモ　PC-FAX を選択したときは、コンピュータ上に［FAX 送信ウィザード］が起動するので、画面に従って進みます。

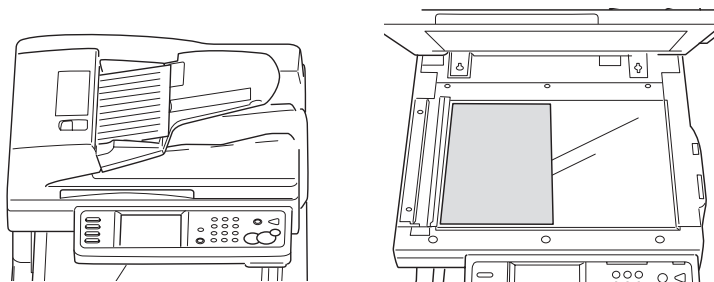
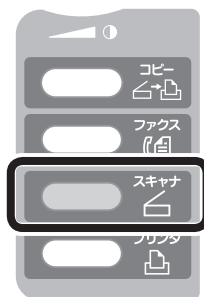
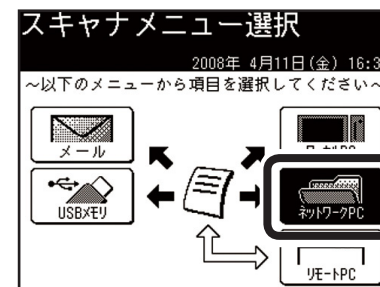
スキャン To ネットワーク PC

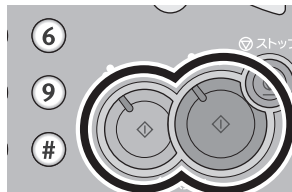
スキャンしたデータをネットワーク上のコンピュータに保存します。

■ 操作の前に・・・・

- 本機とコンピュータをネットワーク接続しておきます。
- あらかじめプロファイルを作成しておく必要があります。
  プロファイルの作成方法は、「プロファイルを作成する」（393 ページ）をご覧ください。

1 原稿をセットします。

参照 詳しい手順は、「原稿セットのしかた」（83 ページ）をご覧ください。

2 <スキャナ>キーを押します。

3 ［ネットワーク PC］を押します。

4 プロファイルを選択します。

5 ＜カラースタート＞キーまたは、＜モノクロスタート＞キーを押します。

スキャン To リモート PC

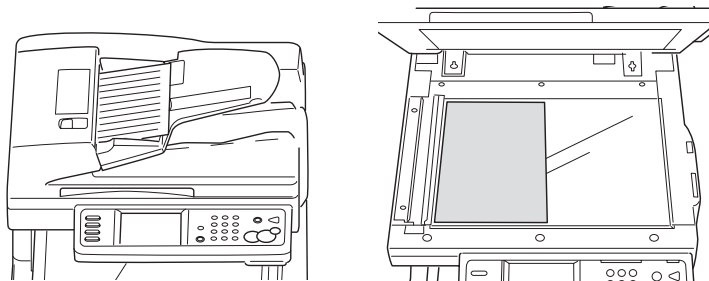
コンピュータ上で Twain または WIA に対応したアプリケーションを使用して、スキャンすることができます。
ここでは ActKey アプリケーションを使った場合を例にしています。

■ 操作の前に・・・・

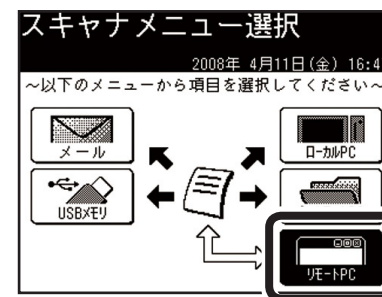
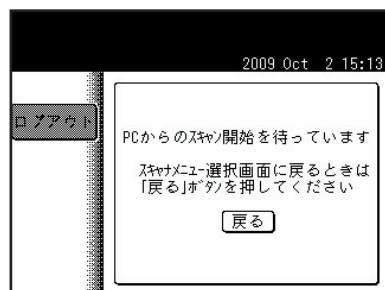
・本機とコンピュータを USB 接続しておきます。
・コンピュータにスキャナドライバと ActKey アプリケーションをインストールしておく必要があります。

・スキャナドライバは、プリンタドライバと同時に自動的にインストールされます。詳しい手順は、「USB 接続で Windows にセットアップする」（127 ページ）をご覧ください。
・「ActKey」は「ソフトウェア　CD-ROM」の「その他のソフトウェア」からインストールします。詳しい手順は、応用編「いろいろなスキャナのしかた」の「ActKey アプリケーションを使う」をご覧ください。

1 コンピュータ上で、ActKey アプリケーションを起動します。

2 原稿をセットします。

参照 詳しい手順は、「原稿セットのしかた」（83 ページ）をご覧ください。

3 ＜スキャナ＞キーを押します。

4 ①［リモート PC］を押します。

② 操作パネルが下のようになります。

5 コンピュータ上の ActKey のボタンをクリックします。

スキャンを開始します。

E メールアドレス帳について

E メールアドレスの登録

E メールアドレスの登録 / 変更

よく通信する相手先を、500 カ所まで登録することができます。

E メールアドレス帳には、相手先の E メールや相手先名のほかに、読み仮名やグループ番号も登録しておくことができます。

■ 操作の前に・・・・

E メールアドレス帳には以下の内容を登録できます。あらかじめ登録内容を準備してください。

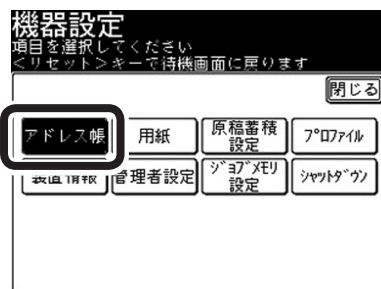
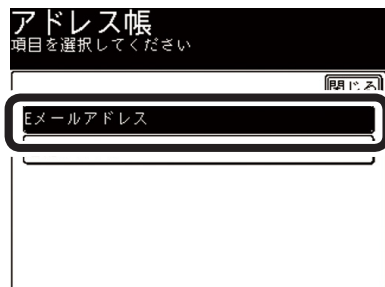
- 相手先メールアドレス　：500 件まで登録できます。
- 相手先名　：半角 16（全角 8）文字まで登録できます。
- 読み仮名　：宛先表で索引を使用するとき、キーワードとなる文字です。カタカナ、英数にて半角 8 文字を登録できます。
- グループ番号　：E メールアドレスをグループに分ける場合に登録します。グループ単位で送信したり、グループ単位で検索したりすることができます。

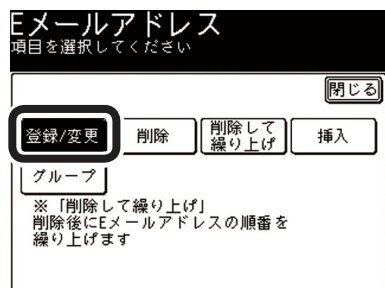
参照 グループに名称を付けることができます。（283 ページ）

登録／変更する 音声案内

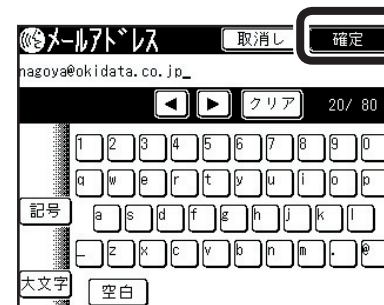
E メールアドレスにメールアドレスや相手先名を登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 [Eメールアドレス] を押します。

4 [登録／変更] を押します。

5 登録したいメールアドレス番号を押します。

メモ 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 ① 相手先のメールアドレスを入力します。
② [確定] を押します。

メモ 初めて登録する場合は、メールアドレスの入力画面が開きます。メールアドレスを変更する場合は、[メールアドレス] を押し、入力画面を開いて入力し直します。

7 相手先名を登録します。

① ［名前］を押します。

② 相手先名を入力します。

③ ［確定］を押します。

メモ 半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照 文字入力については 93 ページを参照してください。

8 読み仮名を登録します。

① ［読み仮名］を押します。

メモ 相手先名を入力すると、読み仮名は自動的に入力されます。変更しない場合は手順 9 に進みます。

② 読み仮名を入力します。

③ ［確定］を押します。

メモ 読み仮名に使用できる文字は、半角のカタカナ・英数字です。8 文字まで登録できます。

参照 文字入力については 93 ページを参照してください。

9 グループを利用する場合は、グループ番号を入力します。

① ［グループ番号］を押します。

② グループ番号を選択します。

③ ［確定］を押します。

メモ　複数のグループ（最大 32 個）を登録することができます。

10 登録内容の一覧が表示されます。

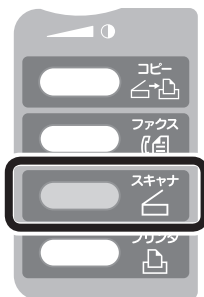
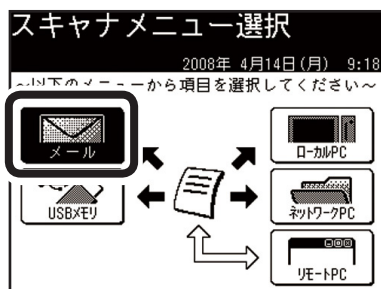
11 続けて他のメールアドレスを登録する場合は、［確定］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

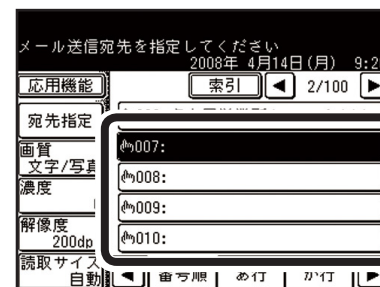
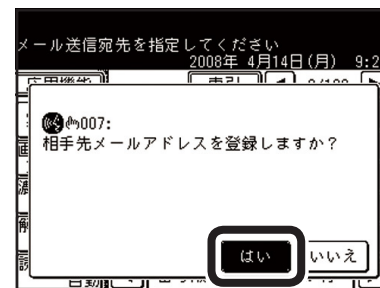
便利な登録方法 1 未登録 E メールアドレス番号に直接登録する

音声案内

未登録の E メールアドレス番号を押すと、自動的に登録操作になります。

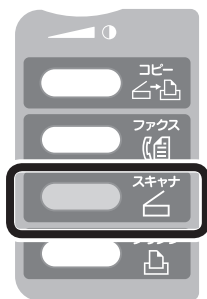
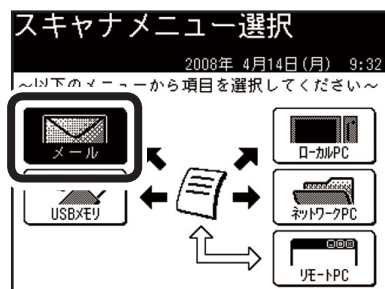
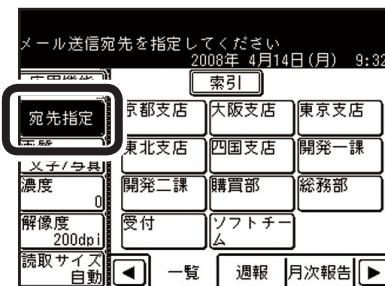
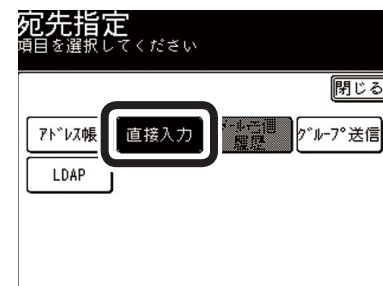
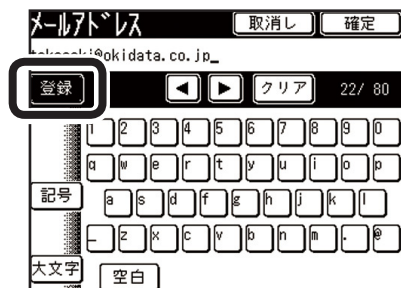
1 <スキャナ>キーを押し、スキャナメニュー選択画面にします。

2 ［メール］を押します。

3 ①［番号順］タブを押します。

② 未登録の E メールアドレス番号を押します。

4 登録する場合は［はい］を押します。

5 選択した E メールアドレス番号の登録手順になります。以降の操作は「登録／変更する」（272 ページ）手順 6 ～ 11 と同じです。

便利な登録方法 2
直接入力したメールアドレスを登録する 音声案内

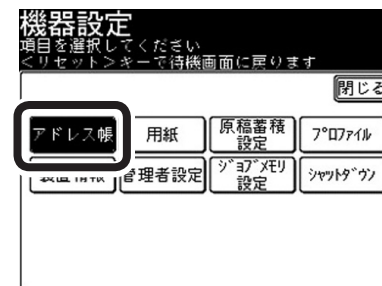
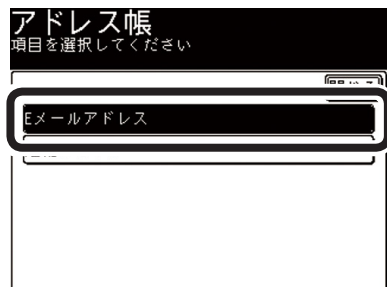
直接入力したメールアドレスを登録することができます。

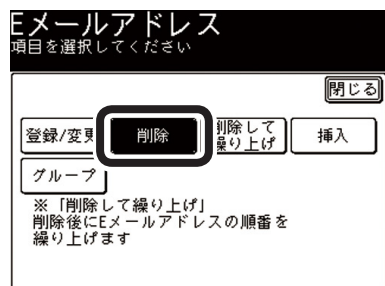
1 <スキャナ>キーを押し、スキャナメニュー選択画面にします。

2 ［メール］を押します。

3 ［宛先指定］を押します。

4 ［直接入力］を押します。

5 メールアドレスを入力し、[登録] を押します。

6 登録する場合は [はい] を押します。

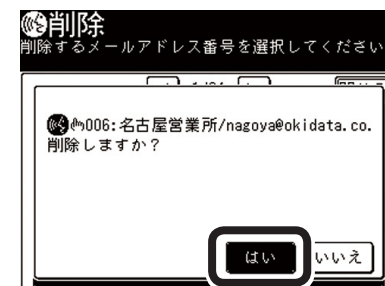
7 メールアドレスの登録手順になります。以降の操作は「登録／変更する」（272 ページ）手順 6 〜 11 と同じです。

E メールアドレス番号を削除する 音声案内

1 <機器設定>キーを押します。

2 [アドレス帳] を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［削除］を押します。

5 削除したいメールアドレスを選択します。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ　［いいえ］を押した場合は削除されず、手順5に戻ります。

7 続けて削除を行うときは、手順5、6を繰り返します。

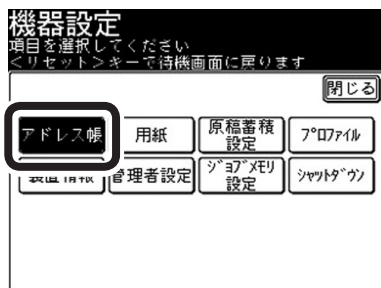
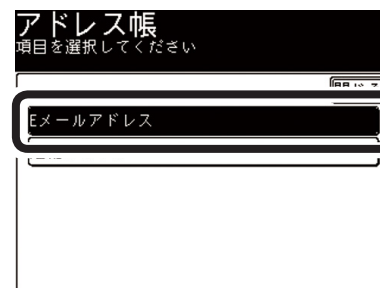
メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

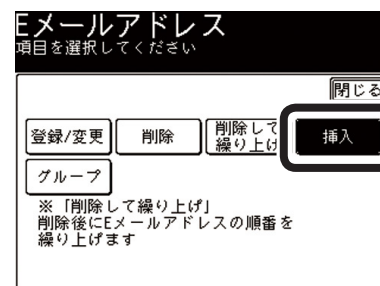
E メールアドレス番号の途中に挿入して登録する

音声案内

新しい登録先を E メールアドレス番号の途中に割り込ませることができます。ただし、E メールアドレス番号の 500 が登録されている場合、この操作はできません。

1 <機器設定>キーを押します。

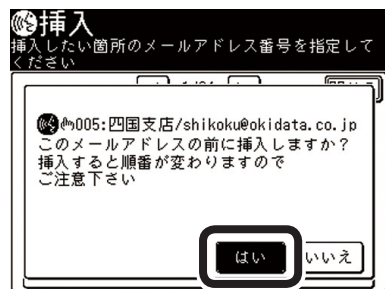
2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［E メールアドレス］を押します。

4 ［挿入］を押します。

5
スキャナとして使うとき

5 Eメールを挿入する位置のEメールアドレス番号を選択します。

メモ 例えば、Eメールアドレス番号005に新しいEメールアドレスを挿入したい場合はEメールアドレス番号005を選択します。

注
- メールアドレス番号500は選択できません。
- 自動配信で配信先として登録されている宛先は選択できません。

6 挿入する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は挿入されず、手順5に戻ります。

7 選択したEメールアドレス番号の登録手順になります。以降の操作は「登録／変更する」（272ページ）手順6～11と同じです。

メモ 選択したEメールアドレス番号以降の番号が1つ後ろにずれます。

8 続けて挿入を行うときは、手順5～7を繰り返します。

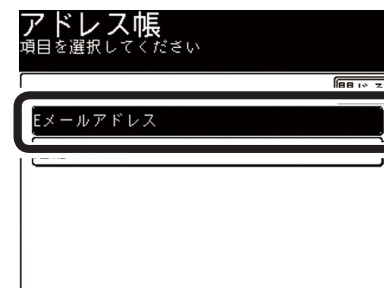
メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

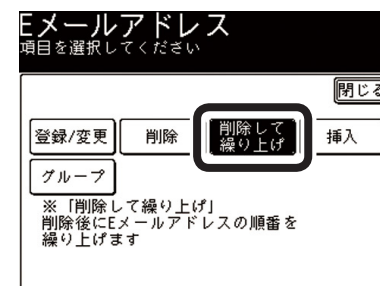
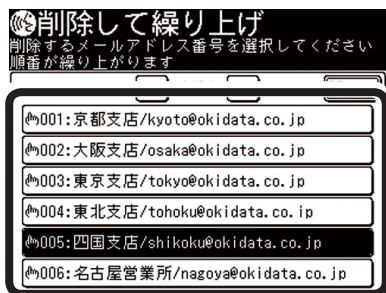
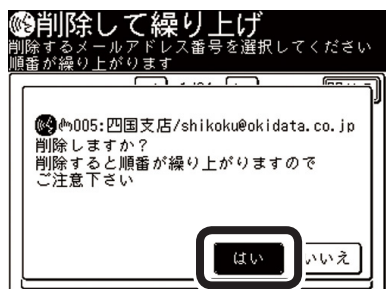
E メールアドレス番号を削除して番号をつめる

音声案内

登録されている E メールアドレス番号を削除して、それ以降に登録されている E メールアドレス番号を 1 つずつ前につめることができます。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［E メールアドレス］を押します。

4 ［削除して繰り上げ］を押します。

5 削除したいEメールアドレス番号を選択します。

6 削除する場合は［はい］を押します。

メモ ［いいえ］を押した場合は削除されず、手順5に戻ります。

7 選択したEメールアドレス番号が削除され、それ以降に登録されているEメールアドレス番号の番号が1つ前につまります。

注 Eメールアドレス番号500を選択した場合は削除のみ行います。

8 続けて削除を行うときは、手順5～7を繰り返します。

メモ <リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

グループ E メールアドレスの登録

グループ E メールアドレスの登録

多数の相手に送信するとき、E メールアドレスに登録されている相手先へグループ単位で送信することができます。

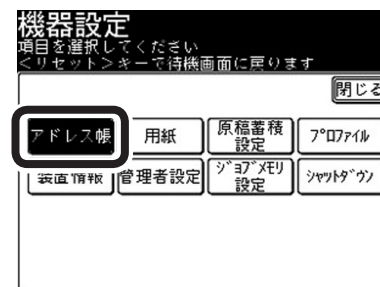
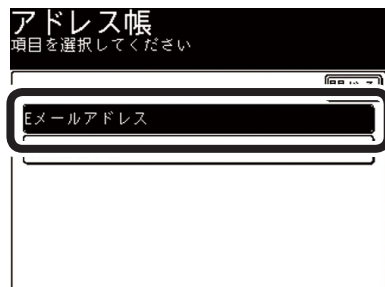
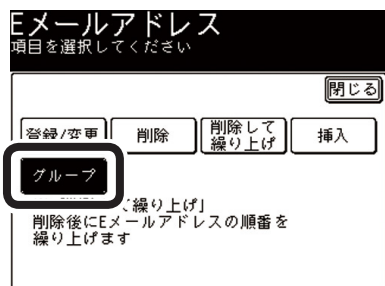
■ 操作の前に・・・・

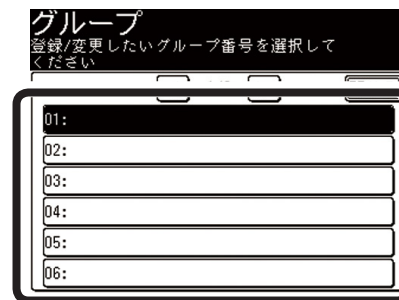
グループ番号：01 ～ 32 まで登録できます。

登録／変更する

グループ E メールアドレスを登録する手順を説明します。変更する場合は、それぞれの手順にて上書きまたは消去して入力し直します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［アドレス帳］を押します。

3 ［Eメールアドレス］を押します。

4 ［グループ］を押します。

5 登録したいグループ No. を押します。

メモ 画面を切り替えるには、◀ ▶ キーを押します。

6 相手先を指定し、［確定］を押します。

メモ テンキーでの入力はできません。

参照 相手先の指定方法は 261 ページを参照してください。

7 グループ名を登録します。

❶［名称］を押します。

メモ　半角文字では 16 文字、全角文字では 8 文字まで登録できます。

参照　文字入力については 93 ページを参照してください。

❷グループ名を入力します。

❸［確定］を押します。

8 登録内容が表示されているので内容を確認して［確定］を押します。

9 グループの一覧が表示されます。

10 続けて他のグループダイヤルを登録する場合は、［閉じる］を押し、手順 5 から操作を繰り返します。

メモ　<リセット>キーを押すと、待機画面に戻ります。

6 ユーザ認証・アクセス制御

ユーザ認証・アクセス制御

ユーザ認証・アクセス制御について

ユーザ認証・アクセス制御とは

管理者が許可したユーザのみが、本機の操作やコンピュータからの印刷などをすることができ、以下のような長所があります。

- 不審な人物の使用がなくなり、情報の流出を防ぐことができる。
- 印刷を制限することで、不要なカラー印刷がなくなり、トナーや用紙の消費を抑えることができる。

管理者が許可したユーザが本機の操作をするには、最初にタッチパネルから、ご自身の PIN または、ユーザ名とパスワードを入力します。またコンピュータから印刷するときは、ご自身の PIN または、ユーザ名とパスワードを入力し、印刷します。

PIN とは、ユーザに割り当てられた番号（Personal Identification Number）を表し、ユーザ ID と表記することもあります。

管理者は、ユーザ毎に、許可する操作を設定できます。設定できる操作は、以下の通りです。

- 印刷
- コピー
- カラー印刷
- カラーコピー
- ファクス送信
- スキャン To メール
- スキャン To USB メモリ
- スキャン To ネットワーク PC

動作環境

- 本機がネットワークに接続されていること。
- ネットワーク上に、Configuration Tool をインストールしたコンピュータがあること。

Configuration Tool については、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」をご覧ください。

運用例 1　PIN でユーザ認証を行う

ここでは、PIN でユーザ認証を行うときの手順、操作を説明します。

ユーザを登録する

ユーザの登録は、管理者が「Configuration Tool」の「PIN マネージャー」で行います。新規作成（PIN）アイコンをクリックし、ユーザの PIN、許可する操作を登録します。

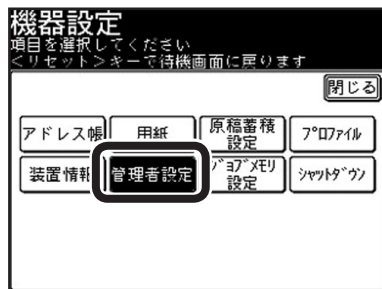
詳しい手順は、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Configuration Tool」-「PIN マネージャー」-「PIN を新規作成する」をご覧ください。

アクセス制御の設定をする

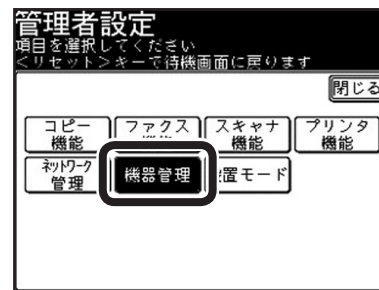
管理者はアクセス制御の設定をします。ここでは、操作パネルで設定する場合を説明します。

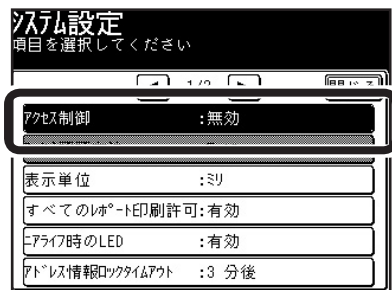
「Configuration Tool」の「Device Setting タブ」の「メニュー設定」でも設定できます。詳しくは、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Configuration Tool」をご覧ください。

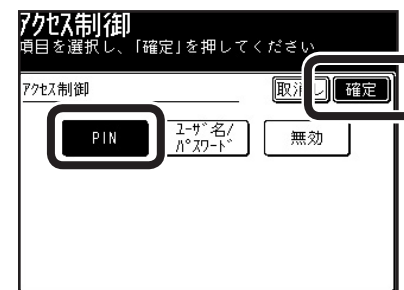
1 <機能設定>キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］となっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［機器管理］画面になるので、［▶］を 1 回押します。

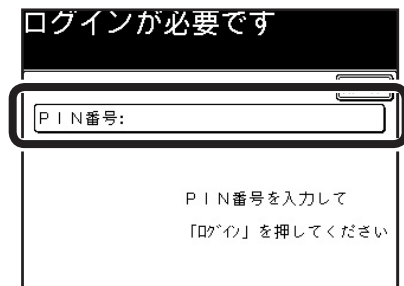
6 ［機器管理］画面の［2/3］を表示するので、［システム設定］を押します。

7 ［アクセス制御］を押します。

8 ［PIN］を押し、［確定］を押します。

メモ

無効	：	アクセス制御を無効にします。
PIN	：	アクセス制御を有効にし、認証方法を PIN に設定します。
ユーザ名 / パスワード	：	アクセス制御を有効にし、認証方法をユーザ名・パスワードに設定します。

9 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

コピー・ファクス送信・スキャンするとき

1 本機の操作パネルに、下のような画面を表示しているので、[PIN 番号] を押します。

メモ PIN 番号を登録していないときは、管理者の PIN 番号を入力すると、ログインできます。
管理者の PIN 番号：000000

2 テンキーから PIN を入力します。

3 [確定] を押します。

4 3 で入力した PIN 番号が表示されていることを確認し、[ログイン] を押します。

5 管理者の PIN 番号でログインした場合は、パスワード入力画面になるので、パスワードを入力し、[確定] を押します。

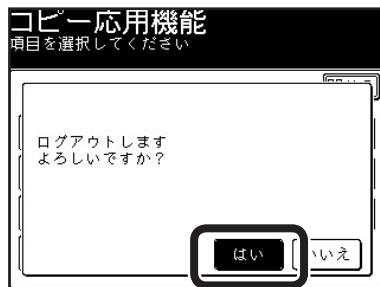
メモ 工場出荷時の設定では、管理者パスワードは [aaaaaa] となっています。

6 待機画面を表示するので、コピー・ファクス送信・スキャンなどの行いたい操作をします。

メモ 許可されていない操作のボタンは押せません。

7 操作が終わったら、[応用機能] を押します。

8 [ログアウト] を押します。

9 確認の画面を表示するので、[はい] を押します。

メモ 操作終了後、何もせずに一定時間が経過すると、自動的にログアウトします。

コンピュータから印刷するとき（Windows をお使いの方）

1 プリンタドライバに PIN を設定します。

❶コンピュータに「ジョブアカウンティングクライアントソフト」をインストールし、ジョブアカウントモードを設定します。

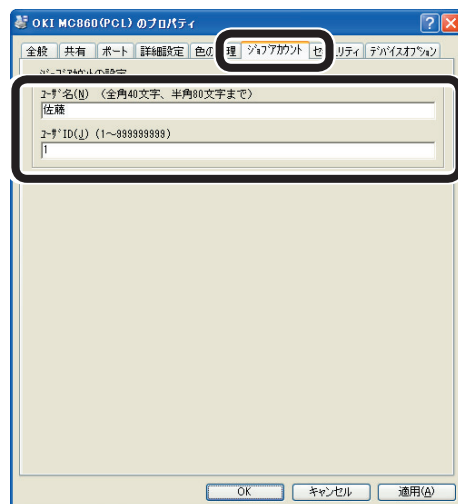
参照 「ジョブアカウンティングクライアントソフト」のインストールについては、応用編「 便利なユーティリティソフトウェア」-「ユーティリティのインストール方法」をご覧ください。ジョブアカウントモードの設定方法は、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Windows ユーティリティ」-「プリントジョブアカウントクライアント」－「ジョブアカウントモードの変更」をご覧ください。

❷[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ]を選択します。
Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX]を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX]を選択します。
Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [プリンタ]を選択します。

❸[OKI MC860 (**)] アイコン (** は PS、PCL、PCL XPS のいずれかを表します。) を右クリックし、プロパティを表示します。

❹［ジョブアカウント］タブをクリックします。

メモ　［ジョブアカウント］タブが表示されないときは、ジョブアカウントモードが［タブ］モード 以外に設定されています。［タブ］モード以外の設定方法は、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Windows ユーティリティ」-「プリントジョブアカウンティングクライアント」をご覧ください。

❺［ユーザ名］にユーザ名を、［ユーザ ID］に PIN を入力します。

❻［OK］をクリックします。

2 印刷したいファイルを開きます。

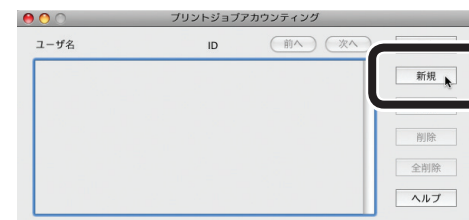
3 1 の❸で選択したプリンタを指定し、印刷します。

コンピュータから印刷するとき（Mac OS X をお使いの方）

1 PIN を設定します。

❶コンピュータに「ジョブアカウンティングクライアントソフト」をインストールします。

メモ　インストールについては、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「ユーティリティのインストール方法」をご覧ください。

❷［アプリケーション］-［OKIDATA］フォルダを開き、プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。

❸［新規］をクリックします。

6　ユーザ認証・アクセス制御

❹[ユーザ名] にユーザ名を、[ジョブアカウント ID] に PIN を入力し、[保存]をクリックします。

❺[保存] をクリックします。

2 印刷したいファイルを開きます。

3 MC860 プリンタを指定し、印刷します。

コンピュータからファクス送信するとき（Windows をお使いの方）

1 プリンタドライバに PIN を設定します。

❶コンピュータに「ジョブアカウンティングクライアントソフト」をインストールし、ジョブアカウントモードを設定します。

メモ インストールについては、応用編「 便利なユーティリティソフトウェア」-「ユーティリティのインストール方法」をご覧ください。

❷[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタ] を選択します。
Windows XP では [スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。
Windows 2000 では [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

❸[OKI MC860（FAX）] アイコンを右クリックし、プロパティを表示します。

❹[ジョブアカウント] タブをクリックします。

メモ [ジョブアカウント] タブが表示されないときは、ジョブアアカウントモードが [タブ] モード 以外に設定されています。[タブ] モード以外の設定方法は、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Windows ユーティリティ」-「プリントジョブアカウンティングクライアント」ー「ジョブアカウントモードの変更」をご覧ください。

❺［ユーザ名］にユーザ名を、［ユーザ ID］に PIN を入力します。

❻［OK］をクリックします。

2 ファクス送信したいファイルを開きます。

3 ［ファイル］メニューの［印刷］を選択し、［OKI MC860 (FAX)］を指定し、印刷します。

運用例２　ユーザ名 / パスワードでユーザ認証を行う

ここでは､ユーザ名 / パスワードでユーザ認証を行うときの手順､操作を説明します。

ユーザを登録する

ユーザの登録は､管理者が｢Configuration Tool｣の｢PINマネージャー｣で行います。新規作成（ユーザ）アイコンをクリックし、ユーザ名、パスワード、許可する操作などを登録します。

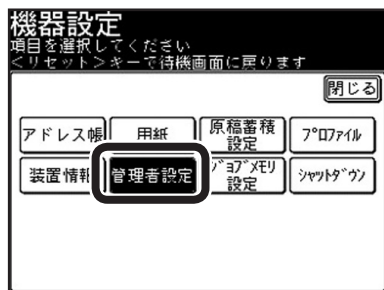
詳しい手順は、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Configuration Tool 」-［PIN マネージャー］-［ユーザを作成する］をご覧ください。

アクセス制御の設定をする

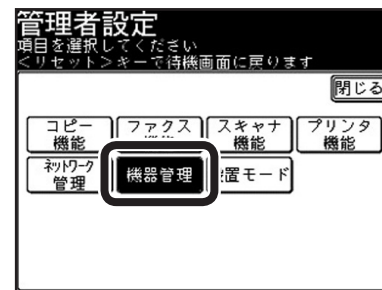
管理者はアクセス制御の設定をします。ここでは、操作パネルで設定する場合を説明します。

「Configuration Tool」の「Device Setting タブ」の「メニュー設定」でも設定できます。詳しくは、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」-「Configuration Tool 」をご覧ください。

1 ＜機能設定＞キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。

メモ　工場出荷時の設定では、管理者パスワードは［aaaaaa］となっています。

4 ［機器管理］を押します。

5 ［機器管理］画面になるので、［▶］を 1 回押します。

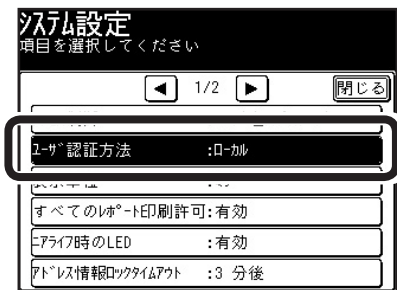
6 ［機器管理］画面の［2/3］を表示するので、［システム設定］を押します。

7 ［アクセス制御］を押します。

8 ［ユーザ名 / パスワード］を押し、［確定］を押します。

メモ

無効	：	アクセス制御を無効にします。
PIN	：	アクセス制御を有効にし、認証方法を PIN に設定します。
ユーザ名 / パスワード	：	アクセス制御を有効にし、認証方法をユーザ名・パスワードに設定します。

9 ［ユーザ認証方法］を押します。

10 ［ローカル］を押し、［確定］を押します。

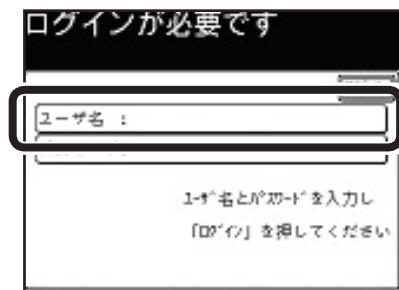
メモ

ローカル	：	ユーザ名 / パスワード認証に装置内のデータベースを使用します。
LDAP	：	ユーザ名 / パスワード認証に LDAP サーバを使用します。
セキュアプロトコル	：	ユーザ名 / パスワード認証にセキュアプロトコルサーバを利用します。

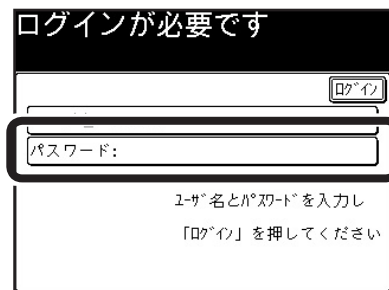
LDAP、セキュアプロトコルを選択した場合、それぞれのサーバの設定方法については、応用編「ネットワークに関する設定」-「Web ブラウザ」をご覧ください。

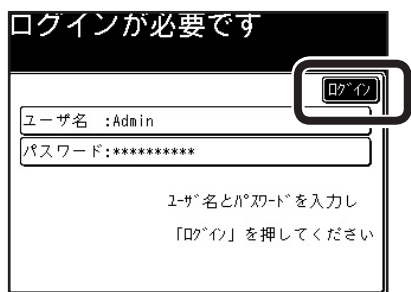
11 ［閉じる］を数回押し、待機画面に戻ります。

コピー・ファクス送信・スキャンするとき

1 本機の操作パネルに、下のような画面を表示しているので、［ユーザ名］を押します。

メモ PIN 番号を登録していないときは、管理者のユーザ名とパスワードを入力すると、ログインできます。
管理者のユーザ名：Admin
管理者の工場出荷時のパスワード：aaaaaa

2 ユーザ名入力画面になるので、ユーザ名を入力し、［確定］を押します。

3 ［パスワード］を押します。

4 パスワード入力画面になるので、パスワードを入力し、［確定］を押します。

5 ［ログイン］を押します。

6 待機画面を表示するので、コピー・ファクス送信・スキャンなどの行いたい操作をします。

メモ 許可されていない操作のボタンは押せません。

7 操作が終わったら、［応用機能］を押します。

8 ［ログアウト］を押します。

9 確認の画面を表示するので、［はい］を押します。

メモ 操作終了後、何もせずに一定時間が経過すると、自動的にログアウトします。

コンピュータから印刷するとき（Windows をお使いの方）

注 PCL XPS プリンタドライバはユーザ名 / パスワードの認証に対応していません。

1 印刷したいファイルを開きます。

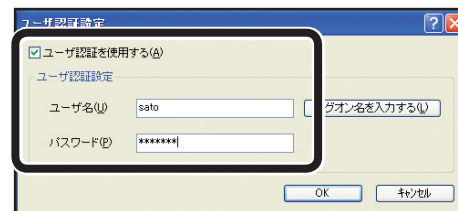
2 プリンタドライバの設定をします。

❶［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❷［プリンタの選択］で［OKI　MC860（**）］（** は PS または PCL を表します。）を選択し、［詳細設定］をクリックします。

❸［印刷オプション］タブの［ユーザ認証］をクリックします。

❹［ユーザ認証を使用する］にチェックを付け、［ユーザ名］とパスワードを入力します。

メモ ［ログオン名を入力する］をクリックすると、［ユーザ名］にWindows のログオン名が自動的に入力されます。

❺［OK］を 2 回クリックします。

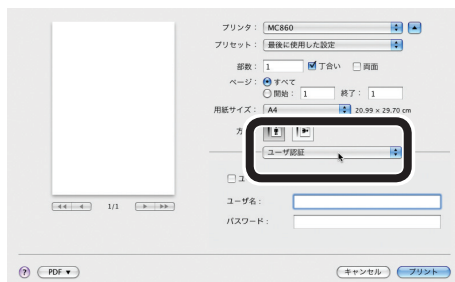
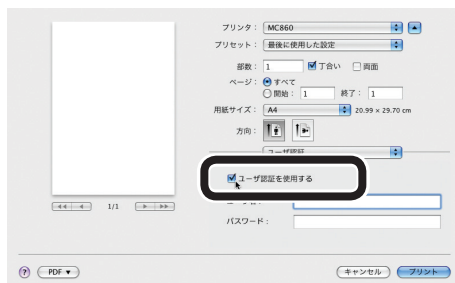
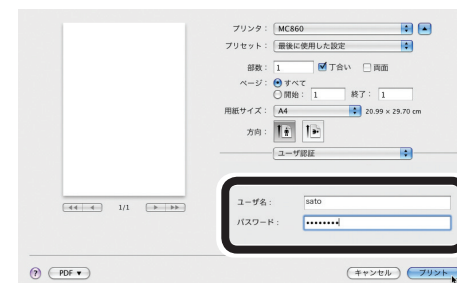
3 印刷します。

コンピュータから印刷するとき（Mac OS X をお使いの方）

1 印刷したいファイルを開きます。

2 プリンタドライバの設定をします。

❶［ファイル］メニューの［プリント ...］を選択します。

❷［ユーザ認証］パネルを選択します。

❸［ユーザ認証を使用する］のチェックボックスをチェックします。

❹［ユーザ名］と［パスワード］を入力します。

3 ［プリント］をクリックし、印刷します。

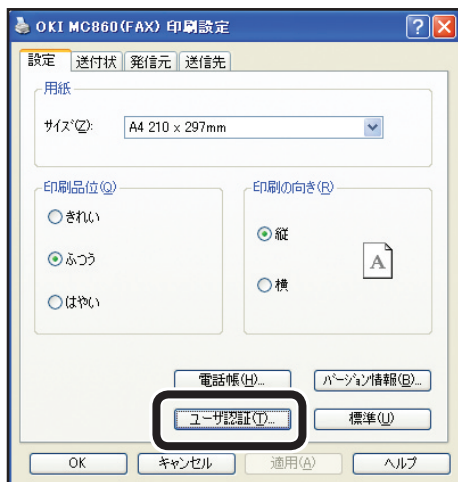
コンピュータからファクス送信するとき（Windows をお使いの方）

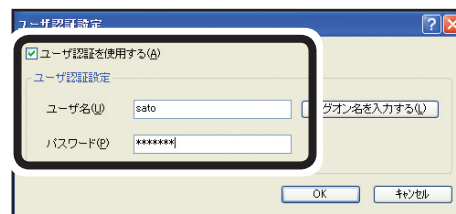
1 ファクス送信したいファイルを開きます。

2 ファクスドライバの設定をします。

❶［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❷［プリンタの選択］で［MC860（Fax）］を選択し、［詳細設定］をクリックします。

❸［設定］タブの［ユーザ認証］をクリックします。

❹［ユーザ認証を使用する］にチェックを付け、［ユーザ名］とパスワードを入力します。

メモ　［ログオン名を入力する］をクリックすると、［ユーザ名］にWindowsのログオン名が自動的に入力されます。

❺［OK］を２回クリックします。

3 印刷します。

7 自動配信・通信データ保存機能

自動配信

自動配信とは

自動配信とは、本機が受信したファクスやEメールの添付ファイル（PDF形式のファイル）を、指定した宛先にPDF形式でEメールで配信したり、ファイルサーバのフォルダに保存したりする機能です。（受信したEメールの本文は配信されません。）

例えば、オフィスで本機をお使いの場合、休日に受信したファクスを自宅のコンピュータにEメールで送ったり、外出中に受信したファクスをご自身のコンピュータに送信することができます。また、ある番号からのファクスを受信すると同時に、社内の特定の人にEメールで配信するように設定することなどもできます。

最大で100件分の自動配信設定が登録できます。

配信先は、Eメールアドレス、ネットワークフォルダ（CIFS、FTP、HTTP）になります。1つの自動配信で、配信先として設定できるのは、Eメールアドレス5件と、ネットワークフォルダのプロファイル1件です。

自動配信するときのファイル名は、『日時_番号.pdf』となります。

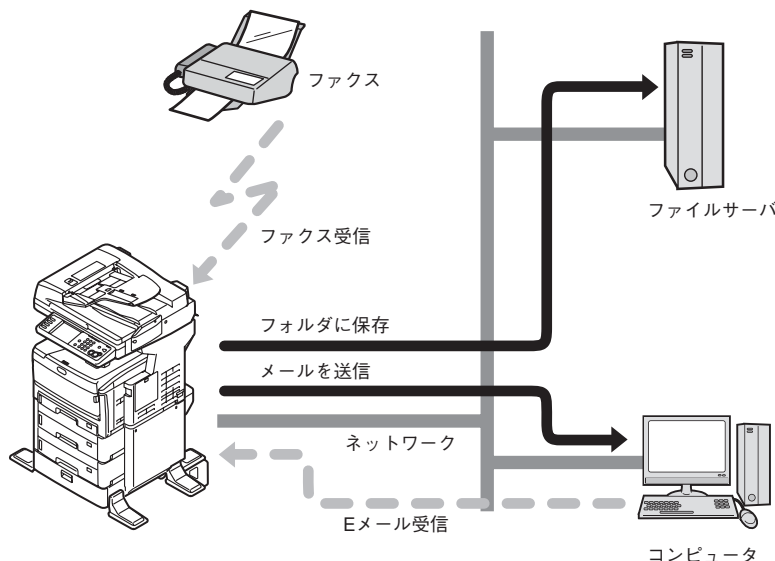
フォルダに保存するとき、プロファイルに登録しているファイル名は適用されません。

自動配信の設定や履歴の確認はConfiguration Toolまたは、Webブラウザで行います。

自動配信するときに、受信したファクスやEメールの添付ファイルを、本機で印刷する/印刷しないを設定できます。

自動配信できないときは、受信したファクスやEメールの添付ファイルを印刷して、操作パネルにエラーメッセージを表示します。詳しくは、「ディスプレイに表示されるメッセージ」の「スキャナ関連」（341ページ）をご覧ください。

Configuration Toolについては、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」を、Webブラウザについては、応用編「ネットワークに関する設定」をご覧ください。

- PDF形式以外で配信することはできません。
- 本機が受信できるEメール、ファクスのサイズは、以下のとおりです。以下のサイズを越えるデータを受信したときは、破棄されます。
  - Eメール：添付ファイル10個以内、各添付ファイルサイズ8MB以内
  - ファクス：16MB以内

通信データ保存機能

通信データ保存とは

通信データ保存とは、本機が E メールまたはファクス送受信した時のデータを、あらかじめ設定された保存先に PDF 形式で保存する機能です。
保存できるデータは、送信済み / 受信済みの E メールの添付ファイル (本文は保存できません。)、ファクスのデータであり、それぞれについて通信データ保存設定が登録できます。

保存先は、ネットワークフォルダ（CIFS、FTP、HTTP）であり、登録されているプロファイルの中から指定します。

フォルダに保存されるファイル名は、『A 日時 _ 番号 .PDF』となります。

プロファイルに登録しているファイル名は適用されません。

通信データ保存の設定や履歴の確認は Configuration Tool または、Web ブラウザで行います。

保存できないときは、操作パネルにエラーメッセージを表示します。詳しくは、「ディスプレイに表示されるメッセージ」の「スキャナ関連」(341 ページ) をご覧ください。

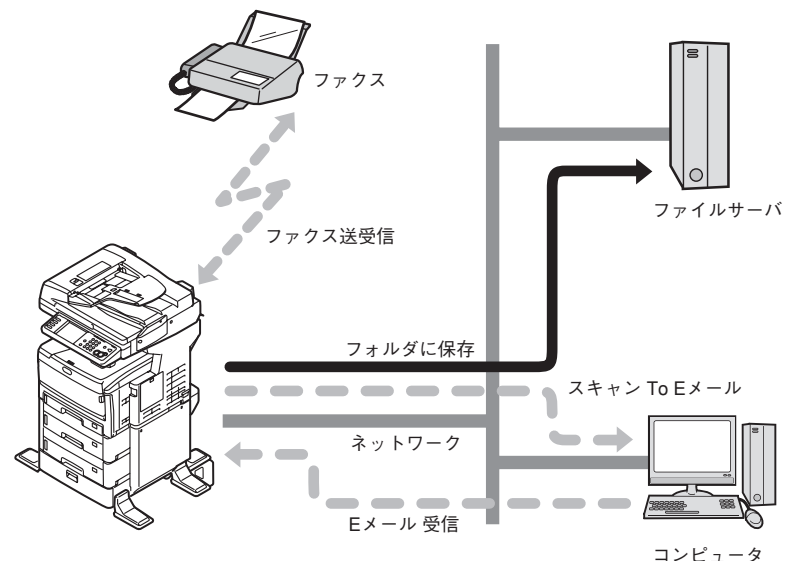
Configuration Tool については、応用編「便利なユーティリティソフトウェア」を、Web ブラウザについては、応用編「ネットワークに関する設定」をご覧ください。

- PDF 形式以外で保存することはできません。
- 本機が受信できる E メール、ファクスのサイズは、以下のとおりです。以下のサイズを越えるデータを受信したときは、破棄されます。
  E メール： 添付ファイル 10 個以内、
  各添付ファイルサイズ 8MB 以内
  ファクス： 16MB 以内

8 こんなときには

困ったとき

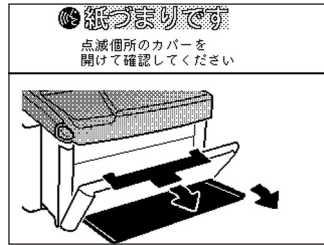
用紙がつまったら

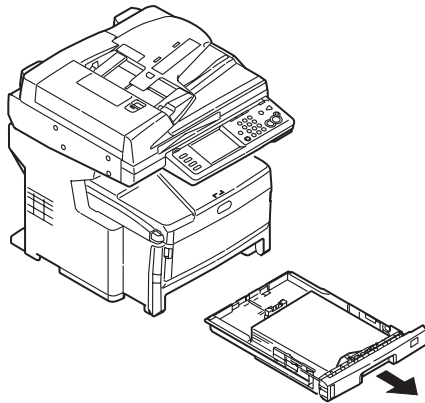
音声案内
エラー案内解除

印刷中に用紙がつまると、アラーム音とともに用紙がつまった箇所のメッセージが表示されます。以下の表の参照ページの手順に従って、慎重につまった用紙を取り除いてください。

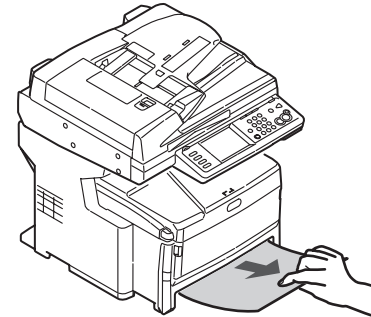
	画面表示	メッセージ	参照ページ
1		紙づまりです 点滅箇所のカバーを 開けて確認してください	313 ページ
2		紙づまりです 点滅箇所のカバーを 開けて確認してください	316 ページ
3		紙づまりです 点滅箇所のカバーを 開けて確認してください	322 ページ
4		紙づまりです 点滅箇所のカバーを 開けて確認してください	324 ページ

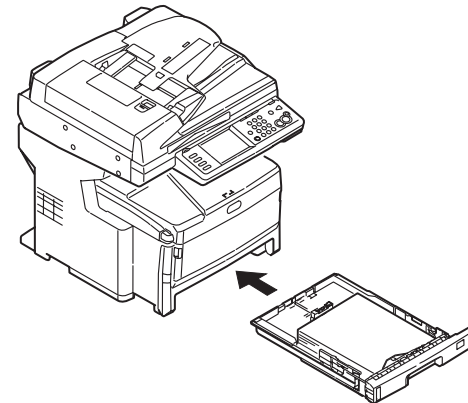
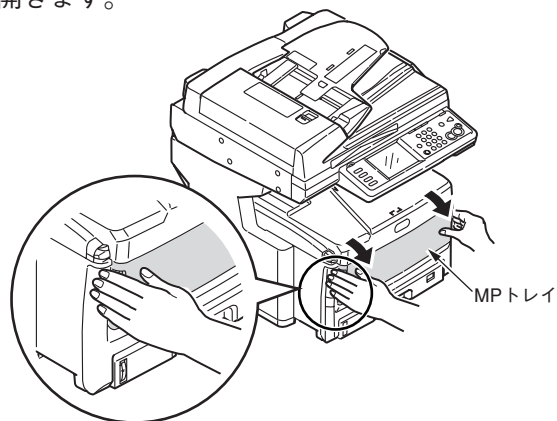
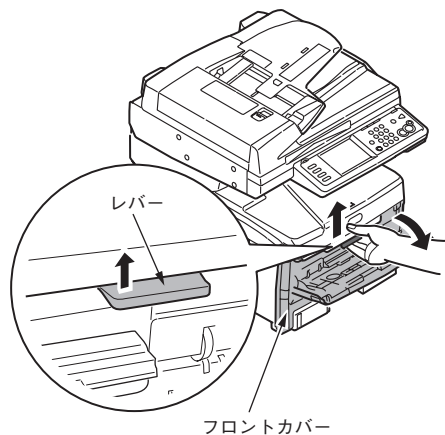
また、<音声案内>キーが点滅している場合は、<音声案内>キーを押すと、音声ガイダンスにて紙づまりの解除方法を説明します。

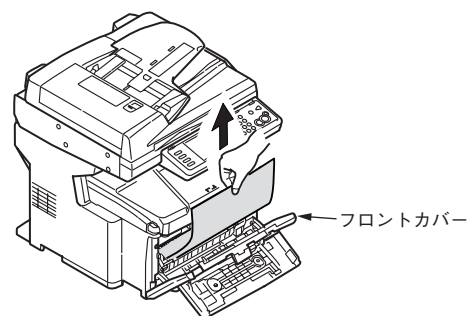
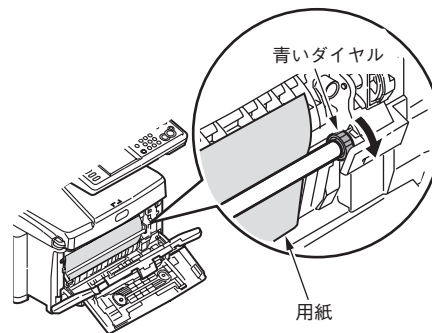
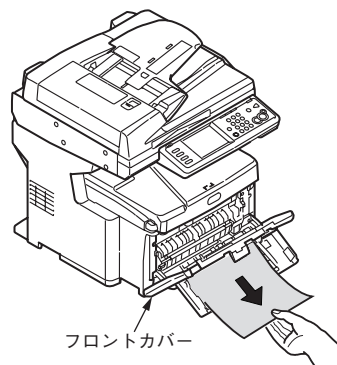
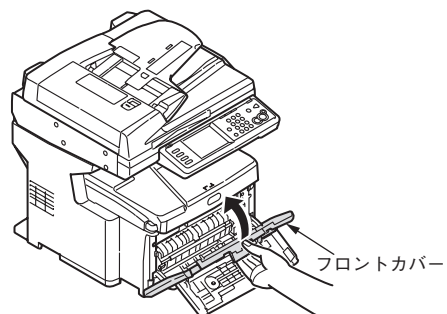
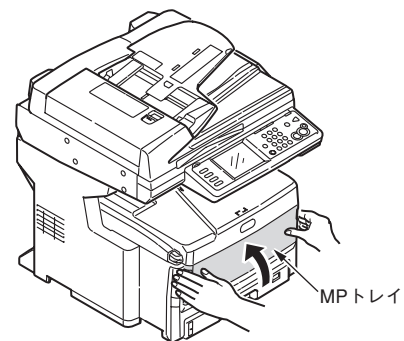
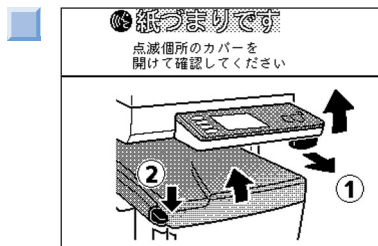
音声ガイダンスを中止するには、もう一度<音声案内>キーを押します。

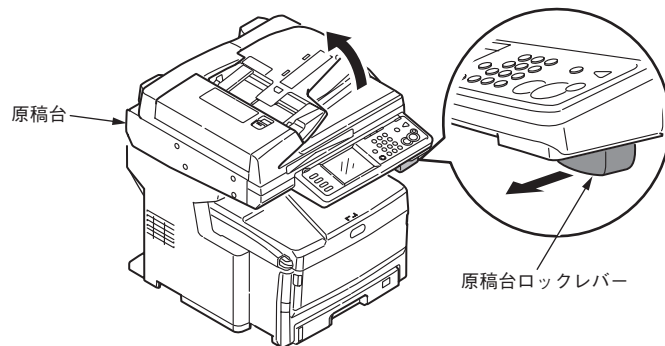
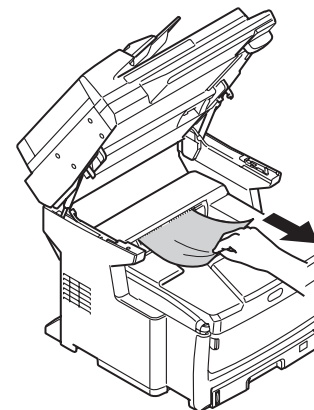
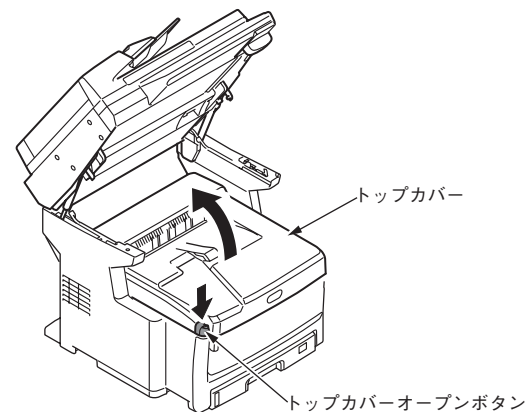
「操作案内モード」を「自動」に設定すると、自動的に音声ガイダンスを始めることもできます。（110 ページ）

と表示しているとき

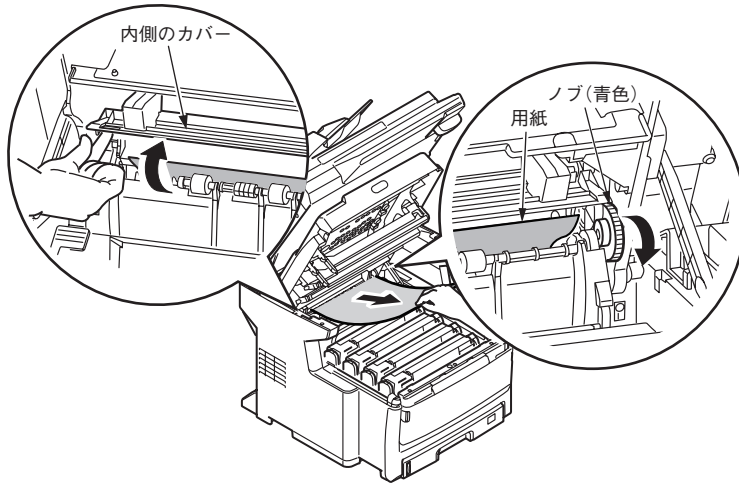
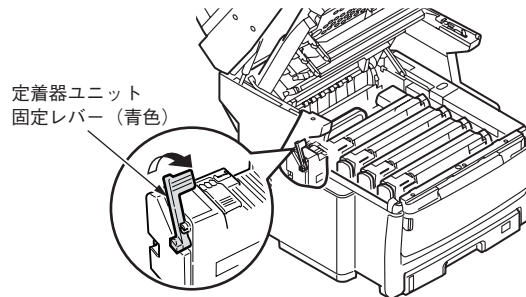
1 トレイ１のカセットを抜きます。

2 つまった用紙を取り除きます。

つまった用紙が見えないときは、何もせず、手順３へ進みます。

3 用紙カセットを戻します。

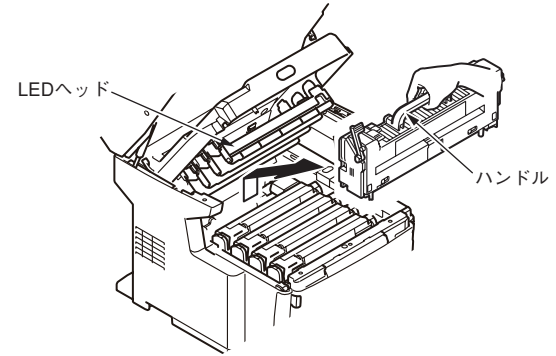
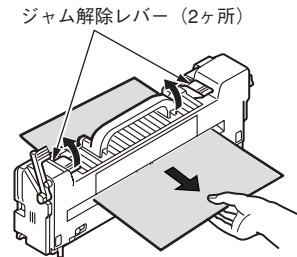
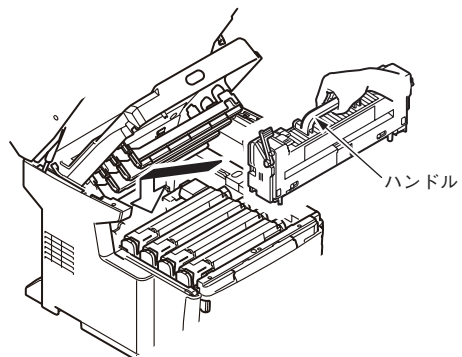
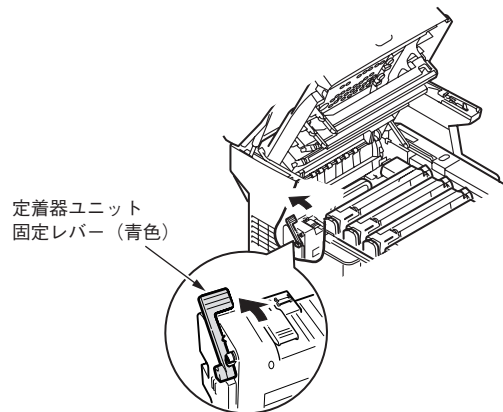
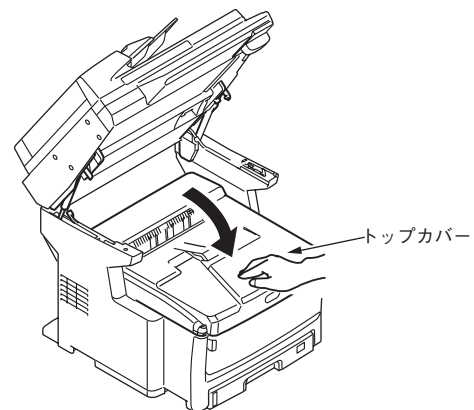
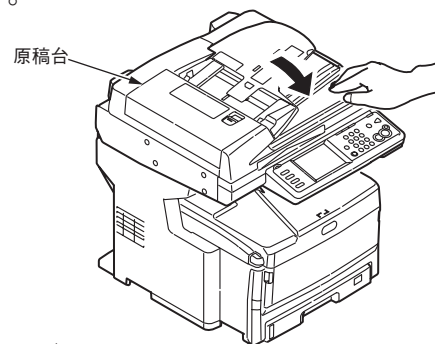
手順２で用紙を取り除いた場合は、これで完了です。

4 MPトレイが閉じているときは、MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

5 中央のレバーを上方に押してフロントカバーを開きます。

6 つまった用紙をゆっくり引き出し取り除きます。

- トレイ1またはトレイ2, 3（オプション）から給紙したとき

メモ　用紙先端を持ちにくいときは青いダイヤルを矢印の方向に回転させて用紙の先端を持ちやすい位置に移動してください。

■ MPトレイから給紙したとき

7 フロントカバーを閉じます。

8 MPトレイを使用しないときは、MPトレイを閉じます。

と表示しているとき

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 つまった用紙が見えるときは、用紙をゆっくり引き出します。
つまった用紙を簡単に引き出せないときは、何もせず、手順3へ進みます。

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

4 装置内部の奥にあるカバーを開き、つまった用紙が見えるときは、用紙をゆっくり引き出します。用紙が引き出しにくいときは、補助のノブを回しながら、用紙を引き出します。

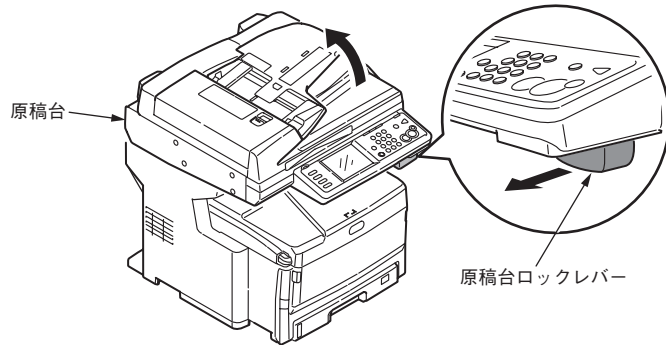
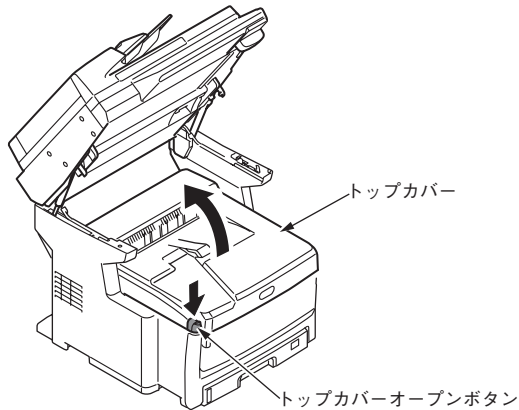
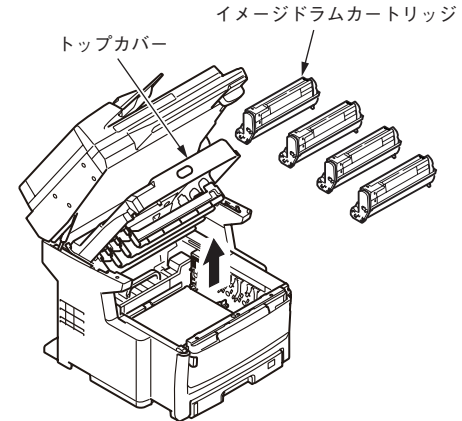
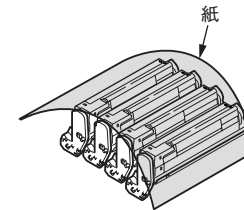
つまった用紙が見えないときは、手順5へ進みます。

5 定着器ユニット固定レバー（青色）を矢印の方向へ起こします。

6 ハンドルを持ち、定着器ユニットを取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

 LED ヘッドに当たらないように注意してください。

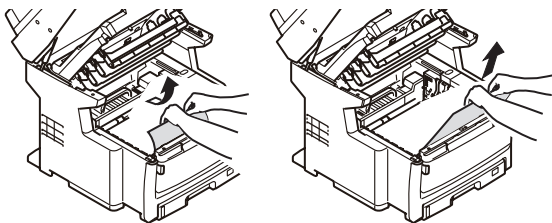
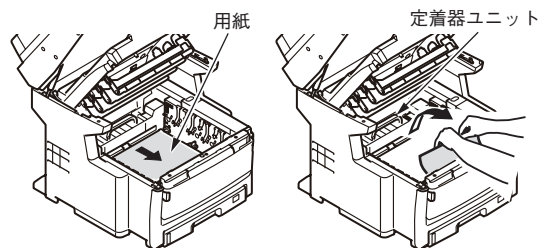
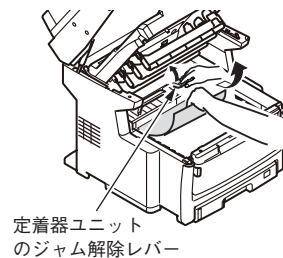
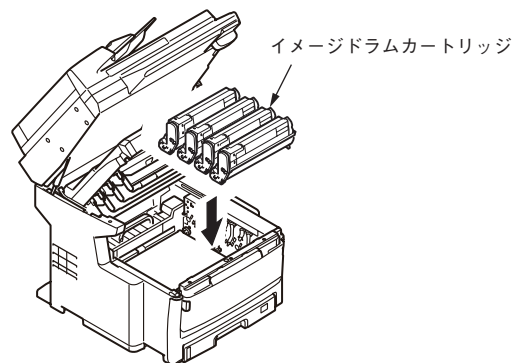
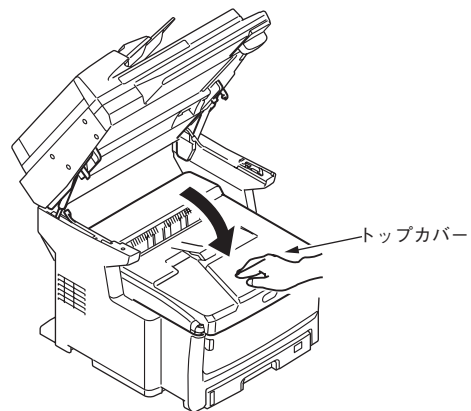
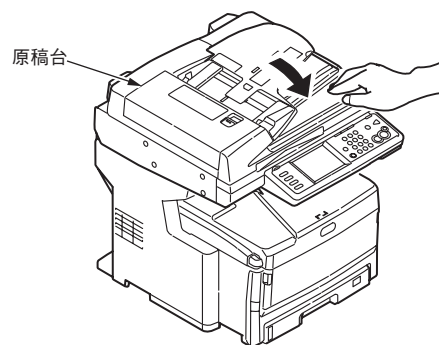
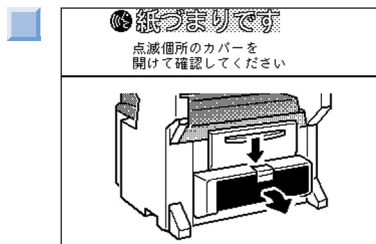
⚠注意	やけどのおそれがあります。	

7 ジャム解除レバー（2ヶ所）を引き上げ、つまった用紙を必ず矢印方向（手前方向）へゆっくり引き出します。

8 ハンドルを持ち、定着器ユニットを装置の中へ静かに戻します。

9 定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

10 トップカバーを閉じます。

11 原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上からおさえ、固定します。

これで完了です。

注 定着器ユニット部のつまった用紙を取り除いた後は、定着器ユニット内部に未定着のトナーが残っていることがあるため、<レポート印刷>キーから［機器設定］レポート印刷を行なうか、白紙等を数回印刷してください。

つまった用紙を取り除いても紙づまりエラーが解除されない場合は、以下の手順で他のつまった用紙を取り除きます。

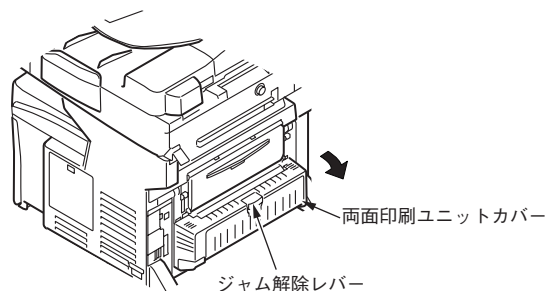
1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開きます。

3 イメージドラムカートリッジ（4 個）を取り出し､平らなテーブルの上に置きます。

4 取り出したイメージドラムカートリッジに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせます。

注
- ドラムカートリッジの緑色の筒の部分は、非情に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも、5 分間以上は放置しないでください。

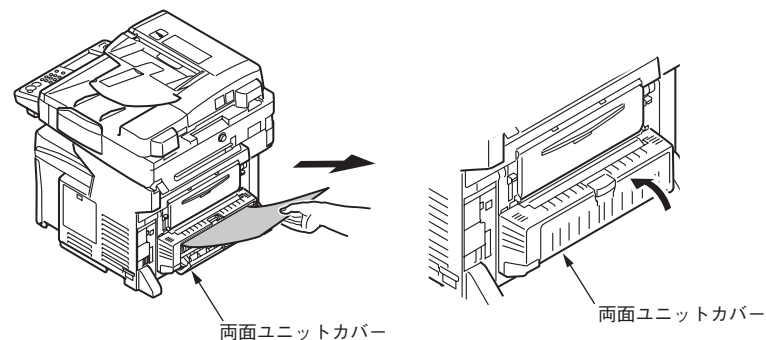
5 つまっている用紙をゆっくり引き出します。

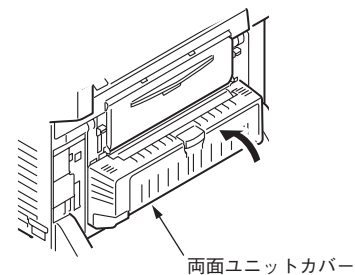
■ 用紙先端が見えている場合

■ 用紙の先端も後端も見えない場合

■ 用紙の後端が見えている場合

6 イメージドラムカートリッジを戻します。

7 トップカバーを閉じます。

原稿台を元の位置に戻します。原稿台を上からおさえ、固定します。

これで完了です。

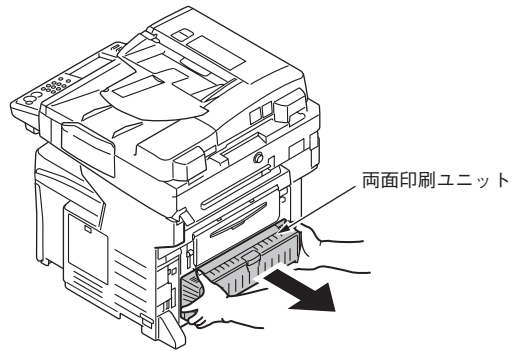
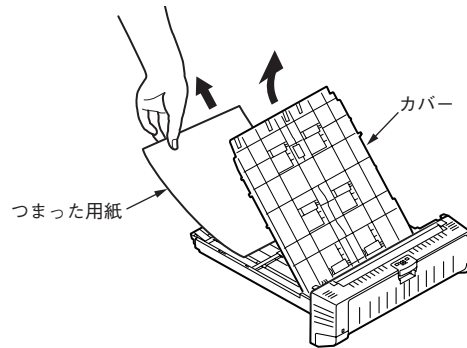
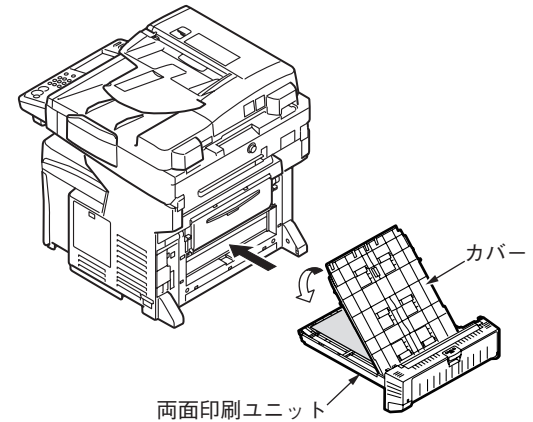
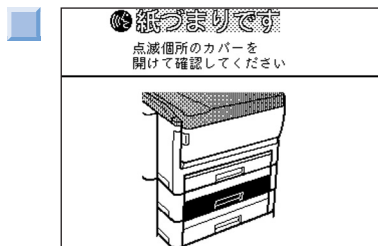
と表示しているとき

両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しています。

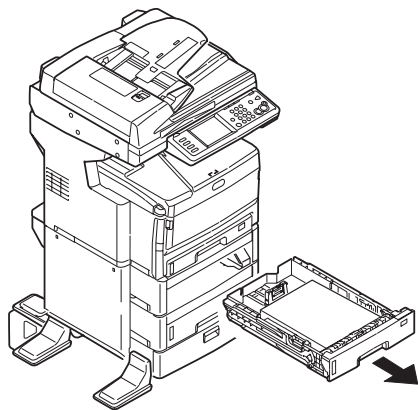
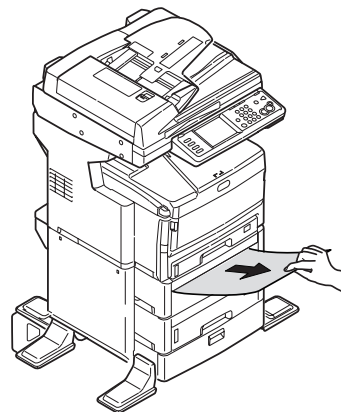
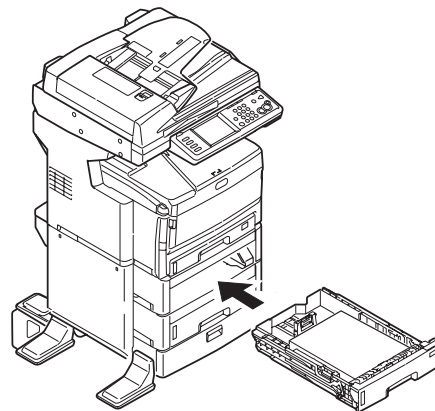
1 装置の背面の両面印刷ユニット部のジャム解除レバーを押し、両面印刷ユニットカバーを開けます。

2 つまった用紙を取り出します。

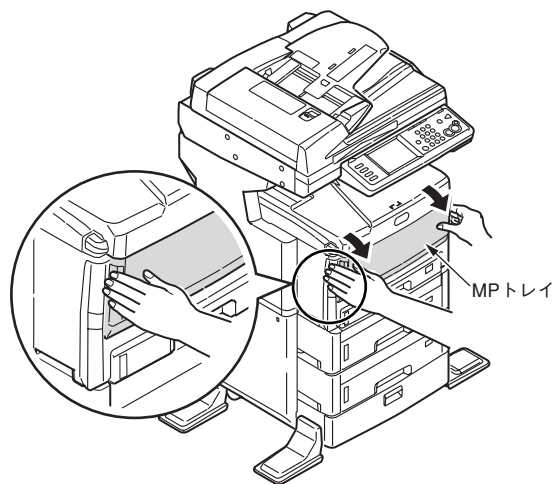
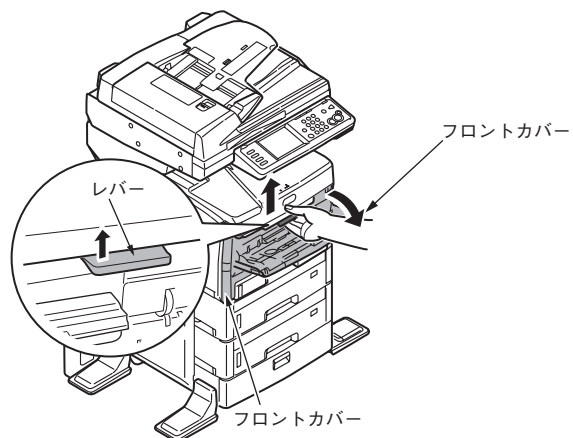
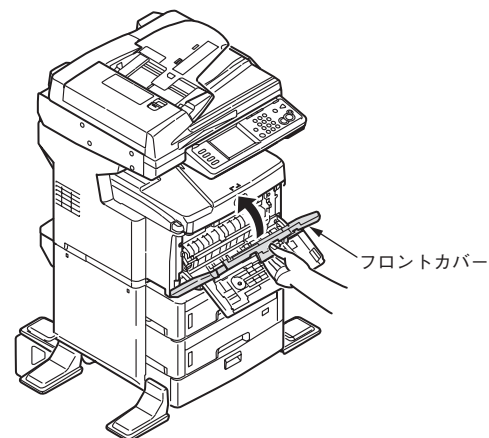
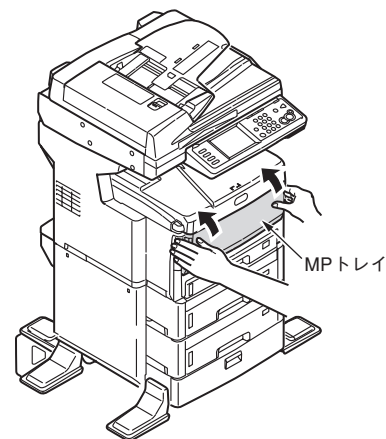
つまった用紙が見えないときは、何もせず、手順３に進みます。

3 両面印刷ユニットカバーを閉じます。

手順２でつまった用紙を取り除いた場合は、これで完了です。
手順２でつまった用紙が見えなかった場合は、つまった用紙を自動的に排出し、紙づまりを解消します。

4 用紙を自動的に排出しない場合は、両面印刷ユニットを引き抜きます。

注 両面印刷ユニットを引き抜く前に以下の操作を行ってください 。操作パネルの<プリント中割込み>キーを、ピピッと音が鳴るまで（約 10 秒）押したままにします。ディスプレイに「機器の電源をお切りください」と表示されるまで（約 1 分間）、待ちます。表示されたら、電源スイッチを OFF にします。いきなり電源を切ると装置が故障する恐れがあります。

5 カバーを上げ、つまった用紙を取り除きます。

6 カバーを下ろし両面印刷ユニットを元の位置に戻します。

これで完了です。

と表示しているとき

ここでは、トレイ２が紙づまりしたときの手順を例にしています。
トレイ３の場合も同様の手順で行います。

1 トレイ２のカセットを抜きます。

2 つまった用紙を取り除きます。

3 用紙カセットを戻します。

注 用紙カセットを戻しただけでは、エラーは解除されません。必ず、次の手順４～７を行なってください。

4 MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

5 中央のレバーを上方に押してフロントカバーを開きます。

6 フロントカバーを閉じます。

7 MPトレイを閉じます。

これで完了です。

原稿がつまったとき

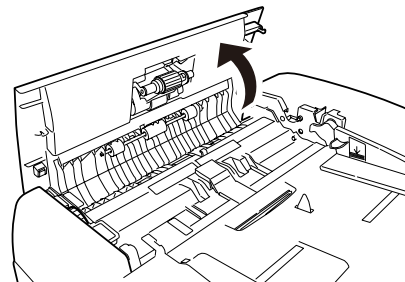
原稿がつまると、アラーム音とともに操作パネルにメッセージが表示されます。

原稿カバーを開くと、次の操作方法を示すメッセージが表示されます。

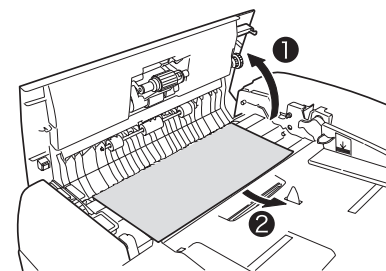
以下の手順にしたがって、慎重に取り除いてください。

原稿を引き抜くことができない場合は無理に引き抜かず、ダイヤルを回し、つまった原稿を送り出してください。無理に引き抜くと原稿が破れるおそれがあります。

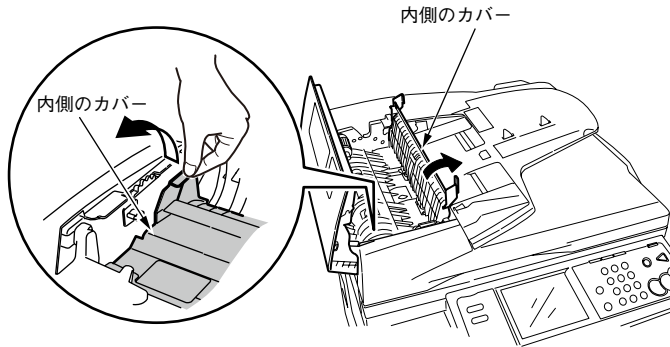
1 原稿カバーを開けて取り除きます。

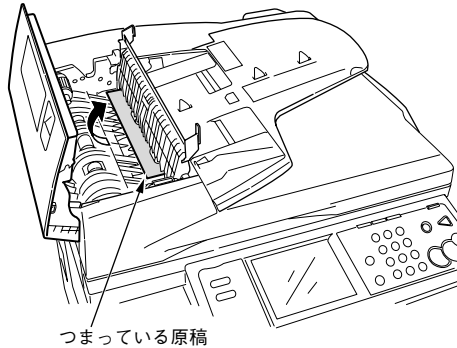
❶原稿カバーオープンレバーを押し上げ、原稿カバーを開けます。

❷つまっている原稿を取り除きます。

つまっている原稿を取り除くことができない場合は手順２へ進みます。

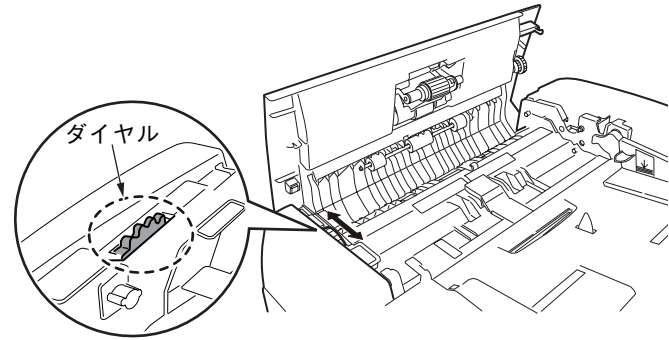
原稿は無理やり引き抜かないでください。

❸原稿を取り除いたら、手順４へ進みます。

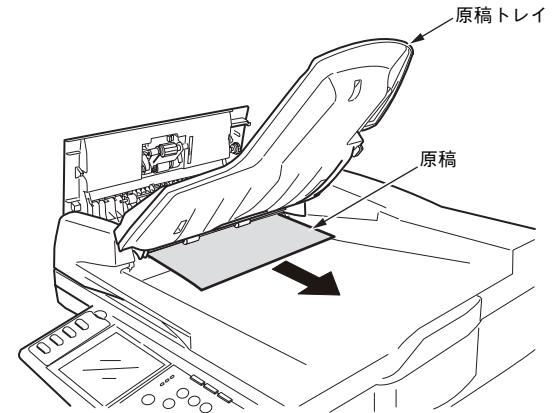
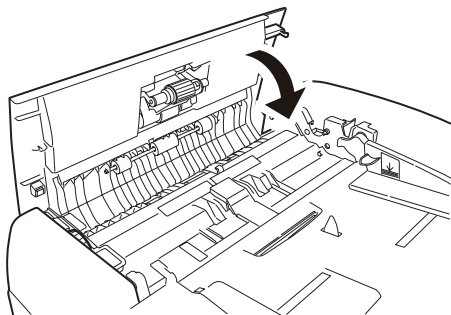
2 内側のカバーを開けて取り除きます。

❶内側のカバーを開けます。

❷つまっている原稿の先端が見えるときは、静かに引き抜きます。

原稿の先端が見えないときは、内側のカバーを閉じ、手順３へ進みます。

❸原稿を取り除いたら、内側のカバーを閉じ、手順４へ進みます。

3 ダイヤルを回して取り除きます。

❶ダイヤルを回し、つまった原稿を送り出します。

❷原稿トレイを起こします。

❸つまっている原稿を静かに引き抜きます。

原稿カバーを閉じます。

これで完了です。

メモ　コピー中にエラーが発生した場合は、コピーはキャンセルされます。

エラーメッセージが表示された

アラームがなったら

アラームは 4 秒間鳴ります。アラームの内容は用紙に印刷されるので、メッセージを確認して対処してください。

エラーコード

■ D：ダイヤル時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	D.0.2	相手が話中	▶再送信してください。
	D.0.3	＜ストップ＞キーが押されました	▶再送信してください。
	D.0.7	オートダイヤル発信したとき、相手先に着信しない	▶正しいファクス番号をセット後、再送信してください。
	D.0.8	ダイヤルトーン検出できなかったとき	▶回線接続状況をご確認してください。

■ T：送信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.1.1	番号まちがい（相手が出て切った）	▶相手先のファクス番号を確認し、再送信してください。
		相手が手動受信で電話を切った	▶相手先の受信方法を確認してください。
		相手機種が G3 機でない	▶当機では通信できません。
	T.1.4	交信開始時に＜ストップ＞キーを押した （通信管理記録のみ表示）	▶再送信してください。
	T.2.1	回線状態が悪く（特に海外）相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		相手側機と設定が合わない	▶相手側の設定を確認してください。相手側で特殊な設定をしている場合は、その設定を解除するよう依頼してください。
	T.2.2	相手側機と設定が合わない	▶相手側の設定を確認してください。

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3送信	T.2.3	回線障害などが原因で、最低速度でも交信できない	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.3.1	連続送信時２枚目以降が繰り込みエラーとなった	▶エラーが発生したページより再度送信してください。
		900mm 以上の原稿を送信した	▶１ページを 900mm 以内に切って送信してください。
		交信中断のあと“ランプを確認してください”と表示した場合は光源の光量不足	▶電源スイッチを OFF → ON してコピーをとってみてください。「ランプを確認してください」表示しなければ再度送信してください。コピーでも「ランプを確認してください」表示となる場合はお客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.1	原稿を送信中に回線障害などが原因で相手機が回線を切った	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.4.2	相手側で画質異常となった（回線障害などが原因）	▶送信したページはすべて相手側に届いていますが、１部写りが悪くなっている可能性があります。相手側に受信画質の確認を依頼してください。
ECM送信	T.5.1、T.5.2、T.5.3	原稿を送信中に回線が切れた（回線障害などが原因）	▶再送信してください。何度もこのエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	T.8.10、T.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	T.8.1	受信モードが合わない	▶相手側を確認してください。相手側機がファクスではないことがあります。

■ R：受信時の異常

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
G3受信	R.1.1	手動受信または転送受信を行ってファクスが受信状態になったが相手から信号がこない	▶送信側の操作ミスが考えられます。相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。
	R.1.2	送信機とのモードが合わない	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
		ダイレクトメール禁止中にダイレクトメールを受信した（通信管理記録のみ記載）	▶何もする必要はありません。
	R.2.3	回線障害などにより回線が切れた	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.3.1	送信側で原稿を引き抜いたまたは<ストップ>キーを押した	
	R.3.3	受信中に信号が途切れた（回線障害などが原因）	
	R.3.4	最低のスピードでも受信できない（回線障害などが原因）	
	R.4.1	受信データ長オーバー	
	R.4.2	受信中に信号が切れた（回線障害などが原因）	
	R.4.4	メモリ容量オーバー（通信管理記録にのみ記載）	

モード	エラーコード	コードの内容	対応・処理の方法
ECM受信	R.5.1	受信中に信号が途切れた 送信側で＜ストップ＞キーを押した	▶相手が分かっている場合はもう一度送信を依頼してください。何度もこのエラーが発生する場合はお客様相談センターへご連絡ください。（裏表紙参照）
	R.5.2	受信中に信号が途切れた （回線障害などが原因）	
	R.8.10、R.8.11	回線障害などが原因で交信できなかった	
	R.8.1	通信機とのモードが合わない	▶相手側を確認してください。ポーリングにて、相手に原稿がないなど。

ディスプレイに表示されるメッセージ

■ 共通

[カラー名]：Y(イエロー)、M(マゼンタ)、C(シアン)、B(ブラック) のいずれかを表示します。
[トレイ名]：トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、MP トレイのいずれかを表示します。
[エラーコード]：エラーコードを表示します。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ (○：点灯)	アラームブザー (○：鳴動)	原因・処置のしかた
	Inspection is required. PU Flash Error	○	○	ファームウェアのエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
	点検をお受けください PU 通信エラー	○	○	ファームウェアのエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
	[カラー名] トナーを交換してください	○	○	表示している色のトナーが少なくなってきたので、新しいトナーカートリッジを準備してください。 または、トナーカートリッジが純正品ではないので、純正のトナーカートリッジを使用してください。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時の LED」設定が無効に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。
	[カラー名] トナーを交換してください	○	○	表示している色の廃棄トナーが一杯になり、トナー交換が必要です。
	[カラー名] トナーが正しくありません	○	○	表示している色のトナーカートリッジが純正品ではありません。純正のトナーカートリッジを使用してください。
550 551 552 553	[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	○	○	表示している色のトナーカートリッジが認識できません。純正のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 550 : Y Error 551 : M Error 552 : C Error 553 : K
554 555 556 557	[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 554 : Y Error 555 : M Error 556 : C Error 557 : K
614 615 616 617	[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 614 : Y Error 615 : M Error 616 : C Error 617 : K
620 621 622 623	[カラー名] トナーが正しくありません：[エラーコード]	○	○	表示している色のトナーカートリッジが間違っています。この製品用のトナーカートリッジをセットしてください。 Error 620 : Y Error 621 : M Error 622 : C Error 623 : K
	[カラー名] トナーを認識できません	○	○	表示している色のトナーカートリッジが表示している色の廃棄トナーが一杯になり、トナー交換が必要です。
	[カラー名] イメージドラムの交換時期です	○	○	表示している色のイメージドラムの寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が [有効]、かつ「ニアライフ時の LED」設定が [無効] に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が [無効] に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ(○:点灯)	アラームブザー(○:鳴動)	原因・処置のしかた
	定着器の交換時期です	○	○	定着器の寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が［有効］、かつ「ニアライフ時のLED」設定が［無効］に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が無効に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。
	ベルトの交換時期です	○	○	ベルトユニットの寿命が近づいています。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」の「ニアライフ時のステータス」設定が［有効］、かつ「ニアライフ時のLED」設定が［無効］に設定されている場合は、アラームランプは点灯しません。 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」設定が無効に設定されている場合は、本メッセージは表示されず、アラームランプも点灯しません。
	定着器を交換してください	○	○	定着器ユニットが寿命になりました。 新しい定着器ユニットを交換してください。
354	定着器を交換してください :［エラーコード］	○	○	定着器が寿命になりました。カウンタにより定着器が寿命に達したことを示すエラーであり、印刷を停止します。 新しい定着器ユニットと交換してください。
	ベルトを交換してください	○	○	ベルトユニットが寿命になりました。 新しいベルトユニットと交換してください。
355	ベルトを交換してください :［エラーコード］	○	○	ベルトユニットが寿命になりました。 カウンタによりベルト寿命に達したことを示すエラーであり、印刷を停止します。新しいベルトユニットと交換してください。
356	ベルトを交換してください :［エラーコード］	○	○	廃トナーフルになりました。 新しいベルトユニットと交換してください。
	［カラー名］ トナーがなくなりました	○	○	表示している色のトナーが無くなりました。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	［カラー名］ トナーを正しくセットしてください	○	○	表示している色のトナーカートリッジがセットされていません。トナーカートリッジをセットしてください。
	［カラー名］ イメージドラムを交換してください	○	○	表示されている色のイメージドラムが寿命になりました。新しいイメージドラムと交換してください。
	［トレイ名］ に用紙を補給してください	○	○	表示しているトレイの用紙がなくなりました。 用紙を入れてください。 全トレイ用紙無しの場合のみ、アラームブザーが鳴り、アラームランプが点灯します。
	ファイルシステムがいっぱいです <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルシステムの空き容量がなくなりました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
	ファイルシステムへの書込みは禁止されています	○	○	書き込みが禁止されているファイルシステムに書き込もうとしました。
	メモリオーバー メモリオーバーしました	○	○	メモリ不足が発生しました。オプションの増設メモリを追加するか、印刷データのサイズを減らしてください。［閉じる］ボタンを押下すると、エラー表示が消えます。
	アクセス制限エラー 許可されていないユーザのデータを削除しました	○	○	許可のないユーザーが印刷もしくは、PC ファクスしようとしたため、データを削除しました。
	まもなく課金ログバッファが一杯になります			課金ログバッファの残りが少なくなってきました。
	課金ログバッファフル（古いログを削除）	○	○	課金ログバッファフルの為、過去の古い課金ログが削除されます。 過去に取得した古い課金ログを残す為には、ジョブアカウンティング・サーバソフトから装置内の課金ログを取得する必要がある。もしくは、ジョブアカウンティング・サーバソフトの”ログフル時の操作”設定を”ログを取らない”に変更する必要があります。
	課金ログ書き込みエラー <ストップ>キーを押してください	○	○	課金書き込み中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
	ジョブログ書き込みエラー <ストップ>キーを押してください	○	○	システムジョブログ書き込み中にディスクアクセスエラーが発生し、ログが正常に書き込めませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
	ディスクオペレーションエラー <ｎｎｎ> <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルシステムにエラーが発生しました。エラーメッセージが消えない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
	ログインに失敗しました			無効な PIN 番号を入力しました。
	パスワードが正しくありません			入力されたパスワードが間違っています。
852	メッセージデータを確認してください メッセージデータ書き込み失敗：［エラーコード］	○	○	言語データの書き込みに失敗しました。お客様相談センターへご連絡ください。
540 541 542 543	［カラー名］ トナーカートリッジを確認してください：［エラーコード］	○	○	表示している色のトナーセンサーに異常発生、またはイメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。イメージドラムカートリッジとトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。 Error 540 : Y Error 541 : M Error 542 : C Error 543 : K
544 545 546 547	［カラー名］ トナーカートリッジを確認してください：［エラーコード］	○	○	表示している色のトナーカートリッジがロックされていません。トナーカートリッジのレバーを確認してください。 Error 544 : Y Error 545 : M Error 546 : C Error 547 : K
	用紙サイズエラー 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	○	○	用紙サイズがちがっているか、または重送が発生しました。
	紙づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	○	○	紙づまりが発生しました。 「管理者設定」-「機器管理」-「音設定」-「紙詰まりエラー音」設定が ON の場合のみ、アラームブザーは鳴動します。
	両面印刷ユニットを入れてください	○	○	両面印刷ユニットが抜かれています。両面印刷ユニットを取り付けてください。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
	定着器をセットし直してください	○	○	定着器をセットし直してください
348	定着器をセットし直してください：［エラーコード］	○	○	定着器をセットし直してください
	［カラー名］ イメージドラムをセットし直してください	○	○	表示されている色のイメージドラムが正しくセットされていません。イメージドラムをセットし直してください。
	ベルトをセットし直してください	○	○	ベルトユニットが正しくセットされていません。ベルトユニットをセットし直してください。
	電源を切り、しばらくお待ちください	○	○	装置が過熱しています。電源を切って、しばらくお待ちください。
	カバーを確認してください 点滅箇所のカバーを閉じてください	○		表示されている箇所のカバーが開いています。 カバーを閉じてください。
	カバーを確認してください 点滅箇所のカバーを閉じてください	○		原稿カバーが開いています。 原稿カバーを閉じてください。
126	電源を切り、しばらくお待ちください ［エラーコード］：結露エラー	○	○	装置が結露しています。電源を切ってしばらくお待ちください。
209	装置を再起動してください ［エラーコード］：ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞｴﾗｰ	○	○	装置にエラーが発生しました。装置を再起動してください。 エラーが直らない場合、お客様相談センターへご連絡ください。
	装置を再起動してください ［エラーコード］：Fatal Error	○	○	装置にエラーが発生しました。装置を再起動してください。 エラーが直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
	点検をお受けください ［エラーコード］：Fatal Error	○	○	装置にエラーが発生しました。お客様相談センターへご連絡ください。
	FATAL ERROR：［エラーコード］	○	○	装置にエラーが発生しました。 装置を再起動してください。 再起動後に、同じエラーが発生したら、もう一度装置を再起動してください。 エラーが直らない場合や、動作中に再び同じエラーが発生する場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	原稿づまりです 点滅箇所のカバーを開けて確認してください	○	○	自動原稿送り装置 からの原稿読み取り中に、原稿づまりが発生しました。カバーを開けて詰まった原稿を取り除いてください。
	ランプを確認してください	○	○	スキャナのランプが寿命になりました。または光学系の汚れなどにより、原稿を正常に読み取れません。 お客様相談センターへご連絡ください。
	ミラーキャリッジエラー	○	○	スキャナのキャリッジ動作にエラーが発生しました。 本機スキャナ部左側面のロック（2 ヶ所）を解除してください。
	ミラーキャリッジ搬送用モード ミラーキャリッジが固定されています			スキャナのミラーキャリッジが固定されています。 スキャナ部左側面のネジ（2 ヶ所）を解除位置へ回してください。
	LDAP サーバの設定ができていません 設定を見直してください			LDAP サーバへの接続に失敗しました。
	LDAP サーバの認証に失敗しました			LDAP サーバの認証に失敗しました。
	LDAP サーバとの通信が切断されました			LDAP サーバとの接続が切断されました。

エラーコード	表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
	LDAP サーバの検索結果が 0 件でした			LDAP サーバの検索結果が 0 件です。
	LDAP サーバの検索結果が上限値をオーバーしています			LDAP サーバの検索結果が上限を超えました。
	LDAP サーバ内に存在しない DN 名が設定されています			LDAP サーバに存在しない DN 名を指定しました。
	LDAP サーバでの検索が長引いてタイムアウトが発生しました			LDAP サーバでの検索がタイムアウトしました。
	［トレイ名］ にカセットがありません	○	○	表示されているトレイに用紙カセットがありません。用紙カセットをセットしてください。
	点検をお受けください ｎｎｎ：SIP エラー			スキャン画像の処理に失敗しました。電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	Please call service Scanner unit failed to detect printer unit.	○	○	スキャナとプリンタ間でエラーが発生しました。電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	SIP Firmware Missing.	○	○	スキャン画像処理部でエラーが発生しました。電源を OFF/ON してください。それでも直らない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
	HDD Error To HDD format Select［Format］ To shut down Select［Cancel］	○	○	フォーマットが必要なハードディスクを検出しました。 ［Format］を押すと、ハードディスクをフォーマットした後、装置を再起動します。 ［Cancel］を押すと、装置をシャットダウンします。
250	HDD Error：［エラーコード］ To HDD format Select［Format］ To shut down Select［Cancel］	○	○	装置の初期化時に、暗号化認証関連のファイルが壊れていることを検出しました。ハードディスクの再フォーマットにより復旧します。 ［Format］を押すと、ハードディスクをフォーマットした後、装置を再起動します。 ［Cancel］を押すと、装置をシャットダウンします。
	しばらくお待ちください ネットワーク設定を保存中です			ネットワークの設定を変更しています。
	15 文字以内で変換してください			文字入力で未確定文字を 15 文字以上入力しようとしました。15 文字以内で変換してください。
	割り込み移行中です			プリント中に<プリント中割込み>キーを押した場合、操作が可能になるまで表示されます。
	割り込み解除中です			割り込み解除後、まだ割り込みしたときの動作が終了していません。「割り込みアイコン」が消えるまでお待ちください。
	割り込みできませんでした <ストップ>キーを押してください			割り込み状態へ移行できないときに<プリント中割込み>キーが押されました。
	割り込み解除できませんでした			割り込み状態が解除できないときに<プリント中割り込み>キーが押下されました。 再度、<プリント中割り込み>キーを押下してください。

■ コピー関連

以下のメッセージは、コピー画面上に表示されます。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
カラーコピーする権限がありません			カラーコピーを許可されていないユーザが、コピーしようとしました。
コピージョブをキャンセルしています	○		表示のエラーが発生したため、コピージョブをキャンセルしています。 しばらくお待ちください。
			コピージョブをキャンセルしています。しばらくお待ちください。
コピージョブがキャンセルされました	○		表示のエラーが発生したため、コピージョブがキャンセルされました。 ［閉じる］を押すとこのメッセージは消えます。
25 ～ 400% の範囲で倍率を再入力してください			入力した倍率では使用できません。正しい倍率を入力し直してください。
入力範囲を超えてます 入力した値を確認してください			入力した値が有効範囲外です。値を確認して、再度入力してください。
… と同時に設定できません			…と同時に設定できない機能を組み合わせようとしています。設定を見直してください。
自動原稿送り装置に原稿をセットしてください			ミックス原稿と両面原稿コピーでは、ガラス面は使用できません。自動原稿送り装置に原稿をセットしてください。
自動原稿送り装置は使用できません。 ガラス面に原稿をセットしてください			ページ分割の時、自動原稿送り装置に原稿が置かれています。ガラス面に原稿をセットしてください。
有効な原稿サイズではありません			セットされている原稿サイズは、ページ分割とミックス原稿が利用できません。 読取サイズ設定にて原稿サイズを設定してください

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
倍率を設定してください			設定されているトレイの用紙サイズには、自動倍率でのコピーはできません。 拡大 / 縮小設定にて倍率を設定してください。
縮小範囲を超えています 倍率を設定してください			設定されているトレイの用紙サイズにコピーする場合、自動倍率の計算結果が 25% 未満になり、コピーできません。拡大 / 縮小設定にて倍率を設定してください。
最適なサイズの用紙がありません。 トレイの用紙サイズやサイズダイヤル位置 を確認してください。			コピーする用紙をセットしてあるトレイを選択し、最初からやりなおしてください。 または、コピーする用紙をセットしたトレイの印刷トレイ指定を ON または ON(優先)、用紙種類を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。 用紙の両面にコピーする場合は、普通紙をセットし、セットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。
［トレイ名］は、自動トレイ設定では利用できません。［トレイ名］の用紙設定 (印刷トレイ指定) を確認してください。			表示しているトレイの印刷トレイ指定を ON または ON(優先) に設定し、最初からやりなおしてください。
［トレイ名］は、自動トレイ設定では利用できません。［トレイ名］の用紙設定 (用紙種類) を確認してください。			表示しているトレイの用紙種類を普通紙または再生紙に設定し、最初からやりなおしてください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。［トレイ名］の用紙サイズやサイズダイヤル位置を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」（67 ページ）をご覧ください。
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。［トレイ名］の用紙設定（用紙種類）を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」（67 ページ）をご覧ください。
［トレイ名］の用紙は、両面コピーできません。［トレイ名］の用紙設定（用紙厚）を確認してください。			表示しているトレイに普通紙をセットします。トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3 の場合は、用紙サイズダイヤルを合わせます。MP トレイの場合は、操作パネルで用紙サイズを設定します。用紙をセットしたトレイの用紙種類を普通紙、用紙厚を普通紙に設定し、最初からやりなおしてください。使用できる用紙については、「用紙のセットのしかた」（67 ページ）をご覧ください。
指定の用紙にはコピーできません			設定されているトレイの用紙サイズにはコピーできません。他の用紙がセットされたトレイを選択してください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
カラーコピー中につきモノクロコピーは無効です			継続読取が設定され、カラースタートキーが押下されてコピーを開始しましたので、モノクロスタートキーは無効です。次のページを読み取る場合には、「次のページを読む」ボタンを押下するか、カラースタートキーを押下してください。
モノクロコピー中につきカラーコピーは無効です			継続読取が設定され、モノクロスタートキーが押下されてコピーを開始しましたので、カラースタートキーは無効です。次のページを読み取る場合には、「次のページを読む」ボタンを押下するか、モノクロスタートキーを押下してください。
原稿サイズを選択し「確定」を押してください			読み取りサイズ自動で原稿サイズが検知できなかった場合にこのメッセージが表示されます。
オフライン中です。プリンタ画面の オンラインボタンで印刷可能になります			オフライン状態のため、コピーを開始することができません。プリンタ画面のオンラインボタンを押してください。
印刷中です しばらくお待ちください			他のジョブを印刷しているため、コピーを開始することができません。印刷が完了するまでお待ちください。コンピュータから送られたデータを印刷している場合は、プリント中割込みキーを押すと、コピーを開始できます。
読み取りを再開します 続きから読み取りを行う場合は、原稿をセットして「再開」ボタンを押してください			エラーが発生したため、一時的にコピージョブの動作が停止しましたが、エラーが解除されたので、残りの原稿の読み取り再開を確認しています。続きの原稿を読み取る場合は、自動原稿送り装置に原稿をセットしてから、「再開」ボタンを押してください。

■ ファクス関連

以下のメッセージは、ファクス画面上に表示されます。
<ストップ>キーを押してメッセージを消去する場合は、ファクス待機画面にて操作してください。
また、他のエラーが発生していない場合には、メッセージの消去に伴ってアラームランプも消灯します。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
無効なデータを受信しました <ストップ>キーを押してください	○	○	無効な PC ファクス データを受信しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファクスする権限がありません			ファクス送信が許可されていません。
受信でメモリオーバーしました <ストップ>キーを押してください	○	○	受信中にメモリ不足になり、メモリオーバーになりました。メモリが空くのを待つか、不要な文書を削除してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
通信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	ファクスの送受信がエラー終了しました。 エラーの詳細を確認するには、[ファクス確認 / 中止] キーを押してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
電話			オフフックボタンが押されたか、電話機を使用中です。
受話器が上がっています	○	○	受話器が外れています。
通信予約出来ません			ファクス送信予約が最大件数になりました。
桁数オーバーです			名前や番号入力のとき、最大桁数を超えました。 最大桁数内で入力し直してください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
件数オーバーです			F コード掲示板原稿蓄積で、30 件以上蓄積しようとしました。
			同報送信で、テンキーでの相手先番号を 30 件以上指定しました。30 件以内で指定してください。
原稿がありません			F コードボックスに原稿がありません。
			F コード受信通知を確認してください。 F コード蓄積原稿リストを印刷して、原稿があるか確認してください。
			F コード掲示板原稿削除／印字で、ボックス選択時未登録、または原稿がない掲示板ボックスを選択しました。
原稿が蓄積済みです			F コードボックス原稿が蓄積されています。 F コードボックスの原稿が蓄積されているボックスの変更はできません。原稿を削除してください。
サブアドレスを入力してください			F コードボックスでサブアドレスが入力されていません。サブアドレスを入力してください。
自動原稿送り装置に原稿をセットしてください			両面原稿送信では、ガラス面は使用できません。 自動原稿送り装置に原稿をセットしてください。
親展 BOX です			F コード原稿蓄積、削除で選択したボックスが親展ボックスです。掲示板ボックスを選択してください。
正しい番号をどうぞ			ダイレクトメール防止番号入力時に、3 桁以下で［確定］が押されました。4 桁入力してください。
			F コード親展ボックスの暗証番号入力時に、3 桁以下で［確定］が押されました。4 桁入力してください。
			F コードポーリングまたは F コード送信でサブアドレスを入力せずに［確定］が押されました。サブアドレスを入力してください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
通信履歴がありません			通信が一度も行われていない状態で、通信管理レポートの印字が指示されました。
通信予約文書はありません			通信予約がないときに［通信予約表示］が押されました。
通信履歴がありません			通信履歴画面でファクス送受信履歴がありません。
登録されていません			短縮に相手先番号がセットされていません。短縮などのリストを確認のうえ、操作してください。
			また、各種リストを出力しようとしたときに、何もセットされていません。各種登録をしてから再度操作してください。
番号が一致していません			ダイヤル 2 度押しの設定が ON のとき、再度入力した番号が 1 度目に入力した番号と一致しません。正しい番号を入力してください。
番号が間違っています			親展ボックスなどの暗証番号が間違って入力されました。正しい暗証番号を入力してください。
「ファクス中止する時は＜ファクス確認 / 中止＞キーを押してください」			ファクス通信予約中に＜ストップ＞キーを押しました。 ＜ファクス確認／中止＞キーで通信を中止してください。
もう既に入力されています			同じ番号が先に入力されています。確認して入力してください。
リアルタイム送信が予約されています			リアルタイム送信中、またはリアルタイム送信文書の通信予約中に他の宛先で通信が指示されました。リアルタイム送信終了まで待つか、またはリアルタイム送信文書の通信予約中を取り消してから、操作をしてください。
リアルタイム送信コマンドです 印刷できません			通信予約原稿の印刷を指示した予約番号が、リアルタイム送信の予約でした。
メモリオーバーしました＜ストップ＞キーを押してください	○	○	メモリ不足が発生しました。オプションの増設メモリを追加するか、PC ファクスデータのサイズを減らしてください。 ＜ストップ＞キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
オフライン中です。プリンタ画面の オンラインボタンで印刷可能になります			オフライン状態のため、受信したファクスを印刷することができません。 プリンタ画面のオンラインボタンを押してください。

■ スキャナ関連

以下のメッセージは、スキャナ画面上に表示されます。
<ストップ>キーを押してメッセージを消去する場合は、スキャナ待機画面あるいは各スキャナ機能画面にて操作してください。
また、他のエラーが発生していない場合には、メッセージの消去に伴ってアラームランプも消灯します。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
ScanToMail する権限がありません			スキャン To メール機能の利用が許可されていません。
ScanToUSB する権限がありません			スキャン To USB メモリ機能の利用が許可されていません。
ScanToLocalPC する権限がありません			スキャン To ローカル PC 機能の利用が許可されていません。
ScanToNetworkPC する権限がありません			スキャン To ネットワーク PC 機能の利用が許可されていません。
キャンセル中です			スキャンをキャンセル中です。 USB メモリへのデータ書き込みをキャンセルしています。
検索をキャンセルしました			LDAP サーバでの検索を中断しました。
送信キャンセル中			メール送信またはファイル送信をキャンセルしています。 ファイル送信をキャンセルしています。
送信をキャンセルしました			メール送信またはファイル送信がキャンセルされました。 ファイル送信がキャンセルされました。
キャンセルしました USB メモリは取り外し可能です			スキャン To USB メモリが完了しました。 USB メモリの抜き取りが可能です。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
メモリオーバーしました <ストップ>キーを押してください	○	○	原稿読み取り中に、メモリ不足が発生しました。 スキャナ待機画面あるいは各スキャナ機能の画面で<ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
USB メモリが一杯のため保存できませんでした <ストップ>キーを押してください	○	○	USB メモリが一杯になりました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
書き込みに失敗しました <ストップ>キーを押してください	○	○	USB メモリーが書き込み禁止になっています。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
USB メモリが未接続のため保存できませんでした <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To USB メモリを実行中に USB メモリが抜かれました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
PC との接続に失敗しました <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To PC の時に、コンピュータとの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル送信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイル送信中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
メール送信エラー <ストップ>キーを押してください	○	○	E メール送信中にエラーが発生しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
SMTP 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
POP3 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	POP3 サーバへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
SMTP ログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
SMTP 認証非サポート <ストップ>キーを押してください	○	○	SMTP サーバが認証に対応していません。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
POP3 ログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	POP3 サーバへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
IP アドレスの取得に失敗しました DHCP 設定を確認してください			DHCP サーバから IP アドレスを取得できませんでした。
DNS 設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	DNS サーバから IP アドレスを取得できませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
サーバ設定を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルサーバへの接続に失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
サーバログイン失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	ファイルサーバへのログインに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ディレクトリに入れません <ストップ>キーを押してください	○	○	ＦＴＰサーバのディレクトリに入れませんでした。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
転送タイプを変更してください <ストップ>キーを押してください	○	○	FTP サーバへのファイル送信に失敗しました。FTP サーバのデータ転送タイプを変更してください。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル書き込み失敗 <ストップ>キーを押してください	○	○	スキャン To ネットワーク PC で、ファイルの書き込みに失敗しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
保存領域が一杯です <ストップ>キーを押してください	○	○	サーバの保存領域が一杯です。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ファイル名を変更してください <ストップ>キーを押してください	○	○	サーバで許可されていないファイル名を使用しました。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
利用不可能なサーバです <ストップ>キーを押してください	○	○	利用できないサーバです。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
共有名を確認してください <ストップ>キーを押してください	○	○	共有フォルダ名が正しくありません。 <ストップ>キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
ＵＳＢメモリをセットしてください USB メモリ未装着です			USB メモリが未装着です。USB メモリを本機にセットしてください。
接続した USB 機器をはずしてください 対応していない USB 機器が接続されました	○	○	対応していない USB 機器が接続されました。 USB 機器を本機から外してください。
USB Hub をはずしてください USB Hub が接続されています	○	○	USB ハブが接続されました。 この装置では USB ハブは使用できません。 取り外してください。

■ プリント関連

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
オフライン中です オンラインボタンで印刷可能になります			オフラインです。オンラインボタンを押してください。
ポストスクリプトエラー			ポストスクリプトエラーが発生しました。
データ削除中			受信したデータをキャンセルしています。
			管理者設定メニューの「機器管理」-「プリンタ機能」-「印刷メニュー」-「印刷補正」-「ジャムリカバリー」が「無効」に設定されているときにジャムが発生した場合、印刷ジョブの残りのデータをキャンセルしています。
			プリントジョブアカウンティング（オプション）で印刷が許可されていないユーザからジョブが送信され、ジョブがキャンセルされました。 (1) 使用制限で印刷不可が設定されているユーザのジョブ (2) 使用制限でカラー印刷不可が設定されているユーザのジョブ (3) 設定された制限値を超えたユーザのジョブ
暗号ジョブ削除中	○		暗号化ジョブを削除しています。
ファイル消去中	○		機密ファイルを消去中です。
ジョブを削除しました			保存ジョブを削除しました。 暗号ジョブを削除しました。 印刷待ちジョブを削除しました。
消去対象ファイルがいっぱいです	○	○	消去処理待ちの機密ファイルが一杯になりました。
認証印刷保存期限切れのため削除しました ＜ストップ＞キーを押してください	○	○	認証印刷のデータ保存期間が切れたため、データを削除しました。＜ストップ＞キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
無効なデータを受信しました ＜ストップ＞キーを押してください	○	○	無効なデータを検出したため、データを削除しました。 ＜ストップ＞キーを押すと、メッセージの表示は消えます。
印刷に必要な用紙を補給してください MP トレイに用紙（[用紙サイズ]）をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください			MP トレイに、表示している用紙サイズの用紙をセットしてください。
< 受信したファクス以外を印刷している場合の表示 > ［トレイ名］の用紙が違います ［トレイ名］に用紙（[用紙サイズ][用紙種類]）をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください < 受信したファクスを印刷している場合の表示 > ［トレイ名］の用紙が違います ［トレイ名］に 受信印刷用紙（［用紙サイズ］［用紙種類］）をセットしてください 選択したトレイから印刷を継続する場合は、「印刷再開」を押してください	○	○	表示されているトレイの用紙が間違っています。 表示されている用紙サイズ、種類の用紙をセットしてください。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
印刷に必要な用紙がありません ［トレイ名］に用紙（［用紙サイズ］）をセットしてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください	○	○	表示されているトレイに用紙がありません。表示されている用紙をセットしてください。
［トレイ名］にカセットがありません ［トレイ名］を閉じてください 取り消す場合は「印刷中止」を押してください	○	○	表示されているトレイに用紙カセットがありません。用紙カセットをセットしてください。
アクセス制限エラー カラー印刷制限されているためモノクロ印刷しました	○	○	カラー印刷を許可されていないユーザのデータをモノクロ印刷しました。
アクセス制限エラー カラー印刷制限されているためデータを削除しました	○	○	カラー印刷を許可されていないユーザのデータを削除しました。
アクセス制限エラー 印刷制限されているためデータを削除しました	○	○	印刷を許可されていないユーザのデータを削除しました。

表示されるメッセージ	アラームランプ（○：点灯）	アラームブザー（○：鳴動）	原因・処置のしかた
温度調整中です.			ウォーミングアップ動作中、または、長時間の連続印刷などで装置内部温度が上昇したため、適切な温度になるまで印刷を一時停止しています。電源を切らずにこのままお待ちください。 装置の故障ではありません。
プリンタ準備中です			プリンタ部が印刷可能な状態になっていません。 印刷可能になると、自動的にメッセージは消えますので、しばらくそのままお待ちください。
ジョブがありません			印刷可能な保存ジョブが登録されていません。 印刷可能な暗号ジョブが登録されていません。 印刷待ちジョブが登録されていません。
検索中			印刷可能な暗号ジョブを検索しています。 印刷待ちジョブを検索しています。
検索をキャンセルしました			印刷可能な暗号ジョブの検索を中断しました。 印刷待ちジョブの検索を中断しました。
キャンセル中です			印刷待ちジョブをキャンセルしています。
キャンセルされました			ユーザにより印刷がキャンセルされました。

コンピュータから印刷できないとき

考えられる原因と対処方法を参考にしてください。それでも解決しない時は、お客様相談センターへご相談ください。

一般的な原因 / おもな原因

■ Windows/Macintosh　共通

- 本機の電源が入っていない。
  ⇒ 電源を入れてください。
- ケーブルが外れている。
  ⇒ ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ケーブルに問題がある。
  ⇒ 予備のケーブルがあれば取り替えてみてください。
- ［オフライン］になっている。
  ⇒ <プリンタ>キーを押した後、［オンライン］を押してください。
- 操作パネルにエラーメッセージが表示されている
  ⇒「ディスプレイに表示されるメッセージ」（332 ページ）を参考に、対処してください。
- インターフェースの設定が無効になっている。
  ⇒ 操作パネルで、お使いのインターフェースの設定を確認してください。
- 印刷機能に問題がある。
  ⇒ <レポート印刷>キーを押し、機器設定印刷ができるか確認してください。

■ Windows

- ［通常使うプリンタ］になっていない。
  ⇒［通常使うプリンタ］に設定してください。
- プリンタドライバの出力ポートが間違っている。
  ⇒ プリンタケーブルを接続した出力ポートを指定してください。
- 他のインタフェースからの印刷を処理しています。
  ⇒ 処理が完了するまでお待ちください。
- 操作パネルに「無効なデータを受信しました」と表示され印刷しません。
  ⇒ 本機の操作パネルの<機器設定>キーを押し、[管理者設定]-[プリンタ機能]-[印刷メニュー]-[印刷補正]のメニュー設定で「タイムアウト印刷」の設定値を長くしてみてください。
- 印刷が自動的にキャンセルされます。
  ⇒ プリントジョブアカウンティング（オプション）を使用している場合、プリントジョブアカウンティングの印刷制限または、本機のログバッファがいっぱいになってる可能性があります。詳しくは、「プリントジョブアカウンティングユーザーズマニュアル」をご覧ください。

ネットワーク接続しているとき

■ Windows/Macintosh　共通

- クロスケーブルを使っている。
  ⇒ ストレートケーブルを使用してください。
- ケーブルを接続する前に、本機の電源を入れた。
  ⇒ ケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。
- ハブとの相性に問題がある / がよくない。
  ⇒ 操作パネルで、以下のように設定を変更してください。
  ① <機器設定>キーを押します 。
  ② ［管理者設定］を押します。
  ③ 管理者パスワードを入力し、［確定］を押します。
  ④ ［ネットワーク管理］を押します。
  ⑤ ［ネットワーク設定］を押します。
  ⑥ ［▶］を 2 回押し、ネットワーク設定画面［3/4］を表示します。
  ⑦ ［ハブとの接続］を押します。
  ⑧ ［10BASE-T　HALF］を押します。
  ⑨ ［確定］を押します。
  ⑩ <リセット>キーを押し、待機画面を表示します。

■ Windows をお使いの方

- IP アドレスが間違っている
  ⇒ 本機の IP アドレスの設定と、コンピュータ上で設定している本機の IP アドレスが一致しているか確認してください。OKI LPR ユーティリティをお使いの方は、OKI LPR ユーティリティを起動し、MC860 を選択し、［リモートプリント］-［プリンタの再設定］を選択し、［IP アドレス］が本機の IP アドレスと一致しているか確認してください。正しい IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

■ UNIX をお使いの方

次のことを確認してください。

- 「etc/hosts ファイル」に本機の［IP アドレス］と［ホスト名］が登録されているか確認します。
- lp プロトコルを利用する場合は、「etc/printcap ファイル」にリモートプリンタの論理プリンタ名（例：rp=lp）が登録されているか確認します。論理プリンタ名には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。
- ftp プロトコルを利用する場合は、出力先（イーサネットボードの論理ディレクトリ名）が指定されているか確認します。出力先には「lp」「sjis」「euc」があり、「lp」は無変換出力設定用、「sjis」はシフト JIS PostScript 漢字変換出力用、「euc」は EUC PostScript 漢字変換出力用です。それ以外は全て無効です。

USB 接続しているとき

■ Windows/Macintosh　共通

- ケーブルが規格に合っていない。
  ⇒ USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
- USB ハブを使用している
  ⇒ 本機をコンピュータを直接接続してみてください。
- プリンタドライバが正しくインストールされていない。
  ⇒ 本書の手順に従って、インストールし直してください。

■ Windows をお使いの方

- プリンタアイコンが［オフライン］になっています。
  ⇒ プリンタアイコンを右クリックして［プリンタをオフラインにする］のチェックを外してください。
- 切替器、バッファ、延長ケーブル、USB ハブを使用しています。
  ⇒ 本機をコンピュータに直接接続してみてください。
- USB で動作する他のプリンタドライバがインストールされています。
  ⇒ 他のプリンタドライバを削除してみてください。

プリンタドライバのインストールがうまくいかないとき

USB 接続のとき

■ Windows をお使いの方

[プリンタ]フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合

プリンタドライバが正しくセットアップされていません。
「USB 接続で Windows にセットアップする」（127 ページ）の手順に従って、再度プリンタドライバのセットアップを行なってください。

1 つのプリンタドライバしかインストールできない

2 つ目以降のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

❶セットアッププログラムを起動します。

❷画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸以降、画面の指示に従ってセットアップします。
詳細は、「USB 接続で Windows にセットアップする」（127 ページ）をご覧ください。

❹[プリンタ] フォルダ（Windows XP/Windows Vista/Windows Server 2008/Windows Server 2003 では［プリンタと FAX］フォルダ）で 2 つ目以降のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ］を選択します。

❺[ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合

プラグアンドプレイでセットアップする必要があります。以下の手順でセットアップを行なってください。

❶本機とコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷USB ケーブルを接続します。

❸本機の電源を ON にします。

❹Windows を起動します。

❺「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「ソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

コピーに関するトラブル

コピーできない

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
コピーできない	電源は入っていますか？	電源を入れてください。	56
	本体が初期化中ではありませんか？	初期化が終わるまでお待ちください。	—
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	83
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。 また、カセットが装置に差し込まれているか確認してください	67
	原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？	適したサイズの用紙をセットしてください。	67
	自動トレイ選択時の利用が可能な設定になっていますか？	使用する用紙がセットされたトレイの印刷トレイ指定を ON あるいは ON（優先）に設定してください。	79
	両面印刷が可能な用紙がセットされていますか？	コピーする用紙のサイズ・用紙種類・用紙厚の設定によっては両面印刷できません。両面印刷が可能な用紙をトレイにセットして、サイズ・用紙種類・用紙厚を正確に設定してください。	67
	用紙種類の設定は普通紙または再生紙になっていますか？	自動トレイ選択にてコピーを行う場合には、用紙種類を普通紙または再生紙に設定してください。	69 72
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	312
	トナーは無くなっていませんか？	新しいトナーカートリッジと交換してください。	366
	イメージドラムが寿命になっていませんか？	新しいイメージドラムと交換してください。	372

発生状況	チェック項目	処置	参照ページ
コピーできない	定着器ユニットが寿命になっていませんか？	新しい定着器ユニットと交換してください。	378
	ベルトユニットが寿命になっていませんか？	新しいベルトユニットと交換してください。	381
	本体のカバーがオープンされていませんか？	全てのカバーを閉じてください。	24
	エラーが発生していませんか？	発生しているエラーを解除してください。	329
	他の動作中ではありませんか？	他の動作が終わったら、コピーを開始してください。	—
	コンピュータ等からの印刷中ではありませんか？	印刷が完了するのを待つか、プリント中割込みキーを押下してください。	26
	FAX がリアルタイム送信中ではありませんか？	FAX の送信が終わるまでお待ちください。	—
	継続読取が ON になっていませんか？	タッチパネルの「読取り終了」を押下してください。	—
	オフライン状態ではありませんか？	［プリンタ］キーを押したあとに、プリンタ待機画面の［オフライン］ボタンを押し、オンライン状態にしてください。	91
	アクセス制御されていませんか？	コピーの権限がある PIN あるいはユーザ名 / パスワードで認証を行ってください。	287
ミックスコピーできない	「ミックス原稿」設定が OFF になっていませんか？	「ミックス原稿」設定を ON にしてください。	応用編
	ミックスコピー対象外の原稿サイズではありませんか？	ミックス対象の原稿に変更してください。	88
	ミックスコピーに必要なサイズの用紙が、全てセットされていますか？	ミックス対象の全てのサイズの用紙を、コピー用の印刷トレイ指定にて ON あるいは ON（優先）が設定されているトレイにセットしてください。	応用編

発生状況	チェック項目	処　置	参照ページ
ソートコピーできない	「ソート」設定が OFF になっていませんか？	「ソート」設定を ON にしてください。	応用編
	メモリがいっぱいではありませんか？	オプションの増設メモリを追加するか、原稿の枚数を減らしてください。	48
<プリント中割込み>キーを押しても割り込みできない	コピー待機画面を表示していますか？	<コピー>キーを押し、コピー待機画面にしてください。	89
	エラーが発生していませんか？	エラーを解除してください。	329
	受信ファクスの印刷待ちになっていませんか？	受信ファクスの印刷が終わるまでお待ちください。	—
	PC-FAX 送信中または送信待ちではありませんか？	PC-FAX 送信が終わるまでお待ちください。	—
	スキャンしたデータを送信中または書き込み中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—
	自動配信中または、通信データ保存中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—
	停止できない処理中ではありませんか？	しばらくお待ちください。	—

原稿とコピー結果が異なる

発生状況	チェック項目	処　置	参照ページ
原稿とコピー結果が異なる	「両面」が設定されていませんか？	「両面」の設定を OFF にしてください。	182
	「ミックス原稿」が設定されていませんか？	「ミックス原稿」の設定を OFF にしてください。	応用編
	用紙が横にセットされていませんか？	横にセットされている用紙を取り除いてください。または、<機器設定>キーを押し、[用紙] - [印刷トレイ指定] で、用紙が縦にセットされているトレイを [ON（優先）] に変更してください。	65
コピー結果のサイズが変わる	原稿に適したサイズの用紙がセットされていますか？	適したサイズの用紙をセットしてください。	67
	「拡大 / 縮小」の倍率が正しく設定されていますか？	「拡大 / 縮小」を適した倍率に設定してください。	176
	「リピート」が設定されていませんか？	「リピート」の設定を OFF にしてください。	応用編
	「ページ分割」が設定されていませんか？	「ページ分割」の設定を OFF にしてください。	応用編
コピー結果の一部が欠ける	「枠消去」が設定されていませんか？	「枠消去」の設定を OFF にしてください。	応用編
	「センター消去」が設定されていませんか？	「センター消去」の設定を OFF にしてください。	応用編
	「とじしろ」が設定されていませんか？	「とじしろ」の設定を OFF にしてください。	応用編
	「集約」が設定されていませんか？	「集約」の設定を OFF にしてください。	応用編

コピー開始後

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
印刷開始が遅い	温度調整中ではありませんか？	パネルのガイド部に " 温度調整中です " あるいは " プリンタ準備中です " と表示されている場合には、印刷の準備をしていますので、そのまま印刷を開始するまでお待ちください。	—
コピーがキャンセルされる	エラーが発生していませんか？	コピー動作中に特定のエラーが発生しますと、コピージョブはキャンセルされます。 エラー要因を除去し、エラーが発生しないようにしてから、再度コピーを開始してください。	329
	MP トレイに用紙はありますか？	MP トレイの用紙にコピーする場合には、MP トレイに充分な用紙がセットされていることを確認してから、コピーを開始してください。 また、<機器設定>キーを押し、[用紙] - [印刷トレイ指定] - [コピー] - [MP トレイ] の設定が、[ON] または [ON（優先）] になっていることを確認してください。	72

ファクスに関するトラブル

送信できない

発生状況	チェック項目	処　　置	参照ページ
送信できない	送信の手順は正しいですか？	手順を確認し、もう一度操作をしてください。	208
	相手先の電話番号は正しいですか？	短縮ダイヤルで指定しているときは、正しく登録されているか、リストを印字して確認してください。	応用編
	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線に合った種類に設定してください。	192
	相手側にトラブルはありませんか？	相手側に確認し、受信できる状態にするよう依頼してください。（電源、記録紙など）	—
原稿が連続して送信されない	原稿の先端を揃えてセットしていますか？	原稿をセットし直してください。	83
	セットした原稿の中に、最小幅（128.5mm）より狭い幅の原稿がセットされていませんか？	最小幅より狭い幅の原稿は、ガラス面にセットして、他の原稿とは別にしてください。	83
ダイヤルしても送信できない	電話回線の種類は正しく設定されていますか？	電話回線に合った種類に設定してください。	192
	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	83
	電話番号が間違っていませんか？	正しい電話番号をダイヤルしてください。	—
	相手が話し中ではありませんか？	相手の通信が終了するまでお待ちください。	—
手動送信できない	受話器を置いた後で<スタート>キーを押していませんか？	受話器を置く前に<スタート>キーを押してください。	217
メモリ送信のとき原稿が読み込まれない	原稿は正しくセットされていますか？	正しく原稿をセットしてください。	83
	メモリがいっぱいではありませんか？	メモリ容量を確認してください。	—

受信できない

発生状況	チェック項目	処　　　置	参照ページ
受信できない	自動受信モードになっていますか？	受信モードを確認してください。	192
	用紙はありますか？	用紙を補給してください。	67
	用紙がつまっていませんか？	エラーメッセージを確認し、つまっている用紙を取り除いてください。	312
	回線接続コードが本機と電話回線に正しく接続されていますか？	正しく接続してください。	53
	メモリがいっぱいではありませんか？	メモリ容量を確認してください。	—
手動受信できない	受話器を置いた後で<スタート>キーを押していませんか？	受話器を置く前に<スタート>キーを押してください。	231 232
ポーリング受信ができずにエラーメッセージがプリントされる	相手先がポーリング原稿を登録していますか？	相手先にポーリング原稿の登録を依頼してください。	—

送受信できない

発生状況	チェック項目	処　　　置	参照ページ
送受信できない	ブロードバンド環境を利用した IP 電話に接続していますか？	［設置モード］の［スーパーG3］の設定を OFF にしてください。	192

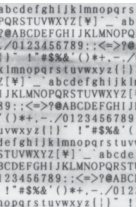
最適なサイズの用紙に印刷しない

発生状況	チェック項目	処　　　置	参照ページ
受信したファクスを最適サイズの用紙に印刷しない	トレイの用紙種類の設定が［普通紙］または［再生紙］以外になっていませんか？	使用するトレイの用紙種類を［普通紙］または［再生紙］に設定してください。ファクスは、普通紙または再生紙のみに印刷します。また、用紙サイズよりも用紙種類を優先します。	67

スキャンに関するトラブル

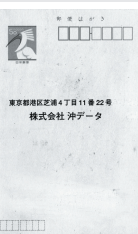
発生状況	チェック項目	処置	参照ページ	
			基本操作編	簡易設定ガイド
スキャンできない。	電源が OFF になっていませんか？	電源を ON にしてください。	56	—
	ケーブルが外れていませんか？	ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	51	—
	ケーブルが破損していませんか？	ケーブルを交換してください。	51	—
	ネットワーク設定が間違っていませんか？	ネットワーク設定を正しく行ってください。	120	5, 14
	エラーが発生していませんか？	スキャナ画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	332, 341	—
電子メールの送受信ができない。	本装置の電源を入れてから、イーサネットケーブルを接続しましたか？	本装置の電源を切り、イーサネットケーブルを差し込んでから電源を入れてください。	51	—
	本装置の E メールアドレスが設定されていますか？	E メールアドレスを設定してください。	—	6
	E メールアドレスが間違っていませんか？	正しいメールアドレスを入力してください。	—	6
	SMTP サーバのアドレスが間違っていませんか？	SMTP サーバの設定を確認してください。	257	5
	POP3 サーバのアドレスが間違っていませんか？	POP3 サーバの設定を確認してください。	—	5
	DNS サーバのアドレスが間違っていませんか？	ネットワーク設定を確認してください。	—	5
	他の動作中ではありませんか？	他の動作が終了するまで、お待ちください。	—	—
	エラーが発生していませんか？	スキャナ画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	332	—
ネットワークフォルダにファイルが保存できない。	FTP/CIFS の設定が間違っていませんか？	プロファイルの設定を確認してください。	393	14
	エラーが発生していませんか？	スキャナ画面上に表示されているメッセージに従って処置してください。	332	22

印刷が不鮮明なとき

縦方向に白いスジが入る。			
	LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	異物がつまっています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
	イメージドラムカートリッジの遮光フィルムが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	イメージドラムカートリッジが正しくセットされていません。	☞	イメージドラムカートリッジを正しくセットしてください。
	自動原稿送り装置の原稿ガラスが汚れています。	☞	自動原稿送り装置の原稿ガラスを清掃してください。

縦方向にかすれる。			
	LED ヘッドが汚れています。	☞	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。

印刷が薄い。			
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	☞	トナーカートリッジを取り付け直してください。
	トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を含んでいます。	☞	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
	用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
	用紙が適していません。用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	<機器設定>キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙種類］、［用紙厚］を適切な値にしてください。または、［用紙厚］を現在の設定より厚い値にしてください。
	再生紙を使用しています。	☞	<機器設定>キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙厚］を現在の設定より厚い値にしてください。
	濃度の設定が正しくありません。	☞	正しく設定してください。
	原稿に黄色や緑色などが使われています。	☞	受信の場合は、相手先に原稿の色を黒系統に変えていただくように依頼してください。（コピーをとられることをおすすめします）

8

こんなときには

部分的にかすれる。ベタを印刷すると白い点や線が現れる。

原因	対処
用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しています。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
［普通紙ブラック設定］または［普通紙カラー設定］の設定が不適切です。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、［管理者設定］-［プリンタ機能］-［印刷メニュー］-［印刷補正］-［普通紙ブラック設定］または［普通紙カラー設定］の値を変更してみてください。

縦方向にスジが入る。

原因	対処
イメージドラムカートリッジに傷がついています。	☞ イメージドラムカートリッジを交換してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。
自動原稿送り装置の原稿ガラス、原稿搬送ローラーなどが汚れています。	☞ 原稿ガラス、原稿搬送ローラーを清掃してください。

横方向にスジや点が周期的に入る。

原因	対処
約 94mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。傷がついていたら、イメージドラムカートリッジを交換してください。
約 40mm 周期の場合は、イメージドラムカートリッジ内にゴミが混入しています。	☞ トップカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。
約 87mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	☞ 定着器ユニットを交換してください。
イメージドラムカートリッジが光にさらされました。	☞ イメージドラムカートリッジを本体の内部に戻し、数時間装置を使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラムカートリッジを交換してください。
用紙搬送路に汚れが付着しています。	☞ 数枚テストコピーをしてください。

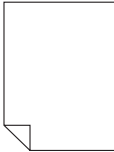
白地の部分が薄く汚れる。

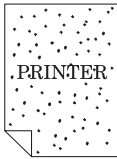
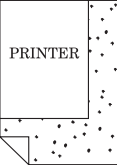
原因	対処
用紙が静電気を帯びています。	☞ 適切な湿度、湿度に保管した用紙を使用してください。
厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。
トナーが残り少なくなっています。	☞ トナーカートリッジを交換してください。

文字の周辺がにじむ。

原因	対処
LED ヘッドが汚れています。	☞ 柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。
用紙が適していません。	☞ 推奨紙を使用してください。
用紙が湿気を含んでいます。	☞ 新しい用紙と交換してください。

はがき、封筒またはコート紙を印刷すると全体的に薄く汚れる。擦ると文字の周辺が汚れる。

原因	対処
はがき、封筒に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ 故障ではありません。
コート紙に印刷すると薄くトナーが付着（かぶり）することがあります。	☞ コート紙はなるべく使用しないでください。

擦るとトナーがとれる。

原因	対処
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙種類］、［用紙厚］を適切な値にしてください。または、［用紙厚］を現在の設定より厚い値にしてください。
再生紙を使用しています。	☞ ＜機器設定＞キーを押し、［用紙］-［トレイ名］画面で、［用紙厚］を現在の設定より厚い値にしてください。

光沢にムラが出る。		
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞	＜機器設定＞キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙種類]、[用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。

思った色合いで印刷されない。		
トナーが残り少なくなっています。	☞	トナーカートリッジを交換してください。
[黒の生成] の設定がアプリケーションに合っていません。	☞	プリンタドライバの [黒の生成] で [CMYK トナーで生成] または [黒トナーのみで生成]、[CMY 100% 濃度] が [無効] を選択してみてください。詳しくは「黒の部分の仕上がりを変更したい」(応用編) をご覧ください。
カラー調整を変更しています。	☞	プリンタドライバのカラーマッチングにしてください。詳しくは「簡単にカラーマッチングする (オフィスカラー)」(応用編) をご覧ください。
カラーバランスがとれていません。	☞	操作パネルで濃度補正を実行してください。
色ずれが起こっています。	☞	トップカバーを開閉してください。または、操作パネルで色ずれ補正調整をしてください。詳しくは「色ずれ補正調整をする」、「色ずれ補正を微調整したい」(応用編) をご覧ください。

CMY 各色 100%のベタが薄い。		
[CMY 100% 濃度] の設定が [無効] になっています。	☞	＜機器設定＞キーを押し、[管理者設定] - [プリンタ機能] - [カラーメニュー] - [CMY 100 濃度] を [有効] にしてください。

黒点や白点が現れる。

用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
約 94mm 周期の場合は、イメージドラムの緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	☞	イメージドラムカートリッジを交換してください。
ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	☞	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。

汚れが印刷される。		
用紙が湿気を含んでいます。	☞	新しい用紙と交換してください。
用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
ガラス面、原稿押さえパッドが汚れています。	☞	ガラス面、原稿押さえパッドを清掃してください。

用紙全体が黒く印刷される。		
機器の故障が考えられます。	☞	お客様相談センター（裏表紙参照）までご連絡ください。

何も印刷されない。		
一度に複数枚の用紙が搬送されました。	☞	用紙をよくさばいてからセットし直してください。
機器の故障が考えられます。	☞	お客様相談センター（裏表紙参照）までご連絡ください。
原稿を裏表逆にセットしています。	☞	正しく原稿をセットしてください。

白抜けがおこる。		
用紙が湿気を含んでいます。	☞	新しい用紙と交換してください。
用紙が適していません。	☞	推奨紙を使用してください。
ガラス面が汚れています。	☞	ガラス面を清掃してください。

全体が汚れる。		
PRINTER	ガラス面が汚れています。	☞ ガラス面を清掃してください。
	両面が印刷されている原稿の裏面が写っています。	☞ 薄い紙の両面原稿ですと、裏面の原稿内容が透けて、表の原稿に写ってしまうことがあります。濃度を薄くしてください。
周りが汚れる。		
PRINTER	原稿押さえローラ、原稿押さえパッドが汚れています。	☞ 原稿押さえローラ、原稿押さえパッドを清掃してください。
	原稿サイズより大きな用紙にコピーしています。（倍率 100%時）	☞ 原稿サイズと同じ大きさの用紙を選択します。
	原稿と用紙の向きが違っています。	☞ 同じ向きの用紙を選択します。または、原稿の向きを用紙に合わせてセットします。
	用紙サイズに合った倍率で縮小していません。	☞ 用紙サイズにあった倍率で縮小してください。
画像が傾く。		
PRINTER	原稿が正しくセットされていません。	☞ 原稿を正しくセットしてください。
	自動原稿送り装置に適した原稿がセットされていません。	☞ 自動原稿送り装置部にセット可能な原稿を使用してください。
	自動原稿送り装置部の原稿ガラスに異物があります。	☞ 自動原稿送り装置部の原稿ガラスを清掃してください。

原稿送り・用紙送りがおかしい

原稿が出てこない	
原稿が詰まっています。	☞ 詰まった原稿を取り出し、セットし直してください。

原稿がよくつまる	
原稿が適切ではありません。	☞ 適切な原稿を使用してください。
原稿ガイドの位置がずれています。	☞ 原稿ガイドを原稿に沿わせてセットしてください。
自動原稿送り装置に紙片が残っています。	☞ 原稿カバーを開けて確認してください。
原稿搬送ローラが汚れています。	☞ 原稿搬送ローラを清掃してください。

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
装置が傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
用紙が薄すぎるか厚すぎます。	☞ 装置に適した用紙を使用してください。
用紙が湿気が含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
用紙に折り目やシワや反りがあります。	☞ 装置に適した用紙を使用してください。 反りがある場合は修正してください。
裏面が印刷された用紙を使用しています。	☞ 一度印刷した用紙は用紙カセットからは印刷できません。MP トレイから印刷してください。
用紙がそろっていません。	☞ 用紙の上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙を 1 枚だけセットしています。	☞ 用紙は複数枚でセットしてください。
用紙カセット、マルチパーパストレイに用紙が入ったまま追加しています。	☞ 先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
用紙がまっすぐにセットされていません。	☞ 用紙カセットの用紙ストッパと用紙ガイドを用紙に合わせてください。MP トレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。
はがきや封筒のセット方向が間違っています。	☞ 正しくセットしてください。

紙づまりがよく起きる。複数枚同時に引き込まれる。斜めに引き込まれる。	
連量 151 ～ 172kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙を用紙カセットにセットしています。	☞ 連量 151 ～ 172kg の用紙、はがき、封筒、ラベル紙は用紙カセットから印刷できません。MP トレイにセットし、フェイスアップスタッカへ排出してください。 詳しくは 81 ページをご覧ください。

用紙が送られない。	
プリンタドライバの［給紙方法］の選択が間違っています。	☞ 用紙をセットしてある給紙方法を選択してください。
プリンタドライバで手差しの指定をしています。	☞ MP トレイに用紙をセットして、操作パネルの［印刷再開］を押してください。またはプリンタドライバの「マルチパーパストレイ設定」の［手差しとして扱う］のチェックを外してください。

つまった用紙を取り除いても復旧しない。	
用紙を取り除くだけでは復旧しません。	☞ トップカバーを開閉してください。

用紙がまるまってしまう。シワが出る。	
用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	☞ 適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。
薄い用紙を使用しています。	☞ <機器設定>キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙厚] を現在の設定より薄い値にしてください。

定着器ユニットのローラへ用紙が巻きつく。	
用紙の厚さや種類の設定が不適切です。	☞ <機器設定>キーを押し、[用紙] - [トレイ名] 画面で、[用紙種類]、[用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。
薄い紙を使用しています。	☞ より厚手の用紙を使用してください。
用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	☞ 用紙先端部に余白を入れてみてください。両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてみてください。

故障かな？と思ったとき

電源を ON にしても「オンライン」にならない。	
電源コードが抜けています。	☞ 電源を OFF にしてから、電源コードをしっかり差し込んでください。
停電しています。	☞ コンセントに電気がきているか、停電していないか確認してください。

動作しない。	
電源コードはしっかりと差し込んでありますか?	☞ 電源スイッチ及び電源プラグを確認してください。
電源スイッチは ON になっていますか?	☞ 電源スイッチを ON にしてください。

印刷処理を開始しない。	
エラーが表示されています。	☞ 操作パネルにエラーが表示されている場合は「ディスプレイに表示されるメッセージ」(332 ページ)をご覧ください。
プリンタケーブルが外れています。	☞ プリンタケーブルを差し込んでください。
プリンタケーブルに問題があります。	☞ 予備のプリンタケーブルがあれば取り替えてみてください。
プリンタケーブルが規格に合っていない可能性があります。	☞ USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。
印刷機能に問題がある可能性があります。	☞ [レポート印刷]キーを押し、機器設定印刷ができるか確認してください。
インタフェースが無効になっています。	☞ <機器設定>キーを押し、[管理者設定]-[ネットワーク管理]-[ネットワーク設定]で、使用しているインタフェースを[有効]にしてください。
プリンタドライバが選択されていません。	☞ プリンタドライバを[通常使うプリンタ]に設定してください。
プリンタドライバの出力ポートが間違っています。	☞ プリンタケーブルを接続した出力ポートを選択してください。

ディスプレイに何も表示しない	
節電キーのランプが点灯しています。	☞ 節電モードになっています。節電モードを解除してください。
ディスプレイの液晶調整ボリュームの位置がずれています。	☞ ディスプレイを見ながら、液晶調整ボリュームを調整してください。

印刷処理が中断する。	
プリンタケーブルが断線しています。	☞ プリンタケーブルを取り替えてください。
コンピュータのタイムアウトにかかっています。	☞ タイムアウトを長く設定してください。

異常音がする。	
装置が傾いています。	☞ 安定した水平な場所に設置してください。
装置内部に用紙くずや異物があります。	☞ 装置内部を点検し、取り除いてください。
トップカバーが開いています。	☞ トップカバーの左右を押して閉じてください。

共振音がする。	
装置内部の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。	☞ 装置の故障ではありません。そのままお使いください。

すぐに印刷を開始しない。印刷を開始するのに時間がかかる。	
省電力モードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	☞ <機器設定>キーを押し、[管理者設定]-[機器管理]-[節電モード]-[パワーセーブ]を[OFF]にすると、ウォーミングアップ時間を短くできる場合があります。
イメージドラムカートリッジのクリーニング動作を行っていることがあります。	☞ 印刷品質を保つための動作です。しばらくお待ちください。
定着器の温度を調整しています。	☞ しばらくお待ちください。
他のインタフェースからのデータを処理しています。	☞ 印刷処理が中断するまでお待ちください。

[濃度]の設定を変えても印刷結果が変わらない	
[赤・緑・青色調整]の設定を変更しました。	☞ [濃度]の設定は、[赤・緑・青色調整]の設定と関係があり、適切な範囲内で変化するようになっています。

印刷の途中で印刷が止まる。		
連続印刷などで定着器の温度が上昇したため、間欠印刷※により温度を調整しています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。
長時間の連続印刷などで装置の内部温度が上昇したため、間欠印刷や印刷一時停止により温度調整をしています。	☞	適切な温度になると自動的に通常の印刷に戻りますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

※ 間欠印刷とは、一定の間隔をおいて印刷することです。

時計データなどの登録内容が消えてしまう		
長時間電源を切ったままにしたり、日常電源を切って使用しています。	☞	登録内容を保持しているバッテリーの寿命がきたことが考えられます。お客様相談センター（裏表紙参照）までご連絡ください。

メモリに蓄積した画像データが消えてしまう		
電源を切ってから 72 時間以上経過しました。	☞	画像データのバックアップ時間は、約 72 時間です。

メモリ不足になる。		
複数のアプリケーションを同時に起動してます。	☞	使用していないアプリケーションを終了してください。

印刷が遅い。		
印刷処理をコンピュータ側でも行っています。	☞	処理速度の速いコンピュータを使用してください。
［印刷オプション］の［高精細］を選択しています。	☞	プリンタドライバの［印刷オプション］で［きれい］または［ふつう］を指定してください。
印刷データが複雑です。	☞	印刷データを簡単にしてください。

プリンタドライバの表示がおかしい。（Macintosh）		
プリンタドライバが正しく動作していない可能性があります。	☞	プリンタドライバを一旦削除した後、再インストールを行ってください。

停電のとき

本体の動作

■ 停電になったとき

通話中は ...	引き続き通話ができます。
送信中は ...	送信が途中で切れます。 停電が復旧したら、メモリ送信のときは、送信途中のページから自動的に再送信します。 リアルタイム送信のときは、再送信を行いません。もう一度送信してください。
受信中は ...	受信が途中で切れます。 停電が復旧したら、受信が終了しているページはプリントします。
コピー中は ... リストプリント中は ...	プリントが途中で止まります。

■ 停電中

コピー	コピーできません。
ファクス送信	送信できません。
ファクス受信	受信できません。

UPS（無停電電源）やインバータを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバータは使用しないでください。

メモリバックアップ

メモリに蓄積された画像データは、停電や電源を OFF にしたときでも、次のような条件で保持されます。

- メモリに蓄積された画像データは、下記の時間保持されます。ただし、あらかじめ 48 時間連続して通電されている必要があります。
- 画像データのバックアップ時間は、約 72 時間です。

消去通知

メモリに蓄積された画像データが消えてしまった場合は、電源が復旧した時点で消去通知をプリントし、消えてしまった画像データの情報をお知らせします。

下記は、消去通知例です。

```
＊＊消去通知＊＊
P1                                   2007年11月26日(月) 15:04
以下の原稿が消去されました
------------------------------------------------------------
原稿種別:通信予約コマンド

原稿種別:Fコードボックス原稿
  BOX       :03
  ボックス名:ABCD
  相手先名  :aaa
  種別      :掲示板

原稿種別:代行受信原稿
  相手先名:fghi
  開始日時:11/26 15:00
  枚数    :1
  通信種類:ポーリング受信
------------------------------------------------------------
```

1. 原稿種別
   通信予約コマンド /F コードボックス原稿 / 代行受信原稿のいずれかを表します。
2. BOX
   F コードボックス原稿の場合、F コードボックス番号を表します。
3. ボックス名
   F コードボックス原稿の場合、F コードボックス名を表します。
4. 相手先名
   相手先を表します。
5. 種別
   F コードボックス原稿の場合、親展 / 掲示板のいずれかを表します。
6. 開始日時
   通信開始の日時を表します。
7. 枚数
   受信した枚数を表します。
8. 通信種類
   通常の受信の場合は、空欄で、以下の場合は受信の種別が記載されます。
   手動受信 / ポーリング受信 /F コードポーリング受信 /F コード親展受信 /F コード掲示板受信

Windows Vista/Windows Server 2008 に関する制限事項

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
• PS プリンタドライバ • NIC セットアップユーティリティ（AdminManager、Quick Setup） • Network Extension	ヘルプが表示されない。	Windows Vista でのヘルプの表示には対応しておりません。
• PS プリンタドライバ • PCL プリンタドライバ • カラー調整ユーティリティ • 色見本印刷ユーティリティ • NIC セットアップユーティリティ（AdminManager、Quick Setup） • Network Extension • PS ハーフトーン調整ユーティリティ • プリントジョブアカウンティング Lite • プリントジョブアカウンティングクライアント • ActKey • Configuration Tool	「ユーザアカウント制御」画面が表示される。	インストーラやユーティリティの起動時などで、「ユーザアカウント制御」画面が表示される場合があります。インストーラやユーティリティを管理者権限で実行するために必要ですので、［続行］をクリックしてください。［キャンセル］をクリックすると、インストーラやユーティリティは起動されません。
• カラー調整ユーティリティ • 色見本印刷ユーティリティ • Network Extension • PS ハーフトーン調整ユーティリティ • プリントジョブアカウンティング Lite • プリントジョブアカウンティングクライアント	「プログラム互換性アシスタント」画面が表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）、「プログラム互換性アシスタント」画面が表示された場合は、必ず［このプログラムは正しくインストールされました］をクリックしてください。
• Network Extension	「OKI Network Extension のアンインストール中にエラーが発生しました。既にアンインストールされている可能性があります。［プログラムと機能］の一覧から OKI Network Extension を削除しますか？」というメッセージが表示される。	アンインストール時、「Install Wizard の完了」画面で［はい、今すぐコンピュータを再起動します］を選択し、［完了］をクリックすると、左記のメッセージが表示される場合がありますが、自動的に再起動され、アンインストールが正しく行われますので、問題ありません。
• PCL XPS プリンタドライバ	共有プリンタで印刷できない。	Windows PCL XPS プリンタドライバは、共有プリンタを使用しての印刷には対応しておりません。
• PS プリンタドライバ • PCL プリンタドライバ	暗号化認証印刷が実行できない。	Windows Vista（x64版）/Windows Server2008（x64版）での暗号化認証印刷には対応しておりません。

Windows XP Service Pack2/ Windows Server 2003 Service Pack1 に関する制限事項

■ Windows ファイアウォールの設定による制限事項について

Windows XP Service Pack 2/Windows Server 2003 Service Pack1 セキュリティ強化機能搭載では、Windows ファイアウォールの機能が強化されておりますが、それに伴いプリンタドライバ・ユーティリティに以下の制限事項が生じる場合があります。

項　目	発生する制限事項	詳細、回避方法
プリンタドライバ全般	PC ネットワーク共有時、印刷ができません。	サーバ側で［Windows ファイアウォール］-［例外］を開き、「ファイルとプリンタの共有」にチェックを入れてください。
Admin Manager	プリンタ検索、NIC の設定が行えません。	ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索、NIC の設定ができなく なります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません。 ルータを超えるプリンタの検索、NIC の設定を行う場合は、［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、AdminManager を追加し、チェックを入れてください。
OKILPR ユーティリティ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「プリンタの追加」や「プリンタの再設定」画面で IP アドレスを直接入力することで設定できます 。
OKI ストレージデバイスマネージャ	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタ は問題ありません。プリンタの検索ができない場合でも､「プリンタ」-「プリンタの追加 / 削除」で、プリンタ名（任意）と IP アドレスを 入力し、OK ボタンをクリックすることでプリンタウィンドウにプリンタが表示されます。
プリントジョブアカウンティング Lite	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、ログ取得プリンタの追加ウィザードで「プリンタを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
プリントジョブアカウンティング Lite	ログ取得スケジュールに従ってログが取得されていません。また､「プリンタ」-「ログを直ちに取得」を行っても､「ログ取得 スケジュールに従って、ログを取得中のためできません。」が表示され、取得ができません。	Windows XP Service Pack1 以前に、プリン トジョブアカウンティングにプリンタを登録し、ログの取得を開始している状態で、Windows XP Service Pack2 にアップデートを行うと、左記の現象が発生する場合があります。このような場合は、Windows を再起動します。
Configuration Tool	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも、「ツール」-「環境設定」を選択し、IP アドレスを直接入力することで設定できます。
Print Super Vision	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［プログラムの追加］を開き、［参照］をクリックします。 以下のファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。 "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥bin¥javaw.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥java.exe "J2EE のインストール先 "¥jdk¥jre¥bin¥javaw.exe
	ポップアップウインドウがブロックされます。	Internet Explorer を使用している場合、ポップアップウインドウがブロックされることがあります。 以下のことを確認してください。 Internet Explorer を起動し、［ツール］-［インターネットオプション ...］-［プライバシー］を開き､［ポップアップ ブロック］の［設定］ボタンをクリックします。 ［許可する Web サイトのアドレス］に PrintSuperVision の URL を入力し、［追加］ボタンをクリックします。
Web Driver Installer	プリンタ検索が行えません。	ファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場 合は、ルータを超えるセグメントに対してプリンタの検索ができなくなります。同一セグメント内に接続されたプリンタは問題ありません 。プリンタの検索ができない場合でも､グループの検索範囲の 4 桁目を *（例: 192.168.0.*）にすると、検索できます。
	リモート PC からアクセスできません。	［Windows ファイアウォール］-［例外］-［ポートの追加］を開き、Web Driver Installer がインストールされている Web サイトのポート番号を追加し､［管理ツール］-［コンポーネント サービス］で Web Driver Installer 用コンポーネントのアクセス権を変更してください。 ※設定方法は､［すべてのプログラム］-［沖データ］-［Web Driver Installer］-［お読みください］をご覧ください。

※ 詳細は沖データホームページ (http://www.okidata.co.jp/) の最新対応情報をご覧ください。

消耗品を交換する

トナーカートリッジの交換

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

⚠注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし､子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

- トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーが飛び散らないよう、濡れた雑巾で丁寧に拭き取ってください。

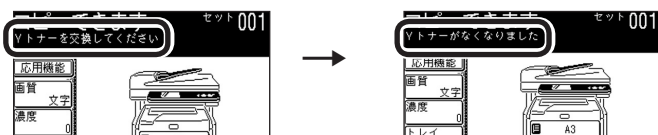
トナーカートリッジの交換の目安

トナーが少なくなると操作パネルに［✱　トナーを交換してください］（✱は各色を表わします）のメッセージが表示されますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。そのまま印刷を続けると［トナーがなくなりました］を表示して印刷を停止しますので、トナーカートリッジを交換してください。
お使いの環境によっては、メッセージが表示される前に印刷が薄くなることもあります。このようなときは、トナーカートリッジを外して、イメージドラムカートリッジ内のトナーを確認し、空の場合は新しいトナーカートリッジに交換してください。
トナーカートリッジ交換の目安は以下の通りです。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 7,000 枚
- トナーカートリッジ S タイプの場合：約 2,500 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 2,700 枚

メモ　トナーカートリッジの印刷可能枚数は、用紙サイズが A4、印字濃度が工場出荷設定で「ISO/IEC 19798」に準拠した値です。実際に印刷可能な枚数は、お客様のご使用状況により、異なります。
「ISO/IEC 19798」は、国際標準機構（International Organization for Standardization）より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

新しいドラムカートリッジに 1 本目のトナーカートリッジを取りつけたときの交換の目安は以下のようになります。これは、新しいイメージドラムカートリッジ内にトナーが入っていないので、1 本目のトナーカートリッジからトナーを充填するためです。

- 標準トナーカートリッジの場合：約 5,500 枚
- トナーカートリッジ S タイプの場合：約 1,000 枚
- イメージドラム添付のトナーカートリッジの場合：約 1,200 枚

メモ　［トナーを交換してください］を表示してから［トナーがなくなりました］になるまでの目安は、約 250 枚です。

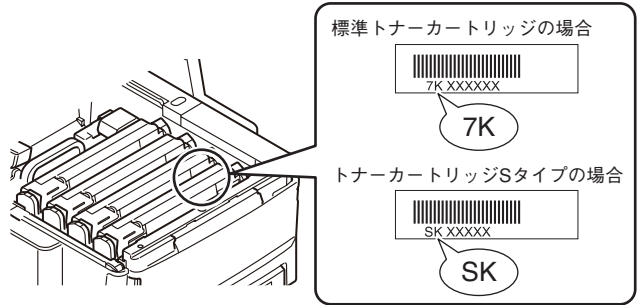
注

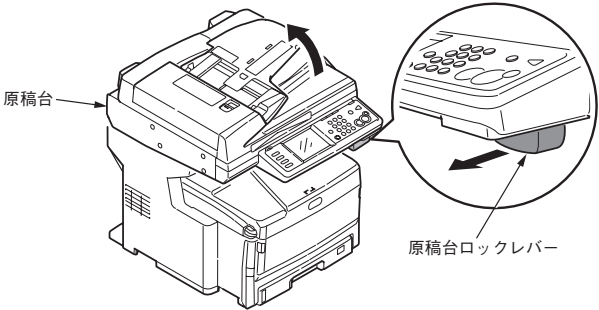
- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、約 2,300 枚印刷可能です。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- ［トナーがなくなりました］と表示した後も、トップカバーを開閉することにより、A4 サイズ、ISO パターンで約 100 枚（約 20 枚を 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラムの故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

品　名	型　名
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3KK1
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3KY1
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3KM1
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3KC1
トナーカートリッジ　ブラックS	TNR-C3KK3
トナーカートリッジ　イエローS	TNR-C3KY3
トナーカートリッジ　マゼンタS	TNR-C3KM3
トナーカートリッジ　シアンS	TNR-C3KC3

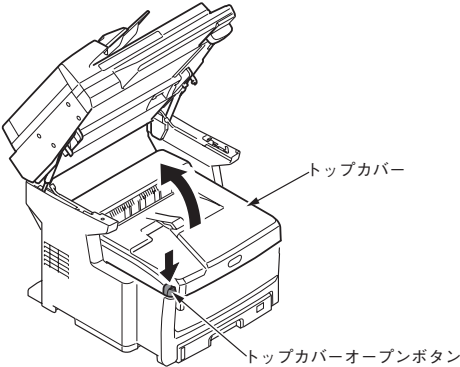
※お近くの販売店でお求めください。

メモ　トナーカートリッジの種別は､バーコード下の英数字の上２桁で見分けます。

トナーカートリッジの種別	消耗品		イメージドラムに添付のトナーカートリッジ	スタータトナーカートリッジ
	標準	Sタイプ		
上２桁の英数字	7K	SK	2K	2S

トナーカートリッジを交換する

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し下げ、トップカバーを開けます。

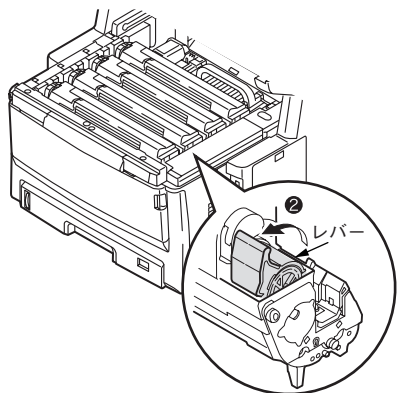
⚠注意　やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのトナーカートリッジを取り出します。

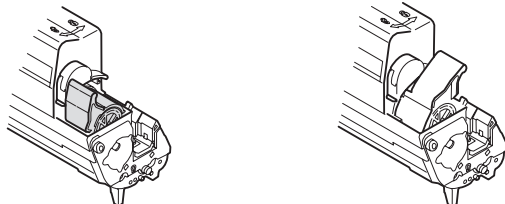
⚠警告	使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

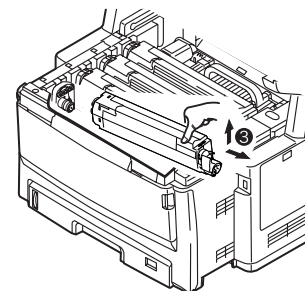
使用済みトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは添付の「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

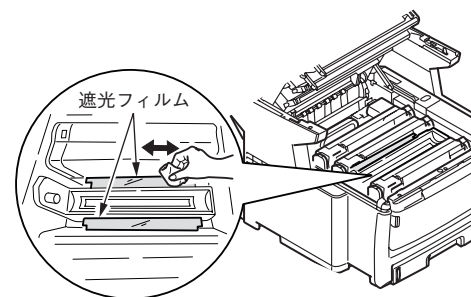
❶交換するトナーカートリッジをラベルの色で確認します。

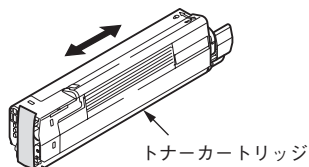
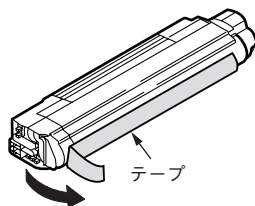
❷トナーカートリッジの青いレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

【トナーカートリッジのレバー位置】

トナーカートリッジを外す位置

トナーカートリッジを取り付けた状態

❸トナーカートリッジのレバー側の端を持って、斜めに持ち上げます。

トナーカートリッジのレバーと反対側はイメージドラムカートリッジのポストが差し込まれています。無理に持ち上げたり、引き抜くと、ポストが破損することがあります。

❹トナーカートリッジを斜めにしたまま、横方向に引き抜きます。

トナー交換時に遮光フィルムにトナーを落とした場合は、LED レンズにトナーがつく可能性があります。柔らかいティッシュペーパーで拭きとってください。

4 新しいトナーカートリッジをセットします。

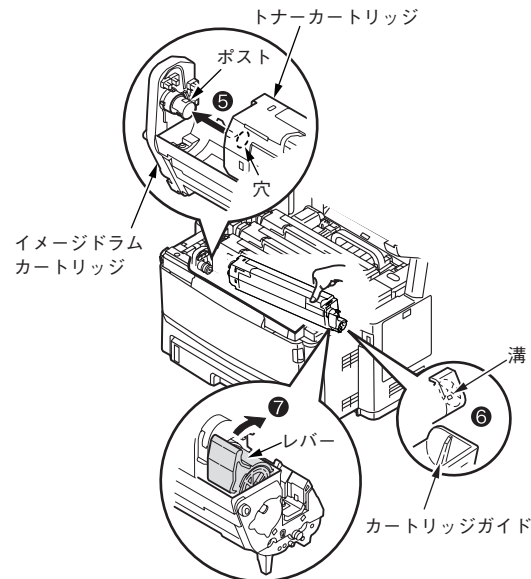
❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出し、色に間違いがないことを確認します。

❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

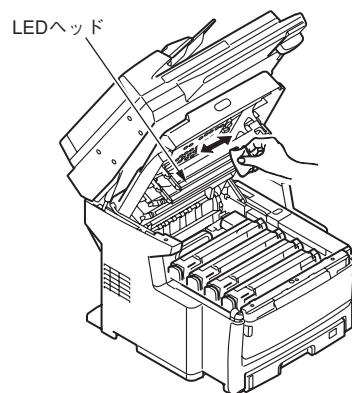
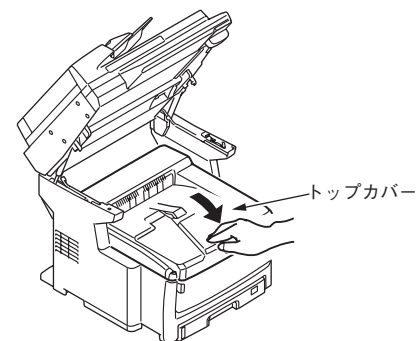
❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

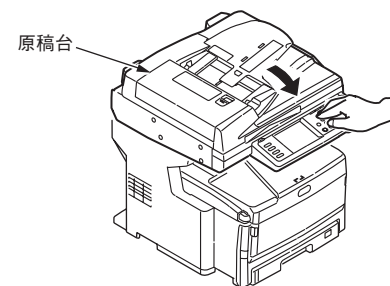
❺テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止るまで回します。

・トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
・トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。

5 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面を軽く拭きます。

注 メチルアルコールやシンナーなどの溶剤は、LED ヘッドを傷めますので使用しないでください。

6 トップカバーを閉じます。

メモ トナーカートリッジを交換しても、[トナーを交換してください] のメッセージが消えないときは、トナーカートリッジを取り付け直してください。

7 原稿台を元の位置に戻します。

イメージドラムカートリッジの交換

⚠警告

- トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。

- トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。

注意

- 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

- トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし､子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。

- トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- トナーを飲み込んだ場合は、大量の水を飲んでトナーをうすめてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。

- 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹸水でよく洗い流してください。
- 衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。

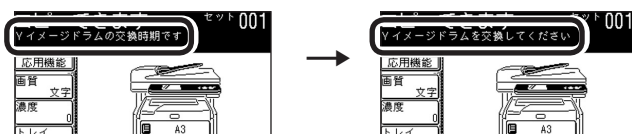
- トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。

- 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

- トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーが飛び散らないよう、濡れた雑巾で丁寧に拭き取ってください。

イメージドラムカートリッジ交換の目安

イメージドラムカートリッジが寿命になると操作パネルに［＊　イメージドラムの交換時期です］（＊は各色を表わします）のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると［イメージドラムを交換してください］を表示して印刷を停止します。
イメージドラムカートリッジ交換の目安は、A4 サイズの用紙（横送り、片面印刷時）で約 20,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況(一度に 3 枚ずつ)で印刷した場合の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。(連続印刷で約 27,000 枚に相当します。)

→

- ［イメージドラムの交換時期です］を表示してから［イメージドラムを交換してください］になるまでの目安は、約 500 枚です。(A4 サイズ、横送り、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)
- トナーがほとんど無くなっている場合には、トップカバーを開閉しての印刷継続は制限されます。

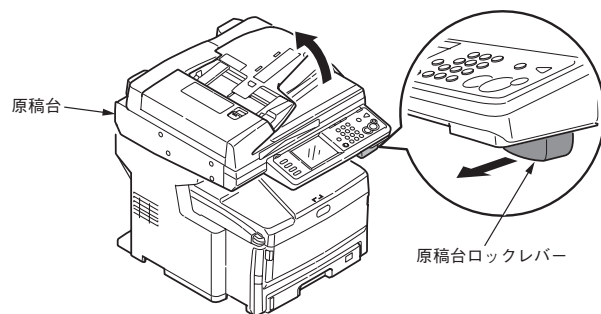
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラムカートリッジを準備してください。
- ［イメージドラムを交換してください］表示の後も、トップカバーを開閉するとトナーが残っていれば印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。
- ［イメージドラムを交換してください］を表示以降にトナーがほとんど無くなった場合には、500 枚以下で［イメージドラムを交換してください］となります。また、お使いの環境によっては、［イメージドラムを交換してください］が表示される前に印刷が薄くなることもあります。
- 封筒、はがき、ラベル紙、ごく厚い紙の場合、モノクロ印刷でもカラードラムを消費する場合があります。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、［イメージドラムの交換時期です］メッセージは表示されません。

- 商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

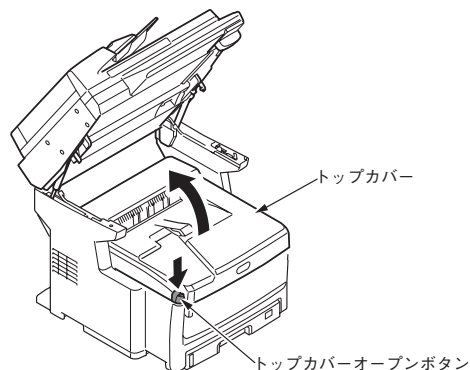
品　名	型　名
イメージドラム　ブラック	ID-C3KK
イメージドラム　イエロー	ID-C3KY
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3KM
イメージドラム　シアン	ID-C3KC

お近くの販売店でお求めください。

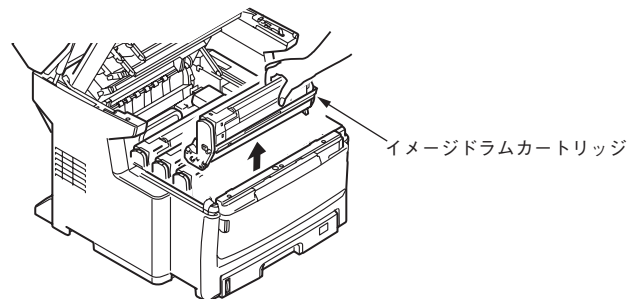
イメージドラムカートリッジを交換する

1 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

2 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意	やけどのおそれがあります。	

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

3 使用済みのイメージドラムカートリッジを取り出します。

❶交換するイメージドラムカートリッジをラベルの色で確認します。

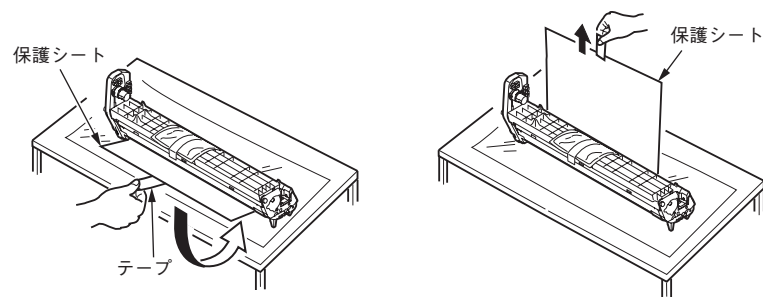
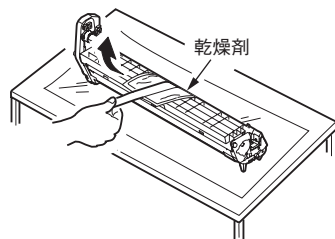
❷トナーカートリッジをつけたまま、イメージドラムカートリッジを取り出します。

メモ　使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジの回収を行っています。詳しくは添付の「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

⚠警告	使用済みイメージドラムカートリッジとトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

4 新しいイメージドラムカートリッジを準備します。

- イメージドラムを傾けないでください。トナーがこぼれる場合があります。
- イメージドラムカートリッジの緑色の筒の部分は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

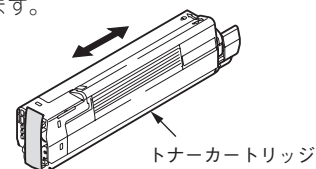
❶イメージドラムを新聞紙等の上に置きます。

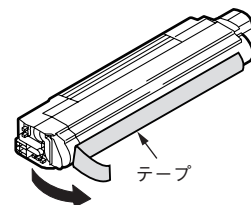
❷保護シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸乾燥剤を取り外します。

5 新しいトナーカートリッジをイメージドラムカートリッジに取り付けます。

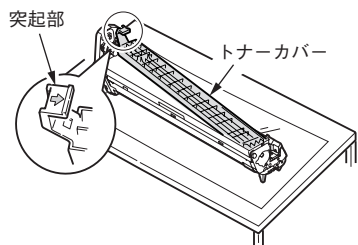
今まで使用していたトナーカートリッジをセットすることも可能ですが、以下の理由により、新しいトナーカートリッジを使用されることを推奨します。

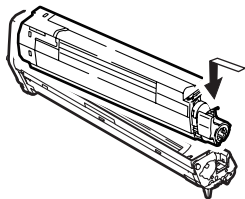
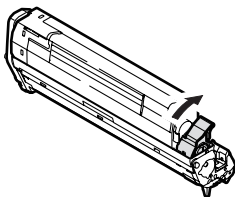
- 今まで使用していたトナーカートリッジが開封後 1 年以上経過している場合は、印刷品質が低下する可能性があります。
- 新しいイメージドラムカートリッジ内にはトナーが入っていないため、セットしたトナーカートリッジからトナーが充填されます。残量の少ないトナーカートリッジをセットした場合、すぐに「トナーがなくなりました」のメッセージが表示される場合があります。
- 今まで使用していたトナーカートリッジをセットした場合、「トナーを交換してください」のメッセージが表示されるまでのトナー残量表示が不正確となります。

❶新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出します。

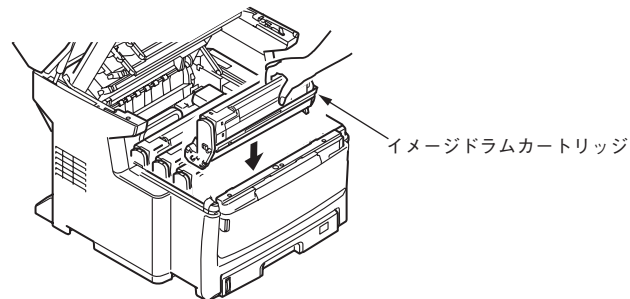
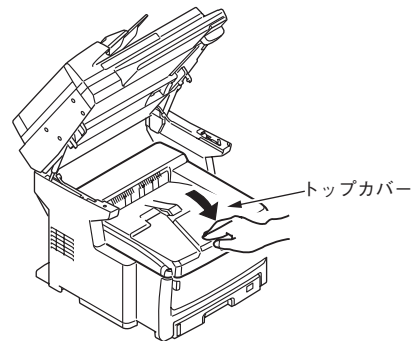
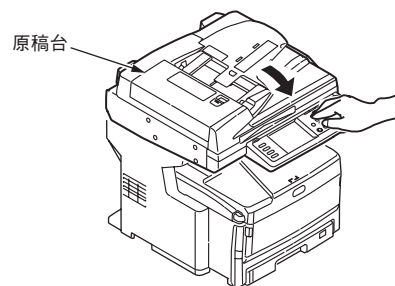
新しいトナーカートリッジの色に間違いがないことを確認してください。

❷縦と横に数回振ります。

❸トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりとはがします。

❹トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺イメージドラムカートリッジのトナーカバーを取り外します。

❻テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

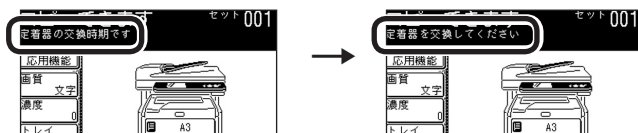
❼トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❽トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

6 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶イメージドラムカートリッジのラベルの色と装置側のラベルの色が合っていることを確認します。

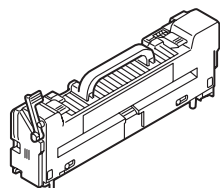
❷イメージドラムカートリッジを静かにセットします。

7 トップカバーを閉じます。

8 原稿台を元の位置に戻します。

定着器ユニットの交換

定着器ユニット交換の目安

定着器ユニットの交換時期になると、操作パネルに[定着器の交換時期です]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると、操作パネルに[定着器を交換してください]のメッセージが表示され、印刷を停止しますので、新しい定着器ユニットに交換してください。
定着器ユニット交換の目安は、A4 サイズの用紙(片面印刷時)で約 100,000 枚です。

→

[定着器の交換時期です]を表示してから[定着器を交換してください]になるまでの目安は、A4 サイズ(片面印刷)で約 1,250 枚です。

- 「定着器を交換してください」と表示した後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、装置の故障や紙づまりの原因となりますので、定着器ユニットを交換してください。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、[定着器を交換してください] メッセージは表示されません。

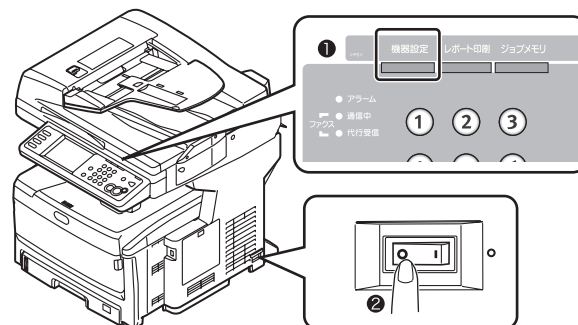
定着器ユニット

型名：FUS-C3E

お近くの販売店でお求めください。

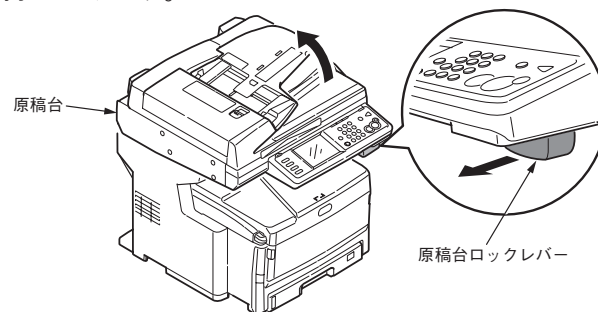
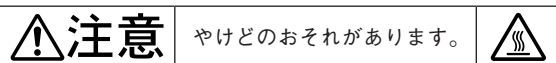
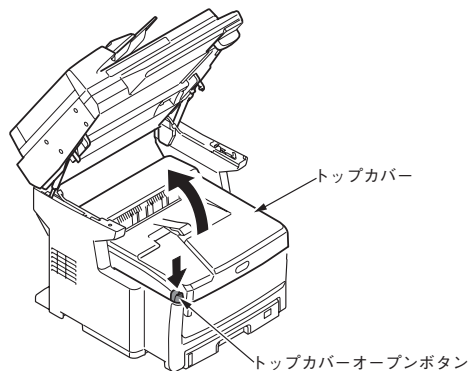
定着器ユニットを交換する

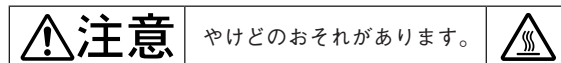
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

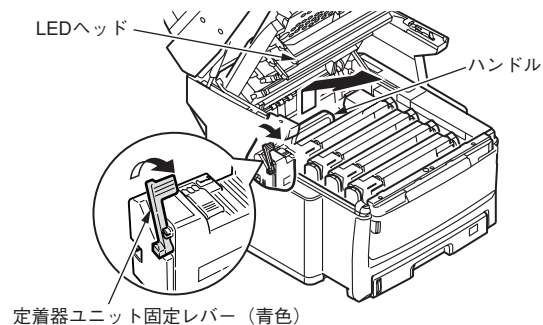
参照 詳しい手順は「電源の切りかた」(60 ページ) をご覧ください。

2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4 使用済みの定着器ユニットを取り出します。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっています。手を触れないよう十分注意をしてください。熱いときは無理をせず、冷めるまで待ってから作業を行ってください。

❶定着器ユニット固定レバー(青色)を矢印の方向へ起します。

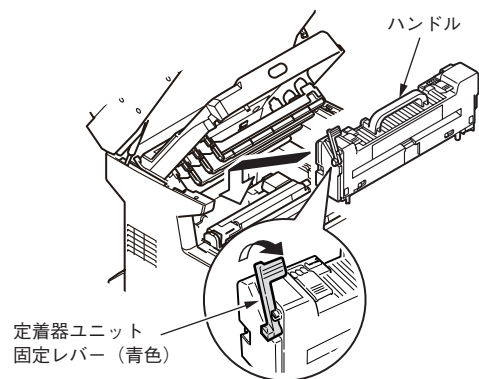
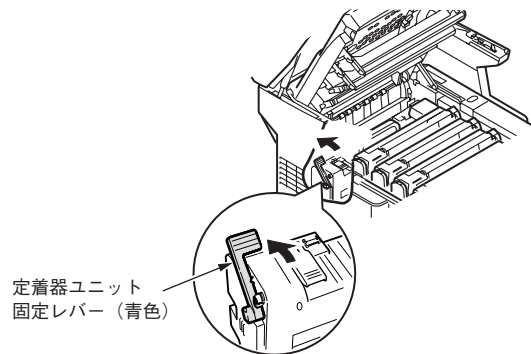
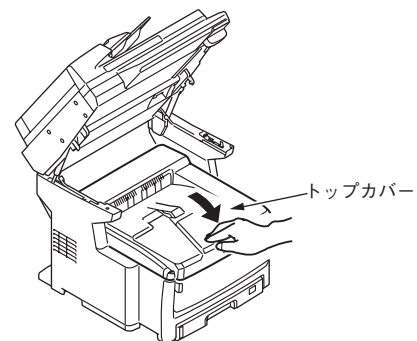
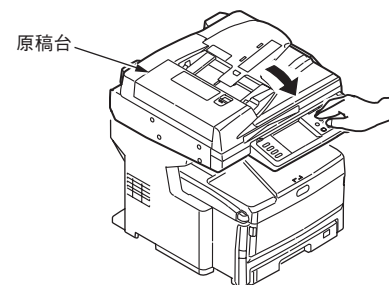
❷定着器ユニットのハンドルを持ち、斜め前方へ取り出します。

 LED ヘッドに当たらないように注意してください。

メモ 使用済みの定着器ユニットの回収を行っています。詳しくは、添付の「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

5 新しい定着器ユニットをセットします。

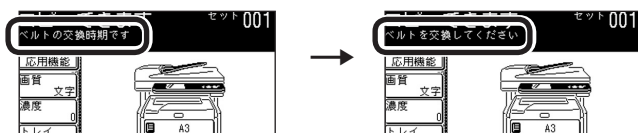
❶新しい定着器ユニットを包装袋から取り出します。

❷定着器ユニットの固定レバーを矢印の方向に起こします。

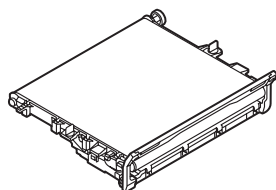
❸定着器ユニットのハンドルを持ち、静かに入れます。

❹定着器ユニット固定レバー（青色）を奥側に倒し、固定します。

6 トップカバーを閉じます。

7 原稿台を元の位置に戻します。

ベルトユニットの交換

ベルトユニット交換の目安

ベルトユニットの交換時期になると、操作パネルに[ベルトの交換時期です]のメッセージが表示されます。そのまま印刷を続けると[ベルトを交換してください]を表示し印刷を停止しますので、新しいベルトユニットに交換してください。
ベルトユニット交換の目安は、A4 横サイズの用紙(片面印刷時)で約 80,000 枚です。ただし、これは一般的な使用状況で印刷した場合(一度に 3 枚ずつ)の枚数です。1 枚ずつ印刷する場合には、約半分でベルトユニットの寿命になります。

→

[ベルトの交換時期です]を表示してから[ベルトを交換してください]になるまでの目安は、約 1,000 枚です。(A4 横サイズ、片面印刷、一度に 3 枚ずつ印刷した場合)

- 「ベルトを交換してください」と表示した後も、トップカバーを開閉するとしばらくは印刷を続けることはできますが、装置の故障の原因となりますので、ベルトユニットを交換してください。
- 管理者設定メニューの「機器管理」-「システム設定」-「ニアライフ時のステータス」が無効に設定されている場合は、[ベルトを交換してください] メッセージは表示されません。

ベルトユニット

型名:BLT-C3C

お近くの販売店でお求めください。

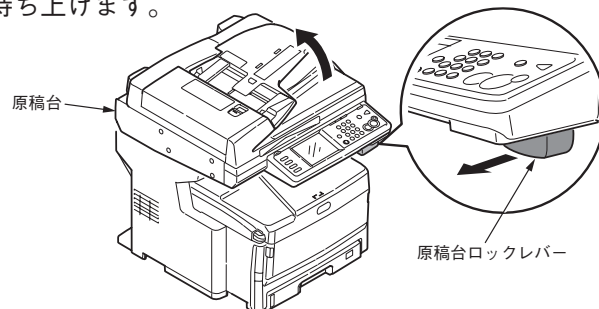
ベルトユニットを交換する

1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

 いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

 詳しい手順は「電源の切りかた」(60 ページ) をご覧ください。

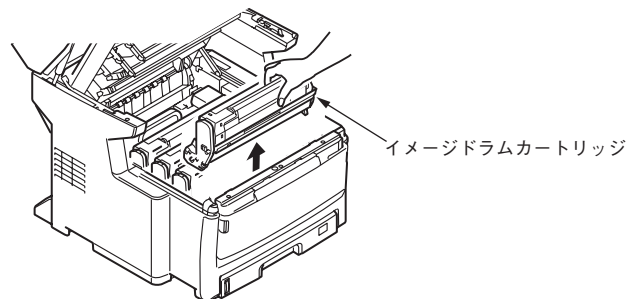
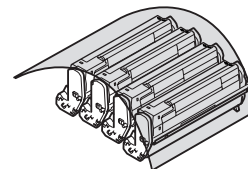
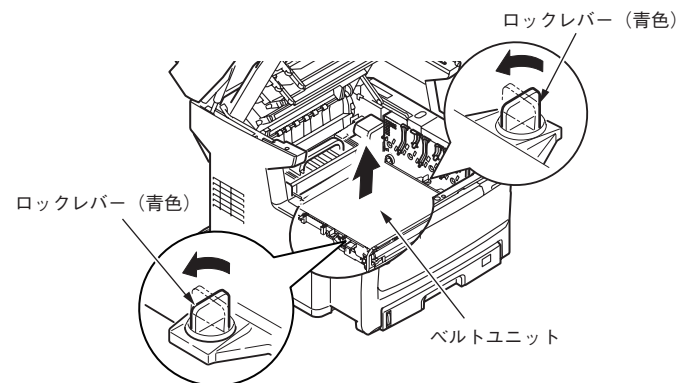
2 原稿台ロックレバーを手前に引き、ロックを解除して原稿台を持ち上げます。

8
こんなときには

3 トップカバーオープンボタンを押し、トップカバーを開けます。

⚠注意 やけどのおそれがあります。

定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

4 使用済みのベルトユニットを取り出します。

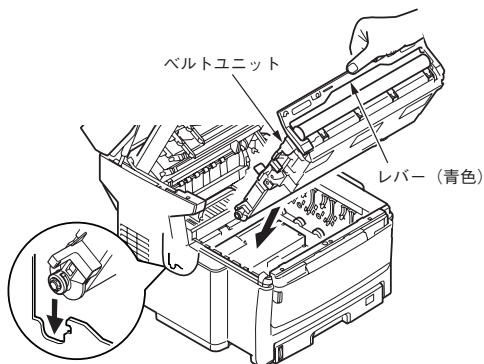
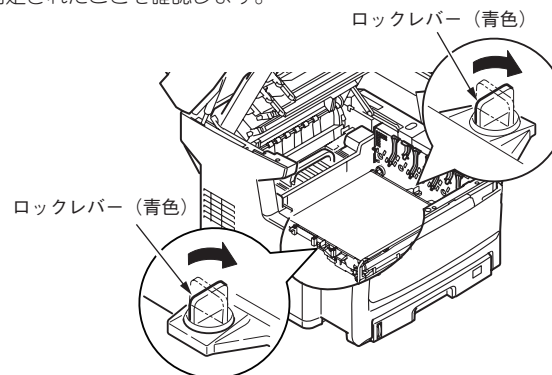
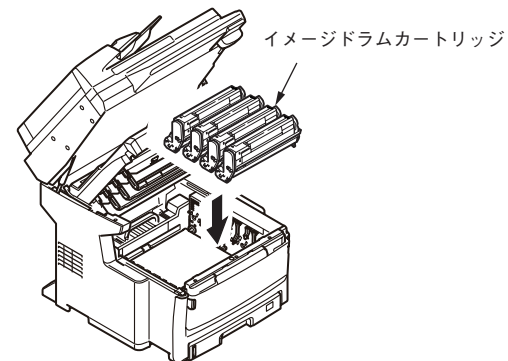
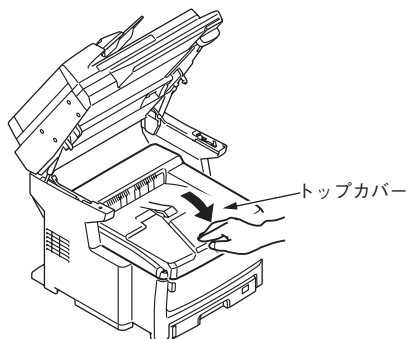
❶イメージドラムカートリッジ(4 個)を取り出し、平らなテーブルの上に置きます。

❷取り出したイメージドラムカートリッジに光が当たらないように、紙を重ねてかぶせます。

❸ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 🔓の方向に回転し、レバー(青色)を持ち、ベルトユニットを取り外します。

・使用済みのベルトユニットの回収を行っています。詳しくは、添付の「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

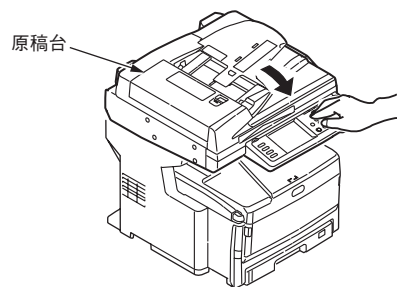
・イメージドラム(緑の筒の部分)は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
・イメージドラムカートリッジは直射日光や強い光(約1500 ルクス以上)に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分間以上は放置しないでください。

	使用済みベルトユニットは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。

5 新しいベルトユニットをセットします。

❶新しいベルトユニットを包装袋から取り出します。

❷ベルトユニットのレバー(青色)を持ち、ベルトユニットをセットします。

❸ロックレバー(青色 2 ヶ所)を矢印 の方向に回転し、ベルトユニットが確実に固定されたことを確認します。

❹イメージドラムカートリッジ(4 個)を静かに戻します。

6 トップカバーを閉じます。

イメージドラムカートリッジがセットできなかったり、トップカバーが閉まらない場合は、ベルトユニットのロックレバーの位置を確認してください。

7 原稿台を元の位置に位置に戻します。

給紙ローラとパッドの交換

給紙ローラとパッドを清掃しても給紙ミスが頻発する場合、給紙ローラとパッドを交換します。
トレイ 1 では、給紙ローラ 1 ヶと用紙カセットの分離片(パッド)を交換します。
トレイ 2、トレイ 3（オプション）では、給紙ローラを 3 ヶ交換します。(388 ページ)
MP トレイでは、給紙ローラ 1 ヶを交換します。(391 ページ)
交換の目安は、各トレイとも、約120,000 枚です。(使用環境や用紙によって異なります。)

トレイ 1 の給紙ローラと分離片を交換する

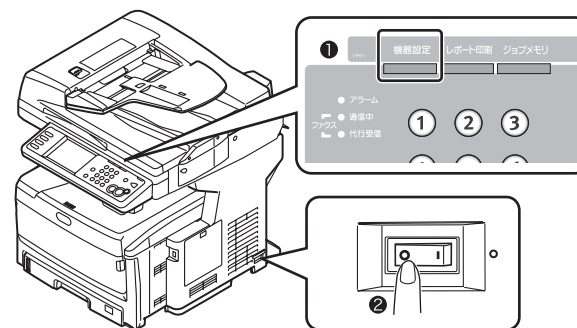
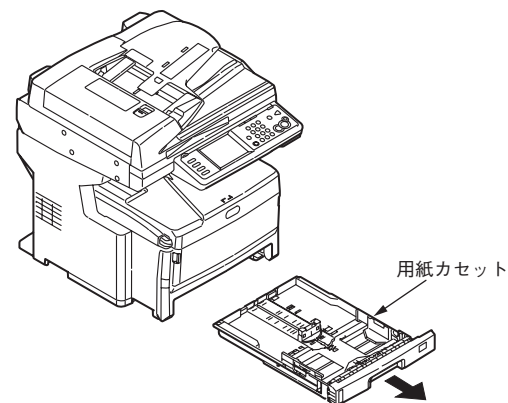
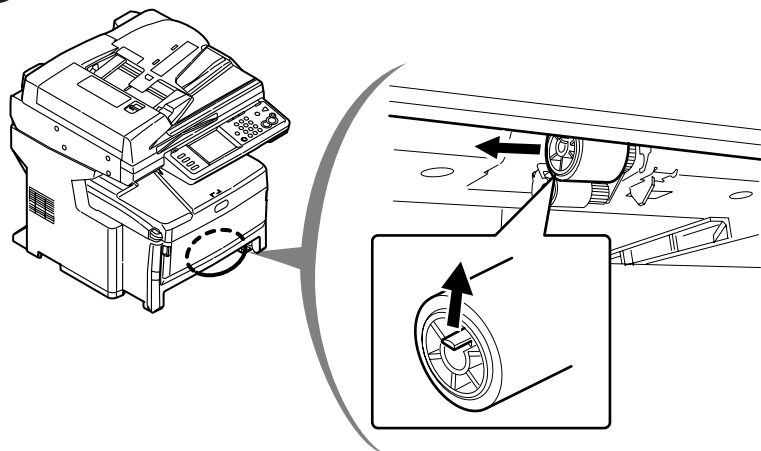
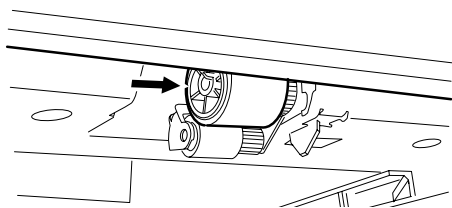
給紙ローラセット（トレイ 1 用）

型名： RS-C3D

 給紙ローラと分離片は必ずセットで交換してください。

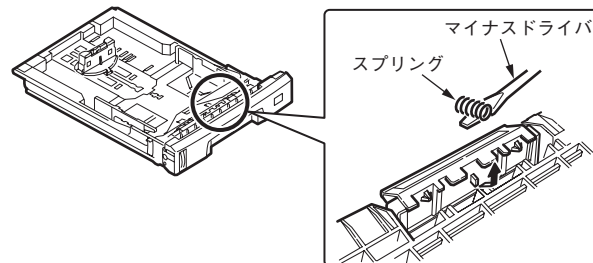
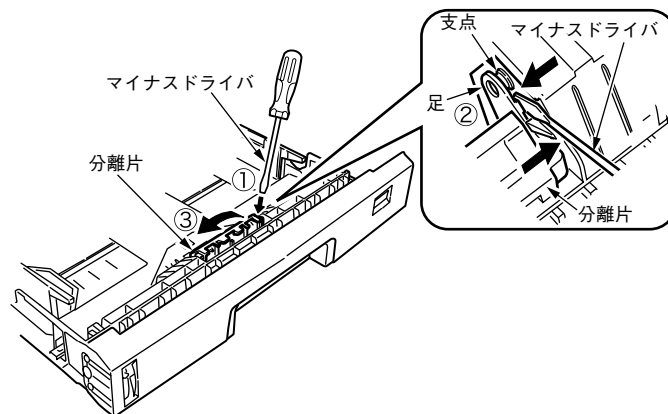
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

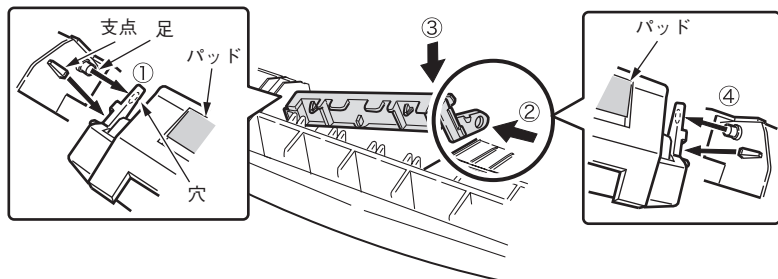
注 いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

参照 詳しい手順は「電源の切りかた」(60 ページ)をご覧ください。

2 用紙カセットを引き抜きます。

3 給紙ローラ（大）の爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

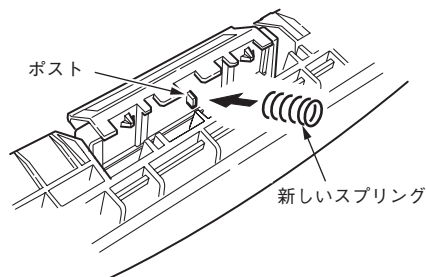
6 用紙カセットの分離片を外します

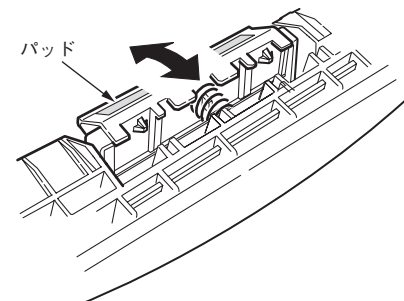
❶マイナスドライバなどの道具を使い、スプリングを外します。

注 スプリングがとばないよう、注意してください。

❷マイナスドライバなどの道具を、分離片とカセットの間に差し込み、分離片の片方の足が支点から外れるまでたわませ、持ち上げるようにして外します。

7 新しい分離片を取り付けます。

❶新しい分離片の片方の足の穴を支点にいれ、もう片方の足をたわませながら足の穴に支点が入るように真上から押し込みます。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

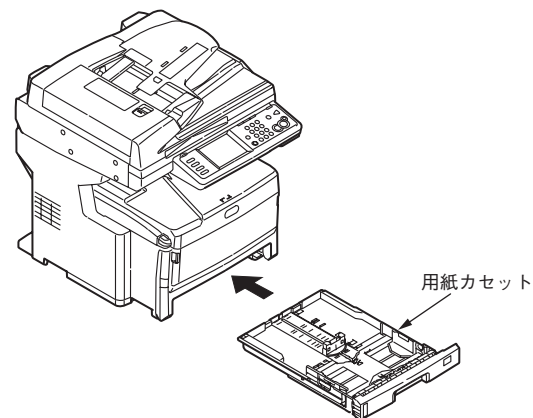
❷両方の足の穴に支点が入っていることを確認します

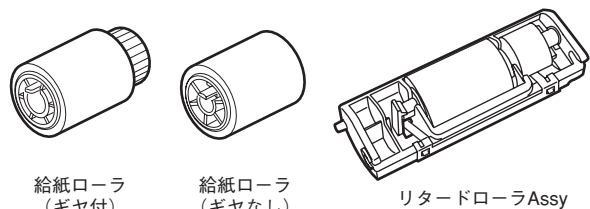
❸新しいスプリングを分離片のポストに差し込んで取り付けます。

注
- スプリングがとばないよう、注意してください。
- 先に取り外したスプリングも使用できます。

❹支点を中心に分離片がなめらかに動くことを確認します。

注 パッド（ゴムの部分）にさわらないよう、注意してください。

8 給紙ローラとパッドを清掃します。

参照 詳しい手順は応用編「こんなときには」をご覧ください。

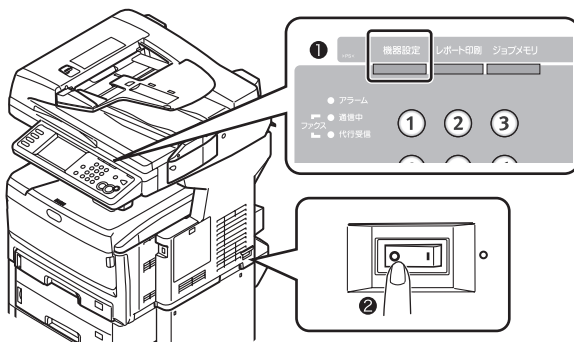
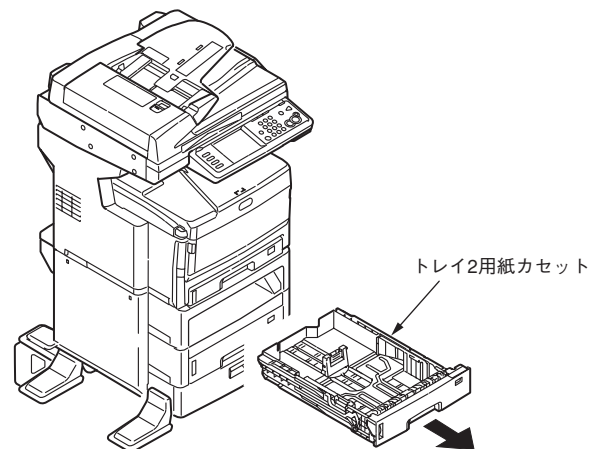
9 用紙カセットをもどします。

トレイ 2、トレイ 3（オプション）の給紙ローラを交換する

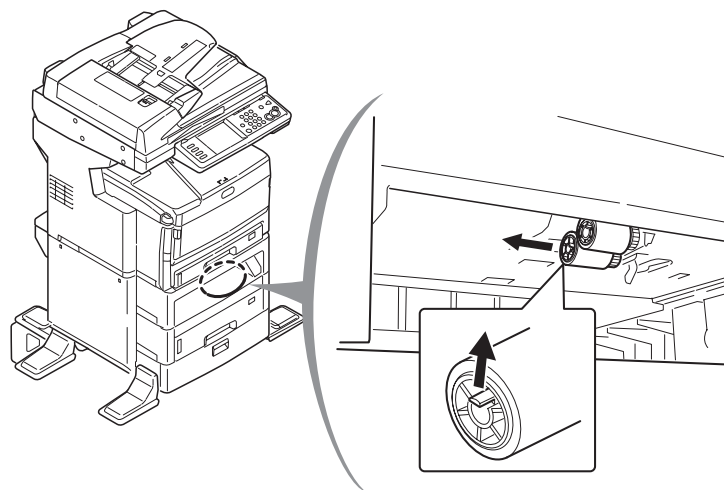
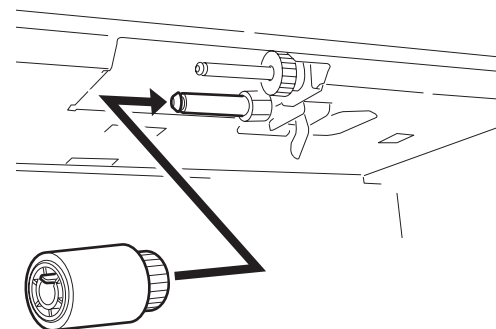
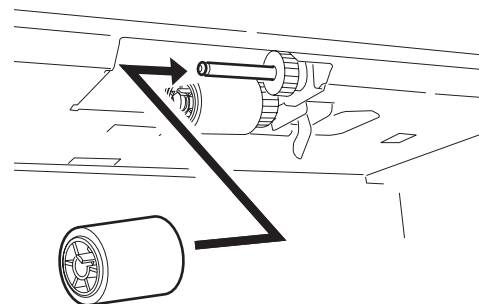
給紙ローラセット（トレイ 2、トレイ 3 用）

型名： RS-C3E

注 給紙ローラは必ず 3 個とも交換してください。

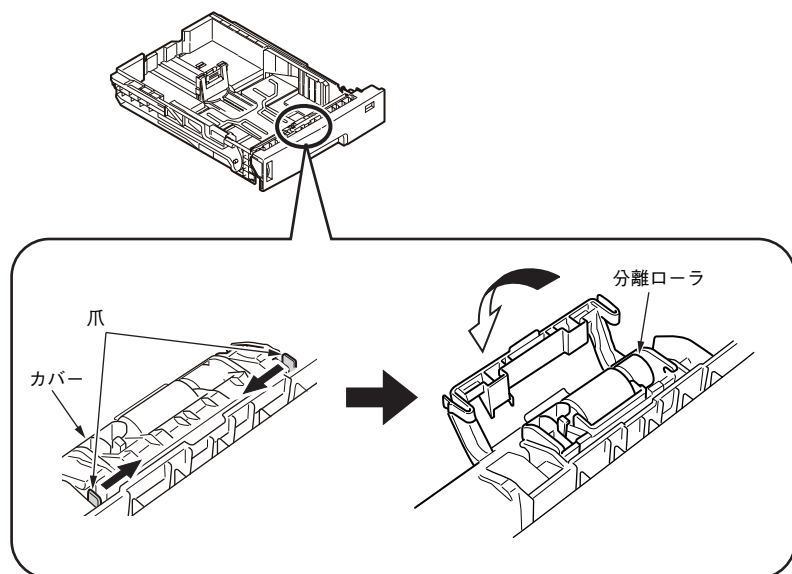
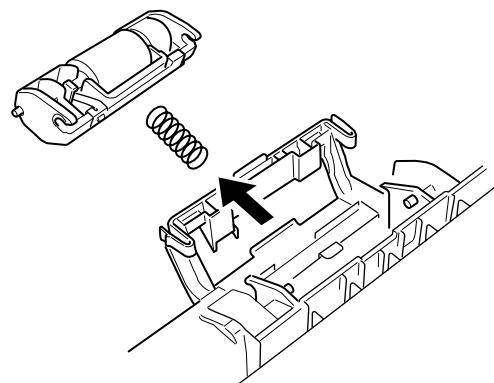
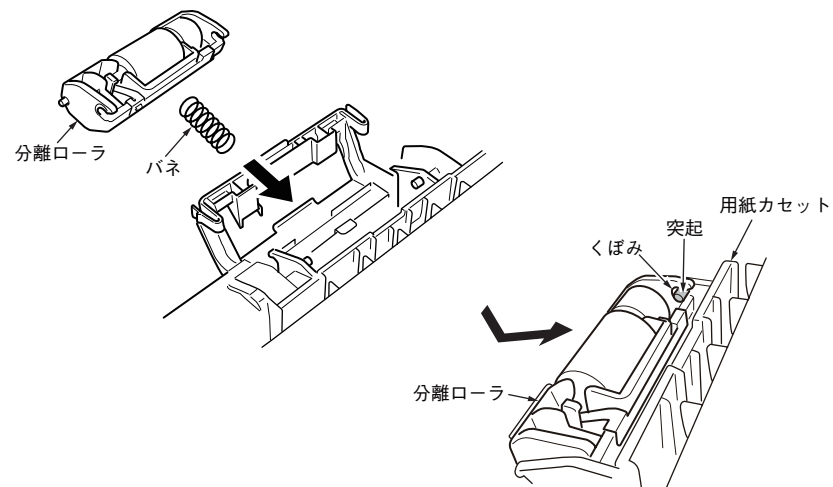
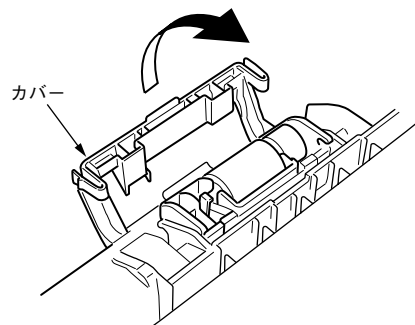
1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

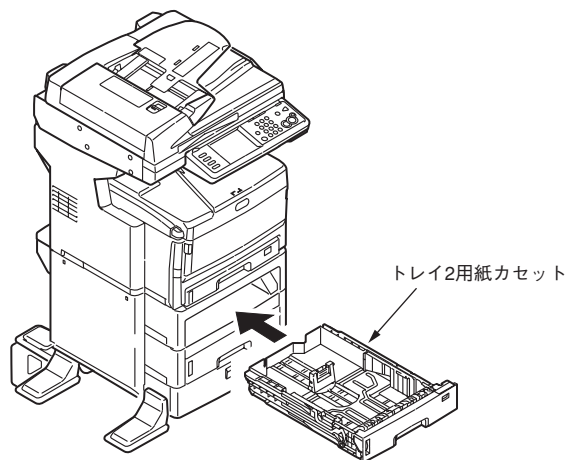
注 いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

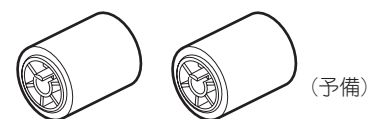
参照 詳しい手順は「電源の切りかた」（60 ページ）をご覧ください。

2 トレイ 2、トレイ 3 の用紙カセットを引き抜きます。

3 給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

2 個とも外します。

4 新しい給紙ローラ（ギヤ付）を奥側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 新しい給紙ローラ（ギヤなし）を手前側の軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

6 ローラが抜けないか、確認します。

7 用紙カセットのローラを交換します。

❶用紙カセットの両側の爪をたわませて外し、手前に回転させ、カバーを開けます。

❷リタードローラ Assy を矢印方向に引っ張り、軸から外します。

❸新しい部品を取り付けます。
リタードローラ Assy 背面のボス部にスプリングをはめ、カセット側の軸にリタードローラ Assy の軸受け部を斜め下方向から押し込みます。
リタードローラ Assy が軸を支点になめらかに動作することを確認します。

❹カバーを閉じます。

❺ローラが回転することを確認します。

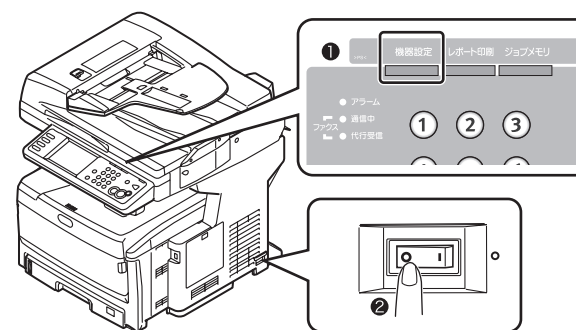
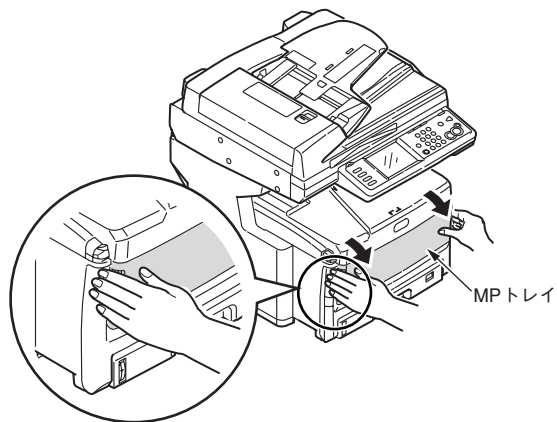
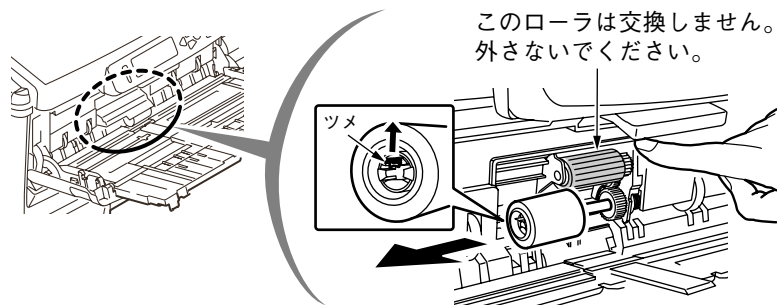
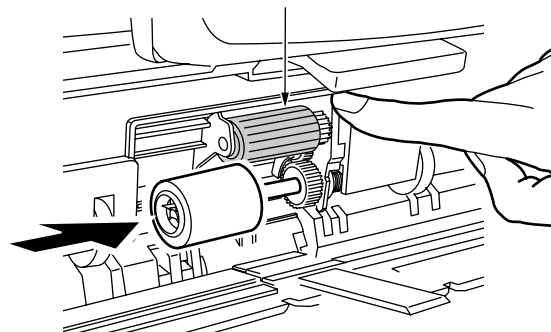
8 用紙カセットを元の位置にもどします。

■ MP トレイの給紙ローラを交換する

給紙ローラセット（MPT 用）

型名： RS-C3F

給紙ローラセット（MPT 用）には給紙ローラが 2 個入っていますが、給紙ローラを交換するときは給紙ローラ 1 個を使用してください。もう 1 個の給紙ローラは予備として保管ください。

1 操作パネルの<機器設定>キーを押し、[シャットダウン] を押してから、電源スイッチを OFF にします。

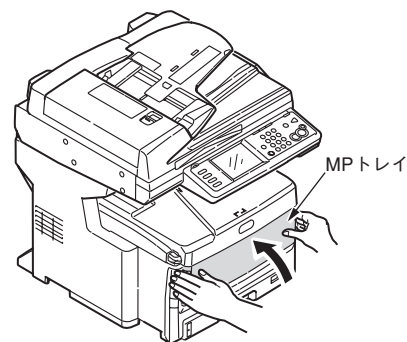
いきなり電源を切らないでください。装置が故障する恐れがあります。

参照 詳しい手順は「電源の切りかた」（60 ページ）をご覧ください。

2 MPトレイの両端を持ち、手前に開きます。

3 用紙ピックアップ部を持ち上げ、給紙ローラの爪を外側に広げながら、軸から外します。

4 新しい給紙ローラを軸にさし、回しながら奥までしっかり差し込んでセットします。

5 ローラが抜けないか、確認します。

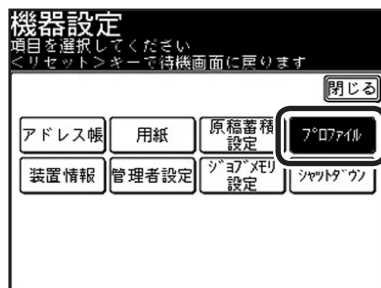
6 MPトレイを閉じます。

プロファイルを作成する

プロファイルを作成する

音声案内

スキャン To ネットワークPC機能や、自動配信機能、通信データ保存機能をお使いになるには、プロファイルが必要です。
以下の手順で作成します。

1 ＜機器設定＞キーを押します。

2 ［プロファイル］を押します。

3 ［登録 / 変更］を押します。

4 登録したいプロファイル番号を押します。

5 プロファイル名を入力し、［確定］を押します。

6 設定する項目をクリックし、適当な値を選択し、［確定］を押します。

参照 それぞれの項目についての詳細は、応用編「操作パネルの設定項目一覧」をご覧ください。

7 それぞれの項目の設定が終わったら、［確定］を押します。

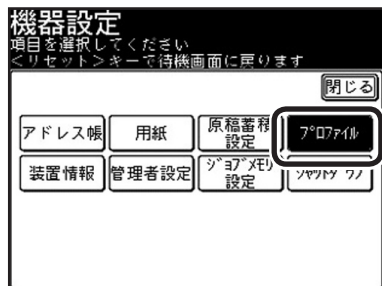
8 続けてプロファイルを作成する場合は、手順4～7を繰り返します。

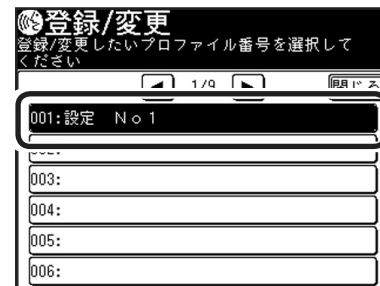
9 ［閉じる］を押します。

10 <リセット>ボタンを押し、待機画面を表示します。

プロファイルを変更する

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［プロファイル］を押します。

3 ［登録 / 変更］を押します。

4 登録したいプロファイル番号を押します。

5 変更したい項目を押し、変更します。

ここでは、対称 URL を変更する場合を例にしています。

6 設定を変更し［確定］を押します。

7 ［確定］を押します。

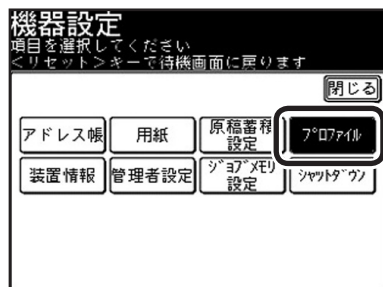
8 続けてプロファイルを変更する場合は、手順 4 ～ 7 を繰り返します。

9 ［閉じる］を押します。

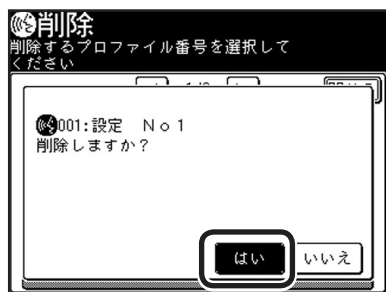
10 ＜リセット＞ボタンを押し、待機画面を表示します。

プロファイルを削除する

1 <機器設定>キーを押します。

2 ［プロファイル］を押します。

3 ［削除］を押します。

4 削除したいプロファイル番号を押します。

5 確認画面を表示するので、［はい］を押します。

6 続けてプロファイルを削除する場合は、手順 4 ～ 5 を繰り返します。

7 ［閉じる］を押します。

8 <リセット>ボタンを押し、待機画面を表示します。

製品を廃棄する

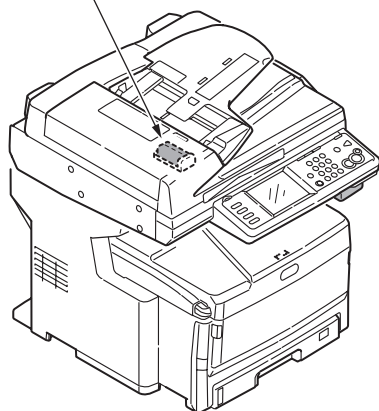
製品を廃棄する

本機は、データのバックアップ用として、充電式電池を使用しています。充電式電池は、貴重な資源ですので、製品を廃棄する場合は、以下の手順にしたがって充電式電池を取外し、リサイクルへお持ちください。

電池の仕様及び取り付け位置

充電式電池の仕様

電池の種別	：ニッケル水素電池
公称電圧	：1.2V × 2
容　量	：500mA/H
製造者及び製品名	：Unitech 社製　H-AAA500mAh×2 LEXEL 社製　LH050-3A44C2BRJS2P HI-WATT BATTERY 社製　AAA500F2MJ　のいずれか

充電式電池（ニッケル水素電池）は下図の位置に取り付けられています。

1 充電式電池を取外します。

電池の取外しは、お客様ご自身ではできません。専門の業者へ委託してください。

❶ 3 本のネジを外し、スキャナ背面のモールドカバーを浮かします。

❷ 2 本のネジを外し、スキャナ底面のモールドカバーを外します。

❸ 2 本のネジを外し、スキャナ底面の板金を開きます。

❹電池を基板に接続しているコネクタを抜きます。

❺電池フォルダから電池を外します。

❻電池がショートしないよう、端子を絶縁テープなどで貼ります。

⚠危険　やけどやケガをするおそれがあります。

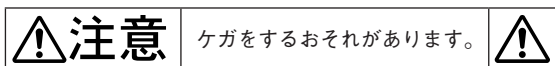
取り外した充電式電池を、充電・分解・ショートしたり、火中へ投じないでください。

2 取り外した充電式電池を、装置をお買い求めの販売店か、または、お近くの充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

詳しくは、お住まいの地方自治体へお問い合わせいただくか、または社団法人　電池工業会のホームページをご覧ください。

3 充電式電池を取り外した装置は、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お住まいの地表自治体の条例にしたがって廃棄してください。

メモ　詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

MC860 本体は重量約 68Kg ありますので、3 人以上で持ち上げてください。

付　録

消耗品・オプション・推奨紙のご案内

消耗品・オプション・推奨紙のご案内

これらの消耗品、オプションは、お近くの販売店でお求めください。

品　名	型　名	内　容
トナーカートリッジ　ブラック	TNR-C3KK1	トナーカートリッジ
トナーカートリッジ　イエロー	TNR-C3KY1	
トナーカートリッジ　マゼンタ	TNR-C3KM1	
トナーカートリッジ　シアン	TNR-C3KC1	
トナーカートリッジ　ブラック S	TNR-C3KK3	トナーカートリッジ S タイプ
トナーカートリッジ　イエロー S	TNR-C3KY3	
トナーカートリッジ　マゼンタ S	TNR-C3KM3	
トナーカートリッジ　シアン S	TNR-C3KC3	
イメージドラム　ブラック	ID-C3KK	イメージドラムカートリッジ トナーカートリッジ S タイプ
イメージドラム　イエロー	ID-C3KY	
イメージドラム　マゼンタ	ID-C3KM	
イメージドラム　シアン	ID-C3KC	
ベルトユニット	BLT-C3C	ベルトユニット
定着器ユニット	FUS-C3E	定着器ユニット
増設トレイユニット D4	TRY-C3D4	増設トレイユニット（トレイ 2,3、専用キャビネット）
増設トレイユニット D5	TRY-C3D5	増設トレイユニット（トレイ 2、専用キャビネット）
512MB 増設メモリ	MEM512C	増設メモリ（512MB）
給紙ローラセット（トレイ 1 用）	RS-C3D	トレイ 1 用給紙ローラ、分離パッド、スプリング
給紙ローラセット（トレイ 2、3 用）	RS-C3E	トレイ 2、3 用給紙ローラ 2 ヶ、リタードローラ Assy
給紙ローラセット（MPT 用）	RS-C3F	MPトレイ用給紙ローラ
カード認証キット F9	JCK-F9	IC カード認証キット
カード認証キット F10	JCK-F10	IC カード認証キット （グループ印刷機能対応）

品　名		型　名	内　容
プリントジョブアカウンティング		MLSFT-PJA01	プリントジョブアカウンティングソフトウェア
エクセレントホワイト	A4	PPR-CA4NA	OKI カラーページプリンタ用紙
	A4（厚口）	PPR-CA4DA	
	A4 長尺	PPR-CT4DA	
	A3	PPR-CA3NA	
	A3（厚口）	PPR-CA3DA	
	A3 長尺	PPR-CT5DA	
ML カラー OHP シート		MLOHP01	専用 OHP フィルム

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジは、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光をさけ、温度：0 〜 35℃、湿度：20 〜 85%RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

仕様

仕様

基本仕様

型式	N34223C
CPU	PowerPC750 プロセッサ (500MHz)
RAM 容量	512MB(最大 768MB)
装置重量 *4	MC860dn ：約 68kg MC860dtn：約 96kg
電源	AC100V、50/60Hz
消費電力	動作時： 最大 1300W、平均 700W(25℃)
	待機時： 平均 160W(25℃)
	節電モード時： 25W 以下 電源オフ時には電力は消費されません。
突入電流	80A 以下 (25℃)
使用環境条件	動作時：10 ～ 32℃ /20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
	停止時:0 ～ 43℃ /10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
外部インタフェース	USB (Hi-Speed USB をサポート)、100BASE-TX/10BASE-T
表示	グラフィック LCD パネル (5.8 インチ QVGA 320dots x 240dots)
対応 OS	Windows Vista/XP/2000/Windows Server 2008/Windows Server 2003 日本語版 Mac OS X 10.3 ～ 10.5 日本語版 *6 詳しくは動作環境をご覧ください。

印刷部仕様

印刷方式	LED(発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式
解像度	600 ドット / インチ (LED ヘッド) 600 × 600dpi/600 × 1200dpi/600 × 600dpi × 2 bit(印刷解像度)
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、黒の 4 色
印刷言語	PostScript3 エミュレーション、PCL5c エミュレーション
印刷速度 *1	カラー ：26 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m2) 以上の厚紙･郵便はがき･ラベル紙)、 22 ページ / 分 (両面印刷時：普通紙、A4 時) モノクロ ：34 ページ / 分 (普通紙、A4 コピーモード時)、 9.5 ページ / 分 (104kg(121g/m2) 以上の厚紙･郵便はがき･ラベル紙)、 23 ページ / 分 (両面印刷時：普通紙、A4 時)
用紙サイズ *2	A3、A4、A5、A6、B4、B5、レター、リーガル 13 インチ、リーガル 13.5 インチ、リーガル 14 インチ、エグゼクティブ、カスタム、はがき、往復はがき、封筒
用紙種類 *2	普通紙 (55 ～ 172kg)、郵便はがき、封筒、ラベル紙、OHP フィルム
給紙方法 *2	用紙カセットによる自動給紙、MP トレイによる自動給紙と手差給紙 増設トレイユニット（トレイ 2、トレイ 3）（オプション）による自動給紙
給紙容量	用紙カセット：普通紙 300 枚 / 連量 70kg （82g/m2） 総厚 30mm 以下 MP トレイ ：普通紙 100 枚 / 連量 70kg （82g/m2） 総厚 10mm 以下 はがき 40 枚、封筒 10 枚 / 坪量 85g/m2
排出方法 *2	フェイスアップ (表排出)/ フェイスダウン (裏排出)
排出容量 *3	フェイスアップ：約 100 枚 / 連量 70kg (82g/m2) フェイスダウン：約 250 枚 / 連量 70kg (82g/m2)
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35mm 以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)
印刷精度	書き出し位置精度± 2mm 用紙の斜行± 1mm/100mm 画像伸縮± 1mm/100mm(連量 70kg (82g/m2) の場合)
ウォームアップ時間	電源投入後 90 秒以内 (25℃) *5
平均印刷枚数	10,000 枚 / 月
印刷品質保証条件	温度 10℃時 湿度 30 ～ 73%RH、温度 32℃時 湿度 30 ～ 54%RH、 湿度 30%RH 時 温度 10 ～ 32℃、湿度 80%RH 時 温度 10 ～ 27℃、 カラー印刷時 温度 17 ～ 27℃、湿度 50 ～ 70%RH
消耗品・メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジ、ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラセット
ユニット寿命	5 年または 60 万枚 (A4 横)

*1 用紙のサイズ、種類、厚さ、給紙方法により、印刷速度は変わります。
*2 用紙のサイズ、種類、厚さにより、給紙方法、排出方法に制限があります。
*3 はがき、往復はがきのフェイスアップの最大排出容量は 10 枚です。
*4 装置重量には、消耗品も含んでいます。
*5 濃度補正を含みません。
*6 TWAIN ドライバは、Mac OS には対応していません。

付録

スキャナ部仕様

スキャナタイプ	自動原稿送り装置（ADF）付きフラットベッドスキャナ
イメージセンサ	カラー CCD（R, G, B 3Line）
ADF 原稿用紙厚さ	52 ～ 105g/m²
ADF 原稿トレイ容量	50 枚（80g/m²）A4, B5, レター /25 枚（80Kg/m²）A3, B4
可能読取幅	原稿台：最大 297mm ADF　：最大幅 297mm　最小原稿 128.5 x 148.5mm
読取速度	最大 32 ページ / 分（300dpi, モノクロモード , A4 片面 ）
ユニット寿命	原稿台：5 年または 300,000 回スキャン ADF　：5 年または 120,000 ページスキャン （80,000 ページスキャン後に給紙ローラとパッドを交換した場合）
蛍光灯寿命	1,000 時間（累積点灯）

ファクス部仕様

互換性	ITU-T　スーパー G3
圧縮方式	MH/MR/MMR JBIG
通信速度（最大）	33600 bps（自動フォールバック）
原稿サイズ	自動検出　：A3、A4、A5、B4、B5 読取サイズ設定　：A3、A4、A5、B4、B5、タブロイド、リーガル（14"）、レター、ハーフレター
電送時間	約 2 秒 *1
代行受信件数	最大 250 件
蓄積枚数	最大 1,024 枚 *2
走査線密度	主走査　：　8 ドット / mm
	副走査　：　3.85 本 / mm（標準）
	：　7.7 本 / mm（高画質）
	：　15.4 本 / mm（超高画質）
適用回線	PSTN（公衆回線網）
回線接続方式	通信コネクタ　（RJ-11）
網制御機能	自動及び手動
選択信号方式	PB/DP　（10/20PPS）　ソフトウェア切り替え
直流抵抗	最大約 240 Ω
最大収容回線数	1

*1　A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で高速モードで送った時の電送時間です（MMR圧縮時）。これは、画像情報のみの電送時間で、通信の制御時間は含みません。実際は原稿の内容、相手機種、回線状態により異なります。

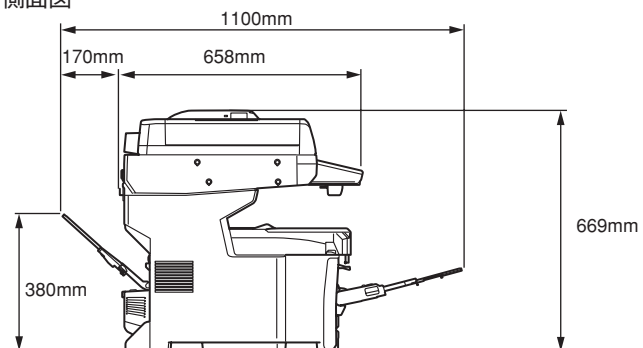
*2　A4 判 700 字程度の原稿 1 枚を標準的画質（8 ドット× 3.85 本 /mm）で蓄積した場合です（MMR圧縮時）。

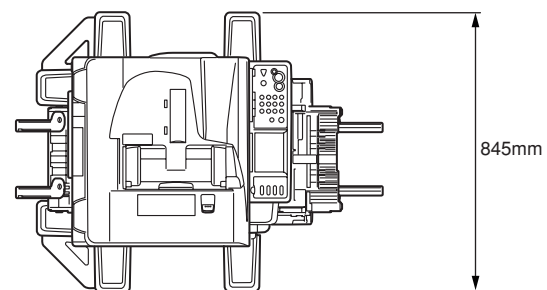
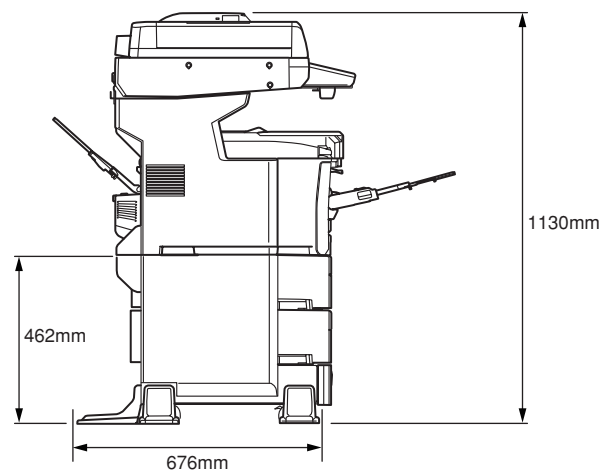
コピー仕様

項　目	仕　様
原稿サイズ	自動検出　：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5 読取サイズ設定　：A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、レター、レター、タブロイド、リーガル（14"）、ハーフレター
ファーストコピータイム	カラー　：14.5 秒（普通紙、A4、トレイ 1、デフォルトコピーモード時） モノクロ　：13.0 秒（普通紙、A4、トレイ 1、デフォルトコピーモード時）
連続コピー速度	カラー　：26 ページ / 分（普通紙、A4、デフォルトコピーモード時） モノクロ　：34 ページ / 分（普通紙、A4、デフォルトコピーモード時）
コピー部数	1 ～ 999 部

外形寸法

MC860dn 平面図

MC860dn 側面図

MC860dtn, オプション装着時

平面図

側面図

ユーザーズマニュアル CD-ROM の内容

ユーザーズマニュアル CD-ROM には、次のマニュアルが PDF 形式で収録されています。バージョン 5 以降の Acrobat に対応しています。
Adobe Reader は、ソフトウェア CD-ROM に収納されています。

- MC860_Kihon.pdf : MC860 のユーザーズマニュアル(基本操作編)です。(本書)
- MC860_Ouyou.pdf :MC860 ユーザーズマニュアル(応用編)です。

マニュアルをハードディスクにコピーして使う場合は、基本操作編と応用編を同じフォルダに保存してご利用ください。

MC860 ユーザーズマニュアル(応用編)の内容

付録

索　引

＊は、別冊「製品の保証・メンテナンス品の無償提供・お客様サポートについて」をご覧ください。

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

カラー複合機

MC860

ユーザーズマニュアル（基本操作編）

発行日　2012年 4月　第 3 版
発行者　株式会社 沖データ

44143501EE

- このマニュアルは再生紙を使用しています。
- この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出してください。

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは 0570-055-654)

ご注意：ナビダイヤルの通話料は、お客様のご負担となります。

受付時間 9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（ただし 祝日、年末年始等を除く）

44143501EE Rev3